

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</p> <p>i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転</p> <p>運転停止中において、再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合、A余熱除去ポンプ（空調用冷水）を用いた低圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器内を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失を原子炉補機冷却水供給母管流量等にて確認した場合に、空調用冷水系が運転中で、低圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1.4.2.1(2)b.(b) i. と同様。</p> <p>ii. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</p> <p>運転停止中において、再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器内を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失時の対応であるA余熱除去ポンプ（空調用冷水）低圧代替再循環運転による炉心への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、大容量ポンプにより代替補機冷却による冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1.4.2.1(2)b.(a) i. と同様。</p>		<p>(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</p> <p>i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</p> <p>発電用原子炉停止中において、原子炉補機冷却機能が喪失し余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転により原子炉容器への注水を行い、あわせて、可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により原子炉格納容器内を冷却する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に原子炉補機冷却機能喪失を原子炉補機冷却水供給母管流量等にて確認した場合に、可搬型大型送水ポンプ車による代替補機冷却により冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプ水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転については、1.4.2.1(2)b.(a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</p> <p>(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプにより復水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</p>		<p>(iii) 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-1高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転開始まで15分以内で可能である。</p> <p>c. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</p> <p>(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水については、1.4.2.2(1)a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからタービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水開始まで5分以内で可能である。</p> <p>(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水 発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、SG直接給水用高圧ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。 なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）により蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>操作手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</p>		<p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水されていることを補助給水流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水開始まで60分以内で可能である。</p> <p>(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水開始まで230分以内で可能である。</p> <p>(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブロウダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する又は原水槽が使用できないと判断し、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水開始まで180分以内で可能である。</p> <p>(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から蒸気発生器へ注水する。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <p>(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水を補助給水流量等により確保されたことを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 操作手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて</p>		<p>なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水の取水ができないと判断し、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水開始まで205分以内で可能である。</p> <p>d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出） (a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出 発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水を補助給水流量等により確保されたことを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出については、「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>整備する。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</p> <p>運転停止中において、主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う手順を整備する。</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、蒸気発生器ブローダウンタンクに排出させ、適時放射線物質濃度等を確認し排出する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>操作手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</p>		<p>蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから主蒸気逃がし弁による蒸気発生器からの蒸気放出開始まで20分以内で可能である。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</p> <p>発電用原子炉停止中において、主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、温水ピットに排出させ、適時水質を確認し排出する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</p> <p>(c) 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード開始まで445分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表 p1.4-192 より再掲】 空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。</p>	<p>a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱</p> <p>全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の故障により、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱ができない場合は、常設代替交流電源設備により残留熱除去系の電源を復旧し、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）又は原子炉補機代替冷却水系により冷却水を確保することで、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）にて発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>なお、常設代替交流電源設備に関する手順等は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>また、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）及び原子炉補機代替冷却水系に関する手順については「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 常設代替交流電源設備により非常用高圧母線 2C 系及び 2D 系の受電が完了し、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）が使用可能な状態※に復旧された場合。</p> <p>※：設備に異常がなく、電源及び補機冷却水が確保されており、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル 3）以上で維持され、かつ原子炉圧力指示値が規定値以下の状態。</p> <p>ii. 操作手順 残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）電源復旧後の発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第 1.4-37 図に、タイムチャートを第 1.4-38 図に示す。 ①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。 ②運転員（中央制御室）A は、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）の起動に必要なポンプ、電動弁及び監視計器の電源並びに補機冷却水が確保されていること、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル 3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを状態表示にて確認する。</p>	<p>f. 復旧 (a) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水</p> <p>全交流動力電源喪失により、B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水ができない場合は、常設代替交流電源設備により B-充てんポンプの電源を復旧することで、B-充てんポンプにて原子炉容器へ注水する。</p> <p>なお、常設代替交流電源設備に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、原子炉容器へ注水するために必要な燃料取替用水ピットの水位が確保され、B-充てんポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順 B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水については、「1.4.2.1(2) a. (b) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映） 【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】記載表現の相違 ・泊は、条文間及び条文内での整合を図るため、使用可能な状態を具体的に記載している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>③運転員（中央制御室）Aは、系統構成として、RHR ポンプ（A）S/C 吸込弁、RHR ポンプ（A） ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ（A） 吐出弁の全開操作並びにRHRA 系停止時冷却吸込第一隔離弁、RHRA 系停止時冷却吸込第二隔離弁、RHR ポンプ（A） 停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、RHR ポンプ（A） ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード） 運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード） による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員（中央制御室）Aは、残留熱除去系ポンプ（A）の起動操作を実施し、残留熱除去系ポンプ（A）の出口圧力が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後、RHR A 系停止時冷却注入隔離弁を開操作し、発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員（中央制御室）Aは、RHR 熱交換器（A） 出口弁を調整開し、発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱開始まで30分以内で可能である。</p>	<p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからB-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水開始まで40分以内で可能である。</p> <p>(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転 全交流動力電源喪失により、A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転による原子炉容器への注水ができない場合は、常設代替交流電源設備によりA-高圧注入ポンプの電源を復旧することで、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転にて原子炉容器へ注水する。</p> <p>なお、常設代替交流電源設備に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>i. 手順着手の判断基準 常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、可搬型大型送水ポンプ車による代替補機冷却により冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されており、A-高圧注入ポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転については、1.4.2.1(2) b. (a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転開始まで15分以内で可能である。</p> <p>(c) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 全交流動力電源喪失により、電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水ができない場合は、常設代替交流電源設備により電動補助給水ポンプの電源を復旧することで、電動補助給水ポンプにて補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。 なお、常設代替交流電源設備に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピットの水位が確保され、電動補助給水ポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水については、1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水開始まで5分以内で可能であ</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>f. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に関する手順については「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>g. 優先順位</p> <p>運転停止中にサポート系の機能喪失により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合は、空冷式非常用発電装置からの受電準備を行うとともに、格納容器からの作業員の退避指示を行い、格納容器の隔離を行う。格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側による炉心冷却を優先する。</p>	<p>b. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4-42図に示す。</p> <p>常設代替交流電源設備により交流電源が確保できた場合、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の運転が可能であれば残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）により発電用原子炉からの除熱を実施する。原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の運転ができない場合、原子炉補機代替冷却水系を設置し、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）により発電用原子炉からの除熱を実施するが、原子炉補機代替冷却水系の設置に時間を要することから、低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）等による原子炉圧力容器への注水を並行して実施する。</p>	<p>る。</p> <p>g. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4.44図に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中にサポート系の故障により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合は、常設代替交流電源設備からの受電準備を行うとともに、原子炉格納容器からの作業員の退避指示を行い、原子炉格納容器の隔離を行う。原子炉格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を優先する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映） ・泊は1.4.2.5にて同等の内容を整理。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映） 【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>蒸気発生器2次側による炉心冷却手段として、蒸気発生器への注水については、タービン動補助給水ポンプを使用する。空冷式非常用発電装置からの受電後は必要により電動補助給水ポンプを使用する。これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水を行う。</p> <p>蒸気発生器への注水が確保されれば、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作し、蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う。</p> <p>主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却ができない場合は、原子炉への注水による原子炉の冷却を行う。まず、燃料取替用水ピットの重力注水による代替炉心注水を行う。燃料取替用水ピット（重力注水）は多様性拡張設備であるが、電源回復しない場合でも注水が可能であるため優先して使用する。</p>	<p>【比較のため、玄海3/4号炉技術的能力1.4まとめ資料1.4.2.3(2)g.より引用（下線部が泊と同様）】</p> <p>蒸気発生器による冷却ができない場合は、炉心への注水操作を実施する。まず、燃料取替用水タンク（ピット）による重力注入による代替炉心注水を行う。燃料取替用水タンク（ピット）による重力注入は多様性拡張設備であるが、電源回復しない場合でも注水が可能であるため優先して使用する。ただし、全交流動力電源喪失時においては現場での手動操作となり、流量調整等の制御が困難であることから、安全確保のため原子炉格納容器内作業員を退避させ、原子炉格納容器エアロックを閉止した後に実施する。</p>	<p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却手段として、蒸気発生器への注水については、タービン動補助給水ポンプを使用する。常設代替交流電源設備からの受電後は必要により電動補助給水ポンプを使用する。これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、SG直接給水用高圧ポンプを使用する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は使用準備に時間を要することから、タービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプが使用できない場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ蒸気発生器に注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>蒸気発生器への注水が確保されれば、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作し、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却ができない場合は、原子炉容器への注水による発電用原子炉の冷却を行う。まず、燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水を行う。燃料取替用水ピットによる重力注水は自主対策設備であるが、電源回復しない場合でも注水が可能であるため優先して使用する。ただし、全交流動力電源喪失時においては現場での手動操作となり、流量調整等の制御が困難であることから、安全確保のため原子炉格納容器内作業員を退避させ、格納容器エアロックを閉止した後に実施する。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④） ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能なため、水源の優先順位を整理している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・作業員の安全確保に関する記載は伊方及び玄海と同様。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>空冷式非常用発電装置から受電後は、蓄圧タンクによる代替炉心注水に加え、継続的に炉心に注水するために恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、高揚程であるB充てんポンプ（自己冷却）を使用する。B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水ができない場合は、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水を行う。</p> <p>A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水ができない場合は、消火ポンプによる代替炉心注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。消火ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、海水を水源とした可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。可搬式代替低圧注水ポンプは重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉への注水手段を失った場合に準備を開始し、多様な拡張設備を含む他の注水手段がなければ原子炉への注水を行う。</p> <p>また、原子炉補機冷却機能喪失時は上記手段に加えて空調用冷水を使用したA余熱除去ポンプ及び電動消火ポンプによる原子炉への注水手段がある。A余熱除去ポンプ（空調用冷水）は恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水ができない場合に使用する。電動消火ポンプは原子炉補機冷却機能喪失時でも使用可能なためA格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水ができない場合に使用する。</p>	<p>【比較のため、玄海3/4号炉技術的能力1.4まとめ資料1.4.2.3(2)g.より引用（下線部が泊と同様）】</p> <p>大容量空冷式発電機から受電後は、常設電動注入ポンプ、B充てんポンプ（自己冷却）、B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSSタイライン使用）による代替炉心注入を行う。各操作の優先順位は、現場での系統構成が容易な常設電動注入ポンプによる代替炉心注入を優先する。常設電動注入ポンプによる代替炉心注入ができない場合は、B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注入を行い、それができない場合は、B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSSタイライン使用）による代替炉心注入を行う。</p>	<p>常設代替交流電源設備から受電後は、継続的に原子炉容器に注水するために代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水を行う。代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、高揚程であるB-充てんポンプを使用する。B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水ができない場合は、B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水を行う。</p> <p>B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水ができない場合は、消火ポンプによる原子炉容器への注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。消火ポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、淡水又は海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水を行う。可搬型大型送水ポンプ車は重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水手段を失った場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ原子炉容器への注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>また、原子炉補機冷却機能喪失時は上記手段に加えて電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水手段がある。電動機駆動消火ポンプは原子炉補機冷却機能喪失時でも使用可能なためB-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水ができない場合に使用する。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③） ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、大容量ポンプによる補機冷却水が確保できれば格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転により原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプからの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより格納容器内を冷却する。</p> <p>運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合は、代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、準備時間の短いA余熱除去ポンプ（空調用冷水）を用いた低圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプからの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより格納容器内を冷却する。</p> <p>A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転ができない場合は、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転により原子炉へ注水を行う。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第 1.4.43 図に示す。</p>		<p>代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、可搬型大型送水ポンプ車による補機冷却水が確保できれば格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転により原子炉容器へ注水を行い、あわせて可搬型大型送水ポンプ車からの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより原子炉格納容器内を冷却する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合又は1次冷却材が流出した場合に、燃料取替用水ピットの保有水を充てんポンプ等にて原子炉へ注水して開放中の加圧器安全弁から格納容器内へ蒸散させることにより原子炉を冷却する。この場合は、格納容器内の雰囲気悪化から格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>また、運転停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束が上昇した場合は、格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>なお、運転停止中のミッドループ運転期間外の作業員の退避については、原子炉容器に燃料を装荷した状態で、かつ1次冷却系に開口部がある期間は運転停止中のミッドループ運転中と同じ管理を行う。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.4.22)</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合又は格納容器サンプの水位等にて1次冷却材の流出を確認した場合。</p> <p>運転停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束の上昇により停止時SR中性子束高退避警報作動警報が発信した場合又は停止時SR中性子束高退避警報作動警報が発信するおそれがある場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>格納容器内の作業員を退避させる手順の概要は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に格納容器内の作業員に対し退避を促すよう指示する。 ② 運転員等は、中央制御室でエバケーションアラーム又はベージング装置により格納容器内の作業員へ退避を指示する。 ③ 出入監視員は、現場で格納容器内入退城を管理する装置により、全作業員が退避していることを確認する。 ④ 各作業の作業責任者（又は代理人）は、現場で作業員の点呼を行い、全作業員が退避していることを確認す 		<p>(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合又は1次冷却材が流出した場合に、燃料取替用水ピットの保有水を充てんポンプ等にて原子炉容器へ注水して開放中の加圧器安全弁から原子炉格納容器内へ蒸散させることにより発電用原子炉を冷却する。この場合は、原子炉格納容器内の雰囲気悪化から原子炉格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>また、発電用原子炉停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束が上昇した場合は、原子炉格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>なお、発電用原子炉停止中のミッドループ運転期間外の作業員の退避については、原子炉容器に燃料を装荷した状態で、かつ1次冷却系に開口部がある期間は発電用原子炉停止中のミッドループ運転中と同じ管理を行う。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.4.24)</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合又は格納容器サンプの水位等にて1次冷却材の流出を確認した場合。</p> <p>発電用原子炉停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束の上昇によりSR炉停止時中性子束高警報が発信した場合、又はSR炉停止時中性子束高警報が発信するおそれがある場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順の概要は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に原子炉格納容器内の作業員に対し退避を促すよう指示する。 ② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で格納容器内退避警報又は所内通話設備により原子炉格納容器内の作業員へ退避を指示する。 ③ 格納容器出入管理員は、現場で原子炉格納容器入口付近のC/V入城退出管理簿を確認し、全作業員の退城を確認する。 	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉は社内規程類にて定めるC/V入城退出管理簿により入退城を管理。 ・大飯3/4号炉と入退城の管理が異なるが、作業員の退避を確認することに相違

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>る。</p> <p>⑤ 作業責任者（又は代理人）は、現場で出入監視員に点呼結果を連絡し、出入監視員は全作業員が退避していることを再確認する。</p> <p>⑥ 出入監視員は、現場で格納容器エアロックを閉止する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり出入監視員1名により作業を実施し、所要時間は約30分と想定する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。 (添付資料 1.4.22)</p>		<p>④ 格納容器出入管理員は、現場で格納容器エアロックを閉止する。</p> <p>⑤ 運転員（現場）Bは、現場で格納容器エアロックが閉止されたことを確認する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び格納容器出入管理員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから格納容器エアロックを閉止まで40分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。 (添付資料 1.4.24)</p>	<p>なし。</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>1.4.2.3 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 残留熱除去系（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水 残留熱除去系（低圧注水モード）が健全な場合は、自動起動（原子炉水位低（レベル1）又はドライウェル圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により残留熱除去系（低圧注水モード）を起動し、サプレッションチェンバを水源とした原子炉圧力容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 復水給水系、原子炉隔離時冷却系及び高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）以上に維持できない場合。</p> <p>b. 操作手順 残留熱除去系（A）（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（低圧注水モード）又は残留熱除去系（C）（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水手順も同様）。概要図を第1.4-39図に示す。</p>	<p>1.4.2.4 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水 高圧注入ポンプが健全な場合は、自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により高圧注入ポンプを起動し、燃料取替用水ピットを水源とした原子炉容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 高圧注入ポンプの自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）が発信した場合。</p> <p>b. 操作手順 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水については、1.4.2.3(1) a. (b)「高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水 余熱除去ポンプが健全な場合は、自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により余熱除去ポンプを起動し、燃料取替用水ピットを水源とした原子炉容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 余熱除去ポンプの自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）が発信した場合。</p> <p>b. 操作手順 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.41図に示す。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水準備開始を指示する。</p> <p>②運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号(原子炉水位低(レベル1)又はドライウエル圧力高)により残留熱除去系ポンプ(A)が起動し、残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上となったことを確認後、発電課長に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水準備完了を報告する。</p> <p>③発電課長は、原子炉圧力容器内の圧力が残留熱除去系ポンプ(A)の出口圧力以下であることを確認後、運転員に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水開始を指示する。</p> <p>④運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動操作又は自動起動信号(原子炉水位低(レベル1)及び注入隔離弁差圧低又はドライウエル圧力高及び注入隔離弁差圧低)によりRHR A系LPCI注入隔離弁が全開となったことを確認する。</p> <p>⑤運転員(中央制御室)Aは、原子炉圧力容器への注水が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び原子炉水位指示値の上昇により確認し、発電課長に報告するとともに原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低(レベル3)から原子炉水位高(レベル8)の間で維持する。</p> <p>※ 原子炉圧力容器内の水位が維持され原子炉圧力容器への注水が不要となる間、原子炉格納容器内にスプレイする場合は、RHR A系LPCI注入隔離弁を全開後、RHR A系格納容器スプレイ隔離弁、RHR A系格納容器スプレイ流量調整弁及びRHR A系S/Cスプレイ隔離弁を全開してスプレイを実施する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員(中央制御室)1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水 低圧炉心スプレイ系が健全な場合は、自動起動(原子炉水位低(レベル1)又はドライウエル圧力高)による作動又は中央制御室からの手動操作により低圧炉心スプレイ系を起動し、サブプレッションチェンバを水源とした原子炉圧力容器への注水を実施する。</p>	<p>① 発電課長(当直)は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水開始を指示する。</p> <p>② 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号により余熱除去ポンプが起動したことを確認し、発電課長(当直)に報告する。</p> <p>③ 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室で低圧注入流量等により原子炉容器への注水が実施できていることを確認するとともに1次冷却材温度等により発電用原子炉の冷却状態及び余熱除去ポンプの運転状態に異常がないことを継続して確認する。また、冷却状態が維持できない場合は、溢水させフィールドアンドブリード運転とする。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員(中央制御室)1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転 高圧注入ポンプが健全な場合は、高圧注入ポンプによる高圧再循環運転を行い、格納容器再循環サンプル水を原子炉容器へ注水する。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) ・重大事故等対処設備(設計基準拡張)による手順新規追加</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>a. 手順着手の判断基準 復水給水系、原子炉隔離時冷却系及び高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）以上に維持できない場合。</p> <p>b. 操作手順 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水手順の概要は以下のとおり。 概要図を第1.4-40図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号（原子炉水位低（レベル1）又はドライウエル圧力高）により低圧炉心スプレイ系ポンプが起動し、低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上となったことを確認後、発電課長に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水準備完了を報告する。</p> <p>③発電課長は、原子炉圧力容器内の圧力が低圧炉心スプレイ系ポンプの出口圧力以下であることを確認後、運転員に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水開始を指示する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、中央制御室からの手動操作又は自動起動信号（原子炉水位低（レベル1）及び注入隔離弁差圧低又はドライウエル圧力高及び注入隔離弁差圧低）によりLPCS注入隔離弁が全開となったことを確認する。</p> <p>⑤運転員（中央制御室）Aは、原子炉圧力容器への注水が開始されたことを低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量指示値の上昇及び原子炉水位指示値の上昇により確認し、発電課長に報告するとともに原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）から原子炉水位高（レベル8）の間で維持する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>a. 手順着手の判断基準 高圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>b. 操作手順 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転については、1.4.2.1(1)c.(a)「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) 残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱</p> <p>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）が健全な場合は、中央制御室からの手動操作により残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）を起動し、発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持され、かつ原子炉圧力指示値が規定値以下の場合。</p>	<p>(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転</p> <p>余熱除去ポンプが健全な場合は、余熱除去ポンプによる低圧再循環運転を行い、格納容器再循環サンプル水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>低圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプルの水位が確保されている場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>余熱除去ポンプによる低圧再循環運転手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.42図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる低圧再循環運転開始を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で系統構成を行い、余熱除去ポンプによる低圧再循環運転を開始する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプにより原子炉容器へ注水されていることを低圧注入流量等で確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>④ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等により、発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱</p> <p>余熱除去ポンプが健全な場合は、中央制御室からの手動操作により余熱除去ポンプを起動し、発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>1次冷却材温度 177℃未満及び1次冷却材圧力 2.7MPa[gage]以下の場合。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>b. 操作手順</p> <p>残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第1.4-41図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）Aは、系統構成として、RHRポンプ（A）S/C吸込弁、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ（A）吐出弁の全開操作並びにRHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁、RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁及びRHRポンプ（A）停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員（中央制御室）Aは、残留熱除去系ポンプ（A）の起動操作を実施し、残留熱除去系ポンプ（A）出口圧力指示値が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後、RHR A系停止時冷却注入隔離弁を開操作し、発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員（中央制御室）Aは、RHR熱交換器（A）出口弁を調整開し、発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>b. 操作手順</p> <p>余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.43図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度177℃未満及び1次冷却材圧力2.7MPa[gage]以下であることを確認する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で系統構成を実施し、余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>④ 発電課長（当直）は、運転員に余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑤ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプの起動操作を実施し、1次冷却材温度等により発電用原子炉からの除熱が開始されたことを確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑥ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等により発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.2.4 復旧に係る手順等</p> <p>全交流動力電源が喪失した場合は、代替電源を設計基準対処設備に給電し、起動及び十分な期間の運転を継続させる。また、燃料取替用水ピットの枯渇、破損のおそれがある場合は、代替水源により水を供給する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。また、燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順等は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c.「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の復旧に係る手順は、1.4.1.1、1.4.1.2及び1.4.1.3の復旧にて整理している。 ・代替電源に関する手順、常設代替交流電源設備への燃料補給手順及び燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順については、1.4.2.5で網羅している。 <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は1.4.2.5「その他の手順項目について考慮する手順」で整理している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-99より再掲】</p> <p>e. その他の手順項目にて考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」及び1.13.2.2(5)「1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られた場合の格納容器下部への注水については「1.8 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>格納容器内の冷却については「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)a.(a)「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」又は1.6.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p>	<p>1.4.2.4 その他の手順項目について考慮する手順 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）及び原子炉補機代替冷却水系による補機冷却水確保手順は、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。</p> <p>復水貯蔵タンク、淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）への水の補給手順並びに水源から接続口までの大容量送水ポンプ（タイプI）による送水手順については、「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」にて整備する。</p> <p>復水移送ポンプ、直流駆動低圧注水系ポンプ、ろ過水ポンプ、残留熱除去系ポンプ、低圧炉心スプレイ系ポンプ、代替循環冷却ポンプ、原子炉冷却材浄化系ポンプ、電動弁及び監視計器への電源供給手順並びにガスタービン発電機、電源車及び大容量送水ポンプ（タイプI）への燃料補給手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>	<p>1.4.2.5 その他の手順項目について考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順は、「1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2「水源へ水を補給するための対応手順」及び1.13.2.3「水源を切り替えるための対応手順」にて整備する。</p> <p>補助給水ピットの枯渇又は破損時の対応手順等は、「1.13 重大事故時に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2「水源へ水を補給するための対応手順」及び1.13.2.3「水源を切り替えるための対応手順」にて整備する。</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られた場合の原子炉格納容器下部への注水については、「1.8 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.「原子炉格納容器下部への注水」にて整備する。</p> <p>原子炉格納容器内の冷却については、「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)a.(a)「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」及び1.6.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川審査の反映） 【大飯】記載方針の相違 ・大飯は個別手順のリンク先を記載しているが、泊は燃料取替用水ピットへの供給手順等の手順全般をリンクさせる記載としている。</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川審査の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違 ・参照先の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>【比較のため、比較表 p1.4-193 より再掲】</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1) c. 「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。</p>		<p>常設代替交流電源設備の代替電源に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「代替交流電源設備による給電」にて整備する。また、代替非常用発電機及び可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給の手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4「燃料の補給の手順」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1) c. 「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系故障時の対応手順」で対応する。また、発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系故障時の手順等」で対応する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は設備によって重油又は軽油を使用することから、補給する燃料を明確にしている。 ・泊は重大事故等時に使用する設備の燃料はすべて軽油のため識別不要であるが、燃料補給の手順を整備する技術的能力1.14にて燃料が軽油であることを記載している。 <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-113より再掲】</p> <p>d. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られる場合の格納容器下部への注水については「1.8 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>格納容器内の冷却については「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(2)b.(a)「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」又は1.6.2.1(2)a.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への給油に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯の 1.4.2.1(2)d. で整理している手順項目は泊の 1.4.2.5 で網羅している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表 p1.4-140 より再掲】</p> <p>(3) その他の手順項目にて考慮する手順 空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>復水ピットが枯渇又は破損時の補給手順等は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.1「蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>【比較のため、比較表 p1.4-160 より再掲】</p> <p>h. その他の手順項目にて考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」にて整備する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映) ・大飯の 1.4.2.2(3)で整理している手順項目は泊の 1.4.2.5 で網羅している。</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映) ・大飯の 1.4.2.3(1)h. で整理している手順項目は泊の 1.4.2.5 で網羅している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-182より再掲】</p> <p>f. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に関する手順については「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>・大飯の 1.4.2.3(2)f. で整理している手順項目は泊の 1.4.2.5 で網羅している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4-1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 対応手段、対処設備、手順書一覧（1/9）
 （重大事故等対処設備（設計基準拡張））

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書
重大事故等対処設備（設計基準拡張）	残留熱除去系（圧入モード）による発電用原子炉の冷却	残留熱除去系（圧入モード）による発電用原子炉の冷却	残留熱除去系ポンプ サブプレッションチェンバ 残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※5 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却高水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書（微断ベース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」
			低圧中心スプレイポンプ サブプレッションチェンバ スパーンジャ 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却高水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書（微断ベース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「低圧中心スプレイポンプによる原子炉注水」
			残留熱除去系ポンプ 原子炉圧力容器 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁 原子炉再循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却高水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書（微断ベース） 「減圧冷却」等 非常時操作手順書（設備別） 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等、【解説】(b) 項を満足するための代替淡水（増量）
 ※5：残留熱除去系（圧入注水モード）は熱交換機能に備わっており、熱交換器は流路としてのみ用いる。

第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 対応手段、対処設備、手順書一覧（1/22）
 （重大事故等対処設備（設計基準拡張））

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類※1	整備する手順書	手順書の分類
重大事故等対処設備（設計基準拡張）	残留熱除去系（圧入モード）による発電用原子炉の冷却	残留熱除去系（圧入モード）による発電用原子炉の冷却	高圧注水ポンプ ほう難注水タンク 熱交換器再循環サブプレッションチェンバ 安全注水ポンプ再循環サブプレッションチェンバ 残留熱除去系ポンプ 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却高水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	重大事故等対処設備	事故の対応を行う運転手順書等	設備及び設計基準事故に相当する運転手順書
			低圧中心スプレイポンプ サブプレッションチェンバ スパーンジャ 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却高水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	重大事故等対処設備	事故の対応を行う運転手順書等	設備及び設計基準事故に相当する運転手順書
			残留熱除去系ポンプ 原子炉圧力容器 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁 原子炉再循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却高水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	重大事故等対処設備	事故の対応を行う運転手順書等	設備及び設計基準事故に相当する運転手順書
			高圧注水ポンプ ほう難注水タンク 熱交換器再循環サブプレッションチェンバ 安全注水ポンプ再循環サブプレッションチェンバ 残留熱除去系ポンプ 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却高水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	重大事故等対処設備	1次冷却材喪失事故発生時における対応手順書	設備及び設計基準事故に相当する運転手順書
			低圧中心スプレイポンプ サブプレッションチェンバ スパーンジャ 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却高水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	重大事故等対処設備	1次冷却材喪失事故発生時における対応手順書	設備及び設計基準事故に相当する運転手順書
			残留熱除去系ポンプ 原子炉圧力容器 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁 原子炉再循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却高水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	重大事故等対処設備	1次冷却材喪失事故発生時における対応手順書	設備及び設計基準事故に相当する運転手順書

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：重大事故等処理において用いる設備の分類
 ※3：当該表文に適合する重大事故等対処設備 ※4：対象に適合する重大事故等対処設備 ※5：目的物質として整備する重大事故等対処設備

泊3号炉との比較対象なし

【大飯】
 記載方針の相違
 （女川審査実績の反映）
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
<p>第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備を整備する手順 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生している場合におけるフロントライン系機能喪失時)</p>						
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	手順書の分類	
	対応手段	対処設備	手順書	手順書の分類		
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	手順書の分類	
	対応手段	対処設備	手順書	手順書の分類		
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	手順書の分類	
	対応手段	対処設備	手順書	手順書の分類		

対応手段、対処設備、手順書一覧 (2/22)

(1次冷却材喪失事故が発生している場合のフロントライン系故障時)

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

対応手段、対処設備、手順書一覧 (2/9)
 (発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書
フロントライン系故障	残留熱除去系 (低圧注水モード)	低圧代注注水ポンプによる発電用原子炉の冷却	直流水移送注水系ポンプ 復水貯蔵タンク ※1 精給水系 配管・弁 直流水移送注水系 配管・弁 高圧中心スプレイ系 配管・弁 燃料プール補給水系 ※ 原子炉圧力容器 常設代替交流電源設備 ※2 可能型代替交流電源設備 ※2 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (微減ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」
	低圧代注注水ポンプ	直流水移送注水系ポンプ 復水貯蔵タンク ※1 精給水系 配管 直流水移送注水系 配管・弁 高圧中心スプレイ系 配管・弁・スパージャ 燃料プール補給水系 ※ 原子炉圧力容器 常設代替交流電源設備 ※2 市内発電用直流水移送電源設備 ※2 常設代替交流電源設備 ※2 可能型代替交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (微減ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「直流水移送注水系ポンプによる原子炉注水」	

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.6 最終ヒートシンクへ熱を転送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【特記】(b)項を満足するための代換注水 (閉鎖)
 ※5：残留熱除去系 (低圧注水モード) は熱交換機に期待しておらず、熱交換器は管路としてのみ用いる。

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：重大事故等対策において用いる5段階の分類
 ※4：可読本文に適合する重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

※1：大阪発電所 重大事故等発生時に必要な原子炉冷却の確保のための設備に関する事項
 ※2：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：可換型代替注水ポンプにより中心注水する場合に冷水を注水する。
 ※5：空冷式非常用発電機設置の燃料供給に関する事項。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※6：常設代替注水ポンプの燃料供給に関する事項。手順は「1.6 最終ヒートシンクへ熱を転送するための手順等」にて整備する。
 ※7：送電機の燃料供給に使用する発電用原子炉の冷却。手順は「1.6 最終ヒートシンクへ熱を転送するための手順等」にて整備する。
 ※8：ディーゼル発電機等により給電する。
 ※9：A、D格納容器内循環ユニットで格納容器冷却を行う。手順は「1.7 原子炉格納容器の過圧保護を防止するための手順等」にて整備する。
 ※10：重大事故等対策において用いる5段階の分類
 ※11：可読本文に適合する重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.1表を再掲】

第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順（運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるフロントライン系機能喪失時）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類		
1 冷却材喪失事象が発生している場合	フロントライン系機能喪失時	代管の中心注水（中）	A: 圧入ポンプ ¹⁾	非常用設備	圧入ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の新しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
			燃料取扱用水ピット	非常用設備	燃料取扱用水ピット	燃料取扱用水ピット	燃料取扱用水ピット	燃料取扱用水ピット
			はう給タンク ²⁾	非常用設備	はう給タンク	はう給タンク	はう給タンク	はう給タンク
			1次系統給水ポンプ ³⁾	非常用設備	1次系統給水ポンプ	1次系統給水ポンプ	1次系統給水ポンプ	1次系統給水ポンプ
			2次系統給水タンク ⁴⁾	非常用設備	2次系統給水タンク	2次系統給水タンク	2次系統給水タンク	2次系統給水タンク
			A格納容器スプレイポンプ ⁵⁾	非常用設備	A格納容器スプレイポンプ	A格納容器スプレイポンプ	A格納容器スプレイポンプ	A格納容器スプレイポンプ
			空冷式非常用発電設備 ⁶⁾	非常用設備	空冷式非常用発電設備	空冷式非常用発電設備	空冷式非常用発電設備	空冷式非常用発電設備
			燃料取扱用水ピット	非常用設備	燃料取扱用水ピット	燃料取扱用水ピット	燃料取扱用水ピット	燃料取扱用水ピット
			電油タンク ⁷⁾	非常用設備	電油タンク	電油タンク	電油タンク	電油タンク
			重油タンク ⁸⁾	非常用設備	重油タンク	重油タンク	重油タンク	重油タンク
1 冷却材喪失事象が発生している場合	フロントライン系機能喪失時	代管の中心注水（中）	A格納容器スプレイポンプ ⁵⁾	非常用設備	A格納容器スプレイポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の新しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
			空冷式非常用発電設備 ⁶⁾	非常用設備	空冷式非常用発電設備	空冷式非常用発電設備	空冷式非常用発電設備	
			燃料取扱用水ピット	非常用設備	燃料取扱用水ピット	燃料取扱用水ピット	燃料取扱用水ピット	
			電油タンク ⁷⁾	非常用設備	電油タンク	電油タンク	電油タンク	
			重油タンク ⁸⁾	非常用設備	重油タンク	重油タンク	重油タンク	
			タンクローリー ⁹⁾	非常用設備	タンクローリー	タンクローリー	タンクローリー	
			電油タンク ⁷⁾	非常用設備	電油タンク	電油タンク	電油タンク	
			重油タンク ⁸⁾	非常用設備	重油タンク	重油タンク	重油タンク	
			タンクローリー ⁹⁾	非常用設備	タンクローリー	タンクローリー	タンクローリー	
			電油タンク ⁷⁾	非常用設備	電油タンク	電油タンク	電油タンク	
1 冷却材喪失事象が発生している場合	フロントライン系機能喪失時	代管の中心注水（中）	A格納容器スプレイポンプ ⁵⁾	非常用設備	A格納容器スプレイポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の新しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
			空冷式非常用発電設備 ⁶⁾	非常用設備	空冷式非常用発電設備	空冷式非常用発電設備		
			燃料取扱用水ピット	非常用設備	燃料取扱用水ピット	燃料取扱用水ピット		
			電油タンク ⁷⁾	非常用設備	電油タンク	電油タンク		
			重油タンク ⁸⁾	非常用設備	重油タンク	重油タンク		
			タンクローリー ⁹⁾	非常用設備	タンクローリー	タンクローリー		
			電油タンク ⁷⁾	非常用設備	電油タンク	電油タンク		
			重油タンク ⁸⁾	非常用設備	重油タンク	重油タンク		
			タンクローリー ⁹⁾	非常用設備	タンクローリー	タンクローリー		
			電油タンク ⁷⁾	非常用設備	電油タンク	電油タンク		
1 冷却材喪失事象が発生している場合	フロントライン系機能喪失時	代管の中心注水（中）	A格納容器スプレイポンプ ⁵⁾	非常用設備	A格納容器スプレイポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の新しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
			空冷式非常用発電設備 ⁶⁾	非常用設備	空冷式非常用発電設備	空冷式非常用発電設備		
			燃料取扱用水ピット	非常用設備	燃料取扱用水ピット	燃料取扱用水ピット		
			電油タンク ⁷⁾	非常用設備	電油タンク	電油タンク		
			重油タンク ⁸⁾	非常用設備	重油タンク	重油タンク		
			タンクローリー ⁹⁾	非常用設備	タンクローリー	タンクローリー		
			電油タンク ⁷⁾	非常用設備	電油タンク	電油タンク		
			重油タンク ⁸⁾	非常用設備	重油タンク	重油タンク		
			タンクローリー ⁹⁾	非常用設備	タンクローリー	タンクローリー		
			電油タンク ⁷⁾	非常用設備	電油タンク	電油タンク		

対応手段、対処設備、手順書一覧（3/9）

（発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書
フロントライン系故障	残留熱除去系（低圧注水モード）	低圧代替注水	大容量送水ポンプ（タイプ1）※1 ホース・注水用ヘッド・接続口 ※1 橋給水系 配管・弁 残留熱除去系 配管・弁 原子炉圧力容器 常設代替交流電源設備 ※2 可燃型代替交流電源設備 ※2 燃料補給設備 ※2	非常時操作手順書（徴候ベース） 「水位確保」等 重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量風送水ポンプによる送水」 ※1
	低圧炉心スプレイ系	低圧代替注水を系へ可搬型による発電用原子炉の冷却	大容量送水ポンプ（タイプ1） ※1 ホース・注水用ヘッド・接続口 ※1 橋給水系 配管・弁 残留熱除去系 配管・弁 原子炉圧力容器 常設代替交流電源設備 ※2 可燃型代替交流電源設備 ※2 燃料補給設備 ※2	非常時操作手順書（徴候ベース） 「水位確保」等 重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量風送水ポンプによる送水」 ※1
	代管の中心注水（中）	代管の中心注水（中）	大容量送水ポンプ（タイプ1） ※1 ホース・注水用ヘッド・接続口 ※1 橋給水系 配管・弁 残留熱除去系 配管・弁 原子炉圧力容器 常設代替交流電源設備 ※2 可燃型代替交流電源設備 ※2 燃料補給設備 ※2	非常時操作手順書（徴候ベース） 「水位確保」等 重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量風送水ポンプによる送水」 ※1

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」【脚注】1) 項を満足するための代替送水（推奨）
 ※5：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に限りしておらず、熱交換器は管路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧（3/22）

（1次冷却材喪失事象が発生している場合のフロントライン系故障時）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類
1 冷却材喪失事象が発生している場合	フロントライン系機能喪失時	代管の中心注水（中）	高圧注入ポンプ ¹⁾	非常用設備	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
			燃料取扱用水ピット ²⁾	非常用設備	燃料取扱用水ピット	燃料取扱用水ピット
			はう給タンク ³⁾	非常用設備	はう給タンク	はう給タンク
			1次系統給水ポンプ ⁴⁾	非常用設備	1次系統給水ポンプ	1次系統給水ポンプ
			2次系統給水タンク ⁵⁾	非常用設備	2次系統給水タンク	2次系統給水タンク
			A格納容器スプレイポンプ ⁶⁾	非常用設備	A格納容器スプレイポンプ	A格納容器スプレイポンプ
			空冷式非常用発電設備 ⁷⁾	非常用設備	空冷式非常用発電設備	空冷式非常用発電設備
			燃料取扱用水ピット	非常用設備	燃料取扱用水ピット	燃料取扱用水ピット
			電油タンク ⁸⁾	非常用設備	電油タンク	電油タンク
			重油タンク ⁹⁾	非常用設備	重油タンク	重油タンク
1 冷却材喪失事象が発生している場合	フロントライン系機能喪失時	代管の中心注水（中）	高圧注入ポンプ ¹⁾	非常用設備	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
			燃料取扱用水ピット ²⁾	非常用設備	燃料取扱用水ピット	燃料取扱用水ピット
			はう給タンク ³⁾	非常用設備	はう給タンク	はう給タンク
			1次系統給水ポンプ ⁴⁾	非常用設備	1次系統給水ポンプ	1次系統給水ポンプ
			2次系統給水タンク ⁵⁾	非常用設備	2次系統給水タンク	2次系統給水タンク
			A格納容器スプレイポンプ ⁶⁾	非常用設備	A格納容器スプレイポンプ	A格納容器スプレイポンプ
			空冷式非常用発電設備 ⁷⁾	非常用設備	空冷式非常用発電設備	空冷式非常用発電設備
			燃料取扱用水ピット	非常用設備	燃料取扱用水ピット	燃料取扱用水ピット
			電油タンク ⁸⁾	非常用設備	電油タンク	電油タンク
			重油タンク ⁹⁾	非常用設備	重油タンク	重油タンク

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：可搬型大容量送水ポンプにより水を供給する手順等にて整備する。
 ※3：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：原水側の補給は、2次系統給水タンク又は高圧送水ポンプから移送することにより行う。
 ※5：1)・2)・3)・4)・5)・6)・7)・8)・9)は格納容器内自然対流設備は「1.7 原子炉格納容器の過圧保護を防止するための手順等」にて整備する。
 ※6：重大事故等対応に用いている設備の分類
 ※7：高圧注入ポンプは重大事故等対応設備 ※8：2)・3)・4)・5)・6)・7)・8)・9)は重大事故等対応設備 ※9：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・泊は管路及び給電に使用する設備に記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.1表を再掲】

第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生している場合におけるフロントライン系機能喪失時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
1次冷却材喪失事故が発生している場合	心注水(⑤)	心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ	A. 心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ	心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ	心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ
			心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ	心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ	心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ
1次冷却材喪失事故が発生している場合	心注水(⑤)	心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ	A. 心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ	心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ	心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ
			心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ	心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ	心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ

※1：1次冷却材喪失時における原子炉冷却材の確保のための活動に関する手順。
 ※2：手順書「1.13 重大事故等の発生に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※3：手順書「1.14 電炉の運転に関する手順等」にて整備する。
 ※4：可搬式代替燃料注入ポンプにより心注水する場合は給水を注入する。
 ※5：空冷式非常用発電機等の燃料補給に使用する。手順書「1.14 電炉の運転に関する手順等」にて整備する。
 ※6：燃料再循環ポンプ（可搬式代替燃料注入ポンプ）の燃料補給に使用する。手順書「1.6 原子炉冷却材の確保のための手順等」にて整備する。
 ※7：送水車の燃料補給に使用する設備のものである。手順書「1.6 原子炉冷却材の確保のための手順等」にて整備する。
 ※8：「A」自動運転の開始により起動する。
 ※9：「A」自動運転の開始により起動する。手順書「1.7 原子炉冷却材の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※10：重大事故発生時において用いる設備の分類。
 a：当該事故に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (4/22)

(1次冷却材喪失事故が発生している場合のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
1次冷却材喪失事故が発生している場合	心注水(⑤)	心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ	A. 心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ	心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ	心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ
			心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ	心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ	心注水ポンプ 燃料再循環ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料再循環ポンプ

【大飯】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

第 1.4.2 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備を整備する手順
(運転中の 1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系機能喪失時) (1 / 2)

Table with columns for 分類 (Classification), 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備 (Design basis accident response equipment assuming function loss), 対応手段 (Response measures), 対応設備 (Response equipment), 整備する手順書 (Procedures to be prepared), 手順書の分類 (Classification of procedures). Includes sub-sections for 全交流動力電源喪失時 and 代替再循環運転時.

*1: 「大阪発電所」基本基準等基準に示る原子炉設備保全のための活動に関する所産。
*2: 手順書「1.14 電炉の確保に関する手順等」にて整備する。
*3: 空冷式非常用発電設備の燃料供給に使用する。手順書「1.14 電炉の確保に関する手順等」にて整備する。
*4: 可動式代替炉内注水ポンプにより炉内注水設備の機能を確保する。
*5: 発電機（可能であれば代替炉内注水ポンプ）の燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却するための手順等」にて整備する。
*6: 送水車の燃料供給に使用するのものである。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却するための手順等」にて整備する。
*7: 大容量ポンプ燃料供給に使用する。手順書「1.6 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
*8: 手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
*9: 重大事故等対策において用いている設備の分類
a: 当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b: 37条に適合する重大事故等対応設備 c: 自主的対策として整備する重大事故等対応設備

第 1.4.2 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備を整備する手順
(運転中の 1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系機能喪失時) (2 / 2)

Table with columns for 分類 (Classification), 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備 (Design basis accident response equipment assuming function loss), 対応手段 (Response measures), 対応設備 (Response equipment), 整備する手順書 (Procedures to be prepared), 手順書の分類 (Classification of procedures). Includes sub-sections for 原子炉補機冷却水系 and 代替再循環運転時.

*1: A、B格納容器再循環ユニットで格納容器冷却を行う。手順書「1.7 原子炉格納容器の過熱を抑制するための手順等」にて整備する。
*2: 手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
*3: 重大事故等対策において用いている設備の分類
a: 当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b: 37条に適合する重大事故等対応設備 c: 自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所 2号炉

対応手段、対応設備、手順書一覧 (4/9)
(発電用原子炉運転中のサポート系故障時)

Table with columns for 分類 (Classification), 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備 (Design basis accident response equipment assuming function loss), 対応手段 (Response measures), 対応設備 (Response equipment), 整備する手順書 (Procedures to be prepared), 手順書の分類 (Classification of procedures). Includes sub-sections for 全交流動力電源喪失時 and サポート系故障時.

*1: 手順書「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
*2: 手順書「1.14 電炉の確保に関する手順等」にて整備する。
*3: 手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
*4: 「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解説】1b) を満足するための代替送水車（措置）
*5: 残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機に期待しておらず、熱交換機は流路としてのみ利用。

泊発電所 3号炉

対応手段、対応設備、手順書一覧 (5/22)

(1次冷却材喪失事象が発生している場合のサポート系故障時)

Table with columns for 分類 (Classification), 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備 (Design basis accident response equipment assuming function loss), 対応手段 (Response measures), 対応設備 (Response equipment), 整備する手順書 (Procedures to be prepared), 手順書の分類 (Classification of procedures). Includes sub-sections for 全交流動力電源喪失時 and サポート系故障時.

*1: 手順書「1.14 電炉の確保に関する手順等」にて整備する。
*2: 重大事故等対策において用いている設備の分類
a: 当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b: 37条に適合する重大事故等対応設備 c: 自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
記載方針の相違
(女川審査実績の反映)
・泊は流路及び給電に使用する設備に記載
・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

大阪 3 / 4号炉との比較対象なし

【大阪】
設備の相違（相違理由⑥）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.2表(1/2)を再掲】

第1.4.2表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生している場合におけるサポート系機能喪失時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	整備する手順書	手順書の分類		
1次冷却材喪失事故が発生している場合	全交流動力電源*	サポ-ト系機能喪失時	代替炉心注水(①)	加圧式代替炉心注水ポンプ	加圧式代替炉心注水ポンプを用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の新しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
				空冷式非用電発電機*	a,b	重大事故等対応設備	a,b	S A所定*
				B充てんポンプ(自己冷却)	c			
				燃料取替用ウォーター	a,b	a	S A所定*	
				復水ビッド	a			
				燃料油貯蔵タンク*	a,b	a,b	S A所定*	
				重油タンク*	a,b			
				タンクローリー*	a,b	a,b	S A所定*	
				A格納容器スレイポンプ(自己冷却) (R1R2タービン駆動ファン使用)	a			
				燃料取替用ウォーター	a	a	S A所定*	
				ディーゼル消火ポンプ No. 2 汲水タンク	a			
				可搬式代替炉心注水ポンプ*	a	a	S A所定*	
				電單車(可搬式代替炉心注水ポンプ用)	a			
				送水車	a	a	S A所定*	
				燃料油貯蔵タンク*	a			
重油タンク*	a	a	S A所定*					
タンクローリー*	a							
軽油ドラム缶*	a	a	S A所定*					
B高圧注水ポンプ(海水冷却)	a							
代替炉心注水(②)	代替炉心注水ポンプ(海水冷却)を用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の新しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書						
代替炉心注水(③)	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の新しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書						
空冷式非用電発電機*	a,b	a,b	S A所定*					
燃料油貯蔵タンク*	a,b							
タンクローリー*	a,b	a,b	S A所定*					
タンクローリー*	a,b							

*1：大飯発電所 重大事故等発生時に用いる原子炉施設が稼働のための活動に関する所通。
 *2：手順書 1.14 電動の稼働に関する手順等)にて整備する。
 *3：空冷式非用電発電機の燃料供給に関する手順は 1.14 電動の稼働に関する手順等)にて整備する。
 *4：可搬式代替炉心注水ポンプにより炉心注水する場合は海水を注水する。
 *5：電單車(可搬式代替炉心注水ポンプ用)の燃料供給に使用する。手順は 1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等)にて整備する。
 *6：汲水車の燃料供給に使用する手順の1つである。手順は 1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等)にて整備する。
 *7：大飯発電所(燃料供給)に使用する。手順は 1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等)にて整備する。
 *8：手順書 1.6 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等)にて整備する。
 *9：重大事故等対応に用いる設備の名称。
 a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：①7 条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧(6/22)

(1次冷却材喪失事故が発生している場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	整備する手順書	手順書の分類		
1次冷却材喪失事故が発生している場合	全交流動力電源*	サポ-ト系機能喪失時	代替炉心注水(①)	可搬式代替炉心注水ポンプ	可搬式代替炉心注水ポンプを用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の新しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
				空冷式非用電発電機*	a,b	重大事故等対応設備	a,b	S A所定*
				B充てんポンプ(自己冷却)	c			
				燃料取替用ウォーター	a,b	a	S A所定*	
				復水ビッド	a			
				燃料油貯蔵タンク*	a,b	a,b	S A所定*	
				重油タンク*	a,b			
				タンクローリー*	a,b	a,b	S A所定*	
				A格納容器スレイポンプ(自己冷却) (R1R2タービン駆動ファン使用)	a			
				燃料取替用ウォーター	a	a	S A所定*	
				ディーゼル消火ポンプ No. 2 汲水タンク	a			
				可搬式代替炉心注水ポンプ*	a	a	S A所定*	
				電單車(可搬式代替炉心注水ポンプ用)	a			
				送水車	a	a	S A所定*	
				燃料油貯蔵タンク*	a			
重油タンク*	a	a	S A所定*					
タンクローリー*	a							
軽油ドラム缶*	a	a	S A所定*					
B高圧注水ポンプ(海水冷却)	a							
代替炉心注水(②)	代替炉心注水ポンプ(海水冷却)を用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の新しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書						
代替炉心注水(③)	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の新しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書						
空冷式非用電発電機*	a,b	a,b	S A所定*					
燃料油貯蔵タンク*	a,b							
タンクローリー*	a,b	a,b	S A所定*					
タンクローリー*	a,b							

*1：可搬式代替炉心注水ポンプにより炉心注水する場合は海水を注水する。
 *2：手順書 1.14 電動の稼働に関する手順等)にて整備する。
 *3：送水車の燃料供給に使用する手順の1つである。手順は 1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等)にて整備する。
 *4：手順書 1.6 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等)にて整備する。
 *5：C、D、E-格納容器内自然対流冷却による格納容器内自然対流冷却は 1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等)にて整備する。
 *6：装置による大型空調機の搬送その他のプロセスによる影響がある場合に使用する。
 *7：重大事故等対応に用いる設備の名称。
 a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：①7 条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大飯】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.2表(1/2)を再掲】

第1.4.2表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系機能喪失時)(1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類			
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直出力電源*	サポート系機能喪失時	加圧代替用圧注水ポンプ	加圧代替用圧注水ポンプを用いた代替心注水により原子炉を冷却する手順	a,b	中心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
			空冷式非常用発電装置*	重大事故等対処設備	B充てんポンプ(自己冷却)		c	
			燃料冷却用ヒート					a,b
			復水ヒート	a				
			燃料油貯蔵タンク*	a,b	タンクローリー*		空冷式非常用発電装置燃料補給の手順	S A所定*
			重油タンク*					
			代替用圧注水(①)	多様性確保設備	A格納容器スプレイポンプ(自己冷却)(R1R2サービスマスターアン使用)		A格納容器スプレイポンプ(自己冷却)を用いた代替心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却用ヒート		格納容器スプレイポンプ(自己冷却)を用いた代替心注水により原子炉を冷却する手順		S A所定*	
			ディーゼル消火ポンプ	a	No. 2放水タンク		消火ポンプを用いた代替心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			可搬式代替用圧注水ポンプ*				可搬式代替用圧注水ポンプを用いた代替心注水により原子炉を冷却する手順	S A所定*
			電機室(可搬式代替用圧注水ポンプ用)	重大事故等対処設備	送水車		可搬式代替用圧注水ポンプによる中心注水の手順	中心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料油貯蔵タンク*					
			重油タンク*	a	タンクローリー*		空冷式非常用発電装置燃料補給の手順	S A所定*
			タンクローリー*					
			軽油ドラム缶*	代替用圧注水(②)	B高圧圧入ポンプ(復水冷却)		B高圧圧入ポンプ(復水冷却)を用いた代替心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
大容量ポンプ*	重大事故等対処設備	格納容器内循環ポンプ	格納容器内循環ポンプによる原子炉を冷却する手順			a,b		
格納容器内循環ポンプ				a,b	格納容器内循環ポンプスターリン		格納容器内循環ポンプスターリンによる原子炉を冷却する手順	中心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
空冷式非常用発電装置*	a,b	燃料油貯蔵タンク*	空冷式非常用発電装置燃料補給の手順			S A所定*		
重油タンク*								
タンクローリー*	a,b	タンクローリー*	空冷式非常用発電装置燃料補給の手順	S A所定*				
タンクローリー*								

*1：大阪発電所 重大事故等発生時に実行する原子炉施設の状態のための活動に関する所通
 *2：手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *3：空冷式非常用発電装置の燃料補給に関する手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *4：可搬式代替用圧注水ポンプにより中心注水する場合は毎本を注水する。
 *5：電機室(可搬式代替用圧注水ポンプ用)の燃料補給に関する手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 *6：海水等の燃料油貯蔵タンクに格納する手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 *7：大容量ポンプ(燃料補給)に関する手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 *8：手順書「1.6 最終ヒートシフト熱を搬送するための手順等」にて整備する。
 *9：重大事故等対処設備に関する手順書の分類
 a：当該表に適合する重大事故等対処設備 b：②条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧(7/22)

(1次冷却材喪失事象が発生している場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類	
サポート系機能喪失時	全交直出力電源*	サポート系機能喪失時	空冷式非常用発電装置又は原子炉格納容器冷却ポンプ	空冷式非常用発電装置又は原子炉格納容器冷却ポンプ	空冷式非常用発電装置時における対応手順書等	中心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			再生熱交換器	再生熱交換器	重大事故等対処設備	中心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			非常用中心冷却設備(配管・弁)	非常用中心冷却設備(配管・弁)	c	
			原子炉格納容器冷却設備(原子炉格納容器冷却設備)	原子炉格納容器冷却設備(原子炉格納容器冷却設備)	c	
			1次冷却設備	1次冷却設備	c	
			原子炉格納容器冷却ポンプ	原子炉格納容器冷却ポンプ	c	
			格納容器内循環ポンプ	格納容器内循環ポンプ	c	
			格納容器内循環ポンプスターリン	格納容器内循環ポンプスターリン	c	
			燃料油貯蔵タンク	燃料油貯蔵タンク	c	
			重油タンク	重油タンク	c	
			タンクローリー	タンクローリー	c	
			軽油ドラム缶	軽油ドラム缶	c	
			B高圧圧入ポンプ	B高圧圧入ポンプ	c	
			大容量ポンプ	大容量ポンプ	c	
			格納容器内循環ポンプ	格納容器内循環ポンプ	c	
格納容器内循環ポンプスターリン	格納容器内循環ポンプスターリン	c				
空冷式非常用発電装置	空冷式非常用発電装置	c				
燃料油貯蔵タンク	燃料油貯蔵タンク	c				
重油タンク	重油タンク	c				
タンクローリー	タンクローリー	c				

*1：手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *2：手順書「1.5 最終ヒートシフト熱を搬送するための手順等」にて整備する。
 *3：c：1次冷却設備内循環ポンプによる格納容器内自然対流冷却は「1.7 原子炉格納容器の過熱を防止するための手順等」にて整備する。
 *4：②条による大規模発電機の運転制御のプログラムの影響がある場合に使用する。
 *5：重大事故等発生時に実行している設備の分類
 a：当該表に適合する重大事故等対処設備 b：②条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																																																	
<p>第1.4.3表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">1. 冷却材圧力バウンダリが原子炉容器内に残存する場合</td> <td>格納容器スプレイポンプ^{a)}</td> <td rowspan="10">格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却</td> <td>格納容器スプレイポンプを用いた格納容器内残存圧力低下の冷却</td> <td>格納容器スプレイポンプ</td> <td>格納容器スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却</td> <td>格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却</td> <td>格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> </tbody> </table>		分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	1. 冷却材圧力バウンダリが原子炉容器内に残存する場合	格納容器スプレイポンプ ^{a)}	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器スプレイポンプを用いた格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器スプレイポンプ	格納容器スプレイポンプ	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	<p>対応手段、対応設備、手順書一覧 (5/9) (溶融炉心が原子炉压力容器内に残存する場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">溶融炉心が原子炉压力容器内に残存する場合</td> <td rowspan="2">格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却</td> <td rowspan="2">格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却</td> <td>格納容器スプレイポンプ</td> <td>非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ4」</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「注水ストラテジ4」による原子炉注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">溶融炉心が原子炉压力容器内に残存する場合</td> <td rowspan="2">格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却</td> <td rowspan="2">格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ4」</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「注水ストラテジ4」による原子炉注水</td> </tr> </tbody> </table>		分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書	溶融炉心が原子炉压力容器内に残存する場合	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器スプレイポンプ	非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ4」	燃料冷却用スプレイポンプ	非常時操作手順書 (設備別) 「注水ストラテジ4」による原子炉注水	溶融炉心が原子炉压力容器内に残存する場合	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	燃料冷却用スプレイポンプ	非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ4」	燃料冷却用スプレイポンプ	非常時操作手順書 (設備別) 「注水ストラテジ4」による原子炉注水	<p>対応手段、対応設備、手順書一覧 (8/22) (溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">1. 冷却材圧力バウンダリが原子炉容器内に残存する場合</td> <td rowspan="10">格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却</td> <td rowspan="10">格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却</td> <td>格納容器スプレイポンプ^{a)}</td> <td>格納容器スプレイポンプ</td> <td>格納容器スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> </tbody> </table>		分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	1. 冷却材圧力バウンダリが原子炉容器内に残存する場合	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器スプレイポンプ ^{a)}	格納容器スプレイポンプ	格納容器スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理</p>
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類																																																																																																		
1. 冷却材圧力バウンダリが原子炉容器内に残存する場合	格納容器スプレイポンプ ^{a)}	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器スプレイポンプを用いた格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器スプレイポンプ	格納容器スプレイポンプ																																																																																																		
	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却		格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却																																																																																																			
	燃料冷却用スプレイポンプ		燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																			
	燃料冷却用スプレイポンプ		燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																			
	燃料冷却用スプレイポンプ		燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																			
	燃料冷却用スプレイポンプ		燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																			
	燃料冷却用スプレイポンプ		燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																			
	燃料冷却用スプレイポンプ		燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																			
	燃料冷却用スプレイポンプ		燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																			
	燃料冷却用スプレイポンプ		燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																			
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書																																																																																																			
溶融炉心が原子炉压力容器内に残存する場合	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器スプレイポンプ	非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ4」																																																																																																			
			燃料冷却用スプレイポンプ	非常時操作手順書 (設備別) 「注水ストラテジ4」による原子炉注水																																																																																																			
溶融炉心が原子炉压力容器内に残存する場合	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	燃料冷却用スプレイポンプ	非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ4」																																																																																																			
			燃料冷却用スプレイポンプ	非常時操作手順書 (設備別) 「注水ストラテジ4」による原子炉注水																																																																																																			
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類																																																																																																		
1. 冷却材圧力バウンダリが原子炉容器内に残存する場合	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器スプレイポンプ ^{a)}	格納容器スプレイポンプ	格納容器スプレイポンプ																																																																																																		
			燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																		
			燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																		
			燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																		
			燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																		
			燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																		
			燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																		
			燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																		
			燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																		
			燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																		
<p>第1.4.3表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">1. 冷却材圧力バウンダリが原子炉容器内に残存する場合</td> <td rowspan="10">格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却</td> <td rowspan="10">格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却</td> <td>格納容器スプレイポンプ^{a)}</td> <td>格納容器スプレイポンプ</td> <td>格納容器スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> </tr> </tbody> </table>		分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	1. 冷却材圧力バウンダリが原子炉容器内に残存する場合	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器スプレイポンプ ^{a)}	格納容器スプレイポンプ	格納容器スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	<p>対応手段、対応設備、手順書一覧 (6/9) (溶融炉心が原子炉压力容器内に残存する場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">溶融炉心が原子炉压力容器内に残存する場合</td> <td rowspan="2">格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却</td> <td rowspan="2">格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却</td> <td>格納容器スプレイポンプ</td> <td>非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ4」</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「注水ストラテジ4」による原子炉注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">溶融炉心が原子炉压力容器内に残存する場合</td> <td rowspan="2">格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却</td> <td rowspan="2">格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却</td> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ4」</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用スプレイポンプ</td> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「注水ストラテジ4」による原子炉注水</td> </tr> </tbody> </table>		分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書	溶融炉心が原子炉压力容器内に残存する場合	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器スプレイポンプ	非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ4」	燃料冷却用スプレイポンプ	非常時操作手順書 (設備別) 「注水ストラテジ4」による原子炉注水	溶融炉心が原子炉压力容器内に残存する場合	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	燃料冷却用スプレイポンプ	非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ4」	燃料冷却用スプレイポンプ	非常時操作手順書 (設備別) 「注水ストラテジ4」による原子炉注水	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理</p>																																									
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類																																																																																																		
1. 冷却材圧力バウンダリが原子炉容器内に残存する場合	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器スプレイポンプ ^{a)}	格納容器スプレイポンプ	格納容器スプレイポンプ																																																																																																		
			燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																		
			燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																		
			燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																		
			燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																		
			燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																		
			燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																		
			燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																		
			燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																		
			燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ	燃料冷却用スプレイポンプ																																																																																																		
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書																																																																																																			
溶融炉心が原子炉压力容器内に残存する場合	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器スプレイポンプ	非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ4」																																																																																																			
			燃料冷却用スプレイポンプ	非常時操作手順書 (設備別) 「注水ストラテジ4」による原子炉注水																																																																																																			
溶融炉心が原子炉压力容器内に残存する場合	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	格納容器内残存圧力低下による格納容器内残存圧力低下の冷却	燃料冷却用スプレイポンプ	非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ4」																																																																																																			
			燃料冷却用スプレイポンプ	非常時操作手順書 (設備別) 「注水ストラテジ4」による原子炉注水																																																																																																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.4表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備を整備する手順
 （運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合）（1/2）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類			
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去設備	運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合	電動補助給水ポンプ ^{a)}	多様性 並列設置	蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）の手順	故障及び設計基準事象に「対応する」運転手順書			
			タービン駆動補助給水ポンプ						
			戻水ヒート						
			蒸気発生器2次側						
			電動主給水ポンプ						
			脱気器タンク						
			蒸気発生器補助用脱気中圧ポンプ（電機） ^{b)}				高圧炉心冷却（注水）の手順	故障及び設計基準事象に「対応する」運転手順書	
			戻水タンク						
			主蒸気過熱器				多様性 並列設置	蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気発生器への注水）の手順	故障及び設計基準事象に「対応する」運転手順書
			タービンバイパス						
ポンプ室 ^{c)}	多様性 並列設置	ポンプ室を用いた蒸気発生器2次側の「フリー」により炉心を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料棒破砕破損を抑制する運転手順書						
ポンプ室による蒸気発生器への注水の手順				B/A所定 ^{d)}					
送水車									

※1：「大阪発電所」重大事故等発生時の原子炉降圧の保全のための活動に関する所達
 ※2：「アーベール」発電機等により発電する。
 ※3：手順は「1.2 原子炉の降圧圧力バウンダリ」表(1)中に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.5 戻水ヒートタンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。
 ※5：重大事故等対策に「1.4」で用いている設備の分類
 a：当該事故に適合する重大事故等対処設備 b：37 条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧（9/22）

（1次冷却材喪失事象が発生していない場合のフロントライン系故障時）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類
フロントライン系故障時	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去設備	運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合	電動補助給水ポンプ タービン駆動補助給水ポンプ 補助給水ヒート（給水設備）配管・弁 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁 非常用交流電源設備 ^{#1}	多様性 並列設置	蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）の手順	故障及び設計基準事象に「対応する」運転手順書
			市内有線電圧式脱気設備 ^{#1}			
			電動主給水ポンプ 蒸気発生器 タービン駆動補助給水ポンプ 2次冷却設備（給水設備）配管・弁 非常用交流電源設備 ^{#1}			
			300V補助給水高圧ポンプ ^{#2} 可動型コース・脱気口 タービン駆動冷却器（送水車用） 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 非常用交流電源設備 ^{#1} 常設代替交流電源設備 ^{#1}			
			可動型大型送水ポンプ ^{#2} 可動型コース・脱気口 コース経路・回収器（送水車用） 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 非常用交流電源設備 ^{#1} 燃料補給設備 ^{#1}			
			可動型大型送水ポンプ ^{#2} 可動型コース・脱気口 コース経路・回収器（送水車用） タービン駆動冷却器（送水車用） 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 非常用交流電源設備 ^{#1} 燃料補給設備 ^{#1}			
			可動型大型送水ポンプ ^{#2} 可動型コース・脱気口 コース経路・回収器（送水車用） タービン駆動冷却器（送水車用） 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 非常用交流電源設備 ^{#1} 燃料補給設備 ^{#1}			
			可動型大型送水ポンプ ^{#2} 可動型コース・脱気口 コース経路・回収器（送水車用） タービン駆動冷却器（送水車用） 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 非常用交流電源設備 ^{#1} 燃料補給設備 ^{#1}			
			可動型大型送水ポンプ ^{#2} 可動型コース・脱気口 コース経路・回収器（送水車用） タービン駆動冷却器（送水車用） 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 非常用交流電源設備 ^{#1} 燃料補給設備 ^{#1}			

※1：手順は「1.4 炉心の過熱に「対応する」手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.2 原子炉の降圧圧力バウンダリ」表(1)中に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※3：可動型大型送水ポンプ室により湯水を蒸気発生器へ注水する。
 ※4：戻水車への搬送は、2次冷却設備タンク又は戻水タンクから移送することにより行う。
 ※5：重大事故等対策において用いている設備の分類
 a：当該事故に適合する重大事故等対処設備 b：37 条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 （女川審査実績の反映）
 ・泊は流路及び給電に使用する設備に記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由																																																																				
<p style="text-align: center;">【比較のため、第1.4.4表(1/2)を再掲】</p> <p style="text-align: center;">第1.4.4表 機件喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生していない場合)(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機件喪失を想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">1次冷却材喪失事故が発生していない場合</td> <td rowspan="10">金熱除去ポンプ又は金熱除去用冷却機</td> <td rowspan="10">金熱除去ポンプ 又は 金熱除去用冷却機</td> <td>電動補助給水ポンプ^{a)}</td> <td rowspan="10">a) 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順</td> <td rowspan="10">故障及び設計基準事故に対する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>タービン駆動補助給水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>親水ピット</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器</td> </tr> <tr> <td>電動主給水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>親気路タンク</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器補助用復設中圧ポンプ(電熱)</td> </tr> <tr> <td>減圧ドット</td> </tr> <tr> <td>主蒸気路がし弁</td> <td rowspan="2">b) 蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)の手順</td> <td rowspan="2">故障及び設計基準事故に対する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>タービンバイパス弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ポンプ車^{b)}</td> <td rowspan="2">c) 炉心冷却(注水)の手順</td> <td rowspan="2">炉心の著しい損傷及び炉心溶融破損を回避する運転手順書</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順</td> <td>d) 炉心冷却^{e)}</td> </tr> </tbody> </table>												分類	機件喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	1次冷却材喪失事故が発生していない場合	金熱除去ポンプ又は金熱除去用冷却機	金熱除去ポンプ 又は 金熱除去用冷却機	電動補助給水ポンプ ^{a)}	a) 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	故障及び設計基準事故に対する運転手順書	タービン駆動補助給水ポンプ	親水ピット	蒸気発生器	電動主給水ポンプ	親気路タンク	蒸気発生器補助用復設中圧ポンプ(電熱)	減圧ドット	主蒸気路がし弁	b) 蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)の手順	故障及び設計基準事故に対する運転手順書	タービンバイパス弁		ポンプ車 ^{b)}	c) 炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び炉心溶融破損を回避する運転手順書		ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順	d) 炉心冷却 ^{e)}	<p>対応手段、対応設備、手順書一覧 (10/22)</p> <p>(1次冷却材喪失事故が発生していない場合のフロントライン系故障時)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機件喪失を想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">フロントライン系故障時</td> <td rowspan="4">金熱除去ポンプ又は金熱除去用冷却機</td> <td rowspan="4">金熱除去ポンプ 又は 金熱除去用冷却機</td> <td>主蒸気路がし弁 蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁</td> <td rowspan="4">a) 金熱除去設備の異常時に對する対応手順書</td> <td rowspan="4">故障及び設計基準事故に對する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器 2次冷却設備(注水装置) 配管・弁</td> </tr> <tr> <td>タービンバイパス弁 蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁 蒸気発生器 2次冷却設備(補助給水設備) 配管・弁 非常緊急設備 炉内冷却器電式直流電源設備*1</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車*2*3*4*5 可搬型ボース-格納口 ボース延長・回収車(送水装置) 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備) 配管・弁 2次冷却設備(補助給水設備) 配管・弁 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁 非常緊急設備 炉内冷却器電式直流電源設備*1 燃料補給設備*1</td> </tr> </tbody> </table>												分類	機件喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	フロントライン系故障時	金熱除去ポンプ又は金熱除去用冷却機	金熱除去ポンプ 又は 金熱除去用冷却機	主蒸気路がし弁 蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁	a) 金熱除去設備の異常時に對する対応手順書	故障及び設計基準事故に對する運転手順書	蒸気発生器 2次冷却設備(注水装置) 配管・弁	タービンバイパス弁 蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁 蒸気発生器 2次冷却設備(補助給水設備) 配管・弁 非常緊急設備 炉内冷却器電式直流電源設備*1	可搬型大型送水ポンプ車*2*3*4*5 可搬型ボース-格納口 ボース延長・回収車(送水装置) 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備) 配管・弁 2次冷却設備(補助給水設備) 配管・弁 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁 非常緊急設備 炉内冷却器電式直流電源設備*1 燃料補給設備*1	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理 											
分類	機件喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類																																																																											
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	金熱除去ポンプ又は金熱除去用冷却機	金熱除去ポンプ 又は 金熱除去用冷却機	電動補助給水ポンプ ^{a)}	a) 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	故障及び設計基準事故に対する運転手順書																																																																											
			タービン駆動補助給水ポンプ																																																																													
			親水ピット																																																																													
			蒸気発生器																																																																													
			電動主給水ポンプ																																																																													
			親気路タンク																																																																													
			蒸気発生器補助用復設中圧ポンプ(電熱)																																																																													
			減圧ドット																																																																													
			主蒸気路がし弁			b) 蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)の手順	故障及び設計基準事故に対する運転手順書																																																																									
			タービンバイパス弁																																																																													
	ポンプ車 ^{b)}	c) 炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び炉心溶融破損を回避する運転手順書																																																																													
	ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順			d) 炉心冷却 ^{e)}																																																																												
分類	機件喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類																																																																											
フロントライン系故障時	金熱除去ポンプ又は金熱除去用冷却機	金熱除去ポンプ 又は 金熱除去用冷却機	主蒸気路がし弁 蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁	a) 金熱除去設備の異常時に對する対応手順書	故障及び設計基準事故に對する運転手順書																																																																											
			蒸気発生器 2次冷却設備(注水装置) 配管・弁																																																																													
			タービンバイパス弁 蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁 蒸気発生器 2次冷却設備(補助給水設備) 配管・弁 非常緊急設備 炉内冷却器電式直流電源設備*1																																																																													
			可搬型大型送水ポンプ車*2*3*4*5 可搬型ボース-格納口 ボース延長・回収車(送水装置) 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備) 配管・弁 2次冷却設備(補助給水設備) 配管・弁 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁 非常緊急設備 炉内冷却器電式直流電源設備*1 燃料補給設備*1																																																																													
<p>※1：「大阪発電所」重大事故発生時に對する炉心冷却の保全のための活動に關する所連] ※2：「プアール」発電機等により駆動する。 ※3：手順書「1.5 最終ヒートシンク」熱を輸送するための手順等」にて整備する。 ※4：蒸気発生器2次側からのタービンバイパス弁は、注水ポンプラインを使用する。 ※5：蒸気発生器→海水を注水する場合は蒸気発生器ブローダウンラインにより海水を行う。 ※6：重大事故発生時に對しては、設備の分類 a.) 当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b.) 37条に適合する重大事故等対応設備 c.) 自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>																																																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由																							
<p>第1.4.4表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生していない場合) (2/2)</p>																																						
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類	相違理由																								
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	全交流動力電機*	蒸気発生器2次側による炉内冷却(注水)	電動補助給水ポンプ	a	蒸気発生器2次側による炉内冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		全交流動力電機*	蒸気発生器2次側による炉内冷却(注水)	電動補助給水ポンプ	a	蒸気発生器2次側による炉内冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理																							
			空冷式非常用発電装置*							a						空冷式非常用発電装置燃料補給の手順 蒸気発生器補助用仮設圧力タンクによる蒸気発生器への注水のための手順	S A所達*																					
			タービン駆動補助給水ポンプ															a	タービン駆動補助給水ポンプ	S A所達*																		
			復水ピット																		a	復水ピット	S A所達*															
			蒸気発生器																					a	蒸気発生器	S A所達*												
			燃料補給減タンク*																								a	燃料補給減タンク*	S A所達*									
			蒸気発生器補助用仮設圧力タンク*																											a	蒸気発生器補助用仮設圧力タンク*	S A所達*						
			タンクローリー*																														a	タンクローリー*	S A所達*			
			蒸気発生器補助用仮設圧力タンク(電動) *																																	a	蒸気発生器補助用仮設圧力タンク(電動) *	S A所達*
			復水ピット																																			
蒸気発生器2次側による炉内冷却(注水)	a	蒸気発生器2次側による炉内冷却(注水)	S A所達*																																			
主蒸気発生器(凝縮器補助) *				a	主蒸気発生器(凝縮器補助) *	S A所達*																																
ポンプ*							a	ポンプ*	S A所達*																													
送水車										a	送水車	S A所達*																										

対応手段、対処設備、手順書一覧 (11/22)

(1次冷却材喪失事故が発生していない場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類								
サポート系故障時	全交流動力電機	蒸気発生器2次側による炉内冷却(注水)	タービン駆動補助給水ポンプ	a	蒸気発生器2次側による炉内冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書								
			電動補助給水ポンプ				a							
			空冷式非常用発電装置*					a						
			タービン駆動補助給水ポンプ						a					
			復水ピット							a				
			蒸気発生器								a			
			燃料補給減タンク*									a		
			蒸気発生器補助用仮設圧力タンク*										a	
			タンクローリー*											a
			蒸気発生器補助用仮設圧力タンク(電動) *											
復水ピット	a													
蒸気発生器2次側による炉内冷却(注水)		a												
主蒸気発生器(凝縮器補助) *			a											
ポンプ*				a										
送水車					a									

*1：手順は「1.14 電圧の確保に関する手順等」にて整備する。
 *2：手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 *3：可動型大型送水ポンプ車により送水を蒸気発生器へ汲み出す。
 *4：取外車への搬送は、送水車タンク又は送水ポンプから移送することにより行う。
 *5：重大事故発生時に用いている設備の分類
 a：当該条項に適合する重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由			
【比較のため、第1.4.4表(2/2)を再掲】									
第1.4.4表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生していない場合)(2/2)									
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類			
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	全空送動力電源 ²⁾	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	電熱供給給水ポンプ	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
			空冷式非常用発電装置 ³⁾						
			タービン駆動給水ポンプ						
			復水ピット						
			蒸気発生器						
			燃料貯蔵タンク ⁴⁾						
			風機タンク ⁵⁾						
			タンクローリー ⁶⁾						
			蒸気発生器補給用促進中圧ポンプ(電動) ⁷⁾				多様性対称設備	蒸気発生器がしきり機能低下の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			復水ピット						
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器がしきり機能低下の手順	a,b	蒸気発生器がしきり機能低下の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書					
主蒸気発生器がしきり機能低下の手順 ⁸⁾									
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器がしきり機能低下の手順	a	蒸気発生器がしきり機能低下の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書					
ポンプ ⁹⁾									
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器がしきり機能低下の手順	a	蒸気発生器がしきり機能低下の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書					
送水車									

21：大阪発電所 重大事故等発生時に炉心冷却設備の保全のための活動に関する手順
 22：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 23：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 24：手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを補正するための手順等」にて整備する。
 25：手順は「1.3 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 26：空冷式非常用発電装置の燃料補給に使用する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 27：重大事故等対応において用いる設備の分類
 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧(12/22)
 (1次冷却材喪失事故が発生していない場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	全空送動力電源	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	主蒸気発生器がしきり機能低下の手順 ¹⁾ 蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備)配管・弁	a, b, c	蒸気発生器がしきり機能低下の手順 主蒸気発生器がしきり機能低下の手順 2次冷却設備(主蒸気設備)配管・弁 非常用取水設備 燃料貯蔵タンク ²⁾	蒸気発生器がしきり機能低下の手順 蒸気発生器がしきり機能低下の手順 2次冷却設備(主蒸気設備)配管・弁 非常用取水設備 燃料貯蔵タンク ²⁾
			可動型空冷式発電装置 ³⁾ 2次冷却設備(風機タンク) 可動型タービン駆動給水ポンプ(送水車) 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備)配管・弁 2次冷却設備(燃料給水設備)配管・弁 非常用取水設備 燃料貯蔵タンク ⁴⁾			
			電熱供給給水ポンプ 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備)配管・弁 2次冷却設備(燃料給水設備)配管・弁 非常用取水設備 燃料貯蔵タンク ⁵⁾			
蒸気発生器がしきり機能低下の手順	蒸気発生器がしきり機能低下の手順	a, b	蒸気発生器がしきり機能低下の手順	蒸気発生器がしきり機能低下の手順	蒸気発生器がしきり機能低下の手順	

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

※1：手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを補正するための手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.3 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※3：可動型空冷式発電装置により電力を蒸気発生器へ供給する。
 ※4：蒸気発生器2次側のブレードアンドブローワリ時は、主蒸気リフレントを使用する。
 ※5：蒸気発生器2次側を冷却するための燃料貯蔵タンク(ボートクワン)により給水を行う。
 ※6：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※7：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転停止中のフロントライン系機能喪失時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器	冷却水	A、B冷却ポンプ ²⁴	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			高圧注入ポンプ ²⁴	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			燃料冷却用ポンプ	a	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			復水ポンプ	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			凝縮タンク	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			ほう酸ポンプ ²⁴	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			ほう酸タンク	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			1次系凝縮水ポンプ ²⁴	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			1次系排水タンク	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			燃料冷却用ポンプ (重力注水)	a	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
	A格納容器スプレイポンプ ²⁴ (RHR-C/S S 運転ライン使用)	a	A格納容器スプレイポンプを用いた代替冷却注水により原子炉を冷却する手順 運転手順書		
	施設代替冷却注水ポンプ (空冷式非常用発電機 ²⁴)	a,b	施設代替冷却注水ポンプを用いた代替冷却注水により原子炉を冷却する手順 運転手順書		
	燃料冷却用ポンプ	a	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書		
	復水ポンプ	a	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書		
	燃料冷却タンク ²⁴	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書		
	重油タンク ²⁴	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書		
	タンクローリー ²⁴	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書		
	電動復水器 ²⁴	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書		
	ディーゼル機関ポンプ	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書		
	N、O 送水タンク	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書		
	可搬式代替冷却注水ポンプ ²⁴	a	可搬式代替冷却注水ポンプを用いた代替冷却注水により原子炉を冷却する手順 運転手順書		
	送水車	a	可搬式代替冷却注水ポンプを用いた代替冷却注水により原子炉を冷却する手順 運転手順書		
燃料冷却タンク ²⁴	a	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書			
重油タンク ²⁴	a	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書			
タンクローリー ²⁴	a	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書			
軽油ドラム缶 ²⁴	a	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書			
再循環	高圧注入ポンプ	a	高圧注入ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書		
格納容器内循環タンク	a	高圧注入ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書			
格納容器内循環タンクストリール	a	高圧注入ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書			
代替再循環	A格納容器スプレイポンプ ²⁴ (RHR-C/S S 運転ライン使用)	a,b	A格納容器スプレイポンプを用いた代替冷却注水により原子炉を冷却する手順 運転手順書		
再循環	A格納容器スプレイポンプ ²⁴	a,b	A格納容器スプレイポンプを用いた代替冷却注水により原子炉を冷却する手順 運転手順書		
再循環	格納容器内循環タンク	a,b	格納容器内循環タンクを用いた代替冷却注水により原子炉を冷却する手順 運転手順書		
再循環	格納容器内循環タンクストリール	a,b	格納容器内循環タンクストリールを用いた代替冷却注水により原子炉を冷却する手順 運転手順書		

注1 「大阪発電所」重大事故等発生時に原子炉施設の状態のための活動に関する所定;
 注2 ディーゼル発電機により給電する;
 注3 手順「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する;
 注4 空冷式非常用発電機が燃料供給に使用する。手順「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する;
 注5 可搬式代替冷却注水ポンプにより冷却注水する場合は送水車を使用する;
 注6 電源車(可搬式代替冷却注水ポンプ)の燃料供給に使用する。手順「1.16 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する;
 注7 送水車の燃料供給に使用するの設備のみである。手順「1.16 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する;
 注8 重大事故等対策として用いる設備の分類
 a:当該英文に適合する重大事故等対処設備 b:当該文に適合する重大事故等対処設備 c:自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (13/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器	冷却水	A、B冷却ポンプ ²⁴	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			高圧注入ポンプ ²⁴	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			燃料冷却用ポンプ	a	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
再循環	高圧注入ポンプ	冷却水	A格納容器スプレイポンプ ²⁴ (RHR-C/S S 運転ライン使用)	a	A格納容器スプレイポンプを用いた代替冷却注水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			施設代替冷却注水ポンプ (空冷式非常用発電機 ²⁴)	a,b	施設代替冷却注水ポンプを用いた代替冷却注水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			燃料冷却用ポンプ	a	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			復水ポンプ	a	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			燃料冷却タンク ²⁴	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			重油タンク ²⁴	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			タンクローリー ²⁴	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			電動復水器 ²⁴	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			ディーゼル機関ポンプ	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			N、O 送水タンク	a,b	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
可搬式代替冷却注水ポンプ ²⁴	a	可搬式代替冷却注水ポンプを用いた代替冷却注水により原子炉を冷却する手順 運転手順書			
送水車	a	可搬式代替冷却注水ポンプを用いた代替冷却注水により原子炉を冷却する手順 運転手順書			
燃料冷却タンク ²⁴	a	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書			
重油タンク ²⁴	a	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書			
タンクローリー ²⁴	a	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書			
軽油ドラム缶 ²⁴	a	冷却ポンプを用いた冷却水により原子炉を冷却する手順 運転手順書			

注1 手順「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する;
 注2 重大事故等対策として用いる設備の分類
 a:当該英文に適合する重大事故等対処設備 b:当該文に適合する重大事故等対処設備 c:自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の
 反映)
 ・泊は管路及び給
 電に使用する設
 備に記載
 ・泊は設計基準事
 故対処設備による
 対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.5表(1/2)を再掲】

第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類	
炉心注水	A、B充てんポンプ ^{※1}	a,b	A熱源炉内注水ポンプ ^{※2}	充てんポンプを用いた炉心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
	熱源炉内注水ポンプ					
	燃料冷却用注水ポンプ					
	復水ピット					
	凝縮タンク					
	ほうげんポンプ ^{※3}					
	ほうげんタンク					
	1次系補給水ポンプ ^{※4}					
	1次系補水タンク					
	燃料冷却用注水ポンプ(重力注水)					a
A格納容器スプレイポンプ ^{※5}						
FRHS-C-S透過ライン使用						
仮設代替炉心注水ポンプ						
空冷式非常用発電機 ^{※6}						
燃料冷却用注水ポンプ						
復水ピット						
燃料貯蔵タンク ^{※7}						
重油タンク ^{※8}						
タンクローリー ^{※9}						
電動送水ポンプ	a,b	清化ポンプを用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
ディーゼル油大ポンプ						
N.O. 2送水タンク						
可搬式代替炉心注水ポンプ ^{※10}						
電動車(可搬式代替炉心注水ポンプ用)						
仮設置立水塔						
送水車						
燃料貯蔵タンク ^{※7}						
重油タンク ^{※8}						
タンクローリー ^{※9}						
精油ドラム ^{※11}						
高圧注入ポンプ ^{※12}	a	高圧注入ポンプを用いた再循環により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
格納容器内循環ポンプ						
格納容器内循環ポンプストリレーン						
A格納容器スプレイポンプ ^{※5} (FRHS) から透過ライン使用						
A格納容器スプレイポンプ						
格納容器内循環ポンプ						
格納容器内循環ポンプストリレーン						
可搬式大型送水ポンプ ^{※13}				a	可搬式大型送水ポンプ(可搬式コース・繰戻り)を用いた送水(送水車用)	格納容器破損を防止する運転手順書
可搬式コース・繰戻り						
可搬式コース・繰戻り(送水車用)						
非常用炉心の冷却設備						
非常用炉心の冷却設備(低圧注入系) 配管・弁						
原子炉格納容器スプレイ設備						
1次冷却設備						
原子炉格納容器						
燃料冷却設備						
燃料貯蔵設備 ^{※1}						

※1 「大阪発電所」重大事故等発生時における原子炉施設の状態のための活動に関する手順。
 ※2 デーゼル発電機により給水する。
 ※3 手帳「1.14 電源の確保に関する手順書」にて整備する。
 ※4 空冷式非常用発電機の使用に関する手順書。手帳「1.14 電源の確保に関する手順書」にて整備する。
 ※5 可搬式代替炉心注水ポンプにより炉心注水する場合は送水車を用いる。
 ※6 電源車(可搬式代替炉心注水ポンプ用)の燃料供給に使用する。手帳「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順書」にて整備する。
 ※7 送水車の燃料供給に使用するの設備のもの。手帳「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順書」にて整備する。
 ※8 重油車送水車として用いる設備の名称。
 ※9 当該表に適合する重大事故等対処設備。b) 対応に適合する重大事故等対処設備。c) 自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧(7/9)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類
フロントライン系故障	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	低圧代替炉心注水(可搬型による発電用原子炉の冷却)	復水移送ポンプ 復水貯蔵タンク ※1 補給水系 配管・弁 残留熱除去系 配管・弁 高圧炉心スプレイ系 配管・弁 燃料プール補給水系 弁 原子炉圧力容器 常設代替交流電源設備 ※2 可搬型代替交流電源設備 ※2 所内常設電圧直流電源設備 ※2 代替炉内電気設備 ※2 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書(フロントライン系停止) 「残留熱除去機能喪失」等 非常時操作手順書(設備別) 「復水移送ポンプ」による原子炉注水	重大事故等対処設備 (設計基準事故)
フロントライン系故障	大容量送水ポンプ(タイプ1) ※1	低圧代替炉心注水(可搬型による発電用原子炉の冷却)	大容量送水ポンプ(タイプ1) ※1 ホース・送水用ヘッド・繰戻り ※1 補給水系 配管・弁 残留熱除去系 配管・弁 原子炉圧力容器 常設代替交流電源設備 ※2 可搬型代替交流電源設備 ※2 代替炉内電気設備 ※2 燃料補給設備 ※2 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書(フロントライン系停止) 「前熱除去機能喪失」等 重大事故等対処設備 「大容量送水ポンプ」による送水 ※1	重大事故等対処設備 (設計基準事故)

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順書」にて整備する。
 ※3：手順は「1.6 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順書」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源(措置)
 ※5：残留熱除去系(低圧注水モード)は熱交換機に維持しておらず、熱交換機は流路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧(14/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類
フロントライン系故障	非常時送水ポンプ又は、余熱除去設備	低圧代替炉心注水(可搬型による発電用原子炉の冷却)	B-格納容器スプレイポンプ B-格納容器プレイ冷却機 非常用炉心の冷却設備 非常用炉心の冷却設備(低圧注入系) 配管・弁 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 1次冷却設備 原子炉格納容器	非常時操作手順書(フロントライン系停止) 「前熱除去機能喪失」等 非常時操作手順書(設備別) 「復水移送ポンプ」による原子炉注水	重大事故等対処設備 (設計基準事故)
フロントライン系故障	代替炉心注水ポンプ 燃料冷却用注水ポンプ 非常用炉心の冷却設備 配管・弁 非常用炉心の冷却設備(低圧注入系) 配管・弁 1次冷却設備 原子炉格納容器 代替炉内電気設備 ※1	低圧代替炉心注水(可搬型による発電用原子炉の冷却)	代替炉心注水ポンプ 燃料冷却用注水ポンプ 非常用炉心の冷却設備 配管・弁 非常用炉心の冷却設備(低圧注入系) 配管・弁 1次冷却設備 原子炉格納容器 代替炉内電気設備 ※1	非常時操作手順書(フロントライン系停止) 「前熱除去機能喪失」等 重大事故等対処設備 「大容量送水ポンプ」による送水 ※1	重大事故等対処設備 (設計基準事故)
フロントライン系故障	可搬式大型送水ポンプ ※2	低圧代替炉心注水(可搬型による発電用原子炉の冷却)	可搬式大型送水ポンプ ※2 可搬式コース・繰戻り 可搬式コース・繰戻り(送水車用) 非常用炉心の冷却設備 配管・弁 非常用炉心の冷却設備(低圧注入系) 配管・弁 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 1次冷却設備 原子炉格納容器 燃料冷却設備 ※1	非常時操作手順書(フロントライン系停止) 「前熱除去機能喪失」等 重大事故等対処設備 「大容量送水ポンプ」による送水 ※1	重大事故等対処設備 (設計基準事故)

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順書」にて整備する。
 ※2：可搬式大型送水ポンプにより送水を原子炉格納容器へ注水する。
 ※3：重大事故等発生時において取り得る設備の名称。
 ※4：当該表に適合する重大事故等対処設備。b) 対応に適合する重大事故等対処設備。c) 自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

【比較のため、第1.4.5表(1/2)を再掲】

第1.4.5表 機建優先を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転停止中のフロントライン系機建表A時)(1/2)

分類	機建優先を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手順	手順の分類
運転停止中の報告	冷却材圧力バウンダリ低圧時	A, B 冷却ポンプ	冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先

注1：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の観点から記載している。
 注2：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の観点から記載している。
 注3：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の観点から記載している。
 注4：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の観点から記載している。
 注5：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の観点から記載している。
 注6：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の観点から記載している。
 注7：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の観点から記載している。
 注8：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の観点から記載している。
 注9：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の観点から記載している。
 注10：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の観点から記載している。

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

対応手段、対処設備、手順書一覧(15/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機建優先を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手順	手順の分類
運転停止中の報告	冷却材圧力バウンダリ低圧時	冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先

※1：「機建優先」の前提は、2次冷却ポンプ又は3次冷却ポンプを停止することにより行う。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：C、D：格納容器再燃燃素モニタによる格納容器内再燃燃素の検知は「1.7 原子炉格納容器の過熱燃素を検知するための手順等」にて整備する。
 ※4：電圧変動対策については別添の機建表を参照。
 ※5：法第2条に適合する重大事象等対応設備 h：別添に適合する重大事象等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事象等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備に記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由							
【比較のため、第1.4.5表(2/2)を再掲】													
第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (運転停止中のフロントライン系機能喪失時) (2/2)													
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類								
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去装置	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	電動制御給水ポンプ ^a	a 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書								
			タービン駆動給水ポンプ										
			復水ビット										
			蒸気発生器										
			電動主給水ポンプ										
			脱気器タンク										
		炉心冷却(注水)	蒸気発生器補助用復元中圧ポンプ(電動) ^b	a 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	S/A所定 ^c						
			復水ビット										
			蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)						a 炉心の著しい損傷及び設計基準事故に対する運転手順書	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	格納及び設計基準事故に対する運転手順書	S/A所定 ^c	
			主要気路が上昇										
			タービンバイパス弁										
			ポンプ車 ^d										
ポンプ車 ^e													
送水車													

※1：「大阪発電所」重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所通。
 ※2：ディーゼル発電機等により給電する。
 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.3 格納容器シロタンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※5：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該条文中に適合する重大事故等対処設備 b：別条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧(16/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類		
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去装置	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	電動制御給水ポンプ ^a 可搬型コース 補助給水ビット 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備)配管 2次冷却設備(補助給水設備)配管・弁 非常用交流発電機設備 ^b 常設代替交流発電機設備 ^c	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	格納及び設計基準事故に対する運転手順書		
			可搬型大型送水ポンプ ^d 可搬型コース・脱気口 コース延長・回収車(送水車用) 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備)配管 2次冷却設備(補助給水設備)配管・弁 非常用交流発電機設備 ^b 燃料補助設備 ^e			蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	格納及び設計基準事故に対する運転手順書
			可搬型大型送水ポンプ ^d 可搬型コース・脱気口 コース延長・回収車(送水車用) 代替給水ビット 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備)配管 2次冷却設備(補助給水設備)配管・弁 非常用交流発電機設備 ^b 燃料補助設備 ^e			蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	格納及び設計基準事故に対する運転手順書
			可搬型大型送水ポンプ ^d 可搬型コース・脱気口 コース延長・回収車(送水車用) 2次冷却タンク ^f 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備)配管 2次冷却設備(補助給水設備)配管・弁 非常用交流発電機設備 ^b 燃料補助設備 ^e			蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	格納及び設計基準事故に対する運転手順書
			可搬型大型送水ポンプ ^d 可搬型コース・脱気口 コース延長・回収車(送水車用) 2次冷却タンク ^f 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備)配管 2次冷却設備(補助給水設備)配管・弁 非常用交流発電機設備 ^b 燃料補助設備 ^e			蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	格納及び設計基準事故に対する運転手順書
			可搬型大型送水ポンプ ^d 可搬型コース・脱気口 コース延長・回収車(送水車用) 2次冷却タンク ^f 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備)配管 2次冷却設備(補助給水設備)配管・弁 非常用交流発電機設備 ^b 燃料補助設備 ^e			蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	格納及び設計基準事故に対する運転手順書

※1：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.3 格納の維持に関する手順等」にて整備する。
 ※3：可搬型大型送水ポンプにより格納を冷却する。
 ※4：送水車への搬送は、2次冷却タンク又は送水タンクから移送することにより行う。
 ※5：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該条文中に適合する重大事故等対処設備 b：別条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由				
【比較のため、第1.4.5表(2/2)を再掲】										
第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転停止中のフロントライン系機能喪失時) (2/2)										
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類				
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去冷却塔	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)	電動冷却給水ポンプ ^{※1}	重大事故等対応設備	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				
			タービン駆動給水ポンプ							
			復水ビレット							
			凝気器							
			電動注給水ポンプ				多様な拡張設備			
			凝気器タンク							
			蒸気発生器補助用復設中圧ポンプ(電動) ^{※2}							
			復水ビレット							
			蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)				重大事故等対応設備	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	S.A所定 ^{c)}
			タービンバイパス							
蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)	拡張設備	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	S.A所定 ^{c)}						
タービンバイパス										
蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)	多様な拡張設備	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	S.A所定 ^{c)}						
ポンプ車 ^{※3}										
蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)	多様な拡張設備	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	S.A所定 ^{c)}						
送水車										

※1：大阪発電所 重大事故等発生時ににおける原子炉施設の保全のための活動に関する手順。
 ※2：タービンと蒸気発生器により発電する。
 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。
 ※5：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：訂 案に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (17/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去冷却塔	主蒸気発生器による炉心冷却(注水)	主蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁 炉内管設置電気式復設設備 ^{※1}	重大事故等対応設備	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			タービンバイパス 蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁 炉内管設置電気式復設設備 ^{※1}			
			可搬型大型送水ポンプ車 ^{※2} ・ ^{※3} ・ ^{※4} ・ ^{※5} 可搬型タービン駆動ポンプ車 ^{※6} ・ ^{※7} (送水車用) 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備) 配管・弁 2次冷却設備(凝給給水設備) 配管・弁 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁 炉内管設置電気式復設設備 ^{※1} 燃料補給設備 ^{※8}			

※1：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。
 ※3：可搬型大型送水ポンプ車により炉心を蒸気発生器へ注水する。
 ※4：蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順は、主蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順を使用する。
 ※5：蒸気発生器へ注水を注水する場合は蒸気発生器ブローダウンラインにより注水を行う。
 ※6：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：訂 案に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
記載方針の相違
(女川審査実績の反映)
・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																													
<p>第1.4.6表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順（運転停止中のサポート系機能喪失時）(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">運転停止中の場合</td> <td rowspan="14">全系統動力機能喪失時</td> <td rowspan="14">代 替 部 品 注 水 （<u>⑩</u>）</td> <td rowspan="14">多 重 切 替 設 備</td> <td>燃料取扱用温水ビット（取付注水）</td> <td>燃料取扱用温水ビット（取付注水）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順</td> <td rowspan="14">代 替 部 品 注 水 （<u>⑩</u>）</td> <td rowspan="14">多 重 切 替 設 備</td> <td>燃料取扱用温水ビット</td> <td>燃料取扱用温水ビット（取付注水）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順</td> <td rowspan="14">中心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>濃圧タンク</td> <td>濃圧タンクを用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順</td> <td rowspan="2">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>高圧配管代用日本ポンプ</td> <td>高圧配管代用日本ポンプを用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順</td> </tr> <tr> <td>空冷式非常用発電装置^{※1}</td> <td rowspan="2">空冷式非常用発電装置^{※1}</td> <td rowspan="2">空冷式非常用発電装置^{※1}</td> <td rowspan="2">空冷式非常用発電装置^{※1}</td> <td rowspan="2">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>設</u>備 <u>80</u>） 「<u>ろ</u>過水ポンプによる原子炉注水」</td> </tr> <tr> <td>駆込みポンプ（自己冷却）</td> <td>駆込みポンプ（自己冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用温水ビット</td> <td>燃料取扱用温水ビット</td> <td>燃料取扱用温水ビット</td> <td>燃料取扱用温水ビット</td> <td rowspan="2">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>復水ビット</td> <td>復水ビット</td> <td>復水ビット</td> <td>復水ビット</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用タンク^{※2}</td> <td>燃料取扱用タンク^{※2}</td> <td>燃料取扱用タンク^{※2}</td> <td>燃料取扱用タンク^{※2}</td> <td rowspan="2">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>重油タンク^{※2}</td> <td>重油タンク^{※2}</td> <td>重油タンク^{※2}</td> <td>重油タンク^{※2}</td> </tr> <tr> <td>タンクローリヤ^{※2}</td> <td>タンクローリヤ^{※2}</td> <td>タンクローリヤ^{※2}</td> <td>タンクローリヤ^{※2}</td> <td rowspan="2">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>設</u>備 <u>80</u>） 「<u>ろ</u>過水ポンプによる原子炉注水」</td> </tr> <tr> <td>A格納容器スプレイングポンプ（自己冷却）</td> <td>A格納容器スプレイングポンプ（自己冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順</td> <td>A格納容器スプレイングポンプ（自己冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順</td> <td>A格納容器スプレイングポンプ（自己冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用温水ビット</td> <td>燃料取扱用温水ビット</td> <td>燃料取扱用温水ビット</td> <td>燃料取扱用温水ビット</td> <td rowspan="2">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル排水ポンプ</td> <td>ディーゼル排水ポンプ</td> <td>ディーゼル排水ポンプ</td> <td>ディーゼル排水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>N₂、2次水タンク</td> <td>N₂、2次水タンク</td> <td>N₂、2次水タンク</td> <td>N₂、2次水タンク</td> <td rowspan="2">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>可能な代用取水ポンプ^{※2}</td> <td>可能な代用取水ポンプ^{※2}</td> <td>可能な代用取水ポンプ^{※2}</td> <td>可能な代用取水ポンプ^{※2}</td> </tr> <tr> <td>発電機</td> <td>発電機</td> <td>発電機</td> <td>発電機</td> <td rowspan="2">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>可能な代用排水ポンプ（用）</td> <td>可能な代用排水ポンプ（用）</td> <td>可能な代用排水ポンプ（用）</td> <td>可能な代用排水ポンプ（用）</td> </tr> <tr> <td>重油タンク^{※2}</td> <td>重油タンク^{※2}</td> <td>重油タンク^{※2}</td> <td>重油タンク^{※2}</td> <td rowspan="2">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>タンクローリヤ^{※2}</td> <td>タンクローリヤ^{※2}</td> <td>タンクローリヤ^{※2}</td> <td>タンクローリヤ^{※2}</td> </tr> <tr> <td>軽油ドラム缶^{※2}</td> <td>軽油ドラム缶^{※2}</td> <td>軽油ドラム缶^{※2}</td> <td>軽油ドラム缶^{※2}</td> <td rowspan="2">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>B格納容器スプレイングポンプ（遠水冷却）</td> <td>B格納容器スプレイングポンプ（遠水冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順</td> <td>B格納容器スプレイングポンプ（遠水冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順</td> <td>B格納容器スプレイングポンプ（遠水冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順</td> </tr> <tr> <td>大容積タンク</td> <td>大容積タンク</td> <td>大容積タンク</td> <td>大容積タンク</td> <td rowspan="2">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ポンプ</td> <td>格納容器再循環ポンプ</td> <td>格納容器再循環ポンプ</td> <td>格納容器再循環ポンプ</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ポンプスクリーン</td> <td>格納容器再循環ポンプスクリーン</td> <td>格納容器再循環ポンプスクリーン</td> <td>格納容器再循環ポンプスクリーン</td> <td rowspan="2">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>空冷式非常用発電装置^{※1}</td> <td>空冷式非常用発電装置^{※1}</td> <td>空冷式非常用発電装置^{※1}</td> <td>空冷式非常用発電装置^{※1}</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用タンク^{※2}</td> <td>燃料取扱用タンク^{※2}</td> <td>燃料取扱用タンク^{※2}</td> <td>燃料取扱用タンク^{※2}</td> <td rowspan="2">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>重油タンク^{※2}</td> <td>重油タンク^{※2}</td> <td>重油タンク^{※2}</td> <td>重油タンク^{※2}</td> </tr> <tr> <td>タンクローリヤ^{※2}</td> <td>タンクローリヤ^{※2}</td> <td>タンクローリヤ^{※2}</td> <td>タンクローリヤ^{※2}</td> <td rowspan="2">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>大容積ポンプによる原子炉補給冷却水系</td> <td>大容積ポンプによる原子炉補給冷却水系</td> <td>大容積ポンプによる原子炉補給冷却水系</td> <td>大容積ポンプによる原子炉補給冷却水系</td> </tr> <tr> <td>空冷式非常用発電装置^{※1}</td> <td>空冷式非常用発電装置^{※1}</td> <td>空冷式非常用発電装置^{※1}</td> <td>空冷式非常用発電装置^{※1}</td> <td rowspan="2">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>タンクローリヤ^{※2}</td> <td>タンクローリヤ^{※2}</td> <td>タンクローリヤ^{※2}</td> <td>タンクローリヤ^{※2}</td> </tr> </tbody> </table>		分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書	運転停止中の場合	全系統動力機能喪失時	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	燃料取扱用温水ビット（取付注水）	燃料取扱用温水ビット（取付注水）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	燃料取扱用温水ビット	燃料取扱用温水ビット（取付注水）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順	中心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	濃圧タンク	濃圧タンクを用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	高圧配管代用日本ポンプ	高圧配管代用日本ポンプを用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順	空冷式非常用発電装置 ^{※1}	空冷式非常用発電装置 ^{※1}	空冷式非常用発電装置 ^{※1}	空冷式非常用発電装置 ^{※1}	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>設</u> 備 <u>80</u> ） 「 <u>ろ</u> 過水ポンプによる原子炉注水」	駆込みポンプ（自己冷却）	駆込みポンプ（自己冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順	燃料取扱用温水ビット	燃料取扱用温水ビット	燃料取扱用温水ビット	燃料取扱用温水ビット	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	復水ビット	復水ビット	復水ビット	復水ビット	燃料取扱用タンク ^{※2}	燃料取扱用タンク ^{※2}	燃料取扱用タンク ^{※2}	燃料取扱用タンク ^{※2}	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	重油タンク ^{※2}	重油タンク ^{※2}	重油タンク ^{※2}	重油タンク ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>設</u> 備 <u>80</u> ） 「 <u>ろ</u> 過水ポンプによる原子炉注水」	A格納容器スプレイングポンプ（自己冷却）	A格納容器スプレイングポンプ（自己冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順	A格納容器スプレイングポンプ（自己冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順	A格納容器スプレイングポンプ（自己冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順	燃料取扱用温水ビット	燃料取扱用温水ビット	燃料取扱用温水ビット	燃料取扱用温水ビット	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	ディーゼル排水ポンプ	ディーゼル排水ポンプ	ディーゼル排水ポンプ	ディーゼル排水ポンプ	N ₂ 、2次水タンク	N ₂ 、2次水タンク	N ₂ 、2次水タンク	N ₂ 、2次水タンク	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	可能な代用取水ポンプ ^{※2}	可能な代用取水ポンプ ^{※2}	可能な代用取水ポンプ ^{※2}	可能な代用取水ポンプ ^{※2}	発電機	発電機	発電機	発電機	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	可能な代用排水ポンプ（用）	可能な代用排水ポンプ（用）	可能な代用排水ポンプ（用）	可能な代用排水ポンプ（用）	重油タンク ^{※2}	重油タンク ^{※2}	重油タンク ^{※2}	重油タンク ^{※2}	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	軽油ドラム缶 ^{※2}	軽油ドラム缶 ^{※2}	軽油ドラム缶 ^{※2}	軽油ドラム缶 ^{※2}	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	B格納容器スプレイングポンプ（遠水冷却）	B格納容器スプレイングポンプ（遠水冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順	B格納容器スプレイングポンプ（遠水冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順	B格納容器スプレイングポンプ（遠水冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順	大容積タンク	大容積タンク	大容積タンク	大容積タンク	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	格納容器再循環ポンプ	格納容器再循環ポンプ	格納容器再循環ポンプ	格納容器再循環ポンプ	格納容器再循環ポンプスクリーン	格納容器再循環ポンプスクリーン	格納容器再循環ポンプスクリーン	格納容器再循環ポンプスクリーン	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	空冷式非常用発電装置 ^{※1}	空冷式非常用発電装置 ^{※1}	空冷式非常用発電装置 ^{※1}	空冷式非常用発電装置 ^{※1}	燃料取扱用タンク ^{※2}	燃料取扱用タンク ^{※2}	燃料取扱用タンク ^{※2}	燃料取扱用タンク ^{※2}	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	重油タンク ^{※2}	重油タンク ^{※2}	重油タンク ^{※2}	重油タンク ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	大容積ポンプによる原子炉補給冷却水系	大容積ポンプによる原子炉補給冷却水系	大容積ポンプによる原子炉補給冷却水系	大容積ポンプによる原子炉補給冷却水系	空冷式非常用発電装置 ^{※1}	空冷式非常用発電装置 ^{※1}	空冷式非常用発電装置 ^{※1}	空冷式非常用発電装置 ^{※1}	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	<p>対応手段、対応設備、手順書一覧（8/9） （発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">運転停止中の場合</td> <td rowspan="4">全系統動力機能喪失時</td> <td rowspan="4">代 替 部 品 注 水 （<u>⑩</u>）</td> <td rowspan="4">多 重 切 替 設 備</td> <td>残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)</td> <td>代替部品の注入による原子炉の冷却</td> <td rowspan="4">代 替 部 品 注 水 （<u>⑩</u>）</td> <td rowspan="4">多 重 切 替 設 備</td> <td>代替部品の注入による原子炉の冷却</td> <td rowspan="4">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>ろ過水ポンプ</td> <td>ろ過水ポンプ</td> <td>ろ過水ポンプ</td> <td rowspan="2">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンク</td> <td>ろ過水タンク</td> <td>ろ過水タンク</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系</td> <td>残留熱除去系</td> <td>残留熱除去系</td> <td>残留熱除去系</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">運転停止中の場合</td> <td rowspan="4">全系統動力機能喪失時</td> <td rowspan="4">代 替 部 品 注 水 （<u>⑩</u>）</td> <td rowspan="4">多 重 切 替 設 備</td> <td>原子炉冷却材浄化系</td> <td>原子炉冷却材浄化系</td> <td rowspan="4">代 替 部 品 注 水 （<u>⑩</u>）</td> <td rowspan="4">多 重 切 替 設 備</td> <td>原子炉冷却材浄化系</td> <td rowspan="4">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器</td> <td>原子炉圧力容器</td> <td>原子炉圧力容器</td> </tr> <tr> <td>原子炉再循環系</td> <td>原子炉再循環系</td> <td>原子炉再循環系</td> </tr> <tr> <td>原子炉再循環系</td> <td>原子炉再循環系</td> <td>原子炉再循環系</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">運転停止中の場合</td> <td rowspan="4">全系統動力機能喪失時</td> <td rowspan="4">代 替 部 品 注 水 （<u>⑩</u>）</td> <td rowspan="4">多 重 切 替 設 備</td> <td>原子炉冷却材浄化系（再発生熱交換器）</td> <td>原子炉冷却材浄化系</td> <td rowspan="4">代 替 部 品 注 水 （<u>⑩</u>）</td> <td rowspan="4">多 重 切 替 設 備</td> <td>原子炉冷却材浄化系</td> <td rowspan="4">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>原子炉再循環系</td> <td>原子炉再循環系</td> <td>原子炉再循環系</td> </tr> <tr> <td>原子炉再循環系</td> <td>原子炉再循環系</td> <td>原子炉再循環系</td> </tr> <tr> <td>原子炉再循環系</td> <td>原子炉再循環系</td> <td>原子炉再循環系</td> </tr> </tbody> </table>			分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書	運転停止中の場合	全系統動力機能喪失時	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	代替部品の注入による原子炉の冷却	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	代替部品の注入による原子炉の冷却	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	ろ過水ポンプ	ろ過水ポンプ	ろ過水ポンプ	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	ろ過水タンク	ろ過水タンク	ろ過水タンク	残留熱除去系	残留熱除去系	残留熱除去系	残留熱除去系	運転停止中の場合	全系統動力機能喪失時	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	原子炉冷却材浄化系	原子炉冷却材浄化系	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	原子炉冷却材浄化系	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	原子炉圧力容器	原子炉圧力容器	原子炉圧力容器	原子炉再循環系	原子炉再循環系	原子炉再循環系	原子炉再循環系	原子炉再循環系	原子炉再循環系	運転停止中の場合	全系統動力機能喪失時	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	原子炉冷却材浄化系（再発生熱交換器）	原子炉冷却材浄化系	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	原子炉冷却材浄化系	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	原子炉再循環系	原子炉再循環系	原子炉再循環系	原子炉再循環系	原子炉再循環系	原子炉再循環系	原子炉再循環系	原子炉再循環系	原子炉再循環系	<p>対応手段、対応設備、手順書一覧（18/22） （発電用原子炉停止中のサポート系故障時）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">運転停止中の場合</td> <td rowspan="6">全系統動力機能喪失時</td> <td rowspan="6">代 替 部 品 注 水 （<u>⑩</u>）</td> <td rowspan="6">多 重 切 替 設 備</td> <td>燃料取扱用温水ビット 又は 原子炉補給冷却水設備</td> <td>燃料取扱用温水ビット 又は 原子炉補給冷却水設備</td> <td rowspan="6">代 替 部 品 注 水 （<u>⑩</u>）</td> <td rowspan="6">多 重 切 替 設 備</td> <td>燃料取扱用温水ビット 又は 原子炉補給冷却水設備</td> <td rowspan="6">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>設</u>備 <u>80</u>） 「<u>ろ</u>過水ポンプによる原子炉注水」</td> </tr> <tr> <td>代 替 部 品 注 水 （<u>⑩</u>）</td> <td>代 替 部 品 注 水 （<u>⑩</u>）</td> <td rowspan="2">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>代 替 部 品 注 水 （<u>⑩</u>）</td> <td>代 替 部 品 注 水 （<u>⑩</u>）</td> </tr> <tr> <td>代 替 部 品 注 水 （<u>⑩</u>）</td> <td>代 替 部 品 注 水 （<u>⑩</u>）</td> <td rowspan="2">非 常 時 操 作 手 順 書 （<u>フ</u>ラ ン ト 停 止 中） 「<u>崩</u>壊熱除去機能喪失」等</td> </tr> <tr> <td>代 替 部 品 注 水 （<u>⑩</u>）</td> <td>代 替 部 品 注 水 （<u>⑩</u>）</td> </tr> </tbody> </table>		分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	運転停止中の場合	全系統動力機能喪失時	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	燃料取扱用温水ビット 又は 原子炉補給冷却水設備	燃料取扱用温水ビット 又は 原子炉補給冷却水設備	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	燃料取扱用温水ビット 又は 原子炉補給冷却水設備	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>設</u> 備 <u>80</u> ） 「 <u>ろ</u> 過水ポンプによる原子炉注水」	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は管路及び給電に使用される設備に記載 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理</p>
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書																																																																																																																																																																																																																																															
運転停止中の場合	全系統動力機能喪失時	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	燃料取扱用温水ビット（取付注水）	燃料取扱用温水ビット（取付注水）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）					多 重 切 替 設 備	燃料取扱用温水ビット			燃料取扱用温水ビット（取付注水）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順	中心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書																																																																																																																																																																																																																																			
				濃圧タンク	濃圧タンクを用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順							非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																							
				高圧配管代用日本ポンプ	高圧配管代用日本ポンプを用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順																																																																																																																																																																																																																																														
				空冷式非常用発電装置 ^{※1}	空冷式非常用発電装置 ^{※1}							空冷式非常用発電装置 ^{※1}			空冷式非常用発電装置 ^{※1}			非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>設</u> 備 <u>80</u> ） 「 <u>ろ</u> 過水ポンプによる原子炉注水」																																																																																																																																																																																																																																	
				駆込みポンプ（自己冷却）															駆込みポンプ（自己冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順																																																																																																																																																																																																																																
				燃料取扱用温水ビット	燃料取扱用温水ビット							燃料取扱用温水ビット			燃料取扱用温水ビット			非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																	
				復水ビット	復水ビット							復水ビット			復水ビット																																																																																																																																																																																																																																				
				燃料取扱用タンク ^{※2}	燃料取扱用タンク ^{※2}							燃料取扱用タンク ^{※2}			燃料取扱用タンク ^{※2}			非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																	
				重油タンク ^{※2}	重油タンク ^{※2}							重油タンク ^{※2}			重油タンク ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																				
				タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}							タンクローリヤ ^{※2}			タンクローリヤ ^{※2}			非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>設</u> 備 <u>80</u> ） 「 <u>ろ</u> 過水ポンプによる原子炉注水」																																																																																																																																																																																																																																	
				A格納容器スプレイングポンプ（自己冷却）	A格納容器スプレイングポンプ（自己冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順							A格納容器スプレイングポンプ（自己冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順			A格納容器スプレイングポンプ（自己冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順																																																																																																																																																																																																																																				
				燃料取扱用温水ビット	燃料取扱用温水ビット							燃料取扱用温水ビット			燃料取扱用温水ビット			非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																	
				ディーゼル排水ポンプ	ディーゼル排水ポンプ		ディーゼル排水ポンプ	ディーゼル排水ポンプ																																																																																																																																																																																																																																											
				N ₂ 、2次水タンク	N ₂ 、2次水タンク		N ₂ 、2次水タンク	N ₂ 、2次水タンク	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																										
可能な代用取水ポンプ ^{※2}	可能な代用取水ポンプ ^{※2}	可能な代用取水ポンプ ^{※2}	可能な代用取水ポンプ ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																
発電機	発電機	発電機	発電機	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																															
可能な代用排水ポンプ（用）	可能な代用排水ポンプ（用）	可能な代用排水ポンプ（用）	可能な代用排水ポンプ（用）																																																																																																																																																																																																																																																
重油タンク ^{※2}	重油タンク ^{※2}	重油タンク ^{※2}	重油タンク ^{※2}	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																															
タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																
軽油ドラム缶 ^{※2}	軽油ドラム缶 ^{※2}	軽油ドラム缶 ^{※2}	軽油ドラム缶 ^{※2}	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																															
B格納容器スプレイングポンプ（遠水冷却）	B格納容器スプレイングポンプ（遠水冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順	B格納容器スプレイングポンプ（遠水冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順	B格納容器スプレイングポンプ（遠水冷却）を用いた代替部品の注入により原子炉を冷却する手順																																																																																																																																																																																																																																																
大容積タンク	大容積タンク	大容積タンク	大容積タンク	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																															
格納容器再循環ポンプ	格納容器再循環ポンプ	格納容器再循環ポンプ	格納容器再循環ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																
格納容器再循環ポンプスクリーン	格納容器再循環ポンプスクリーン	格納容器再循環ポンプスクリーン	格納容器再循環ポンプスクリーン	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																															
空冷式非常用発電装置 ^{※1}	空冷式非常用発電装置 ^{※1}	空冷式非常用発電装置 ^{※1}	空冷式非常用発電装置 ^{※1}																																																																																																																																																																																																																																																
燃料取扱用タンク ^{※2}	燃料取扱用タンク ^{※2}	燃料取扱用タンク ^{※2}	燃料取扱用タンク ^{※2}	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																															
重油タンク ^{※2}	重油タンク ^{※2}	重油タンク ^{※2}	重油タンク ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																
タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																															
大容積ポンプによる原子炉補給冷却水系	大容積ポンプによる原子炉補給冷却水系	大容積ポンプによる原子炉補給冷却水系	大容積ポンプによる原子炉補給冷却水系																																																																																																																																																																																																																																																
空冷式非常用発電装置 ^{※1}	空冷式非常用発電装置 ^{※1}	空冷式非常用発電装置 ^{※1}	空冷式非常用発電装置 ^{※1}	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																															
タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}	タンクローリヤ ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書																																																																																																																																																																																																																																															
運転停止中の場合	全系統動力機能喪失時	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	代替部品の注入による原子炉の冷却	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	代替部品の注入による原子炉の冷却	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																										
				ろ過水ポンプ	ろ過水ポンプ			ろ過水ポンプ		非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																									
				ろ過水タンク	ろ過水タンク			ろ過水タンク																																																																																																																																																																																																																																											
				残留熱除去系	残留熱除去系			残留熱除去系		残留熱除去系																																																																																																																																																																																																																																									
運転停止中の場合	全系統動力機能喪失時	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	原子炉冷却材浄化系	原子炉冷却材浄化系	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	原子炉冷却材浄化系	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																										
				原子炉圧力容器	原子炉圧力容器			原子炉圧力容器																																																																																																																																																																																																																																											
				原子炉再循環系	原子炉再循環系			原子炉再循環系																																																																																																																																																																																																																																											
				原子炉再循環系	原子炉再循環系			原子炉再循環系																																																																																																																																																																																																																																											
運転停止中の場合	全系統動力機能喪失時	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	原子炉冷却材浄化系（再発生熱交換器）	原子炉冷却材浄化系	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	原子炉冷却材浄化系	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																										
				原子炉再循環系	原子炉再循環系			原子炉再循環系																																																																																																																																																																																																																																											
				原子炉再循環系	原子炉再循環系			原子炉再循環系																																																																																																																																																																																																																																											
				原子炉再循環系	原子炉再循環系			原子炉再循環系																																																																																																																																																																																																																																											
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類																																																																																																																																																																																																																																														
運転停止中の場合	全系統動力機能喪失時	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	燃料取扱用温水ビット 又は 原子炉補給冷却水設備	燃料取扱用温水ビット 又は 原子炉補給冷却水設備	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	多 重 切 替 設 備	燃料取扱用温水ビット 又は 原子炉補給冷却水設備	非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																										
				非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>設</u> 備 <u>80</u> ） 「 <u>ろ</u> 過水ポンプによる原子炉注水」																																																																																																																																																																																																																																															
				代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）			非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																											
				代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）																																																																																																																																																																																																																																														
				代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）			非 常 時 操 作 手 順 書 （ <u>フ</u> ラ ン ト 停 止 中） 「 <u>崩</u> 壊熱除去機能喪失」等																																																																																																																																																																																																																																											
				代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）	代 替 部 品 注 水 （ <u>⑩</u> ）																																																																																																																																																																																																																																														

※1：「大飯発電所 重大事故等発生時における原子炉冷却材浄化のための装置に関する考慮」
※2：手順書「1.14 電源の確保に関する手順書」にて整備する。
※3：空冷式非常用発電装置の燃料供給に使用する。手順書「1.14 電源の確保に関する手順書」にて整備する。
※4：可能な代用取水ポンプより注水により注水する場合は格納容器を注水する。
※5：電源喪失時の代用取水ポンプ中の燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の注水」にて整備する。
※6：送水車の燃料供給に使用するのみのため。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の注水」にて整備する。
※7：大容積ポンプの燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の注水」にて整備する。
※8：手順書「1.9 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順書」にて整備する。
※9：重大事故等対策において用いる設備の分類
a：島内系と適合する重大事故等対応設備 b：97期に適合する重大事故等対応設備 c：自主対策として整備する重大事故等対応設備

※1：手順書「1.14 電源の確保に関する手順書」にて整備する。
※2：重大事故等発生時における原子炉冷却材浄化のための装置に関する考慮
※3：島内系と適合する重大事故等対応設備 ※4：自主対策として整備する重大事故等対応設備

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.6表 (1/2) を再掲】

第1.4.6表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順（運転停止中のサポート系機能喪失時）(1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	
運転停止中の場合	全交流動力電源*	代時電源 (0)	燃料貯蔵用水ピット (配力注入)	燃料貯蔵用水ピット (配力注入) を用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	関心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
			副圧タンク	副圧タンクを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	関心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
			加圧式代替配水ポンプ	a	加圧式ポンプを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			空冷式非常用発電機*	c	空冷式非常用発電機を用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			B充てんポンプ (自己冷却)	a	B充てんポンプを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			燃料貯蔵用水ピット	a	燃料貯蔵用水ピットを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			取水ピット	a	取水ピットを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			燃料貯蔵タンク*	a	燃料貯蔵タンクを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			燃料貯蔵タンク*	a	燃料貯蔵タンクを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			タンクローリー*	a	タンクローリーを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			タンクローリー*	a	タンクローリーを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			A系熱交換スプレイドポンプ (自己冷却)	a	A系熱交換スプレイドポンプを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			燃料貯蔵用水ピット	a	燃料貯蔵用水ピットを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			ダイヤルポンプ	a	ダイヤルポンプを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			N a ₂ S ₂ O ₈ 注水タンク	a	N a ₂ S ₂ O ₈ 注水タンクを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			可搬式代替配水ポンプ*	a	可搬式代替配水ポンプを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			電單車 (可搬式代替配水ポンプ用)	a	電單車 (可搬式代替配水ポンプ用) を用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			加圧式非常用発電機*	a	加圧式非常用発電機を用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			取水機	a	取水機を用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			燃料貯蔵タンク*	a	燃料貯蔵タンクを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			重油タンク*	a	重油タンクを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			タンクローリー*	a	タンクローリーを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
軽油ドラム缶*	a	軽油ドラム缶を用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
B系注入ポンプ (海水冷却)	a	B系注入ポンプを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
大容量ポンプ	a	大容量ポンプを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
格納容器再循環サブ	a	格納容器再循環サブを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
格納容器再循環サブスクリーン	a	格納容器再循環サブスクリーンを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
空冷式非常用発電機*	a	空冷式非常用発電機を用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
燃料貯蔵タンク*	a	燃料貯蔵タンクを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
重油タンク*	a	重油タンクを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
タンクローリー*	a	タンクローリーを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			

①：「大阪発電所」重大事故等発生時における原子炉冷却の確保のための取組に関する所産
 ②：手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ③：空冷式非常用発電機の燃料供給に使用する。手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ④：可搬式代替配水ポンプにより配水注水する場合に取水機を使用する。
 ⑤：電單車は可搬式代替配水ポンプ用の燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ⑥：海水の燃料貯蔵タンクに使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ⑦：大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ⑧：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。
 ⑨：重大事故等対応において用いる設備の分類
 a：当該施設に適合する重大事故等対応設備 b：BWRに適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (9/9)
 (発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順書
サポート系故障	全交流動力電源	常設代替配水設備設置による残留熱除去系	原子炉格納冷却海水系 ※3 常設代替配水設備設置 ※2	非常時操作手順書 (プラント停止中) 「残留熱除去機機能喪失」
	原子炉格納冷却海水系	残留熱除去系ポンプ	原子炉圧力容器 残留熱除去系熱交換器 配管・弁 ジェットポンプ	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」
	取水機	残留熱除去系ポンプ	原子炉圧力容器 残留熱除去系熱交換器 配管・弁 ジェットポンプ	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」
	非常用取水設備 ※3	非常用取水設備 ※3		

※1：手順書「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替配水機（措置）
 ※5：残留熱除去系（取水機ポンプ）は熱交換機に期待しております。熱交換機は流路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (19/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類	
運転停止中の場合	全交流動力電源*	代時電源 (0)	燃料貯蔵用水ピット (配力注入)	燃料貯蔵用水ピット (配力注入) を用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	関心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
			副圧タンク	副圧タンクを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	関心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
			加圧式代替配水ポンプ	a	加圧式ポンプを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			空冷式非常用発電機*	c	空冷式非常用発電機を用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			B充てんポンプ (自己冷却)	a	B充てんポンプを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			燃料貯蔵用水ピット	a	燃料貯蔵用水ピットを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			取水ピット	a	取水ピットを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			燃料貯蔵タンク*	a	燃料貯蔵タンクを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			燃料貯蔵タンク*	a	燃料貯蔵タンクを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			タンクローリー*	a	タンクローリーを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			タンクローリー*	a	タンクローリーを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			A系熱交換スプレイドポンプ (自己冷却)	a	A系熱交換スプレイドポンプを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			燃料貯蔵用水ピット	a	燃料貯蔵用水ピットを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			ダイヤルポンプ	a	ダイヤルポンプを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			N a ₂ S ₂ O ₈ 注水タンク	a	N a ₂ S ₂ O ₈ 注水タンクを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			可搬式代替配水ポンプ*	a	可搬式代替配水ポンプを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			電單車 (可搬式代替配水ポンプ用)	a	電單車 (可搬式代替配水ポンプ用) を用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			加圧式非常用発電機*	a	加圧式非常用発電機を用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			取水機	a	取水機を用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			燃料貯蔵タンク*	a	燃料貯蔵タンクを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			重油タンク*	a	重油タンクを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
			タンクローリー*	a	タンクローリーを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*
軽油ドラム缶*	a	軽油ドラム缶を用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
B系注入ポンプ (海水冷却)	a	B系注入ポンプを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
大容量ポンプ	a	大容量ポンプを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
格納容器再循環サブ	a	格納容器再循環サブを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
格納容器再循環サブスクリーン	a	格納容器再循環サブスクリーンを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
空冷式非常用発電機*	a	空冷式非常用発電機を用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
燃料貯蔵タンク*	a	燃料貯蔵タンクを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
重油タンク*	a	重油タンクを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			
タンクローリー*	a	タンクローリーを用いた代時配水により原子炉を冷却する手順	S A所達*			

※1：可搬式代替配水ポンプにより非常時原子炉冷却機を運転する。
 ※2：手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：B系注入ポンプの補給は、B系取水機ポンプ又はろ過水タンクから搬送することにより行う。
 ※4：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。
 ※5：1) 1-1 燃料貯蔵容器内の冷却のための手順等 1) 7. 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等)にて整備する。
 ※6：設置による大型航空機の接近その他のプロセスによる影響がある場合に使用する。
 ※7：重大事故等対応において用いる設備の分類
 a：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.6表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類			
運転停止中の場合	全交直電力電源*	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	電動補助給水ポンプ	重大事故等対処設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
			空冷式非常用発電機装置**						
			タービン駆動補助給水ポンプ						
			復水ポンプ						
			蒸気発生器						
			燃料供給機タンク**						
			重動タンク**						
			タンクローリー**						
			蒸気発生器補助用配管中圧ポンプ(電熱)**				多様性設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			復水ポンプ						
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	重大事故等対処設備	主蒸気発生器(規程手動操作)**	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	主蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				
フイ蒸気発生器(注水ポンプ及び冷却)									
ポンプ車**	多様性設備	ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側からの冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書						
送水車									
原子炉冷却材水系	⑥全交直電力電源喪失時の対応手段のうち代替炉心注水に関する設備と同様	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)**	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)**	多様性設備	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)**を用いた代替炉心注水の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
							電動送水ポンプ		
							⑥全交直電力電源喪失時の対応手段のうち代替再循環運転に関する設備と同様		
							A余熱除去ポンプ(空調用冷水)**		
格納容器内循環ポンプ	多様性設備	格納容器内循環ポンプを用いた代替再循環運転の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書						
サブスクリーン									

*1：大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉冷却材の確保のための活動に関する手順
 *2：手順は「1.4 電熱の確保に関する手順等」にて整備する。
 *3：空冷式非常用発電機装置の燃料供給に使用する。手順は「1.4 電熱の確保に関する手順等」にて整備する。
 *4：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 *5：手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 *6：手順は「1.6 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順」にて整備する。
 *7：重大事故等発生時において用いる設備の分類
 a：多様性設備による重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (20/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類				
運転停止中の場合	全交直電力電源*	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	タービン駆動補助給水ポンプ 又は 電動補助給水ポンプ 燃料供給機タンク	重大事故等対処設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				
			蒸気発生器							
			燃料供給機タンク**							
			重動タンク**							
			タンクローリー**							
			蒸気発生器補助用配管中圧ポンプ(電熱)**				多様性設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
復水ポンプ										
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	重大事故等対処設備	主蒸気発生器(規程手動操作)**	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	主蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書					
フイ蒸気発生器(注水ポンプ及び冷却)										
ポンプ車**	多様性設備	ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側からの冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書							
送水車										
原子炉冷却材水系	⑥全交直電力電源喪失時の対応手段のうち代替炉心注水に関する設備と同様	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)**	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)**	多様性設備	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)**を用いた代替炉心注水の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				
							電動送水ポンプ			
							⑥全交直電力電源喪失時の対応手段のうち代替再循環運転に関する設備と同様			
							A余熱除去ポンプ(空調用冷水)**			
							格納容器内循環ポンプ	多様性設備	格納容器内循環ポンプを用いた代替再循環運転の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
							サブスクリーン			

*1：手順は「1.4 電熱の確保に関する手順等」にて整備する。
 *2：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 *3：可搬型大型送水ポンプ車により取水を蒸気発生器へ注水する。
 *4：重大事故等発生時において用いる設備の分類
 a：17条に適合する重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

【大阪】
 設備の相違(相違理由⑥)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.6表(2/2)を再掲】

第1.4.6表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類			
運転停止中の場合	全交直動力電源 ^{b)}	蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)	電動補助給水ポンプ	重大事故等対応設備	蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書			
			空冷式非常用発電機設置 ^{c)}						
			タービン駆動補助給水ポンプ						
			復水ピット						
			蒸気発生機						
			燃料補給タンク ^{d)}						
			復水タンク ^{e)}						
			タンクローリー ^{f)}						
			蒸気発生機補助冷却装置(中圧ポンプ)(電熱) ^{g)}				多様設備	蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			復水ピット				多様設備	蒸気発生機補助冷却装置(中圧ポンプ)による蒸気発生機への注水のための手順	SA所達 ^{h)}
サポート系機能喪失時	蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)	主蒸気送がし弁(現場手動操作) ^{g)}	重大事故等対応設備	主蒸気送がし弁機能回復の手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書				
			多様設備						
			ボンプ車 ^{h)}						
			送水車						
原子炉補助冷却水系	④全交直動力電源喪失時の対応手段のうち代替炉心注水に用いる設備と同様	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)	多様設備	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)を用いた代替炉心が冷却する手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書				
			多様設備						
			電動炉心ポンプ						
			電動炉心ポンプ						
⑤全交直動力電源喪失時の対応手段のうち代替炉心循環に用いる設備と同様	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)	格納容器前部センサ	多様設備	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)を用いた代替炉心が冷却する手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書				
			多様設備						
			格納容器前部						
			格納容器前部						

※1：1.4.6表(1)の運転停止中の場合における炉心冷却のための設備と同様とする。
 ※2：手順は「1.4.4 電源の供給・取り戻す手順等」にて整備する。
 ※3：空冷式非常用発電機設置の燃料補給に使用する。手順は「1.4.4 電源の供給・取り戻す手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時(発電機が炉心冷却するための手順等)」にて整備する。
 ※5：手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時(炉心冷却するための手順等)」にて整備する。
 ※6：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※7：格納容器前部センサは、格納容器前部センサの故障による炉心冷却のための手順等にて整備する。
 ※8：格納容器前部センサは、格納容器前部センサの故障による炉心冷却のための手順等にて整備する。
 ※9：格納容器前部センサは、格納容器前部センサの故障による炉心冷却のための手順等にて整備する。
 ※10：当表本文に適合する重大事故等対処設備。 ※11：当表本文に適合する重大事故等対処設備。 ※12：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (21/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類		
運転停止中の場合	蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)	主蒸気送がし弁 ^{b)}	可搬型大型送水ポンプ ^{c)} ※1 可搬型カーゴ・回収機(送水車用) 2次蒸気タンク※2 ろ過水タンク※2 蒸気発生機 2次炉冷却装置(給水設備)配管・弁 2次炉冷却装置(補助給水設備)配管・弁 非常用送水設備 配管・弁 常設代替送水設備設備※3 燃料補給設備※3	重大事故等対応設備	蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書		
			主蒸気送がし弁※4 蒸気発生機 2次炉冷却装置(主蒸気設備)配管・弁				蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			可搬型大型送水ポンプ ^{c)} ※1※2※3※4 可搬型カーゴ・回収機(送水車用) 蒸気発生機 2次炉冷却装置(給水設備)配管・弁 2次炉冷却装置(補助給水設備)配管・弁 非常用送水設備 配管・弁 常設代替送水設備設備※3 燃料補給設備※3				蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書

※1：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※2：原液槽への搬出は、2次蒸気タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。
 ※3：手順は「1.4 電源の供給・取り戻す手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※5：手順は「1.2 蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)の手順等」にて整備する。
 ※6：可搬型大型送水ポンプは、主蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)に使用する。
 ※7：蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)時は、主蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)に使用する。
 ※8：蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)時は、主蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)に使用する。
 ※9：蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)時は、主蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)に使用する。
 ※10：当表本文に適合する重大事故等対処設備。 ※11：当表本文に適合する重大事故等対処設備。 ※12：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>対応手段、対処設備、手順書一覧（22/22） （発電用原子炉停止中のサポート系故障時）</p>																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>故障発生想定する設計基準事故別設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備分類</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"> 北炭発電所 又は 原子炉補給冷却水設備 </td> <td rowspan="3"> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 </td> <td> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 </td> <td> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 </td> <td> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 </td> <td> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 </td> </tr> <tr> <td> A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z </td> <td> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 </td> <td> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 </td> <td> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 </td> <td> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 </td> <td> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 </td> </tr> <tr> <td> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 </td> <td> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 </td> <td> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 </td> <td> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 </td> <td> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 </td> <td> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 </td> </tr> </tbody> </table>				故障発生想定する設計基準事故別設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類	北炭発電所 又は 原子炉補給冷却水設備	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22
故障発生想定する設計基準事故別設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類																						
北炭発電所 又は 原子炉補給冷却水設備	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22																						
		A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22																				
		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22																				
<p>泊3号炉との比較対象なし</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、復旧の対応手段を整理している。</p>																											

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.7表 重大事故等対処に係る監視計器

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視計器一覧（1/48）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水			
(a) A、B充てんポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 高压注入流量計 ・ 余熱除去流量計
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系純水タンク水位計（CRT）
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 充てん流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系純水タンク水位計（CRT）
		水源の確保	

第1.4-2表 重大事故等対処に係る監視計器

監視計器一覧（1/20）

手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水系 (a) 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水		
非常時操作手順書（慣例ベース） 「水位確保」等	判断基準	原子炉圧力容器内の水位 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）
非常時操作手順書（設備別） 「復水移送ポンプによる原子炉注水」		電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧
	操作	水源の確保 復水貯蔵タンク水位
	操作	原子炉圧力容器内の水位 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）
		原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力 原子炉圧力（SA）
	補機監視機能	残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） （残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量） 復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位

第1.4.2表 重大事故等対処に係る監視計器

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視計器一覧（1/61）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 炉心注水			
(a) 充てんポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位
		原子炉格納容器内の注水量	・ 高压注入流量 ・ 低圧注入流量
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位
	操作	補機監視機能	・ 高压注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流
		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位
		原子炉格納容器への注水量	・ 充てん流量
水源の確保		・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系純水タンク水位	
補機監視機能		・ 充てんライン圧力	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																					
<p>監視計器一覧（2/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・原子炉水位計 ・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(I) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・充てん水流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	補機監視機能	・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計	<p>監視計器一覧（2/20）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（徴候ベース） 「水位確保」等</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（設備別） 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>操作</td> <td>電源の確保 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧 水源の確保 復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域） 原子炉圧力 原子炉圧力（SA） 原子炉圧力容器への注水量 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量 補機監視機能 直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力 水源の確保 復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			b. 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書（徴候ベース） 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）	非常時操作手順書（設備別） 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」	操作	電源の確保 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧 水源の確保 復水貯蔵タンク水位		操作	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域） 原子炉圧力 原子炉圧力（SA） 原子炉圧力容器への注水量 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量 補機監視機能 直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力 水源の確保 復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧（2/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・充てん流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位 ・原子炉水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・充てん流量	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位	補機監視機能	・充てんライン圧力	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉水位	原子炉圧力容器への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																						
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																								
(I) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																								
b. 代替炉心注水																																																																																																								
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																																						
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																						
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																						
	原子炉圧力容器内への注水量	・充てん水流量計																																																																																																						
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																						
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																						
	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																																						
	原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計																																																																																																						
	原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計																																																																																																						
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																						
水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																							
補機監視機能	・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																																																																							
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																																						
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																								
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																								
a. 低圧代替注水																																																																																																								
b. 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水																																																																																																								
非常時操作手順書（徴候ベース） 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）																																																																																																						
非常時操作手順書（設備別） 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」	操作	電源の確保 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧 水源の確保 復水貯蔵タンク水位																																																																																																						
	操作	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域） 原子炉圧力 原子炉圧力（SA） 原子炉圧力容器への注水量 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量 補機監視機能 直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力 水源の確保 復水貯蔵タンク水位																																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																						
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																								
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																								
b. 代替炉心注水																																																																																																								
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																																																						
	原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																																						
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																																						
	原子炉圧力容器への注水量	・充てん流量																																																																																																						
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																																						
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位																																																																																																						
	補機監視機能	・充てんライン圧力																																																																																																						
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉水位																																																																																																					
原子炉圧力容器への注水量		・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																																																						
原子炉格納容器内の水位		・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																																						
水源の確保		・燃料取替用水ビット水位																																																																																																						

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																											
<p>監視計器一覧 (3/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 ・ 出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>・ 中間領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>・ 中性子源領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>・ 中間領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 空冷式非常用発電装置 ・ 電力計、周波数計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 ・ 出力領域中性子束計	未臨界の維持又は監視	・ 中間領域中性子束計	・ 中性子源領域中性子束計	・ 中間領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計	電源	・ 空冷式非常用発電装置 ・ 電力計、周波数計	<p>監視計器一覧 (3/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における炉心手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(c) 低圧代替注水系 (可機型) による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (教範ベース)</td> <td>「水位確保」等</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>判断基準 電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2B 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における炉心手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(c) 低圧代替注水系 (可機型) による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (教範ベース)	「水位確保」等	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準 電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2B 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)		操作	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)		水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)	<p>監視計器一覧 (3/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">未臨界の維持又は監視</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 6-A, B 母線電圧</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	未臨界の維持又は監視	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	補機監視機能	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口圧力	電源	・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 6-A, B 母線電圧	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																														
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																														
b. 代替炉心注水																																																																																																																														
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																												
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																												
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																												
	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																												
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																												
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計																																																																																																																												
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 ・ 出力領域中性子束計																																																																																																																											
未臨界の維持又は監視		・ 中間領域中性子束計																																																																																																																												
		・ 中性子源領域中性子束計																																																																																																																												
		・ 中間領域起動率計																																																																																																																												
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																												
水源の確保		・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計																																																																																																																												
電源		・ 空冷式非常用発電装置 ・ 電力計、周波数計																																																																																																																												
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																												
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における炉心手順																																																																																																																														
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																														
a. 低圧代替注水																																																																																																																														
(c) 低圧代替注水系 (可機型) による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																														
非常時操作手順書 (教範ベース)	「水位確保」等	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																												
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準 電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2B 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																												
	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)																																																																																																																												
	操作	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																												
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																												
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)																																																																																																																												
	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)																																																																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																														
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																														
b. 代替炉心注水																																																																																																																														
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																												
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																												
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																												
	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)																																																																																																																												
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																												
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																																																																												
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																											
		原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																																																																											
未臨界の維持又は監視		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																											
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																																																																											
補機監視機能		・ 代替格納容器スプレイポンプ出口圧力																																																																																																																												
電源		・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 6-A, B 母線電圧																																																																																																																												

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																										
<p>監視計器一覧 (4/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>未臨界の維持又は監視</td> <td>・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(I) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域起動率計	未臨界の維持又は監視	・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)	<p>監視計器一覧 (4/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(d) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (微検ベース) 「水位確保」等</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」</td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>原子炉補機冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>代替循環冷却ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(d) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (微検ベース) 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		最終ヒートシンクの確保	原子炉補機冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)		水源の確保	圧力制御室水位		原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉压力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量		補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力		水源の確保	圧力制御室水位	<p>監視計器一覧 (4/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ AM用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>未臨界の維持又は監視</td> <td>・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位	原子炉压力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	未臨界の維持又は監視	・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																													
(I) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																													
b. 代替炉心注水																																																																																																																													
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																											
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																											
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																											
	原子炉压力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																											
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																											
	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																											
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																										
		原子炉压力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																																										
未臨界の維持又は監視		・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																																											
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																											
水源の確保		・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																											
手順書		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																										
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																													
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																													
a. 低圧代替注水																																																																																																																													
(d) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水																																																																																																																													
非常時操作手順書 (微検ベース) 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																											
非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																											
	最終ヒートシンクの確保	原子炉補機冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)																																																																																																																											
	水源の確保	圧力制御室水位																																																																																																																											
	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																											
	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																											
	原子炉压力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量																																																																																																																											
	補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力																																																																																																																											
	水源の確保	圧力制御室水位																																																																																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																													
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																													
b. 代替炉心注水																																																																																																																													
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																											
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																											
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																											
	原子炉压力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																											
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																											
	水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																																																											
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位																																																																																																																										
		原子炉压力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																																																																										
未臨界の維持又は監視		・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																																																																											
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																											
水源の確保		・ ろ過水タンク水位																																																																																																																											

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																	
<p>監視計器一覧（5/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td rowspan="5">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>・恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td rowspan="5">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">未臨界の維持又は監視</td> <td>・出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>・中間領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>・中性子源領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>・中間領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>・中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環 サンプ水位計（広域）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の水位	・A余熱除去流量計	・恒設代替低圧注水積算流量計	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計	・A余熱除去流量計	未臨界の維持又は監視	・出力領域中性子束計	・中間領域中性子束計	・中性子源領域中性子束計	・中間領域起動率計	・中性子源領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環 サンプ水位計（広域）	<p>監視計器一覧（5/20）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td rowspan="5">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（広帯域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（燃料域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA広帯域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA燃料域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（広帯域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（燃料域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA広帯域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA燃料域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量）</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>ろ過水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			e. ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水			判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域）	原子炉水位（広帯域）	原子炉水位（燃料域）	原子炉水位（SA広帯域）	原子炉水位（SA燃料域）	電源の確保	4-2C 母線電圧	4-2D 母線電圧	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	水源の確保	ろ過水タンク水位	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域）	原子炉水位（広帯域）	原子炉水位（燃料域）	原子炉水位（SA広帯域）	原子炉水位（SA燃料域）	操作	原子炉圧力	原子炉圧力（SA）	残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量）	残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量	補機監視機能	水源の確保	ろ過水ポンプ出口圧力		ろ過水タンク水位	<p>監視計器一覧（5/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td rowspan="5">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>・格納容器再循環 サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">未臨界の維持又は監視</td> <td>・出力領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>・中間領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>・中性子源領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>・中間領域起動率</td> </tr> <tr> <td>・中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環 サンプ水位（広域）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低温側）	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	・加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	・格納容器再循環 サンプ水位（広域）	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低温側）	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	・加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・原子炉容器水位	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	未臨界の維持又は監視	・出力領域中性子束	・中間領域中性子束	・中性子源領域中性子束	・中間領域起動率	・中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環 サンプ水位（広域）	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																																				
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																				
b. 代替炉心注水																																																																																																																																				
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																																																																																		
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																																																		
		・炉心出口温度計																																																																																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																																																	
			・加圧器水位計																																																																																																																																	
	原子炉圧力容器内の水位	・A余熱除去流量計																																																																																																																																		
		・恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																																		
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																																																																																	
			・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																																																	
			・炉心出口温度計																																																																																																																																	
原子炉圧力容器内の圧力			・1次冷却材圧力計																																																																																																																																	
			・加圧器水位計																																																																																																																																	
原子炉圧力容器内の水位		・原子炉水位計																																																																																																																																		
		・A余熱除去流量計																																																																																																																																		
未臨界の維持又は監視		・出力領域中性子束計																																																																																																																																		
		・中間領域中性子束計																																																																																																																																		
		・中性子源領域中性子束計																																																																																																																																		
	・中間領域起動率計																																																																																																																																			
	・中性子源領域起動率計																																																																																																																																			
原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環 サンプ水位計（広域）																																																																																																																																			
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																																																																		
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																																				
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																				
a. 低圧代替注水																																																																																																																																				
e. ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水																																																																																																																																				
判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域）																																																																																																																																		
		原子炉水位（広帯域）																																																																																																																																		
		原子炉水位（燃料域）																																																																																																																																		
		原子炉水位（SA広帯域）																																																																																																																																		
		原子炉水位（SA燃料域）																																																																																																																																		
	電源の確保	4-2C 母線電圧																																																																																																																																		
		4-2D 母線電圧																																																																																																																																		
		125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																																																																		
		125V 直流主母線 2B 電圧																																																																																																																																		
		125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																																																		
水源の確保	ろ過水タンク水位																																																																																																																																			
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域）																																																																																																																																		
		原子炉水位（広帯域）																																																																																																																																		
		原子炉水位（燃料域）																																																																																																																																		
		原子炉水位（SA広帯域）																																																																																																																																		
原子炉水位（SA燃料域）																																																																																																																																				
操作	原子炉圧力																																																																																																																																			
	原子炉圧力（SA）																																																																																																																																			
	残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量）																																																																																																																																			
	残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量																																																																																																																																			
	補機監視機能																																																																																																																																			
水源の確保	ろ過水ポンプ出口圧力																																																																																																																																			
	ろ過水タンク水位																																																																																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																																				
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																				
b. 代替炉心注水																																																																																																																																				
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																																																																		
		・1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																																																																		
		・炉心出口温度																																																																																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																																	
			・加圧器水位																																																																																																																																	
	原子炉格納容器内の水位	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																																		
		・格納容器再循環 サンプ水位（広域）																																																																																																																																		
		原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																																																																	
			・1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																																																																	
			・炉心出口温度																																																																																																																																	
原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																																			
	・加圧器水位																																																																																																																																			
原子炉格納容器内の水位	・原子炉容器水位																																																																																																																																			
	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																																			
	未臨界の維持又は監視	・出力領域中性子束																																																																																																																																		
		・中間領域中性子束																																																																																																																																		
		・中性子源領域中性子束																																																																																																																																		
・中間領域起動率																																																																																																																																				
・中性子源領域起動率																																																																																																																																				
原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環 サンプ水位（広域）																																																																																																																																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																										
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (6/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替貯心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 貯心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">未境界の維持又は監視</td> <td></td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">水源の確保</td> <td>・ 2次系統水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (7/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替貯心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 貯心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">未境界の維持又は監視</td> <td></td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">水源の確保</td> <td>・ 2次系統水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替貯心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 貯心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	未境界の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保		・ 2次系統水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替貯心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 貯心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	未境界の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保		・ 2次系統水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位				<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p> <p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替貯心注水																																																																													
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																											
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																											
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																											
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																											
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 貯心出口温度																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																											
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																											
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																											
	未境界の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																										
		水源の確保		・ 2次系統水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位																																																																									
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																										
	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替貯心注水																																																																												
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																											
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																											
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																											
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																											
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 貯心出口温度																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																											
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																											
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																											
	未境界の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																										
		水源の確保		・ 2次系統水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位																																																																									

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																										
<p>監視計器一覧（6/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧（8/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																													
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																													
c. 再循環運転																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																										
		原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																										
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																										
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																										
		原子炉压力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																										
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																													
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																													
c. 再循環運転																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度																																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																										
		原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																										
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																										
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																										
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																										
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
<p>監視計器一覧（7/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	操作	補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・原子炉水位計	原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧（9/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位 ・原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・B-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉压力容器への注水量	・高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	補機監視機能	・高圧注入ポンプ出口圧力	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位	原子炉压力容器への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・B-格納容器再循環サンプ水位（広域）	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																											
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																											
d. 代替再循環運転																																																																											
(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																								
		原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																								
	操作	補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																								
		原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・原子炉水位計																																																																								
		原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																								
補機監視機能	・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																											
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																											
d. 代替再循環運転																																																																											
(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																								
		原子炉压力容器への注水量	・高圧注入流量																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																								
	操作	補機監視機能	・高圧注入ポンプ出口圧力																																																																								
		原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位																																																																								
		原子炉压力容器への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・B-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
<p>監視計器一覧（8/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">(b) 格納容器再循環サンプルスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高压注入流量計 ・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">補機監視機能</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプル水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高压注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンプルスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高压注入流量計 ・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計	補機監視機能	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高压注入ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧（10/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">(b) 格納容器再循環サンプルスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 高压注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">補機監視機能</td> <td rowspan="6">補機監視機能</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） ・ 高压注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・ 高压注入流量 ・ 充てら流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンプルスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 高压注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉格納容器への注水量	・ 格納容器スプレイ流量	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	補機監視機能	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） ・ 高压注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉格納容器への注水量	・ 高压注入流量 ・ 充てら流量 ・ 低圧注入流量	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																									
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																									
d. 代替再循環運転																																																																									
(b) 格納容器再循環サンプルスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																						
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高压注入流量計 ・ 余熱除去流量計																																																																						
		原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計																																																																						
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計																																																																						
		原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計																																																																						
	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計																																																																						
		補機監視機能	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高压注入ポンプ吐出圧力計																																																																					
				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
				1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																					
				(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																					
		d. 代替再循環運転																																																																							
(b) 格納容器再循環サンプルスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																						
		原子炉圧力容器への注水量	・ 高压注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																						
		原子炉格納容器への注水量	・ 格納容器スプレイ流量																																																																						
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																						
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																						
	補機監視機能	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位（広域） ・ 高压注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																					
			操作	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																			
					原子炉圧力容器内の圧力	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																			
					原子炉格納容器への注水量	・ 高压注入流量 ・ 充てら流量 ・ 低圧注入流量																																																																			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
監視計器一覧（9/48）				監視計器一覧（11/61）			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転				1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 d. 代替再循環運転			
(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量計
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・原子炉水位計	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計	原子炉格納容器内の注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器内温度計
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計	最終ヒートシンクの確保	・A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計 ・AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計 ・主蒸気圧力計 ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計	最終ヒートシンクの確保	・原子炉補機冷却水サージタンク圧力（狭域） ・C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計 ・主蒸気ライン圧力 ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量計
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT） ・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・No. 2淡水タンク水位計（CRT） ・体積制御タンク水位計（CRT）	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・1次系純水タンク水位 ・2次系純水タンク水位 ・使用済燃料ピット水位 ・ほう酸タンク水位 ・体積制御タンク水位 ・ほう酸補給ライン流量 ・ほう酸補給ライン流量積算制御 ・1次系純水補給ライン流量積算制御 ・1次系純水補給ライン流量積算制御 ・ろ過水タンク水位	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・1次系純水タンク水位 ・2次系純水タンク水位 ・使用済燃料ピット水位 ・ほう酸タンク水位 ・体積制御タンク水位 ・ほう酸補給ライン流量 ・ほう酸補給ライン流量積算制御 ・1次系純水補給ライン流量積算制御 ・1次系純水補給ライン流量積算制御 ・ろ過水タンク水位
		補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	補機監視機能	・高圧圧入ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流	補機監視機能	・高圧圧入ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																													
<p>監視計器一覧（10/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計	電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)		・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)	操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。		(b) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計		・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。			<p>監視計器一覧（12/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・炭志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位	電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・炭志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	操作	1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																														
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																
a. 代替炉心注水																																																																																
(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計																																																																													
		電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																													
	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)																																																																													
			・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)																																																																													
操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。																																																																															
(b) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																													
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																													
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																													
		原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計																																																																													
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																													
	補機監視機能	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																													
			・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)																																																																													
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。																																																																														
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																													
	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																															
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																
a. 代替炉心注水																																																																																
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																													
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																													
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																													
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位																																																																													
		電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・炭志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																													
	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																													
			・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																																													
		操作	1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																													
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</div>																																																																															

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由		
監視計器一覧 (11/48)											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水											
(c) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計								
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計								
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計								
		原子炉圧力容器内の注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）								
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計								
		電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計								
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）								
		監視計器一覧 (12/48)									
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水											
(c) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計								
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計								
		原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計								
		原子炉圧力容器内の注水量	・充てん流量計								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計								
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計								
		補機冷却	・B充てんポンプ封水油冷却器冷却水流量計 ・B充てんポンプ電動機冷却水流量計								
		監視計器一覧 (13/61)									
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器							
		1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水									
(b) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度								
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）								
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位								
		原子炉圧力容器への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）								
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位								
		電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・B-1A、B、C1、C2、D母線電圧								
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）								
		(b) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度						
				原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）						
原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位										
原子炉圧力容器への注水量	・充てん流量										
原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）										
水源の確保	・燃料取替用水ビット水位										
補機冷却	・B-充てんポンプ油冷却器及び封水冷却器補機冷却水流量 ・B-充てんポンプ電動機補機冷却水流量										

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																												
<p>監視計器一覧（13/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・充てん流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環リンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・充てん水圧力計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・充てん流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンプ水位計（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	補機監視機能	・充てん水圧力計	電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）		・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		<p>監視計器一覧（14/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(c) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・充てん流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">電源</td> <td></td> <td>・泊幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・充てんポンプ圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量（適用）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（適用）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（適用）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（適用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（適用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td></td> <td>・B-格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・B-格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(c) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・充てん流量	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	電源		・泊幹線1L電圧、2L電圧		・後志幹線1L電圧、2L電圧		・甲母線電圧、乙母線電圧		・6-A、B、C1、C2、D母線電圧		・充てんポンプ圧力	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量		・原子炉補機冷却水供給母管流量（適用）		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（適用）		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（適用）		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（適用）	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低温側）	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	・加圧器水位	原子炉圧力容器内の水位	・原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（適用）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	補機冷却		・B-格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量		・B-格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																													
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																																															
(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																												
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																												
	原子炉圧力容器内の注水量	・充てん流量計																																																																																													
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンプ水位計（広域）																																																																																													
	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																													
	補機監視機能	・充てん水圧力計																																																																																													
	電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																													
	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																																												
			・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																													
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																																															
(c) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																												
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																												
		原子炉圧力容器への注水量	・充てん流量																																																																																												
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																												
	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																																													
	電源		・泊幹線1L電圧、2L電圧																																																																																												
			・後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																																												
			・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																												
			・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																												
		・充てんポンプ圧力																																																																																													
補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																													
		・原子炉補機冷却水供給母管流量（適用）																																																																																													
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（適用）																																																																																													
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（適用）																																																																																													
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（適用）																																																																																													
操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																													
		・1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																													
		・炉心出口温度																																																																																													
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																													
		・加圧器水位																																																																																													
	原子炉圧力容器内の水位	・原子炉容器水位																																																																																													
	原子炉圧力容器への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（適用）																																																																																													
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																													
	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																																													
	補機冷却		・B-格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量																																																																																												
		・B-格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量																																																																																													
<p>監視計器一覧（14/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・原子炉水位計 ・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機冷却</td> <td></td> <td>・A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器への注水量	・A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	補機冷却		・A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計		・A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																													
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																																															
(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																												
		原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																												
		原子炉圧力容器への注水量	・A余熱除去流量計																																																																																												
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																												
	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																													
	補機冷却		・A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計																																																																																												
			・A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計																																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(15/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧（15/48）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.1(d)と同様。			<p>監視計器一覧（15/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>・ 消幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ B-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b. (c) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	電源	・ 消幹線1L電圧、2L電圧	・ 後志幹線1L電圧、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ B-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	操作	1.4.2.1(1) b. (c) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																		
(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																
		・ 1次冷却材圧力計																																																																
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																
	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）																																																																
	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																
・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																		
操作	1.4.2.1(d)と同様。																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																		
(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																
		・ 炉心出口温度																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																
	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																
	水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																
	電源	・ 消幹線1L電圧、2L電圧																																																																
		・ 後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																
・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																		
・ B-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																		
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																	
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																	
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																	
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																																	
操作	1.4.2.1(1) b. (c) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																														
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(15/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="6" style="width: 15%; text-align: center;">(D) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3" style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 20%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d)と同様。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(D) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	補機監視機能	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	操作	1.4.2.1(d)と同様。			<p style="text-align: center;">監視計器一覧（16/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">電源</td> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b. (d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">電源</td> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	電源	原子炉格納容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	操作	1.4.2.1(1) b. (d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	電源	原子炉格納容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	電源	・ 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	<p>【大飯】 設備の相違 （相違理由③）</p>
(D) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																												
				原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																												
		原子炉圧力容器内の水位		・ 加圧器水位計																																																													
		補機監視機能	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																													
			原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																													
	電源		・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																														
操作	1.4.2.1(d)と同様。																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																	
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																														
	電源	原子炉格納容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																														
		電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																														
	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																														
		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																														
	操作	1.4.2.1(1) b. (d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																															
	(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																													
原子炉圧力容器内の圧力			・ 1次冷却材圧力（広域）																																																														
原子炉圧力容器内の水位			・ 加圧器水位																																																														
電源		原子炉格納容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																														
		電源	・ 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																														

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧 (17/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（適用） </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（適用） 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） 	操作	1.4.2.1(1) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																														
(2) サポート系故障時の対応手順																														
a. 代替炉心注水																														
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） 																											
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																											
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 																											
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（適用） 																											
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） 																											
		操作	1.4.2.1(1) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																											

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
<p>監視計器一覧（16/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機冷却</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ B高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ B高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水（海水）通水」にて整備する。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合			i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	補機冷却	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ B高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・ B高圧注入ポンプ吐出圧力計	大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水（海水）通水」にて整備する。			<p>監視計器一覧（18/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>電源</td> <td>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ B-1A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>補機冷却</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td colspan="3">可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	電源	電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ B-1A、B、C1、C2、D母線電圧	補機冷却	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）	補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ出口圧力	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ出口圧力	可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合																																																																									
i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																						
	補機冷却	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																						
		電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																						
		補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																						
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																							
	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																							
	原子炉圧力容器内の注水量	・ B高圧注入流量計																																																																							
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																							
	補機監視機能	・ B高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																							
	大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水（海水）通水」にて整備する。																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合																																																																									
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																						
	電源	電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ B-1A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																						
		補機冷却	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）																																																																					
			補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ出口圧力																																																																					
		操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位		・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																						
	原子炉圧力容器への注水量		・ 高圧注入流量																																																																						
	原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																						
補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ出口圧力																																																																								
可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。																																																																									

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
監視計器一覧（17/48）					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目				
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合					
i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計		
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計		
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計		
	操作	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</div> 【大飯】 設備の相違 （相違理由⑥）
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）		
			・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		
		補機冷却	・ A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計		
・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計					
空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b. 「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。					

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																		
<p>監視計器一覧（18/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 454 712 1145"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">ii. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			ii. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計	操作	1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。		<p>監視計器一覧（19/61）</p> <table border="1" data-bbox="1384 491 1998 1161"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可能型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(2)b.(a)i.、「可能型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			i. 可能型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注流量	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）	操作	1.4.2.1(2)b.(a)i.、「可能型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																					
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																					
b. 代替再循環運転																																																																					
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																																																					
ii. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																		
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																		
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																		
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																		
		原子炉格納容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																		
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																		
		補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																		
		操作	1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。																																																																		
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																	
		1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																			
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																					
b. 代替再循環運転																																																																					
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																																																					
i. 可能型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																		
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																		
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																		
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																		
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注流量																																																																		
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																																		
		補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）																																																																		
		操作	1.4.2.1(2)b.(a)i.、「可能型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																		
<p>監視計器一覧 (6/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td rowspan="2">圧力抑制室水位</td> <td>原子炉水位 (SA燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉注水 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉注水 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉注水 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉注水 (SA広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉注水</td> <td>原子炉注水 (SA)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">圧力抑制室水位</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA広帯域)	電源の確保	圧力抑制室水位	原子炉水位 (SA燃料域)	原子炉注水	水源の確保	原子炉压力容器内の水位	原子炉注水 (狭帯域)	原子炉注水 (広帯域)	操作	原子炉压力容器内の圧力	原子炉注水 (燃料域)	原子炉注水 (SA広帯域)	補機監視機能	原子炉注水	原子炉注水 (SA)	残留熱除去系ポンプ出口流量	水源の確保	圧力抑制室水位	残留熱除去系ポンプ出口圧力	圧力抑制室水位	<p>監視計器一覧 (7/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (b) 低圧炉心スプレイス系電源復旧後の原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイス系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td rowspan="2">圧力抑制室水位</td> <td>原子炉水位 (SA燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉注水 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉注水 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉注水 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉注水 (SA広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉注水</td> <td>原子炉注水 (SA)</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイス系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">圧力抑制室水位</td> <td>低圧炉心スプレイス系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (b) 低圧炉心スプレイス系電源復旧後の原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイス系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA広帯域)	電源の確保	圧力抑制室水位	原子炉水位 (SA燃料域)	原子炉注水	水源の確保	原子炉压力容器内の水位	原子炉注水 (狭帯域)	原子炉注水 (広帯域)	操作	原子炉压力容器内の圧力	原子炉注水 (燃料域)	原子炉注水 (SA広帯域)	補機監視機能	原子炉注水	原子炉注水 (SA)	低圧炉心スプレイス系ポンプ出口流量	水源の確保	圧力抑制室水位	低圧炉心スプレイス系ポンプ出口圧力	圧力抑制室水位	<p>監視計器一覧 (20/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止</td> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">d. 復旧</td> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高帯域)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・ 代替格納容器スプレイスポンプ出口詰塞へ注水量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>・ 格納容器内循環ポンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順			c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止	電源	・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧	・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧	d. 復旧	電源	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	判断基準	・ 1次冷却材温度 (広域-高帯域)	・ 1次冷却材温度 (広域-低帯域)	電源	判断基準	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力 (広域)	補機監視機能	判断基準	・ 加圧器水位	・ 代替格納容器スプレイスポンプ出口詰塞へ注水量	水源の確保	判断基準	・ 格納容器内循環ポンプ水位 (広域)	・ 燃料取替用水ビット水位	電源	判断基準	・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧	・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧	補機監視機能	判断基準	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	操作	判断基準	・ 原子炉補機冷却水供給管流量	・ 原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)	補機監視機能	判断基準	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)	<p>【大阪】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊3号炉は、手順着手の判断基準の監視計器を整理している。 <p>【大阪】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																			
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉压力容器への注水																																																																																																																					
非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																			
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																			
非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																			
		原子炉水位 (SA広帯域)																																																																																																																			
電源の確保	圧力抑制室水位	原子炉水位 (SA燃料域)																																																																																																																			
		原子炉注水																																																																																																																			
水源の確保	原子炉压力容器内の水位	原子炉注水 (狭帯域)																																																																																																																			
		原子炉注水 (広帯域)																																																																																																																			
操作	原子炉压力容器内の圧力	原子炉注水 (燃料域)																																																																																																																			
		原子炉注水 (SA広帯域)																																																																																																																			
補機監視機能	原子炉注水	原子炉注水 (SA)																																																																																																																			
		残留熱除去系ポンプ出口流量																																																																																																																			
水源の確保	圧力抑制室水位	残留熱除去系ポンプ出口圧力																																																																																																																			
		圧力抑制室水位																																																																																																																			
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																			
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (b) 低圧炉心スプレイス系電源復旧後の原子炉压力容器への注水																																																																																																																					
非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																			
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																			
非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイス系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																			
		原子炉水位 (SA広帯域)																																																																																																																			
電源の確保	圧力抑制室水位	原子炉水位 (SA燃料域)																																																																																																																			
		原子炉注水																																																																																																																			
水源の確保	原子炉压力容器内の水位	原子炉注水 (狭帯域)																																																																																																																			
		原子炉注水 (広帯域)																																																																																																																			
操作	原子炉压力容器内の圧力	原子炉注水 (燃料域)																																																																																																																			
		原子炉注水 (SA広帯域)																																																																																																																			
補機監視機能	原子炉注水	原子炉注水 (SA)																																																																																																																			
		低圧炉心スプレイス系ポンプ出口流量																																																																																																																			
水源の確保	圧力抑制室水位	低圧炉心スプレイス系ポンプ出口圧力																																																																																																																			
		圧力抑制室水位																																																																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																			
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																																					
c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止	電源	・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧																																																																																																																			
		・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧																																																																																																																			
d. 復旧	電源	・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																																			
		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																																																			
(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	判断基準	・ 1次冷却材温度 (広域-高帯域)																																																																																																																			
		・ 1次冷却材温度 (広域-低帯域)																																																																																																																			
電源	判断基準	・ 炉心出口温度																																																																																																																			
		・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																			
補機監視機能	判断基準	・ 加圧器水位																																																																																																																			
		・ 代替格納容器スプレイスポンプ出口詰塞へ注水量																																																																																																																			
水源の確保	判断基準	・ 格納容器内循環ポンプ水位 (広域)																																																																																																																			
		・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																																			
電源	判断基準	・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧																																																																																																																			
		・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧																																																																																																																			
補機監視機能	判断基準	・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																																			
		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																																																			
操作	判断基準	・ 原子炉補機冷却水供給管流量																																																																																																																			
		・ 原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)																																																																																																																			
補機監視機能	判断基準	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量																																																																																																																			
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)																																																																																																																			
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (21/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高帯域)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・ A-格納容器再循環ポンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び冷却器補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> </tbody> </table> <p>1.4.2.1(2) b. (a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧			(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転	電源	・ 1次冷却材温度 (広域-高帯域)	・ 1次冷却材温度 (広域-低帯域)	補機冷却	判断基準	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力 (広域)	操作	判断基準	・ 加圧器水位	・ A-格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	補機監視機能	判断基準	・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧	・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧	水源の確保	判断基準	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	判断基準	・ A-高圧注入ポンプ及び冷却器補機冷却水流量	・ A-高圧注入ポンプ及び冷却器補機冷却水流量 (AM用)	操作	判断基準	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)	<p>【大阪】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。 																																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																			
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧																																																																																																																					
(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転	電源	・ 1次冷却材温度 (広域-高帯域)																																																																																																																			
		・ 1次冷却材温度 (広域-低帯域)																																																																																																																			
補機冷却	判断基準	・ 炉心出口温度																																																																																																																			
		・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																			
操作	判断基準	・ 加圧器水位																																																																																																																			
		・ A-格納容器再循環ポンプ水位 (広域)																																																																																																																			
補機監視機能	判断基準	・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧																																																																																																																			
		・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧																																																																																																																			
水源の確保	判断基準	・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																																			
		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																																																			
補機監視機能	判断基準	・ A-高圧注入ポンプ及び冷却器補機冷却水流量																																																																																																																			
		・ A-高圧注入ポンプ及び冷却器補機冷却水流量 (AM用)																																																																																																																			
操作	判断基準	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量																																																																																																																			
		・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)																																																																																																																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																									
<p>監視計器一覧（19/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器の温度</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度（SA）用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水戻り母管温度計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(D)a.「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(D)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			判断基準	原子炉圧力容器の温度	・炉心出口温度計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	最終ヒートシンクの確保	・可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度（SA）用）		・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計（CRT）		・原子炉補機冷却水戻り母管温度計（CRT）		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計		操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計		格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(D)a.「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(D)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。		<p>監視計器一覧（8/20）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水系（差設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書（設備別） 「復水移送ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウエル圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉格納容器下部温度</td> <td>原子炉格納容器下部温度 ドライウエル温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・原子炉格納容器下部空層気温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内空層気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/C）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>電源の確保</td> <td>4-9C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位 原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄フィン流量 （残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） （残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水系（差設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却			非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）	非常時操作手順書（設備別） 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）	原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力	判断基準	原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウエル温度	原子炉格納容器内の温度	・原子炉格納容器下部空層気温度	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空層気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/C）	操作	電源の確保	4-9C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域）	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）	補機監視機能	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄フィン流量 （残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） （残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量）	水源の確保	復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧（22/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 原子炉格納容器水素</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手順内の格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(1)a.「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a.「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 原子炉格納容器水素			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	最終ヒートシンクの確保	・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度		・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度		・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）		操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位		手順内の格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(1)a.「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a.「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																										
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																												
判断基準	原子炉圧力容器の温度	・炉心出口温度計																																																																																																										
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）																																																																																																										
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																										
	最終ヒートシンクの確保	・可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度（SA）用）																																																																																																										
		・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計（CRT）																																																																																																										
		・原子炉補機冷却水戻り母管温度計（CRT）																																																																																																										
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																																																																										
	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																									
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																									
原子炉格納容器内の水位		・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計																																																																																																										
		格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(D)a.「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(D)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。																																																																																																										
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																																										
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水系（差設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却																																																																																																												
非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）																																																																																																										
非常時操作手順書（設備別） 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																																																										
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力																																																																																																										
判断基準	原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウエル温度																																																																																																										
	原子炉格納容器内の温度	・原子炉格納容器下部空層気温度																																																																																																										
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空層気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/C）																																																																																																										
操作	電源の確保	4-9C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																										
	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域）																																																																																																										
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）																																																																																																										
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																																																										
補機監視機能	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄フィン流量 （残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） （残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量）																																																																																																										
	水源の確保	復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位																																																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																										
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 原子炉格納容器水素																																																																																																												
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度																																																																																																										
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）																																																																																																										
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																										
	最終ヒートシンクの確保	・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度																																																																																																										
		・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度																																																																																																										
		・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度																																																																																																										
	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）																																																																																																										
	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																									
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）																																																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																																									
原子炉格納容器内の水位		・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位																																																																																																										
		手順内の格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(1)a.「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a.「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。																																																																																																										

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

監視計器一覧(20/48)より抜粋して掲載

監視計器一覧(20/48)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			
a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)			
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計(広域)
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材低温側温度計(広域)
	操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ 炉心出口温度計
		補機監視機能	・ 1次冷却材圧力計
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計(広域)
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材低温側温度計(広域)
	操作	最終ヒートシンクの確保	・ 炉心出口温度計
		電源	・ 1次冷却材圧力計
		水源の確保	・ 蒸気発生器水位計(広域)
	操作	補機監視機能	・ 蒸気発生器水位計(狭域)
		水源の確保	・ 蒸気発生器補助給水流速計
操作	補機監視機能	・ 4-3(4)C1、C2、D1、D2母線電圧計	
操作	補機監視機能	・ 脱気器タンク水位計(CRT)	

監視計器一覧(9/20)

手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ(計器)
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順		
(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順		
a. 低圧代替注水		
(b) 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却		
非常時操作手順書(シビアアクシデント) 「注水ストラテジー」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA広帯域) 原子炉水位(SA燃料域)
非常時操作手順書(設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(SA)
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力
	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部雰囲気温度
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度(D/W) 格納容器内水素濃度(S/C)
	電源の確保	4-2C母線電圧 125V直流主母線2A電圧 125V直流主母線2B電圧 125V直流主母線2A-1電圧 125V直流主母線2B-1電圧
	水源の確保	圧力抑制室水位
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA広帯域) 原子炉水位(SA燃料域)
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(SA)
	原子炉圧力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量
	補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力
	水源の確保	圧力抑制室水位

監視計器一覧(23/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			
(1) フロントライン系故障時の対応手順			
a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)			
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側)
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度(広域-低温側)
	操作	水源の確保	・ 炉心出口温度
		補機監視機能	・ 1次冷却材圧力(広域)
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側)
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度(広域-低温側)
	操作	最終ヒートシンクの確保	・ 炉心出口温度
		電源	・ 1次冷却材圧力(広域)
		水源の確保	・ 蒸気発生器水位(広域)
	操作	補機監視機能	・ 蒸気発生器水位(狭域)
		水源の確保	・ 補助給水流速
操作	補機監視機能	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧	
操作	補機監視機能	・ 後志幹線1L電圧、2L電圧	
操作	補機監視機能	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	
操作	補機監視機能	・ 6-C1、C2、D母線電圧	
操作	補機監視機能	・ 脱気器タンク水位	

一：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																	
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; color: blue;">監視計器一覧(20/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="4" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・復水ビット水位計 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT） 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ビット水位計 			操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。	<p style="text-align: center;">監視計器一覧（10/20）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (c) 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジ-4」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウェル圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/C）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） 残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (c) 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却			非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力		原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/C）		電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域）	原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域）	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） 残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量	水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）	<p style="text-align: center;">監視計器一覧（24/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・補助給水ビット水位 </td> </tr> <tr> <td colspan="3">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>水源の確保</td> <td> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>水源の確保</td> <td> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>水源の確保</td> <td> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量 			水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・補助給水ビット水位 	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。			(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 			水源の確保	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(e) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 			水源の確保	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 			水源の確保	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	<p style="text-align: center; color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: center; color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: center; color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>
(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 																																																																																															
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 																																																																																															
				最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT） 																																																																																															
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ビット水位計 																																																																																																		
		操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																																																	
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																																		
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (c) 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却																																																																																																				
非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）																																																																																																		
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																																																		
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力																																																																																																		
	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度																																																																																																		
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/C）																																																																																																		
	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																		
	水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域）																																																																																																		
		原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域）																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																																																		
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） 残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量																																																																																																		
水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）																																																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																		
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																																																				
(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度 																																																																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量 																																																																																																	
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・補助給水ビット水位 																																																																																																	
「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																				
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 																																																																																																	
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 																																																																																																	
		水源の確保	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																	
(e) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 																																																																																																	
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 																																																																																																	
		水源の確保	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																	
(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 																																																																																																	
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 																																																																																																	
		水源の確保	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由		
監視計器一覧 (21/48)			監視計器一覧 (11/20)			監視計器一覧 (25/61)					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)			1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (4) ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」 非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」			1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)					
(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)		
		原子炉圧力容器内の圧力								原子炉圧力	
		原子炉圧力容器内への注水量								原子炉圧力	
		最終ヒートシンクの確保								原子炉格納容器内の温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度	
		補機監視機能								原子炉格納容器内の水素濃度 格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)	
	操作	—	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2B 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧							
	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器への注水量 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)	補機監視機能	水源の確保	
		原子炉圧力容器内の圧力									原子炉圧力
		最終ヒートシンクの確保									ろ過水タンク水位
		電源									ろ過水ポンプ出口圧力
操作		—									
—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。			—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。			—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p>監視計器一覧（22/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 574 716 1021"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(I) フロントライン系機能喪失時の手順等			c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	操作	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧（26/61）</p> <table border="1" data-bbox="1388 598 1993 981"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水量</td> </tr> <tr> <td colspan="2">余熱除去ポンプ吐出圧力</td> </tr> <tr> <td colspan="2">余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量	補機監視機能	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水量	余熱除去ポンプ吐出圧力		余熱除去ポンプ電流		操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																				
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																						
(I) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																						
c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																			
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																			
		原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																			
	操作	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																			
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																			
		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																				
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																						
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																						
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																			
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																			
		原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																			
	補機監視機能	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水量																																																			
		余熱除去ポンプ吐出圧力																																																				
		余熱除去ポンプ電流																																																				
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																					
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(23/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧(23/48)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計(広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">電源</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計(広域)	・ 1次冷却材低温側温度計(広域)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 復水ビット水位計	電源	補機監視機能	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)	操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧(27/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度(広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度(広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">電源</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 炉幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">1.4.2.2(1) a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧(28/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度(広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度(広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位(広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">電源</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td>・ 炉幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側)	・ 1次冷却材温度(広域-低温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力(広域)	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	水源の確保	・ 補助給水ビット水位	電源	補機監視機能	・ 炉幹線1L電圧、2L電圧	・ 後志幹線1L電圧、2L電圧	操作	1.4.2.2(1) a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	補機監視機能	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)	補機監視機能	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)			(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側)	・ 1次冷却材温度(広域-低温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力(広域)	最終ヒートシンクの確保	水源の確保	・ 蒸気発生器水位(広域)	・ 蒸気発生器水位(狭域)	電源	補機監視機能	・ 補助給水流量	・ 補助給水ビット水位	操作	1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	・ 炉幹線1L電圧、2L電圧	・ 後志幹線1L電圧、2L電圧	補機監視機能	補機監視機能	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)	補機監視機能	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)	<p style="text-align: center;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																						
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																																																																								
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																																																								
a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)																																																																																																																								
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計(広域)																																																																																																																						
		・ 1次冷却材低温側温度計(広域)																																																																																																																						
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																																																																						
		・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																						
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																																						
水源の確保	・ 復水ビット水位計																																																																																																																							
電源	補機監視機能	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																																																						
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)																																																																																																																						
操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)																																																																																																																						
		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																						
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																																																																																								
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																																								
a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)																																																																																																																								
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側)																																																																																																																						
		・ 1次冷却材温度(広域-低温側)																																																																																																																						
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																																																																																						
		・ 1次冷却材圧力(広域)																																																																																																																						
	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																																						
	水源の確保	・ 補助給水ビット水位																																																																																																																						
	電源	補機監視機能	・ 炉幹線1L電圧、2L電圧																																																																																																																					
			・ 後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																																																																					
	操作	1.4.2.2(1) a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																																					
			・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																																																					
補機監視機能	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																																						
		・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																																																						
補機監視機能	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																																																						
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)																																																																																																																						
補機監視機能	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																																																																						
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)																																																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																						
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																																																																																								
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																																								
a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)																																																																																																																								
(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側)																																																																																																																						
		・ 1次冷却材温度(広域-低温側)																																																																																																																						
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																																																																																						
		・ 1次冷却材圧力(広域)																																																																																																																						
	最終ヒートシンクの確保	水源の確保	・ 蒸気発生器水位(広域)																																																																																																																					
			・ 蒸気発生器水位(狭域)																																																																																																																					
	電源	補機監視機能	・ 補助給水流量																																																																																																																					
			・ 補助給水ビット水位																																																																																																																					
	操作	1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	・ 炉幹線1L電圧、2L電圧																																																																																																																					
			・ 後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																																																																					
補機監視機能	補機監視機能	・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																																						
		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																																																						
補機監視機能	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																																																						
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)																																																																																																																						
補機監視機能	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																																																																						
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)																																																																																																																						

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																							
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(23/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="6" style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2"> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 	補機監視機能	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 	操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。			<p style="text-align: center;">監視計器一覧（29/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2"> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2"> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2"> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		
(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																					
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																																					
		最終ヒートシンクの確保		<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 																																																						
		補機監視機能	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 																																																						
			電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																																						
	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 																																																							
操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																								
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																										
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 																																																				
	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） 																																																								
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 																																																									
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																									
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 																																																				
	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） 																																																								
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 																																																									
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																									
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 																																																				
	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） 																																																								
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 																																																									
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																									

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																										
<p>監視計器一覧（24/48）</p> <table border="1" data-bbox="98 478 716 1125"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。		<p>監視計器一覧（30/61）</p> <table border="1" data-bbox="1384 510 1998 1109"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b.「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b.「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																											
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合																																																													
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																													
b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																													
(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																										
		原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																										
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																										
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																										
	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																										
		操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。																																																										
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																									
		1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順																																																											
		(2) サポート系故障時の対応手順																																																											
b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																													
(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																										
		原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																										
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																																										
		電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																										
	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																										
		操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b.「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。																																																										

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																										
<p>監視計器一覧（25/48）</p> <table border="1" data-bbox="98 501 716 1098"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a、「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	余熱除去ポンプ吐出圧力計	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a、「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧（31/61）</p> <table border="1" data-bbox="1384 523 2002 1098"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注込流量</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>電源</td> <td>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ B-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a、「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注込流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	電源	電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ B-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a、「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																											
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																													
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																													
c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																										
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																											
	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																											
	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																										
		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																										
		余熱除去ポンプ吐出圧力計	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																										
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a、「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																											
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																										
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																													
(2) サポート系故障時の対応手順																																																													
c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																										
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注込流量																																																										
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																																											
	電源	電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ B-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																										
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																										
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a、「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																											

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧 (32/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: middle;">(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消灯線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM 用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却前水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却前水流量（AM 用） </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			d. 復旧			(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消灯線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM 用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却前水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却前水流量（AM 用） 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 	操作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。		<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・泊は、女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																		
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順																																				
(2) サポート系故障時の対応手順																																				
d. 復旧																																				
(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																	
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 																																	
	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 																																		
	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消灯線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧 																																	
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM 用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却前水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却前水流量（AM 用） 																																
			水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 																																
			操作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。																																

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由		
監視計器一覧 (26/48)			監視計器一覧 (12/20)			監視計器一覧 (33/61)					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水			1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ) による原子炉圧力容器への注水			1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 炉心注水					
(a) A、B 赤てんポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	電源の確保	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内の圧力	補機監視機能		
		・1次冷却材高温側温度計 (広域)								・原子炉水位 (広帯域)	・1次冷却材温度 (広域-高温側)
		・1次冷却材低温側温度計 (広域)								・原子炉水位 (広帯域)	・1次冷却材温度 (広域-低温側)
		・炉心出口温度計								・原子炉水位 (燃料域)	・炉心出口温度
		・1次冷却材圧力計								・原子炉水位 (SA 広帯域)	・加圧器水位
		・加圧器水位計								・原子炉水位 (SA 燃料域)	・1次冷却系統ループ水位
	原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却系統水位計 (CRT)	・低圧注入流量								
	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計	・燃料取替用水ビット水位								
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	・ほう酸タンク水位計	・1次系統水タンク水位計 (CRT)	・ほう酸タンク水位						
		・復水ビット水位計	・1次冷却材高温側温度計 (広域)	・1次冷却材低温側温度計 (広域)	・ほう酸タンク水位						
		・ほう酸タンク水位計	・炉心出口温度計	・1次系統水タンク水位	・1次系統水タンク水位						
		・1次系統水タンク水位計 (CRT)	・加圧器水位計	・余熱除去ポンプ出口圧力	・余熱除去ポンプ電流						
補機監視機能		・余熱除去ポンプ吐出圧力計	・1次冷却材高温側温度計 (広域)	・1次冷却材低温側温度計 (広域-高温側)							
・1次冷却材高温側温度計 (広域)		・1次冷却材低温側温度計 (広域)	・炉心出口温度	・1次冷却材温度 (広域-低温側)							
操作	未臨界の維持又は監視	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内の圧力	補機監視機能		
		・1次冷却材高温側温度計 (広域)								・原子炉水位 (広帯域)	・1次冷却材温度 (広域-高温側)
		・1次冷却材低温側温度計 (広域)								・原子炉水位 (広帯域)	・1次冷却材温度 (広域-低温側)
		・炉心出口温度計								・原子炉水位 (燃料域)	・炉心出口温度
		・加圧器水位計								・原子炉水位 (SA 広帯域)	・加圧器水位
		・1次冷却系統水位計 (CRT)								・原子炉水位 (SA 燃料域)	・1次冷却系統ループ水位
	原子炉圧力容器内への注水量	・充てん水流量計	・燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位							
	水源の確保	・出力領域中性子束計	・中間領域中性子束計	・中性子源領域中性子束計	・ほう酸タンク水位						
		・中間領域中性子束計	・中性子源領域中性子束計	・中間領域起動率計	・1次系統水タンク水位						
		・中性子源領域中性子束計	・中間領域起動率計	・中性子源領域起動率計	・充てんタンク圧力						
		・燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計	・ほう酸タンク水位						
		・復水ビット水位計	・ほう酸タンク水位計	・ほう酸タンク水位計	・1次系統水タンク水位						
・ほう酸タンク水位計		・1次系統水タンク水位計 (CRT)	・1次系統水タンク水位計 (CRT)	・1次系統水タンク水位							

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																													
<p>監視計器一覧（27/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 充てん流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(c) 蓄圧タンクによる炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計（CRT）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			a. 炉心注水			(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	(c) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計（CRT）	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉压力容器内の注水量		水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計（CRT）	<p>監視計器一覧（13/20）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（プラント停止中） 「前線熱除去機能喪失」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水取用）</td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）</td> </tr> <tr> <td></td> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水取用）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器への注水量 （残留熱除去系洗浄ライン流量） （残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保 淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			b. 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書（プラント停止中） 「前線熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水取用）	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）		操作	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水取用）		原子炉压力容器内の圧力 原子炉圧力（SA）		原子炉压力容器への注水量 （残留熱除去系洗浄ライン流量） （残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量）		水源の確保 淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）	<p>監視計器一覧（34/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 高圧注入ポンプによる原子炉压力容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 炉心注水			(b) 高圧注入ポンプによる原子炉压力容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	補機監視機能	・ 充てんライン圧力	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由⑦)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																														
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																																
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																
a. 炉心注水																																																																																																																																
(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																													
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																													
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																													
		原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん流量計																																																																																																																													
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																													
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																													
		原子炉压力容器内の圧力																																																																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																													
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計																																																																																																																													
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																													
(c) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																													
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																													
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																													
		原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																																													
		水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計（CRT）																																																																																																																													
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																													
		原子炉压力容器内の圧力																																																																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																													
		原子炉压力容器内の注水量																																																																																																																														
		水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計（CRT）																																																																																																																													
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																																																														
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																
a. 低圧代替注水																																																																																																																																
b. 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉压力容器への注水																																																																																																																																
非常時操作手順書（プラント停止中） 「前線熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水取用）																																																																																																																														
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」		電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																														
	水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）																																																																																																																														
	操作	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水取用）																																																																																																																														
		原子炉压力容器内の圧力 原子炉圧力（SA）																																																																																																																														
		原子炉压力容器への注水量 （残留熱除去系洗浄ライン流量） （残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量）																																																																																																																														
		水源の確保 淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）																																																																																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																														
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																
a. 炉心注水																																																																																																																																
(b) 高圧注入ポンプによる原子炉压力容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																													
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																													
		原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量																																																																																																																													
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																													
		補機監視機能	・ 充てんライン圧力																																																																																																																													
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																													
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																													
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																																																																													
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																													
		補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																													
<p>大阪3 / 4号炉との比較対象なし</p>																																																																																																																																

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
監視計器一覧（28/48）		監視計器一覧（14/20）		監視計器一覧（35/61）		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水		1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水 (c) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水		1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水		
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）		原子炉压力容器内の水位	・1次冷却系統ループ水位
		原子炉压力容器内の注水量	・高圧注入流量計		原子炉压力容器への注水量	・高圧注入流量
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・高圧注入ポンプ出口圧力
	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度
		原子炉压力容器内の圧力	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）		原子炉压力容器内の圧力	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位
		原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計		原子炉压力容器への注水量	・低圧注入流量
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・高圧注入ポンプ出口圧力
		(b) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準		原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計
原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計			原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	
原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）			原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位	
原子炉压力容器内の注水量	・蓄圧タンク水位計（CRT） ・蓄圧タンク圧力計（CRT）			原子炉压力容器への注水量	・高圧注入流量	
水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計			水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・高圧注入ポンプ出口圧力	
操作	原子炉压力容器内の温度		・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度
	原子炉压力容器内の圧力		・1次冷却材圧力計		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）
	原子炉压力容器内の水位		・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位
	原子炉压力容器内の注水量		・蓄圧タンク水位計（CRT） ・蓄圧タンク圧力計（CRT）		原子炉压力容器への注水量	・高圧注入流量
	水源の確保		・燃料取替用水ピット水位計		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・高圧注入ポンプ出口圧力
1.4.2.1(1)(b.(a))と同様。		1.4.2.1(1)(b.(a))と同様。		1.4.2.1(1)(b.(a))「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																									
<p>監視計器一覧（29/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機軸喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(D)b.(b)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(d) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(D)b.(c)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機軸喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計	操作	1.4.2.1(D)b.(b)と同様。		(d) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）	操作	1.4.2.1(D)b.(c)と同様。		<p>監視計器一覧（15/20）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（プラント停止中） 「崩壊熱除去機軸喪失」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水張用）</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（設備別） 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」</td> <td>電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 直流母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水張用）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量） （残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>ろ過水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書（プラント停止中） 「崩壊熱除去機軸喪失」等	判断基準	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水張用）	非常時操作手順書（設備別） 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 直流母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	ろ過水タンク水位		操作	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水張用）		原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力 原子炉圧力（SA）			残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量） （残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）		補機監視機能	ろ過水ポンプ出口圧力		水源の確保	ろ過水タンク水位	<p>監視計器一覧（36/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(c) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A/B用）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b. (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(d) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b. (c) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(c) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A/B用）	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位	操作	1.4.2.1(1) b. (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(d) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ ろ過水タンク水位	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	操作	1.4.2.1(1) b. (c) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																										
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																												
(1) フロントライン系機軸喪失時の手順等																																																																																																																												
b. 代替炉心注水																																																																																																																												
(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																										
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																										
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計																																																																																																																										
	操作	1.4.2.1(D)b.(b)と同様。																																																																																																																										
(d) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																										
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																										
	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）																																																																																																																										
	操作	1.4.2.1(D)b.(c)と同様。																																																																																																																										
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																																																										
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																												
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																												
a. 低圧代替注水																																																																																																																												
(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水																																																																																																																												
非常時操作手順書（プラント停止中） 「崩壊熱除去機軸喪失」等	判断基準	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水張用）																																																																																																																										
非常時操作手順書（設備別） 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」		電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 直流母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																										
	水源の確保	ろ過水タンク水位																																																																																																																										
	操作	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水張用）																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																																																																										
		残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量） （残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）																																																																																																																										
	補機監視機能	ろ過水ポンプ出口圧力																																																																																																																										
	水源の確保	ろ過水タンク水位																																																																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																										
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																												
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																												
b. 代替炉心注水																																																																																																																												
(c) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																										
	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A/B用）																																																																																																																										
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位																																																																																																																										
	操作	1.4.2.1(1) b. (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																										
(d) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																										
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ ろ過水タンク水位																																																																																																																										
	水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																																																										
	操作	1.4.2.1(1) b. (c) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																										

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																							
<p>監視計器一覧 (30/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 運転停止中の場合 (I) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の注水量 ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作 1.4.2.1(I)b.(d)と同様。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (I) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計		(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計			原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)			原子炉圧力容器内の注水量 ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計			操作 1.4.2.1(I)b.(d)と同様。		<p>監視計器一覧 (16/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (I) フロントライン系故障時の対応手順 c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 (a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水運用)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流1母線 2A 電圧 125V 直流1母線 2B 電圧 125V 直流1母線 2A-1 電圧 125V 直流1母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水運用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器温度 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (I) フロントライン系故障時の対応手順 c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 (a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水運用)	非常時操作手順書 (設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度		電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流1母線 2A 電圧 125V 直流1母線 2B 電圧 125V 直流1母線 2A-1 電圧 125V 直流1母線 2B-1 電圧		補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量		操作	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水運用)		補機監視機能	原子炉圧力容器温度 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度	<p>監視計器一覧 (37/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (I) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作 1.4.2.1(I)b.(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(f) 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作 1.4.2.1(I)b.(e)「代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作 1.4.2.1(I)b.(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p> <p style="text-align: right;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (I) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度			原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域)			原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位			原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量			操作 1.4.2.1(I)b.(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(f) 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度			原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位			原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量			操作 1.4.2.1(I)b.(e)「代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度			原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位			原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量			操作 1.4.2.1(I)b.(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																								
1.4.2.3 運転停止中の場合 (I) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																									
(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計																																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																									
	原子炉圧力容器内の注水量 ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																									
	操作 1.4.2.1(I)b.(d)と同様。																																																																																									
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																								
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (I) フロントライン系故障時の対応手順 c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 (a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱																																																																																										
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水運用)																																																																																								
非常時操作手順書 (設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度																																																																																								
	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流1母線 2A 電圧 125V 直流1母線 2B 電圧 125V 直流1母線 2A-1 電圧 125V 直流1母線 2B-1 電圧																																																																																								
	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量																																																																																								
	操作	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水運用)																																																																																								
	補機監視機能	原子炉圧力容器温度 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度																																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																								
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (I) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水																																																																																										
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																									
	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																									
	原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量																																																																																									
	操作 1.4.2.1(I)b.(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																									
(f) 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																									
	原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量																																																																																									
	操作 1.4.2.1(I)b.(e)「代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																									
(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																									
	原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量																																																																																									
	操作 1.4.2.1(I)b.(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																									

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由		
監視計器一覧 (31/48)								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器						
1.4.2.3 運転停止中の場合								
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等								
e. 再循環運転								
(a) 高压注入ポンプによる高压再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計					
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計					
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）					
		原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計					
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）					
	操作	補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計					
		原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計					
		原子炉压力容器内の水位	・原子炉水位計					
		原子炉压力容器内の注水量	・高压注入流量計					
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）					
補機監視機能	・高压注入ポンプ吐出圧力計							
監視計器一覧 (32/48)								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器						
1.4.2.3 運転停止中の場合								
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等								
d. 代替再循環運転								
(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計					
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計					
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）					
		原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計					
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）					
	操作	補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計					
		1.4.2.1(1)d.(a)と同様。						
		監視計器一覧 (38/61)						
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
		1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順						
(1) フロントライン系故障時の対応手順								
e. 再循環運転								
(a) 高压注入ポンプによる高压再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度					
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）					
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位					
		原子炉压力容器への注水量	・低圧注入流量					
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）					
	操作	補機監視機能	・燃料取排水用バルブ水位 ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流					
		原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度					
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位					
		原子炉压力容器への注水量	・高压注入流量					
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）					
補機監視機能	・高压注入ポンプ出口圧力							
d. 代替再循環運転								
(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度					
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）					
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位					
		原子炉压力容器への注水量	・高压注入流量					
		原子炉格納容器内の水位	・B-格納容器再循環サンプ水位（広域）					
	操作	補機監視機能	・高压注入ポンプ出口圧力					
		1.4.2.1(1)d.(a)「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転」の操作手順と同様である。						

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
監視計器一覧（33/48）						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.4.2.3 運転停止中の場合						
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等						
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）						
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）
		原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計		原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量
		水源の確保	・復水ビット水位計		水源の確保	・補助給水ビット水位
		補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計		補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流
操作	—	—	操作	—	—	
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）
		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量
		電源	・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計		電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧
		水源の確保	・脱気器タンク水位計（CRT）		水源の確保	・6-C1、C2、D母線電圧 ・脱気器タンク水位
操作	—	—	操作	—	—	
—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。						
監視計器一覧（39/61）						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順						
(1) フロントライン系故障時の対応手順						
e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）						
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）
		原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量		原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量
		水源の確保	・補助給水ビット水位		水源の確保	・補助給水ビット水位
		補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流		補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流
操作	—	—	操作	—	—	
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）
		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量
		電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧		電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧
		水源の確保	・6-C1、C2、D母線電圧 ・脱気器タンク水位		水源の確保	・6-C1、C2、D母線電圧 ・脱気器タンク水位
操作	—	—	操作	—	—	
—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																	
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; color: blue;">監視計器一覧(34/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧(34/48)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">最終ヒートシンクの確保</td> <td>主蒸気圧力計</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>蒸気発生器主給水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">操作</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の圧力	最終ヒートシンクの確保	主蒸気圧力計	蒸気発生器水位計（広域）	蒸気発生器水位計（狭域）	水源の確保	蒸気発生器主給水流量計（CRT）	蒸気発生器水張り流量計（CRT）	操作			「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。			<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉</p>	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(40/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">最終ヒートシンクの確保</td> <td>主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>主給水ライン流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>蒸気発生器水張り流量</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">操作</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">最終ヒートシンクの確保</td> <td>蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>補助給水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(e) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">最終ヒートシンクの確保</td> <td>蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>補助給水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">最終ヒートシンクの確保</td> <td>蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>補助給水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の圧力	最終ヒートシンクの確保	主蒸気ライン圧力	蒸気発生器水位（広域）	主給水ライン流量	水源の確保	蒸気発生器水張り流量	補助給水ビット水位	操作			「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。			(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の圧力	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位（広域）	蒸気発生器水位（狭域）	補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。				(e) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の圧力	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位（広域）	蒸気発生器水位（狭域）	補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。				(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の圧力	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位（広域）	蒸気発生器水位（狭域）	補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。				<p style="text-align: center; vertical-align: middle;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: center; vertical-align: middle;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: center; vertical-align: middle;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																		
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																				
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																				
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																																																				
(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																		
	最終ヒートシンクの確保	主蒸気圧力計																																																																																																		
		蒸気発生器水位計（広域）																																																																																																		
		蒸気発生器水位計（狭域）																																																																																																		
水源の確保	蒸気発生器主給水流量計（CRT）																																																																																																			
	蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																																																																			
操作																																																																																																				
「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																		
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																				
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																				
e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																																																				
(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																		
	最終ヒートシンクの確保	主蒸気ライン圧力																																																																																																		
		蒸気発生器水位（広域）																																																																																																		
		主給水ライン流量																																																																																																		
水源の確保	蒸気発生器水張り流量																																																																																																			
	補助給水ビット水位																																																																																																			
操作																																																																																																				
「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																				
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																		
	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位（広域）																																																																																																		
		蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																		
		補助給水流量																																																																																																		
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																			
(e) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																		
	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位（広域）																																																																																																		
		蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																		
		補助給水流量																																																																																																		
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																			
(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																		
	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位（広域）																																																																																																		
		蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																		
		補助給水流量																																																																																																		
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																				
<p>監視計器一覧(34/48)より抜粋して掲載</p> <p>1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> <td>・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	判断基準	監視項目	監視計器	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計		・ 蒸気発生器水位計（広域）	・ 蒸気発生器水位計（狭域）	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計		水源の確保			操作	—	—		<p>監視計器一覧（41/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水張り流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>判断基準</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(b) タービンバイパス弁による蒸気放出</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>・ 主蒸気ライン圧力 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水張り流量 ・ 復水器真空（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 機志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	最終ヒートシンクの確保	判断基準	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	蒸気発生器水位	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水張り流量	補機監視機能	判断基準	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	—	—	(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	最終ヒートシンクの確保	判断基準	主蒸気ライン圧力	・ 主蒸気ライン圧力 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水張り流量 ・ 復水器真空（広域）	電源	・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 機志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D 母線電圧	操作	—	—	
判断基準	監視項目	監視計器																																																																					
原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																					
	・ 炉心出口温度計																																																																						
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																						
原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																						
	・ 蒸気発生器水位計（広域）	・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																																					
最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）																																																																					
	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																																						
	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																						
水源の確保																																																																							
操作	—	—																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																																							
(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																				
最終ヒートシンクの確保	判断基準	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																				
		蒸気発生器水位	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水張り流量																																																																				
補機監視機能	判断基準	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																					
操作	—	—																																																																					
(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																				
最終ヒートシンクの確保	判断基準	主蒸気ライン圧力	・ 主蒸気ライン圧力 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水張り流量 ・ 復水器真空（広域）																																																																				
		電源	・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 機志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D 母線電圧																																																																				
操作	—	—																																																																					
<p>監視計器一覧(35/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧（35/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 主蒸気圧力計</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）</td> <td>・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 復水器真空度計（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計		最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気圧力計	・ 蒸気発生器水位計（広域）	・ 蒸気発生器水位計（狭域）	・ 蒸気発生器補助給水流量計	電源	・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）	・ 復水器真空度計（広域）		操作	—	—																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																							
原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																					
	・ 炉心出口温度計																																																																						
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																						
最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気圧力計	・ 蒸気発生器水位計（広域）																																																																					
	・ 蒸気発生器水位計（狭域）	・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																					
電源	・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																																					
	・ 復水器真空度計（広域）																																																																						
操作	—	—																																																																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																							
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(35/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="6" style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 75%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </table>	g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 	操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧（42/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手順</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系統降時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="width: 30%; vertical-align: middle;">g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="5" style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手順	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系統降時の対応手順			g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																					
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																					
		原子炉圧力容器内への注水量		<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 																																						
		操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） 																																						
			補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																						
	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																									
対応手順	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																								
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																										
(1) フロントライン系統降時の対応手順																																										
g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																							
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 																																							
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 																																							
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 																																							
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																								

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
監視計器一覧（36/48）						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水						
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計			
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計			
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）			
		原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計			
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計			
		電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計			
	操作	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計			
		原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計			
		原子炉压力容器内の圧力	・加圧器水位計			
		原子炉压力容器内の水位	・1次冷却系統水位計（CRT）			
		原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計			
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計			
監視計器一覧（43/61）						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水						
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度			
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）			
		原子炉压力容器内の水位	・1次冷却系統ループ水位			
		原子炉压力容器への注水量	・代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量 ・燃料取替用水ピット水位			
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位			
		電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計			
	操作	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計			
		原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度			
		原子炉压力容器内の圧力	・加圧器水位			
		原子炉压力容器内の水位	・1次冷却系統ループ水位			
		原子炉压力容器への注水量	・低圧注入流量			
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>監視計器一覧（37/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 494 716 1101"> <thead> <tr> <th data-bbox="100 494 347 566">対応手段</th> <th data-bbox="347 494 481 566">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="481 494 716 566">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 566 716 598">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 598 716 622">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 622 716 646">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 646 313 1101" rowspan="7">(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水</td> <td data-bbox="313 646 481 710" rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="481 646 716 670">・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 670 716 694">・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 694 716 718">・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 718 481 758">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="481 718 716 758">・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 758 481 805">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="481 758 716 805">・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 805 481 837">水源の確保</td> <td data-bbox="481 805 716 837">・蓄圧タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 837 481 885">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="481 837 716 885">・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 885 481 933">電源</td> <td data-bbox="481 885 716 933">・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 933 481 1037" rowspan="2">補機監視機能</td> <td data-bbox="481 933 716 981">原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 981 716 1037">原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 1037 481 1101">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="481 1037 716 1101">1.4.2.3(1)a.(c)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却系統水位計（CRT）	水源の確保	・蓄圧タンク水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.3(1)a.(c)と同様。			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑦）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																		
1.4.2.3 運転停止中の場合																																				
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																				
a. 代替炉心注水																																				
(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																		
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																		
		・炉心出口温度計																																		
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																		
	原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却系統水位計（CRT）																																		
	水源の確保	・蓄圧タンク水位計（CRT）																																		
	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計																																		
電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																			
補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																			
	原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																			
操作	1.4.2.3(1)a.(c)と同様。																																			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																					
<p>監視計器一覧（38/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)a.(b)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。		(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）		原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		操作	1.4.2.1(2)a.(b)と同様。			<p>監視計器一覧（44/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水ビット水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(b) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位		原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量		電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧		・ 後志幹線1L電圧、2L電圧		・ 甲母線電圧、乙母線電圧		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位		・ 補助給水ビット水位		操作	1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																						
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																																																								
(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																					
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計																																																																																																					
	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																					
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計																																																																																																					
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																						
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																						
	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																																						
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																																																						
		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																																						
	操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。																																																																																																						
(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																					
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																					
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																						
	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																						
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計																																																																																																						
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																																																						
		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																																						
	操作	1.4.2.1(2)a.(b)と同様。																																																																																																						
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																					
	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																																																							
(b) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																					
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																					
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																						
	原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																						
	電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧																																																																																																						
		・ 後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																																																						
		・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																						
		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																																						
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																																						
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																																																						
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																																																								
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																																																																								
水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																							
	・ 補助給水ビット水位																																																																																																							
操作	1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																							

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由		
監視計器一覧（39/48）											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器									
1.4.2.3 運転停止中の場合											
(2) サポート系機能喪失時の手順等											
a. 代替炉心注水											
(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計								
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計								
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）								
		原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計								
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計								
		電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計								
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）								
		操作	1.4.2.1(2)a.(c)と同様。								
		監視計器一覧（40/48）									
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器							
1.4.2.3 運転停止中の場合											
(2) サポート系機能喪失時の手順等											
a. 代替炉心注水											
(f) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計								
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計								
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）								
		原子炉圧力容器内への注水量	・充てん水流量計								
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計								
		電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計								
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）								
		操作	1.4.2.1(2)a.(d)と同様。								
		監視計器一覧（45/61）									
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器							
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順											
(2) サポート系故障時の対応手順											
a. 代替炉心注水											
(e) B充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度								
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）								
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位								
		原子炉圧力容器への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量								
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位								
		操作	1.4.2.1(2)a.、(b)「B充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。								
		(f) B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度						
				原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）						
				原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位						
				原子炉圧力容器への注水量	・充てん流量						
電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧										
補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量（A用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（B用） ・充てんライン圧力										
水源の確保	・燃料取替用水ピット水位										
操作	1.4.2.1(2)a.、(c)「B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

監視計器一覧(41/48)より抜粋して掲載

監視計器一覧（41/48）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			
(g) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）
	原子炉压力容器への注水量	・ A余熱除去流量計	
	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）	
	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	
操作	1.4.2.1(1)b.(e)と同様。		

監視計器一覧（46/61）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			
(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位
	原子炉压力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（適用）	
	電源	電圧	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧
			・ 後志幹線1L電圧、2L電圧
			・ 甲母線電圧、乙母線電圧
			・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧
	補機監視機能	流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（適用）
			・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却前水流量
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却後水流量（適用）			
水源の確保	・ ろ過水タンク水位		
操作	1.4.2.1(1)b.(e)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																											
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(41/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width: 15%; text-align: center;">(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="5" style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(i)b.(d)と同様。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） 	原子炉压力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 			補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 			操作	1.4.2.1(i)b.(d)と同様。		<p style="text-align: center;">監視計器一覧（47/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(f) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 </td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） </td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>電圧</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(i)b.(d)「海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(g) 代替給水ビットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 ・ B-格納容器スプレイ流量 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td></td> <td>1.4.2.1(i)b.(e)「代替給水ビットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(f) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 	電源	原子炉压力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） 		電圧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） 	操作	1.4.2.1(i)b.(d)「海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	(g) 代替給水ビットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 ・ B-格納容器スプレイ流量 	原子炉压力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 	操作		1.4.2.1(i)b.(e)「代替給水ビットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。				<p style="text-align: center; color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																									
				原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																																									
				原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） 																																																									
				原子炉压力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計 																																																									
	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																																												
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 																																																											
		操作	1.4.2.1(i)b.(d)と同様。																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																												
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																														
(f) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																																											
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																																											
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 																																																											
	電源	原子炉压力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） 																																																											
			電圧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 																																																										
			補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） 																																																									
				操作	1.4.2.1(i)b.(d)「海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																									
	(g) 代替給水ビットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																																										
			原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 ・ B-格納容器スプレイ流量 																																																										
			原子炉压力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 																																																										
操作			1.4.2.1(i)b.(e)「代替給水ビットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																											

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧（48/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系統故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">(h) 原本槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系統故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(h) 原本槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	操作	原子炉圧力容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	<p>【大飯】 設備の相違 （相違理由③）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																				
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																						
(2) サポート系統故障時の対応手順																						
a. 代替炉心注水																						
(h) 原本槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																				
		原子炉圧力容器内の水位																				
	操作	原子炉圧力容器への注水量																				
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																														
<p>監視計器一覧（42/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 510 716 1085"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合			i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	電源	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計	操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。			<p>監視計器一覧（49/61）</p> <table border="1" data-bbox="1388 510 1993 1133"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 循環線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び前冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び前冷却器補機冷却水流量（AV用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AV用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	電源	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 循環線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び前冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び前冷却器補機冷却水流量（AV用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AV用）	操作	1.4.2.1(2)b.(a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																	
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																	
b. 代替再循環運転																																																																	
(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合																																																																	
i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																														
	電源	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																														
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																														
	操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																	
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																	
b. 代替再循環運転																																																																	
(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合																																																																	
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																														
	電源	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 循環線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																														
		補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び前冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び前冷却器補機冷却水流量（AV用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AV用）																																																														
	操作	1.4.2.1(2)b.(a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																															

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧（43/48）				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合				
i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	大飯3/4号炉との比較対象なし
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）	
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）		
	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）		
		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		
	補機冷却	・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・A余熱除去ポンプ冷却水流量計		
操作	1.4.2.1(2)b.(b)と同様。			

【大飯】
 設備の相違
 （相違理由⑥）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
<p>監視計器一覧（44/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">ii. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計</td> <td>・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計</td> <td>・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			ii. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） 	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉压力容器内の注水量	・ A 余熱除去流量計	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	補機冷却	・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計	・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計	・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計	・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計	操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。			<p>監視計器一覧（50/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプを用いた A-高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機冷却</td> <td>・ A-高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</td> <td>・ A-高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ A-高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> <td>・ A-高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ A-高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> <td>・ A-高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a) i. 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプを用いた A-高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）	補機冷却	・ A-高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	・ A-高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用）	・ A-高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量	・ A-高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）	・ A-高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量	・ A-高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）	操作	1.4.2.1(2)b.(a) i. 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																	
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																			
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																			
b. 代替再循環運転																																																																																			
(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																																																																			
ii. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																																																
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） 																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																
		原子炉压力容器内の注水量	・ A 余熱除去流量計																																																																																
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																															
			原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																															
		補機冷却	・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計	・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計																																																																															
			・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計	・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計																																																																															
		操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。																																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																	
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																			
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																			
b. 代替再循環運転																																																																																			
(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																																																																			
i. 可搬型大型送水ポンプを用いた A-高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																																																																
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																															
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																																															
		補機冷却	・ A-高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	・ A-高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																																															
			・ A-高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量	・ A-高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）																																																																															
			・ A-高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量	・ A-高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）																																																																															
		操作	1.4.2.1(2)b.(a) i. 「可搬型大型送水ポンプを用いた A-高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(45/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧（45/48）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	・ 復水ピット水位計	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。			<p>監視計器一覧（51/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>・ 補給給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1)a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧（52/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・ 補給給水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 補給給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	・ 補給給水ピット水位	水源の確保	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧	・ 後志幹線1L電圧、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	電源	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 余熱除去ポンプ電流	操作	1.4.2.2(1)a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力（広域）	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域）	・ 蒸気発生器水位（広域）	水源の確保	・ 補給給水流量	・ 補給給水ピット水位	電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧	・ 後志幹線1L電圧、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																											
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																																													
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																																											
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																																											
		・ 1次冷却材圧力計																																																																																											
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																											
		・ 復水ピット水位計																																																																																											
電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																												
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																																												
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																												
	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																												
操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。																																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																											
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																																													
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																											
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																																																											
		・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																											
	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																											
		・ 補給給水ピット水位																																																																																											
	水源の確保	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧																																																																																											
		・ 後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																																											
		・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																											
		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																											
電源	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																												
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																																												
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																																												
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																																																												
	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																												
補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																												
	・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																												
操作	1.4.2.2(1)a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																											
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																																													
(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																											
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																																																											
		・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																											
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																																											
		・ 蒸気発生器水位（広域）																																																																																											
	水源の確保	・ 補給給水流量																																																																																											
		・ 補給給水ピット水位																																																																																											
	電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧																																																																																											
		・ 後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																																											
・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																													
・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																													
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																												
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																																												
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																																												
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																																																												
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																																												
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																												

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																							
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(45/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="6" style="width: 15%; vertical-align: top;">(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ビット水位計 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="padding: 5px;">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ビット水位計 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。					<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧（53/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手順</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="padding: 5px;">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2" style="padding: 5px;">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2" style="padding: 5px;">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2" style="padding: 5px;">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手順	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		<p style="color: red; text-align: center;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="color: red; text-align: center;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>
(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																					
				原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																																					
		最終ヒートシンクの確保		<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 																																																						
		操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ビット水位計 																																																						
			電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																																						
	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 																																																							
「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																										
対応手順	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																								
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																										
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 																																																				
	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 																																																								
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 																																																									
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																									
(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 																																																				
	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 																																																								
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 																																																									
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																									
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 																																																				
	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 																																																								
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 																																																									
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																									

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																												
<p>監視計器一覧（46/48）</p> <table border="1" data-bbox="96 475 716 1121"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の炉心出口温度計</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉压力容器内の炉心出口温度計	・炉心出口温度計	・1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（狭域）	・蒸気発生器水位計（広域）	・蒸気発生器補助給水流量計	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。			<p>監視計器一覧（54/61）</p> <table border="1" data-bbox="1382 523 2000 1121"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出</td> <td rowspan="3">原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td>・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>・消幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b.「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低温側）	・炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器への注水量	・低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（狭域）	・蒸気発生器水位（広域）	電源	・補助給水流量	・消幹線1L電圧、2L電圧	・後志幹線1L電圧、2L電圧	補機監視機能	・甲母線電圧、乙母線電圧	・6-A、B、C1、C2、D母線電圧	・原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量（AM用）	操作	・余熱除去ポンプ出口圧力	・余熱除去ポンプ電流	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b.「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																													
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																															
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																															
d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																															
(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																													
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																													
	原子炉压力容器内の炉心出口温度計	・炉心出口温度計																																																																													
		・1次冷却材圧力計																																																																													
	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																													
	原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計																																																																													
	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（狭域）																																																																													
		・蒸気発生器水位計（広域）																																																																													
		・蒸気発生器補助給水流量計																																																																													
	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																													
補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																														
	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																														
	・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																														
操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。																																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																													
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																															
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																															
d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																																															
(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																													
		・1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																													
		・炉心出口温度																																																																													
	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																													
	原子炉压力容器への注水量	・低圧注入流量																																																																													
	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（狭域）																																																																													
		・蒸気発生器水位（広域）																																																																													
	電源	・補助給水流量																																																																													
		・消幹線1L電圧、2L電圧																																																																													
		・後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																													
補機監視機能	・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																														
	・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																														
	・原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																														
	・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																														
	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量（AM用）																																																																														
操作	・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																														
	・余熱除去ポンプ電流																																																																														
操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b.「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。																																																																														

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
<p>監視計器一覧（47/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td rowspan="3">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の注水量	・余熱除去流量計	補機監視機能	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） 	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 	操作		操作			<p>監視計器一覧（55/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・炉幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td rowspan="3">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型海水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量	補機監視機能	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・炉幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型海水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流 	操作		操作		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																													
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																															
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																															
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																												
		原子炉圧力容器内の注水量	・余熱除去流量計																																																												
	補機監視機能	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） 																																																												
		電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																												
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																																											
			操作																																																												
			操作																																																												
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																												
	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																														
(2) サポート系故障時の対応手順																																																															
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度 																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																												
		原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量																																																												
	補機監視機能	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 																																																												
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・炉幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 																																																												
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型海水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流 																																																											
			操作																																																												
			操作																																																												

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																										
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (17/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子が停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 復旧</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子からの除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (停止域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (定時時水取用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子が停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 復旧			(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子からの除熱			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (停止域)	電源の確保	補機監視機能	原子炉水位 (定時時水取用)	原子炉圧力	最終ヒートシンクの確保	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器温度		原子炉圧力容器内の温度	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)		補機監視機能	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度			残留熱除去系熱交換器入口温度			残留熱除去系熱交換器出口温度			残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)	<p>監視計器一覧 (56/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子が停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">電源</td> <td>原子炉格納容器内循環ポンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 代時格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 格納容器内循環ポンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子が停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			1. 復旧			(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の圧力	電源	補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	操作	電源	原子炉格納容器内循環ポンプ水位 (広域)	水源の確保			・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)			・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)			・ 炉心出口温度			・ 1次冷却材圧力 (広域)			・ 加圧器水位			・ 代時格納容器スプレイポンプ出口積算流量			・ 格納容器内循環ポンプ水位 (広域)			・ 燃料取替用水ビット水位			・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧			・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧			・ 甲母線電圧, 乙母線電圧			・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧			・ 原子炉補機冷却水供給母管流量			・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用)			・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量			・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)	<p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																											
1.4.2.2 発電用原子が停止中における対応手順																																																																																																																													
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																																													
a. 復旧																																																																																																																													
(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子からの除熱																																																																																																																													
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																											
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																											
非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																											
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																											
補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																											
		原子炉水位 (停止域)																																																																																																																											
電源の確保	補機監視機能	原子炉水位 (定時時水取用)																																																																																																																											
		原子炉圧力																																																																																																																											
最終ヒートシンクの確保	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																											
		原子炉圧力容器温度																																																																																																																											
	原子炉圧力容器内の温度	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)																																																																																																																											
	補機監視機能	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度																																																																																																																											
		残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																																											
		残留熱除去系熱交換器出口温度																																																																																																																											
		残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)																																																																																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																											
1.4.2.3 発電用原子が停止中における対応手順																																																																																																																													
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																																													
1. 復旧																																																																																																																													
(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																											
電源	補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																											
		原子炉格納容器内の水位																																																																																																																											
操作	電源	原子炉格納容器内循環ポンプ水位 (広域)																																																																																																																											
		水源の確保																																																																																																																											
		・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																											
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																											
		・ 炉心出口温度																																																																																																																											
		・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																											
		・ 加圧器水位																																																																																																																											
		・ 代時格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																											
		・ 格納容器内循環ポンプ水位 (広域)																																																																																																																											
		・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																																											
		・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																																																											
		・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																																																											
		・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																																																																											
		・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																																																																											
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																																																											
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用)																																																																																																																											
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																																																																											
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)																																																																																																																											
		監視計器一覧 (57/61) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子が停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代時再循環運転</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td rowspan="2">電源</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>原子炉格納容器内循環ポンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ A-格納容器内循環ポンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び消冷却器補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び消冷却器補機冷却水流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM 用)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子が停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			1. 復旧			(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代時再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の圧力	補機冷却	電源	原子炉圧力容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	操作	補機冷却	原子炉格納容器内循環ポンプ水位 (広域)	水源の確保			・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)			・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)			・ 炉心出口温度			・ 1次冷却材圧力 (広域)			・ 加圧器水位			・ A-格納容器内循環ポンプ水位 (広域)			・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧			・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧			・ 甲母線電圧, 乙母線電圧			・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧			・ A-高圧注入ポンプ及び消冷却器補機冷却水流量			・ A-高圧注入ポンプ及び消冷却器補機冷却水流量 (AM 用)			・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量			・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM 用)																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																											
1.4.2.3 発電用原子が停止中における対応手順																																																																																																																													
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																																													
1. 復旧																																																																																																																													
(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代時再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																											
補機冷却	電源	原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																											
		原子炉格納容器内の水位																																																																																																																											
操作	補機冷却	原子炉格納容器内循環ポンプ水位 (広域)																																																																																																																											
		水源の確保																																																																																																																											
		・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																											
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																											
		・ 炉心出口温度																																																																																																																											
		・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																											
		・ 加圧器水位																																																																																																																											
		・ A-格納容器内循環ポンプ水位 (広域)																																																																																																																											
		・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																																																											
		・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																																																											
		・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																																																																											
		・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																																																																											
		・ A-高圧注入ポンプ及び消冷却器補機冷却水流量																																																																																																																											
		・ A-高圧注入ポンプ及び消冷却器補機冷却水流量 (AM 用)																																																																																																																											
		・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量																																																																																																																											
		・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM 用)																																																																																																																											

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧（58/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">①. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="13" style="vertical-align: middle;">(e) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域一高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域一低高温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">電源</td> <td>・ 泊幹線1L電圧, 2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1L電圧, 2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			①. 復旧			(e) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域一高温側）	・ 1次冷却材温度（広域一低高温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	電源	・ 泊幹線1L電圧, 2L電圧	・ 後志幹線1L電圧, 2L電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	水源の確保	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	・ 補助給水ビット水位	操作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。		<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																								
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																										
(2) サポート系故障時の対応手順																																										
①. 復旧																																										
(e) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域一高温側）																																								
		・ 1次冷却材温度（広域一低高温側）																																								
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																								
		・ 1次冷却材圧力（広域）																																								
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																								
	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																								
	電源	・ 泊幹線1L電圧, 2L電圧																																								
		・ 後志幹線1L電圧, 2L電圧																																								
		・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																								
		・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧																																								
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																								
		・ 余熱除去ポンプ電流																																								
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																								
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																										
水源の確保	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																									
	・ 補助給水ビット水位																																									
操作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。																																									

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由				
監視計器一覧（48/48）						監視計器一覧（59/61）							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器					
1.4.2.3 運転停止中の場合 (3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等						1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順							
—	判断基準	未臨界の維持又は監視	・中性子源領域中性子束計 ・中性子源領域起動率計 ・原子炉補給水補給流量積算制御器積算カウンタ			—	判断基準	未臨界の維持又は監視	・中性子源領域中性子束 ・中性子源領域起動率 ・1次系統水補給ライン流量制御 ・1次系統水補給ライン流量積算制御				
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次系冷却材圧力計					原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）				
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）					原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位				
		原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計					原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量				
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計					原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度				
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計					原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）				
		原子炉格納容器内の放射線量率	—	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）					原子炉格納容器内の放射線量率	—	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）		
				・格納容器ガスモニタ							・格納容器ガスモニタ		
				・格納容器じんあいモニタ							・格納容器じんあいモニタ		
		信号	—	・格納容器エアロック区域エリアモニタ					信号	—	・エアロックエリアモニタ		
				・炉内計装区域エリアモニタ							・炉内計装区域エリアモニタ		
		補機監視機能	—	・停止時SR中性子束高退避警報作動警報					補機監視機能	—	・SR停止時中性子束高（N31）警報		
				・余熱除去ポンプ吐出圧力計							・SR停止時中性子束高（N32）警報		
		電源	—	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）					電源	—	・余熱除去ポンプ出口圧力		
				・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）							・余熱除去ポンプ電流		
LOCAの監視	—	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計			LOCAの監視	—	・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）						
		・格納容器サンプ水位計					・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量						
操作	—	・格納容器サンプ水位増加率計			操作	—	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）						
		—					・冷却線1L電圧、2L電圧						
—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。						—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。							

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																									
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p>監視計器一覧 (18/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (微減ペース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源の確保</td> <td rowspan="4">原子炉補機冷却水系系統流量</td> <td>6-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>6-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td rowspan="4">圧力抑制室水位</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td rowspan="2">原子炉水位 (狭帯域)</td> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td rowspan="2">原子炉圧力</td> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力抑制室水位</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (19/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (微減ペース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源の確保</td> <td rowspan="4">原子炉補機冷却水系系統流量 (A系のみ)</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>6-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">圧力抑制室水位</td> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td rowspan="2">原子炉水位 (狭帯域)</td> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td rowspan="2">原子炉圧力</td> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力抑制室水位</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (微減ペース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	電源の確保	原子炉補機冷却水系系統流量	6-2C 母線電圧	6-2D 母線電圧	4-2C 母線電圧	4-2D 母線電圧	水源の確保	圧力抑制室水位	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2B-1 電圧	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉圧力 (SA)	補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力	原子炉圧力 (SA)	水源の確保	圧力抑制室水位		手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (微減ペース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	電源の確保	原子炉補機冷却水系系統流量 (A系のみ)	原子炉水位 (SA 燃料域)	6-2C 母線電圧	4-2C 母線電圧	125V 直流主母線 2A 電圧	水源の確保	圧力抑制室水位	125V 直流主母線 2A-1 電圧		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器への注水量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量	原子炉圧力 (SA)	補機監視機能	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力		水源の確保	圧力抑制室水位		<p>監視計器一覧 (60/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>信号</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>信号</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td>判断基準</td> <td>信号</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順			(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号	原子炉圧力容器内の水位	操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器への注水量	水源の確保	補機監視機能	圧力抑制室水位	(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号	原子炉圧力容器内の水位	操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器への注水量	水源の確保	補機監視機能	圧力抑制室水位	(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	信号	操作	原子炉圧力容器内の水位	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順を整理している。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																										
1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																												
非常時操作手順書 (微減ペース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																										
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																										
非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																										
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																										
電源の確保	原子炉補機冷却水系系統流量	6-2C 母線電圧																																																																																																																										
		6-2D 母線電圧																																																																																																																										
		4-2C 母線電圧																																																																																																																										
		4-2D 母線電圧																																																																																																																										
水源の確保	圧力抑制室水位	125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																																																										
		125V 直流主母線 2B 電圧																																																																																																																										
		125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																																										
		125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																										
原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																										
		原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																										
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																										
		原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																										
原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																										
補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																										
水源の確保	圧力抑制室水位																																																																																																																											
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																										
1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																												
非常時操作手順書 (微減ペース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																										
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																										
非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																										
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																										
電源の確保	原子炉補機冷却水系系統流量 (A系のみ)	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																										
		6-2C 母線電圧																																																																																																																										
		4-2C 母線電圧																																																																																																																										
		125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																																																										
水源の確保	圧力抑制室水位	125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																																										
原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																										
		原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																										
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																										
		原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																										
原子炉圧力容器への注水量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																										
補機監視機能	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力																																																																																																																											
水源の確保	圧力抑制室水位																																																																																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																										
1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順																																																																																																																												
(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																										
	操作	原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																										
		原子炉格納容器内の圧力																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の温度																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																										
		原子炉圧力容器への注水量																																																																																																																										
		水源の確保																																																																																																																										
		補機監視機能																																																																																																																										
		圧力抑制室水位																																																																																																																										
(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																										
	操作	原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																										
		原子炉格納容器内の圧力																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の温度																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																										
		原子炉圧力容器への注水量																																																																																																																										
		水源の確保																																																																																																																										
		補機監視機能																																																																																																																										
		圧力抑制室水位																																																																																																																										
(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	信号																																																																																																																										
	操作	原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																										

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (20/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (微統バージョン) 「減圧冷却」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉水位 (停止域)</td> <td>原子炉水位 (停止域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (定検時水張用)</td> <td>原子炉水位 (定検時水張用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力</td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量</td> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>6-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>6-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>4-2C 母線電圧</td> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2D 母線電圧</td> <td>4-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B 電圧</td> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> <td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)</td> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書 (微統バージョン) 「減圧冷却」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (停止域)	原子炉水位 (停止域)	原子炉水位 (定検時水張用)	原子炉水位 (定検時水張用)	補機監視機能	原子炉圧力	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)	電源の確保	原子炉圧力容器温度	原子炉圧力容器温度	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器入口温度	最終ヒートシンクの確保	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量	操作	原子炉圧力容器内の水位	6-2C 母線電圧	6-2D 母線電圧	原子炉圧力容器内の圧力	4-2C 母線電圧	4-2C 母線電圧	4-2D 母線電圧	4-2D 母線電圧	原子炉圧力容器内の温度	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	補機監視機能	125V 直流主母線 2B-1 電圧	125V 直流主母線 2B-1 電圧	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器出口温度	残留熱除去系熱交換器出口温度			残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)	<p>監視計器一覧 (61/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>燃料取替用ホピット水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td>余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td>余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ電流</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順			(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転	水源の確保	燃料取替用ホピット水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	操作	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度 (広域-高温側)	1次冷却材温度 (広域-低温側)	補機監視機能	原子炉圧力容器への注水量	低圧注入流量	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	補機監視機能	余熱除去ポンプ出口圧力	余熱除去ポンプ電流	原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	補機監視機能	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱	原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力 (広域)	1次冷却材温度 (広域-高温側)	操作	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度 (広域-低温側)	1次冷却材温度 (広域-低温側)	補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位	低圧注入流量	1次冷却材温度 (広域-高温側)	補機監視機能	水源の確保	1次冷却材温度 (広域-低温側)	1次冷却材温度 (広域-低温側)	補機監視機能	原子炉圧力容器への注水量	低圧注入流量	1次冷却材温度 (広域-低温側)	補機監視機能	余熱除去ポンプ出口圧力	余熱除去ポンプ電流	余熱除去ポンプ電流	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順を整理している。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																	
1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱																																																																																																																			
非常時操作手順書 (微統バージョン) 「減圧冷却」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																	
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																	
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																	
	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																	
原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (停止域)	原子炉水位 (停止域)																																																																																																																	
	原子炉水位 (定検時水張用)	原子炉水位 (定検時水張用)																																																																																																																	
補機監視機能	原子炉圧力	原子炉圧力																																																																																																																	
	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																	
電源の確保	原子炉圧力容器温度	原子炉圧力容器温度																																																																																																																	
	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																																	
最終ヒートシンクの確保	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量																																																																																																																	
	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量																																																																																																																	
操作	原子炉圧力容器内の水位	6-2C 母線電圧																																																																																																																	
		6-2D 母線電圧																																																																																																																	
原子炉圧力容器内の圧力	4-2C 母線電圧	4-2C 母線電圧																																																																																																																	
	4-2D 母線電圧	4-2D 母線電圧																																																																																																																	
原子炉圧力容器内の温度	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																																																	
	125V 直流主母線 2B 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																																	
補機監視機能	125V 直流主母線 2B-1 電圧	125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																	
	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度																																																																																																																	
最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																																	
	残留熱除去系熱交換器出口温度	残留熱除去系熱交換器出口温度																																																																																																																	
		残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)																																																																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																	
1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順																																																																																																																			
(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転	水源の確保	燃料取替用ホピット水位																																																																																																																	
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																	
操作	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																	
		1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																	
補機監視機能	原子炉圧力容器への注水量	低圧注入流量																																																																																																																	
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																	
補機監視機能	余熱除去ポンプ出口圧力	余熱除去ポンプ電流																																																																																																																	
		原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)																																																																																																																	
補機監視機能	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																																																																	
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																																																																	
(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱	原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																	
		1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																	
操作	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																	
		1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																	
補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位	低圧注入流量																																																																																																																	
		1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																	
補機監視機能	水源の確保	1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																	
		1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																	
補機監視機能	原子炉圧力容器への注水量	低圧注入流量																																																																																																																	
		1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																	
補機監視機能	余熱除去ポンプ出口圧力	余熱除去ポンプ電流																																																																																																																	
		余熱除去ポンプ電流																																																																																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.8表 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	給電元
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	A格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B格納容器スプレイポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置
	A格納容器スプレイポンプ再循環サンパ側入口格納容器隔離弁	A1原子炉コントロールセンター
	A充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B充てんポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B高圧注入ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B電動補助給水ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A主蒸気逃がし弁	A1ソレノイド分電盤
	B主蒸気逃がし弁	A1ソレノイド分電盤
	C主蒸気逃がし弁	B1ソレノイド分電盤
	D主蒸気逃がし弁	B1ソレノイド分電盤

第1.4-3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	供給元	
		設備	母線
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	復水移送ポンプ補給水系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系
		可搬型代替交流電源設備	緊急用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2G系 非常用低圧母線 MCC 2E系
	燃料プール補給水系 弁	常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
		可搬型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
		所内常設蓄電式直流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
	直流駆動低圧注水系 ポンプ	常設代替交流電源設備	250V 直流主母線
		可搬型代替交流電源設備	250V 直流主母線
		常設代替直交流電源設備	250V 直流主母線
	直流駆動低圧注水系 弁	常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
		可搬型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
		所内常設蓄電式直流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
	残留熱除去系ポンプ	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系 非常用高圧母線 2D系
		常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2G系
	残留熱除去系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系
		可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2G系
	代替循環冷却ポンプ	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系
	低圧炉心スプレイ系ポンプ	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系
	低圧炉心スプレイ系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系
	原子炉再循環系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系
		可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系
計測用電源*	常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A	
	所内常設蓄電式直流電源設備	125V 直流主母線 2B	

※：供給負荷は監視計器

第1.4.3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備 (1/2)

対象条文	供給対象設備	給電元	
		設備	母線
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	非常用交流電源設備	化学体積制御設備ポンプ・サ	6-A非常用高圧母線
			6-B非常用高圧母線
			A1-原子炉コントロールセンター
			A2-原子炉コントロールセンター
			B1-原子炉コントロールセンター
			B2-原子炉コントロールセンター
	常設代替交流電源設備	化学体積制御設備ポンプ・サ	6-A非常用高圧母線
			6-B非常用高圧母線
			A1-原子炉コントロールセンター
			A2-原子炉コントロールセンター
			B1-原子炉コントロールセンター
			B2-原子炉コントロールセンター
	非常用交流電源設備	原子炉格納容器スプレイ設備ポンプ・サ	6-A非常用高圧母線
			6-B非常用高圧母線
A2-原子炉コントロールセンター			
B2-原子炉コントロールセンター			
6-A非常用高圧母線			
6-B非常用高圧母線			
常設代替交流電源設備	全熱除去設備ポンプ・サ	4-A1非常用高圧母線	
		4-B1非常用高圧母線	
		A1-原子炉コントロールセンター	
		A2-原子炉コントロールセンター	
		B1-原子炉コントロールセンター	
		B2-原子炉コントロールセンター	
非常用交流電源設備	非常用中心冷却設備（低圧注入系）ポンプ・サ	4-A1非常用高圧母線	
		4-B1非常用高圧母線	
		A1-原子炉コントロールセンター	
		B1-原子炉コントロールセンター	
		6-A非常用高圧母線	
		6-B非常用高圧母線	
非常用交流電源設備	非常用中心冷却設備（高圧注入系）ポンプ・サ	6-A非常用高圧母線	
		6-B非常用高圧母線	
		A1-原子炉コントロールセンター	
		B1-原子炉コントロールセンター	
		A-直流母線	
		B-直流母線	

【大飯】
記載方針の相違
(女川審査実績の反映)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																							
		<p>第1.4.3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備（2/2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象系</th> <th rowspan="2">供給対象設備</th> <th colspan="2">給電元</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>母線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">1.1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</td> <td rowspan="6">2次冷却設備（補助給水設備）ポンプ・管</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>母-A非常用高圧母線 母-B非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>置設代替交流電源設備</td> <td>母-A非常用高圧母線 母-B非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉内管設置電式直流電源設備</td> <td>A-直流母線</td> </tr> <tr> <td>B-直流母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2次冷却設備（主蒸気設備）サ</td> <td>炉内管設置電式直流電源設備</td> <td>A-直流母線 B-直流母線</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>置設代替交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器</td> </tr> <tr> <td>代替炉内電気設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">非装用電源*</td> <td rowspan="8">非常用交流電源設備 炉内管設置電式直流電源設備 置設代替交流電源設備</td> <td>A1-1計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>A2-1計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B1-1計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B2-1計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>C1-1計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>C2-1計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>D1-1計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>D2-1計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>A-8B設備直流電源分電盤</td> </tr> <tr> <td>B-8B設備直流電源分電盤</td> </tr> </tbody> </table> <p>*：供給母線は監視母線</p>	対象系	供給対象設備	給電元		設備	母線	1.1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	2次冷却設備（補助給水設備）ポンプ・管	非常用交流電源設備	母-A非常用高圧母線 母-B非常用高圧母線	置設代替交流電源設備	母-A非常用高圧母線 母-B非常用高圧母線	炉内管設置電式直流電源設備	A-直流母線	B-直流母線	2次冷却設備（主蒸気設備）サ	炉内管設置電式直流電源設備	A-直流母線 B-直流母線	非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器	代替格納容器スプレイポンプ	置設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器	可搬型代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器	代替炉内電気設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器	非装用電源*	非常用交流電源設備 炉内管設置電式直流電源設備 置設代替交流電源設備	A1-1計装用交流分電盤	A2-1計装用交流分電盤	B1-1計装用交流分電盤	B2-1計装用交流分電盤	C1-1計装用交流分電盤	C2-1計装用交流分電盤	D1-1計装用交流分電盤	D2-1計装用交流分電盤	A-8B設備直流電源分電盤	B-8B設備直流電源分電盤	
対象系	供給対象設備	給電元																																								
		設備	母線																																							
1.1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	2次冷却設備（補助給水設備）ポンプ・管	非常用交流電源設備	母-A非常用高圧母線 母-B非常用高圧母線																																							
		置設代替交流電源設備	母-A非常用高圧母線 母-B非常用高圧母線																																							
		炉内管設置電式直流電源設備	A-直流母線																																							
			B-直流母線																																							
		2次冷却設備（主蒸気設備）サ	炉内管設置電式直流電源設備	A-直流母線 B-直流母線																																						
			非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器																																						
	代替格納容器スプレイポンプ	置設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器																																							
		可搬型代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器																																							
		代替炉内電気設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器																																							
	非装用電源*	非常用交流電源設備 炉内管設置電式直流電源設備 置設代替交流電源設備	A1-1計装用交流分電盤																																							
			A2-1計装用交流分電盤																																							
			B1-1計装用交流分電盤																																							
			B2-1計装用交流分電盤																																							
			C1-1計装用交流分電盤																																							
C2-1計装用交流分電盤																																										
D1-1計装用交流分電盤																																										
D2-1計装用交流分電盤																																										
A-8B設備直流電源分電盤																																										
B-8B設備直流電源分電盤																																										

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.4.1回 機能喪失原因対策分析（※心注本：フロントライン系機能喪失）</p> <p>【比較のため、順序入れ替え】</p> <p>第1.4.3回 機能喪失原因対策分析（※心注本：サポート系機能喪失）</p>	<p>第1.4-1回 機能喪失原因対策分析</p>	<p>第1.4-1回 機能喪失原因対策分析</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・フロントライン系の故障等を赤字点線、サポート系の故障等を青点線で枠囲い。 ・対応手段を緑枠（実線、点線）とした。 ・故障想定箇所を×印で記載。 ・フロントライン系の故障、サポート系の故障を1つの図に記載している。</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉 【比較のため、順序入れ替え】 第1.4.4図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：フロントライン系機能喪失） 第1.4.4図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：サポート系機能喪失）	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉 第1.4.1図 機能喪失原因対策分析（2/2）	相違理由
			<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フロントライン系の故障等を赤点線、サポート系の故障等を青点線で枠囲い。 ・対応手段を緑枠（実線、点線）とした。 ・故障想定箇所を×印で記載。 ・フロントライン系の故障、サポート系の故障を1つの図に記載している。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="745 316 1357 943" style="border: 1px solid black; height: 393px; width: 273px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="757 967 1341 991">第1.4-2図 非常時操作手順書（徴候ベース）「水位確保」における対応フロー</p> <div data-bbox="943 1241 1357 1265" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<div data-bbox="1469 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p data-bbox="2024 667 2085 687">【女川】</p> <p data-bbox="2024 699 2145 719">記載方針の相違</p> <ul data-bbox="2024 724 2168 890" style="list-style-type: none"> ・ 泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="745 316 1361 927" style="border: 1px solid black; height: 383px; width: 275px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="763 954 1344 975">第1.4-3図 非常時操作手順書（徴候ベース）「減圧冷却」における対応フロー</p> <div data-bbox="945 1241 1355 1268" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 163px;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<div data-bbox="1473 743 1915 786" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 197px; margin: 0 auto;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p data-bbox="2027 667 2085 687">【女川】</p> <p data-bbox="2027 699 2145 719">記載方針の相違</p> <ul data-bbox="2027 724 2168 890" style="list-style-type: none"> ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="741 323 1350 1062" style="border: 1px solid black; height: 463px; width: 272px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="757 1091 1335 1114">第1.4-4図 非常時操作手順書（微候ベース）「水位回復」における対応フロー</p> <div data-bbox="938 1236 1350 1262" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 184px;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<div data-bbox="1473 742 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 196px; margin: 0 auto;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p data-bbox="2033 667 2085 687">【女川】</p> <p data-bbox="2033 699 2145 719">記載方針の相違</p> <ul data-bbox="2033 724 2168 890" style="list-style-type: none"> ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="743 320 1357 1118" style="border: 1px solid black; height: 500px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="779 1145 1317 1189" style="text-align: center;"> 第1.4-5図 非常時操作手順書（プラント停止中）「崩壊熱除去機能喪失」における対応フロー </div> <div data-bbox="943 1241 1357 1270" style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 2px;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<div data-bbox="1473 742 1917 785" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>	<p>【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="748 376 1357 1139" style="border: 1px solid black; height: 478px; width: 272px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="786 1166 1308 1214" style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 第1.4-6図 非常時操作手順書（プラント停止中）「原子炉冷却材喪失」における対応フロー </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>	<p>【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

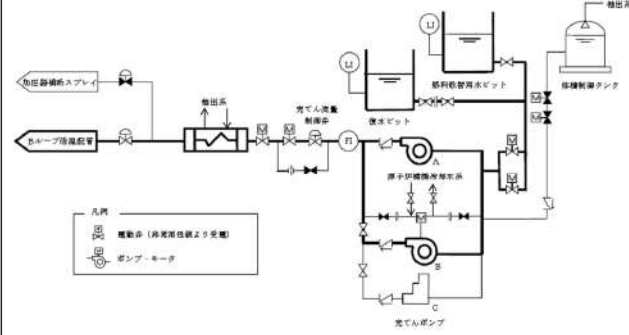
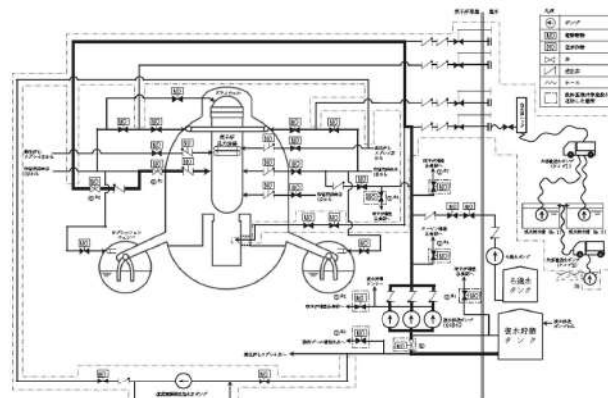
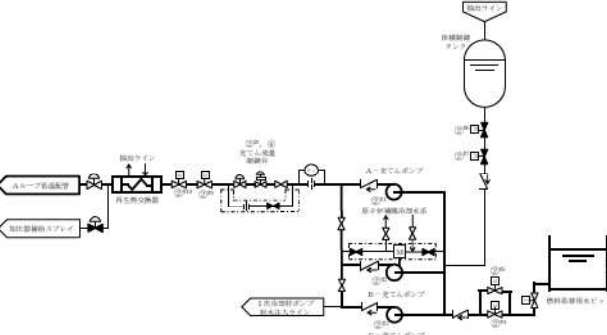
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="757 325 1361 868" style="border: 1px solid black; height: 340px; width: 270px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="779 896 1330 943" style="text-align: center;"> 第1.4-7図 非常時操作手順書（シビアアクシデント）「注水ストラテジ-4」における対応フロー </div> <div data-bbox="954 1238 1361 1264" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 785" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>	<p>【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
 <p>第1.4.5図 充てんポンプによる炉心注水 概略系統</p>	 <p>第1.4-8図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="851 909 1254 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>CRD 復水入口弁</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>SRWC サンプルリング取出止め弁</td> </tr> <tr> <td>①#3</td> <td>FR/W ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>①#4</td> <td>T/B 緊急閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>①#5</td> <td>R/B B1F 緊急閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>①#6</td> <td>R/B B2F 緊急閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁</td> </tr> <tr> <td>①#1</td> <td>B/B A系 LPCI 注入閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>B/B ヘッドスプレイトライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-8図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁番号	①#1	CRD 復水入口弁	①#2	SRWC サンプルリング取出止め弁	①#3	FR/W ポンプ吸込弁	①#4	T/B 緊急閉鎖弁	①#5	R/B B1F 緊急閉鎖弁	①#6	R/B B2F 緊急閉鎖弁	①	復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁	①#1	B/B A系 LPCI 注入閉鎖弁	①#2	B/B ヘッドスプレイトライン洗浄流量調整弁	 <p>第1.4.2図 充てんポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1433 957 1948 1165"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>A-充てんポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>H-充てんポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>①#3</td> <td>C-充てんポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>①#4</td> <td>充てんポンプ入口燃料取替用水ベジット側入口弁A</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#5</td> <td>充てんポンプ入口燃料取替用水ベジット側入口弁B</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#6</td> <td>体積制御タンク出口第1止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#7</td> <td>体積制御タンク出口第2止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#8</td> <td>充てん流量制御弁</td> <td>調整開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#9</td> <td>充てんラインC/A外部止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#10</td> <td>充てんラインC/A外部閉鎖弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>充てん流量制御弁</td> <td>全開→調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①#1	A-充てんポンプ	起動確認	①#2	H-充てんポンプ	起動確認	①#3	C-充てんポンプ	起動確認	①#4	充てんポンプ入口燃料取替用水ベジット側入口弁A	全開→全開	①#5	充てんポンプ入口燃料取替用水ベジット側入口弁B	全開→全開	①#6	体積制御タンク出口第1止め弁	全開→全開	①#7	体積制御タンク出口第2止め弁	全開→全開	①#8	充てん流量制御弁	調整開→全開	①#9	充てんラインC/A外部止め弁	全開→全開	①#10	充てんラインC/A外部閉鎖弁	全開→全開	①	充てん流量制御弁	全開→調整開	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	弁番号																																																										
①#1	CRD 復水入口弁																																																										
①#2	SRWC サンプルリング取出止め弁																																																										
①#3	FR/W ポンプ吸込弁																																																										
①#4	T/B 緊急閉鎖弁																																																										
①#5	R/B B1F 緊急閉鎖弁																																																										
①#6	R/B B2F 緊急閉鎖弁																																																										
①	復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁																																																										
①#1	B/B A系 LPCI 注入閉鎖弁																																																										
①#2	B/B ヘッドスプレイトライン洗浄流量調整弁																																																										
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																									
①#1	A-充てんポンプ	起動確認																																																									
①#2	H-充てんポンプ	起動確認																																																									
①#3	C-充てんポンプ	起動確認																																																									
①#4	充てんポンプ入口燃料取替用水ベジット側入口弁A	全開→全開																																																									
①#5	充てんポンプ入口燃料取替用水ベジット側入口弁B	全開→全開																																																									
①#6	体積制御タンク出口第1止め弁	全開→全開																																																									
①#7	体積制御タンク出口第2止め弁	全開→全開																																																									
①#8	充てん流量制御弁	調整開→全開																																																									
①#9	充てんラインC/A外部止め弁	全開→全開																																																									
①#10	充てんラインC/A外部閉鎖弁	全開→全開																																																									
①	充てん流量制御弁	全開→調整開																																																									

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

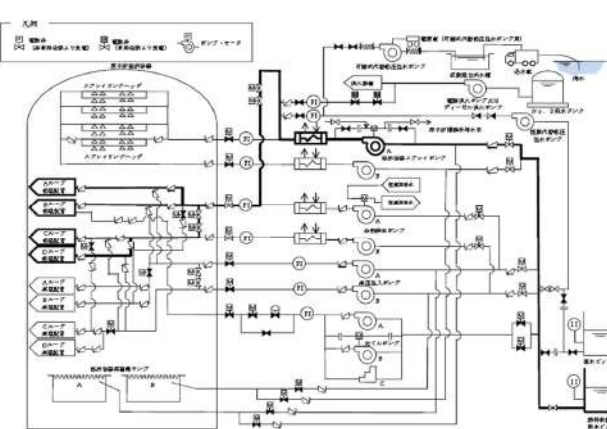
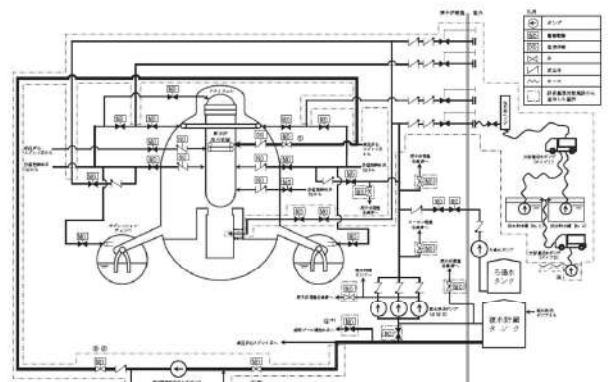
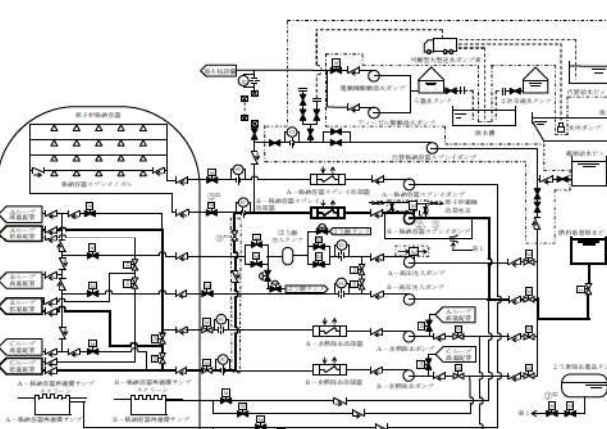
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<div style="text-align: center;"> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な経過時間 ※2：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間</p> </div> <p style="text-align: center;">第 1.4-9 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<div style="text-align: center;"> <p>※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間</p> </div> <p style="text-align: center; background-color: yellow;">第 1.4.3 図 充てんポンプによる原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>【女川】 設備の相違(BWR固有の対応手段)</p> <p>【大飯】 記載方針の相違(女川審査表続の反映) ・泊は中央制御室のみで操作する手順においてもタイムチャートを添付している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
 <p>第1.4.6図 A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 概略系統</p>	 <p>第1.4-10図 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="862 949 1243 1053"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>申名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>RPIS注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>②*</td> <td>PRRISポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>③*</td> <td>DCLIポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>④⑤</td> <td>DCLI注入流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を要する旨があることを示す。</p> <p>第1.4-10図 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図 (2/2)</p>	操作手順	申名称	①	RPIS注入隔離弁	②*	PRRISポンプ吸込弁	③*	DCLIポンプ吸込弁	④⑤	DCLI注入流量調整弁	 <p>第1.4.4図 B格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1444 1021 1937 1125"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②</td> <td>B格納容器スプレイポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>③*</td> <td>B格納容器スプレイポンプ冷却器出口CV外側隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④*</td> <td>上流逆除去薬品タンク注入ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤*</td> <td>B格納容器冷却器出口熱交換器スプレイ水注入ライン止め弁（SA弁）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>B格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を要する旨があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	②	B格納容器スプレイポンプ	起動→停止	③*	B格納容器スプレイポンプ冷却器出口CV外側隔離弁	全閉→全開	④*	上流逆除去薬品タンク注入ライン止め弁	全開→全閉	⑤*	B格納容器冷却器出口熱交換器スプレイ水注入ライン止め弁（SA弁）	全開→全閉	⑥	B格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	申名称																														
①	RPIS注入隔離弁																														
②*	PRRISポンプ吸込弁																														
③*	DCLIポンプ吸込弁																														
④⑤	DCLI注入流量調整弁																														
操作手順	操作対象機器	状態の変化																													
②	B格納容器スプレイポンプ	起動→停止																													
③*	B格納容器スプレイポンプ冷却器出口CV外側隔離弁	全閉→全開																													
④*	上流逆除去薬品タンク注入ライン止め弁	全開→全閉																													
⑤*	B格納容器冷却器出口熱交換器スプレイ水注入ライン止め弁（SA弁）	全開→全閉																													
⑥	B格納容器スプレイポンプ	停止→起動																													

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

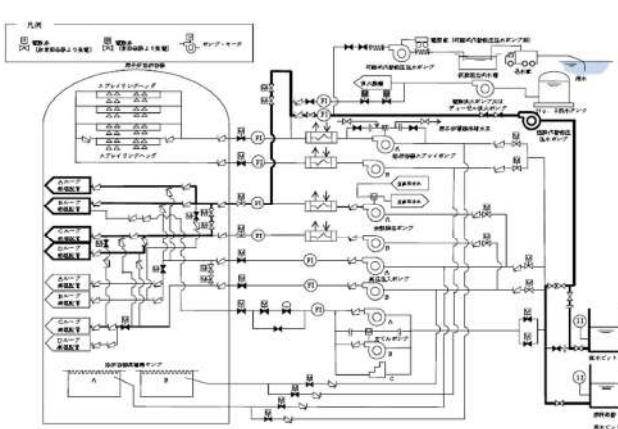
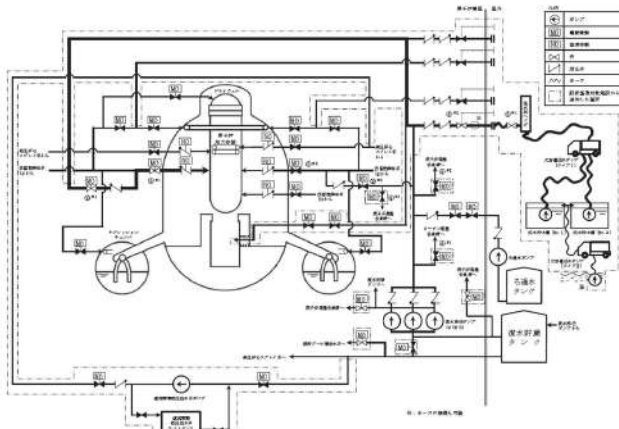
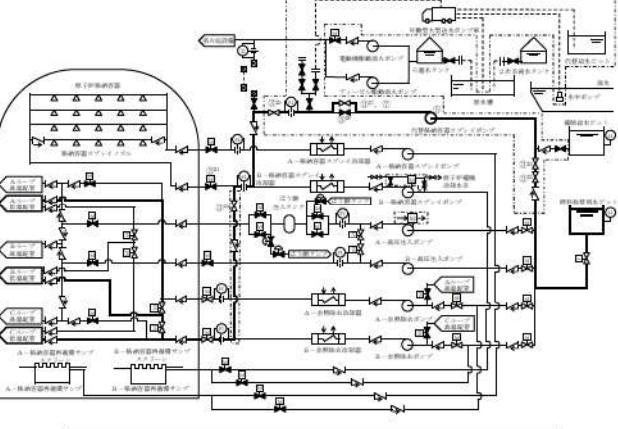
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
<p>経過時間 (分)</p>	<p>備考</p>	<p>経過時間 (分)</p>	<p>備考</p>	<p>経過時間 (分)</p>	<p>備考</p>	<p>相違理由</p>
<p>手順の項目</p> <p>A格納容器スプレイポンプ (RHRSS-CSS 連絡ライン使用) による代替炉心注水</p>	<p>要員 (数)</p> <p>運転員等 (中央制御室) 1</p> <p>運転員等 (現場) 1</p>	<p>手順の項目</p> <p>低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水ポンプ) による原子炉圧力容器への注水</p>	<p>要員 (数)</p> <p>運転員 (中央制御室) A 1</p> <p>運転員 (現場) B, C 2</p>	<p>手順の項目</p> <p>B-格納容器スプレイポンプ (RHRSS 連絡ライン使用) による原子炉圧力容器への注水</p>	<p>要員 (数)</p> <p>運転員 (中央制御室) A 1</p> <p>運転員 (現場) B 1</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 設備の相違 (BWR 固有の対応手段)</p>
<p>※ 現番移動時間には防凍装置着脱時間を含む。</p>		<p>※1：中央制御室での状況確認に必要な動作時間 ※2：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間 ※3：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間</p>		<p>※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間 ※3：機器の操作時間に見込んだ時間</p>		<p>第1.4.7図 A格納容器スプレイポンプ (RHRSS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水 タイムチャート</p> <p>第1.4-11図 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>第1.4.5図 B-格納容器スプレイポンプ (RHRSS-CSS 連絡ライン使用) による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
 <p>第1.4.8図 駆動代替格納器注水ポンプによる代替炉心注水 概略図</p>	 <p>第1.4-12図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉压力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="806 877 1299 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④ #1</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④ #2</td> <td>R/B BIF 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④ #3</td> <td>R/B IF 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #2</td> <td>R/R B系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥ #1</td> <td>原子炉・格納容器下部注水弁</td> </tr> <tr> <td>⑥ #2</td> <td>緊急時原子炉東側外部注水入口弁</td> </tr> <tr> <td>⑩ #1</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>⑩ #2</td> <td>R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-12図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉压力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	④ #1	T/B 緊急時隔離弁	④ #2	R/B BIF 緊急時隔離弁	④ #3	R/B IF 緊急時隔離弁	⑤ #1	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	⑤ #2	R/R B系 LPCI 注入隔離弁	⑥ #1	原子炉・格納容器下部注水弁	⑥ #2	緊急時原子炉東側外部注水入口弁	⑩ #1	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	⑩ #2	R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁	 <p>第1.4.6図 代替格納器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1433 989 1948 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>② #1</td> <td>B系格納器スプレイポンプ出口（B系格納器）</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>② #2</td> <td>A系格納器スプレイポンプ入口（第1止め弁）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #3</td> <td>A系格納器スプレイポンプ入口（第2止め弁）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #4</td> <td>B系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #5</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #6</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #7</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #8</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #9</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #10</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #11</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #12</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #13</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #14</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #15</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #16</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #17</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #18</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #19</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #20</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #21</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #22</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #23</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #24</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #25</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #26</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #27</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #28</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #29</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #30</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #31</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #32</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #33</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #34</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #35</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #36</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #37</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #38</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #39</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #40</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #41</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #42</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #43</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #44</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #45</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #46</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #47</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #48</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #49</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #50</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #51</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #52</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #53</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #54</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #55</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #56</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #57</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #58</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #59</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #60</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #61</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #62</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #63</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #64</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #65</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #66</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #67</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #68</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #69</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #70</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #71</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #72</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #73</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #74</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #75</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #76</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #77</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #78</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #79</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #80</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #81</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #82</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #83</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #84</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #85</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #86</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #87</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #88</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #89</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #90</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #91</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #92</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #93</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #94</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #95</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #96</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #97</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #98</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #99</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>② #100</td> <td>A系格納器（注水開始）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② #1	B系格納器スプレイポンプ出口（B系格納器）	全閉確認	② #2	A系格納器スプレイポンプ入口（第1止め弁）	全閉→全開	② #3	A系格納器スプレイポンプ入口（第2止め弁）	全閉→全開	② #4	B系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #5	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #6	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #7	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #8	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #9	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #10	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #11	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #12	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #13	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #14	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #15	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #16	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #17	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #18	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #19	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #20	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #21	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #22	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #23	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #24	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #25	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #26	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #27	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #28	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #29	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #30	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #31	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #32	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #33	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #34	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #35	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #36	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #37	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #38	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #39	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #40	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #41	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #42	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #43	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #44	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #45	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #46	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #47	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #48	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #49	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #50	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #51	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #52	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #53	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #54	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #55	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #56	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #57	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #58	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #59	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #60	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #61	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #62	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #63	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #64	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #65	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #66	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #67	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #68	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #69	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #70	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #71	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #72	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #73	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #74	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #75	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #76	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #77	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #78	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #79	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #80	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #81	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #82	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #83	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #84	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #85	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #86	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #87	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #88	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #89	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #90	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #91	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #92	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #93	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #94	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #95	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #96	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #97	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #98	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #99	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	② #100	A系格納器（注水開始）	全閉→全開	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	弁名称																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
④ #1	T/B 緊急時隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
④ #2	R/B BIF 緊急時隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
④ #3	R/B IF 緊急時隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
⑤ #1	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
⑤ #2	R/R B系 LPCI 注入隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
⑥ #1	原子炉・格納容器下部注水弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
⑥ #2	緊急時原子炉東側外部注水入口弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
⑩ #1	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
⑩ #2	R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #1	B系格納器スプレイポンプ出口（B系格納器）	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #2	A系格納器スプレイポンプ入口（第1止め弁）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #3	A系格納器スプレイポンプ入口（第2止め弁）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #4	B系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #5	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #6	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #7	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #8	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #9	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #10	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #11	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #12	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #13	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #14	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #15	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #16	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #17	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #18	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #19	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #20	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #21	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #22	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #23	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #24	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #25	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #26	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #27	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #28	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #29	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #30	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #31	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #32	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #33	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #34	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #35	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #36	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #37	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #38	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #39	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #40	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #41	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #42	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #43	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #44	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #45	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #46	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #47	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #48	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #49	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #50	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #51	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #52	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #53	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #54	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #55	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #56	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #57	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #58	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #59	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #60	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #61	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #62	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #63	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #64	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #65	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #66	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #67	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #68	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #69	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #70	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #71	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #72	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #73	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #74	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #75	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #76	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #77	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #78	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #79	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #80	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #81	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #82	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #83	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #84	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #85	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #86	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #87	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #88	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #89	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #90	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #91	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #92	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #93	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #94	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #95	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #96	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #97	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #98	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #99	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② #100	A系格納器（注水開始）	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.4-13図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第1.4-13図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>フロントライン系故障時</p>	<p>【大飯】 設備の相違 （相違理由②）</p>
<p>第1.4-14図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第1.4-14図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>サポート系故障時</p>	<p>【大飯】 設備の相違 （相違理由②）</p>
<p>第1.4-15図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第1.4-15図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第1.4.7図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 タイムチャート</p>	<p>【大飯】 設備の相違 （相違理由②）</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

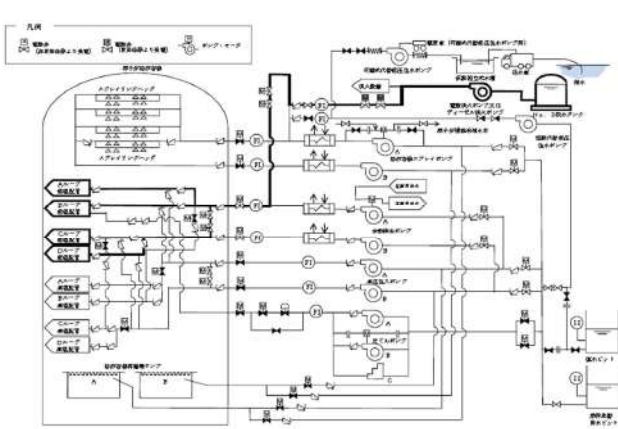
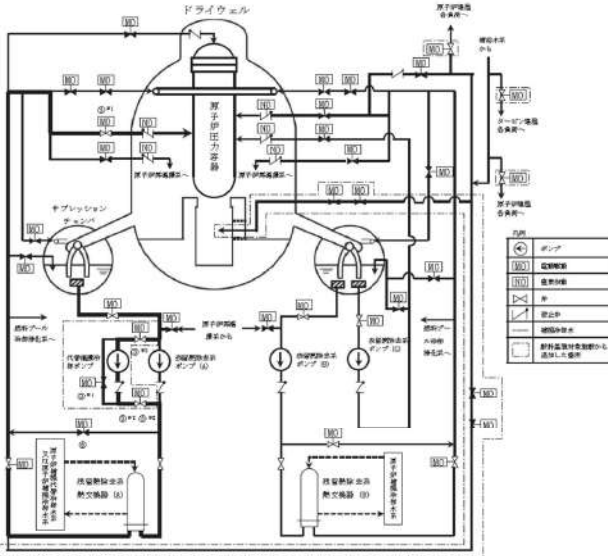
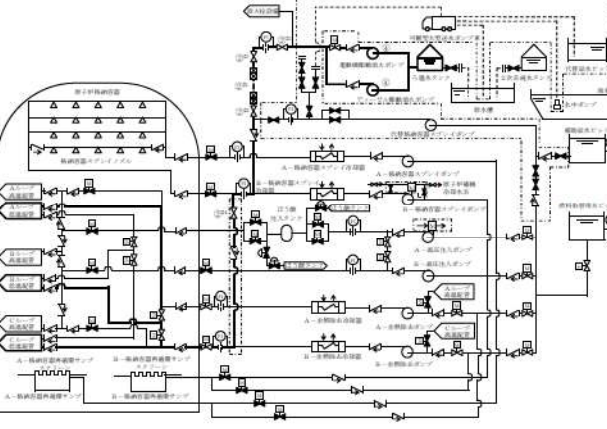
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div style="text-align: center;"> <p>経過時間(分)</p> <p>②</p> <p>②</p> </div> <p>第1.4.8図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 (原子炉格納容器注水から原子炉容器への注水切替え) タイムチャート</p>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由①)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
 <p>凡例</p> <p>① 電動消防ポンプ ② ディーゼル消防ポンプ ③ 消防水タンク</p> <p>図 1.4.10 図 電動消防ポンプ又はディーゼル消防ポンプによる代替炉心注水 概略図</p>	 <p>第 1.4-16 図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="772 981 1332 1157"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③ #1</td> <td>代替循環冷却ポンプバイパス弁</td> </tr> <tr> <td>③ #2 ⑤ #2</td> <td>代替循環冷却ポンプ流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>③ #3</td> <td>代替循環冷却ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>RHR 熱交換器 (A) バイパス弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-16 図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	③ #1	代替循環冷却ポンプバイパス弁	③ #2 ⑤ #2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁	③ #3	代替循環冷却ポンプ吸込弁	⑤ #1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁	 <p>凡例</p> <p>① 電動消防ポンプ ② ディーゼル消防ポンプ ③ 消防水タンク</p> <p>第 1.4.9 図 電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1444 997 1948 1125"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>設備の状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>電動消防ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>ディーゼル消防ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>消防水タンク</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>電動機駆動消防ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>ディーゼル駆動消防ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。 ※：どちらか1台を駆動する。</p>	操作手順	操作対象機器	設備の状況	①	電動消防ポンプ	停止	②	ディーゼル消防ポンプ	停止	③	消防水タンク	停止	④	電動機駆動消防ポンプ	停止	⑤	ディーゼル駆動消防ポンプ	停止	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 設備の相違(BWR固有の対応手段)</p>
操作手順	弁名称																																
③ #1	代替循環冷却ポンプバイパス弁																																
③ #2 ⑤ #2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁																																
③ #3	代替循環冷却ポンプ吸込弁																																
⑤ #1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																
⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁																																
操作手順	操作対象機器	設備の状況																															
①	電動消防ポンプ	停止																															
②	ディーゼル消防ポンプ	停止																															
③	消防水タンク	停止																															
④	電動機駆動消防ポンプ	停止																															
⑤	ディーゼル駆動消防ポンプ	停止																															

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		経過時間(分)	備考
手順の項目	要員(数)	10 15 20 25 30 35 40 45 50	
電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水	運転員等(中央制御室)	1	電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水開始
	運転員等(現場)	1	系統確認 高圧構成 ポンプ起動 注水操作
	運転員等(現場)	1	移動 系統構成
	運転員等(現場)	1	移動 RHRSS-CSSS連絡ライン弁及び消火水ライン弁電源入

※：表裏逆動時間には防護員着脱時間を含む。
第1.4.11図 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉		経過時間(分)	備考
手順の項目	要員(数)	10 15 20 25 30 35 40 45 50 60 70	
代替炉心注水による原子炉圧力容器への注水	運転員(中央制御室) A	1	15分 原子炉圧力容器への注水 電源確認※1 系統構成、ポンプ起動※2

※1：中央制御室での状況確認に必要な確認時間
※2：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間

第 1.4-17 図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

泊発電所3号炉		経過時間(分)	備考
手順の項目	要員(数)	10 20 30 40 50	
電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉圧力容器への注水	運転員(中央制御室) A	1	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉圧力容器への注水開始 40分
	運転員(現場) B	1	系統構成※1 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプ起動※3
	運転員(現場) C	1	移動、系統構成※2
	運転員(現場) C	1	移動、系統構成※2

※1：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間
※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に余裕を見込んだ時間
※3：機器の操作時間に余裕を見込んだ時間

第 1.4.10 図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

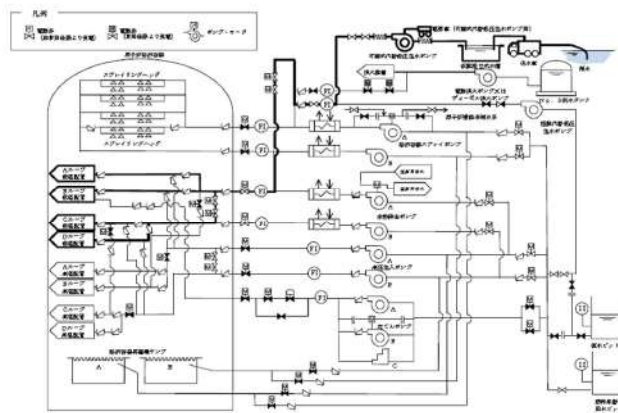
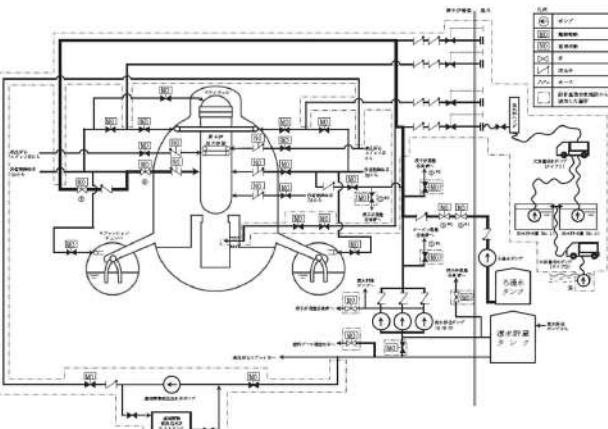
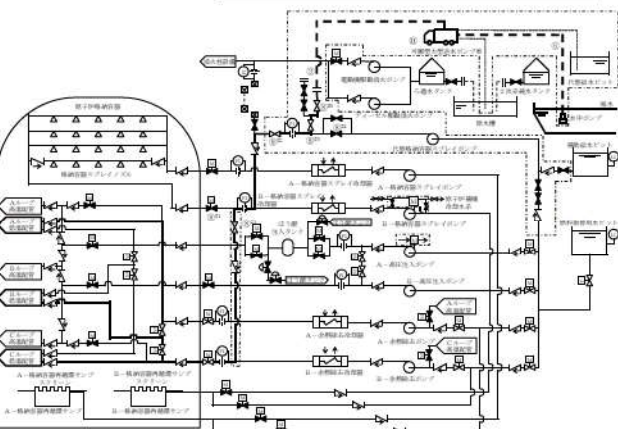
【大飯】
記載方針の相違（女川審査実績の反映）
・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
・補足の充実
・備考欄の追加

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
 <p>図 1.4.12 図 可搬式代替高圧圧水ポンプによる代替押し込み 概略系統</p>	 <p>第 1.4-18 図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="772 877 1344 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③ #1</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③ #2</td> <td>R/B B1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③ #3</td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>FW 系連絡第一弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #2</td> <td>FW 系連絡第二弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-18 図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	③ #1	T/B 緊急時隔離弁	③ #2	R/B B1F 緊急時隔離弁	③ #3	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑤ #1	FW 系連絡第一弁	⑤ #2	FW 系連絡第二弁	⑥	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	⑧	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	 <p>第 1.4. 11 図 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1422 997 1926 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>設備の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬式ポンプ車</td> <td>ポンプ稼働</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬式ポンプ車</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>③ #1</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全閉</td> </tr> <tr> <td>③ #2</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>③ #3</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #1</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #2</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #3</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #4</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #5</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #6</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #7</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #8</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #9</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #10</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #11</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #12</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #13</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #14</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #15</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #16</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #17</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #18</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #19</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #20</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #21</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #22</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #23</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #24</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #25</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #26</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #27</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #28</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #29</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #30</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #31</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #32</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #33</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #34</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #35</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #36</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #37</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #38</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #39</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #40</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #41</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #42</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #43</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #44</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #45</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #46</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #47</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #48</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #49</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #50</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #51</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #52</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #53</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #54</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #55</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #56</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #57</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #58</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #59</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #60</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #61</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #62</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #63</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #64</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #65</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #66</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #67</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #68</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #69</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #70</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #71</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #72</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #73</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #74</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #75</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #76</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #77</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #78</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #79</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #80</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #81</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #82</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #83</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #84</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #85</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #86</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #87</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #88</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #89</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #90</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #91</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #92</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #93</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #94</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #95</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #96</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #97</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #98</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #99</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> <tr> <td>④ #100</td> <td>圧力調整弁</td> <td>全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	設備の変化	①	可搬式ポンプ車	ポンプ稼働	②	可搬式ポンプ車	ポンプ停止	③ #1	圧力調整弁	全閉	③ #2	圧力調整弁	全開	③ #3	圧力調整弁	全開	④ #1	圧力調整弁	全開	④ #2	圧力調整弁	全開	④ #3	圧力調整弁	全開	④ #4	圧力調整弁	全開	④ #5	圧力調整弁	全開	④ #6	圧力調整弁	全開	④ #7	圧力調整弁	全開	④ #8	圧力調整弁	全開	④ #9	圧力調整弁	全開	④ #10	圧力調整弁	全開	④ #11	圧力調整弁	全開	④ #12	圧力調整弁	全開	④ #13	圧力調整弁	全開	④ #14	圧力調整弁	全開	④ #15	圧力調整弁	全開	④ #16	圧力調整弁	全開	④ #17	圧力調整弁	全開	④ #18	圧力調整弁	全開	④ #19	圧力調整弁	全開	④ #20	圧力調整弁	全開	④ #21	圧力調整弁	全開	④ #22	圧力調整弁	全開	④ #23	圧力調整弁	全開	④ #24	圧力調整弁	全開	④ #25	圧力調整弁	全開	④ #26	圧力調整弁	全開	④ #27	圧力調整弁	全開	④ #28	圧力調整弁	全開	④ #29	圧力調整弁	全開	④ #30	圧力調整弁	全開	④ #31	圧力調整弁	全開	④ #32	圧力調整弁	全開	④ #33	圧力調整弁	全開	④ #34	圧力調整弁	全開	④ #35	圧力調整弁	全開	④ #36	圧力調整弁	全開	④ #37	圧力調整弁	全開	④ #38	圧力調整弁	全開	④ #39	圧力調整弁	全開	④ #40	圧力調整弁	全開	④ #41	圧力調整弁	全開	④ #42	圧力調整弁	全開	④ #43	圧力調整弁	全開	④ #44	圧力調整弁	全開	④ #45	圧力調整弁	全開	④ #46	圧力調整弁	全開	④ #47	圧力調整弁	全開	④ #48	圧力調整弁	全開	④ #49	圧力調整弁	全開	④ #50	圧力調整弁	全開	④ #51	圧力調整弁	全開	④ #52	圧力調整弁	全開	④ #53	圧力調整弁	全開	④ #54	圧力調整弁	全開	④ #55	圧力調整弁	全開	④ #56	圧力調整弁	全開	④ #57	圧力調整弁	全開	④ #58	圧力調整弁	全開	④ #59	圧力調整弁	全開	④ #60	圧力調整弁	全開	④ #61	圧力調整弁	全開	④ #62	圧力調整弁	全開	④ #63	圧力調整弁	全開	④ #64	圧力調整弁	全開	④ #65	圧力調整弁	全開	④ #66	圧力調整弁	全開	④ #67	圧力調整弁	全開	④ #68	圧力調整弁	全開	④ #69	圧力調整弁	全開	④ #70	圧力調整弁	全開	④ #71	圧力調整弁	全開	④ #72	圧力調整弁	全開	④ #73	圧力調整弁	全開	④ #74	圧力調整弁	全開	④ #75	圧力調整弁	全開	④ #76	圧力調整弁	全開	④ #77	圧力調整弁	全開	④ #78	圧力調整弁	全開	④ #79	圧力調整弁	全開	④ #80	圧力調整弁	全開	④ #81	圧力調整弁	全開	④ #82	圧力調整弁	全開	④ #83	圧力調整弁	全開	④ #84	圧力調整弁	全開	④ #85	圧力調整弁	全開	④ #86	圧力調整弁	全開	④ #87	圧力調整弁	全開	④ #88	圧力調整弁	全開	④ #89	圧力調整弁	全開	④ #90	圧力調整弁	全開	④ #91	圧力調整弁	全開	④ #92	圧力調整弁	全開	④ #93	圧力調整弁	全開	④ #94	圧力調整弁	全開	④ #95	圧力調整弁	全開	④ #96	圧力調整弁	全開	④ #97	圧力調整弁	全開	④ #98	圧力調整弁	全開	④ #99	圧力調整弁	全開	④ #100	圧力調整弁	全開	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
③ #1	T/B 緊急時隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
③ #2	R/B B1F 緊急時隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
③ #3	R/B 1F 緊急時隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
⑤ #1	FW 系連絡第一弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
⑤ #2	FW 系連絡第二弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
⑥	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
⑧	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
操作手順	操作対象機器	設備の変化																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
①	可搬式ポンプ車	ポンプ稼働																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
②	可搬式ポンプ車	ポンプ停止																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
③ #1	圧力調整弁	全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
③ #2	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
③ #3	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #1	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #2	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #3	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #4	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #5	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #6	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #7	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #8	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #9	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #10	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #11	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #12	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #13	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #14	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #15	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #16	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #17	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #18	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #19	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #20	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #21	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #22	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #23	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #24	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #25	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #26	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #27	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #28	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #29	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #30	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #31	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #32	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #33	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #34	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #35	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #36	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #37	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #38	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #39	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #40	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #41	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #42	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #43	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #44	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #45	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #46	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #47	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #48	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #49	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #50	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #51	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #52	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #53	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #54	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #55	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #56	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #57	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #58	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #59	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #60	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #61	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #62	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #63	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #64	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #65	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #66	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #67	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #68	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #69	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #70	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #71	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #72	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #73	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #74	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #75	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #76	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #77	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #78	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #79	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #80	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #81	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #82	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #83	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #84	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #85	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #86	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #87	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #88	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #89	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #90	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #91	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #92	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #93	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #94	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #95	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #96	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #97	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #98	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #99	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
④ #100	圧力調整弁	全開																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

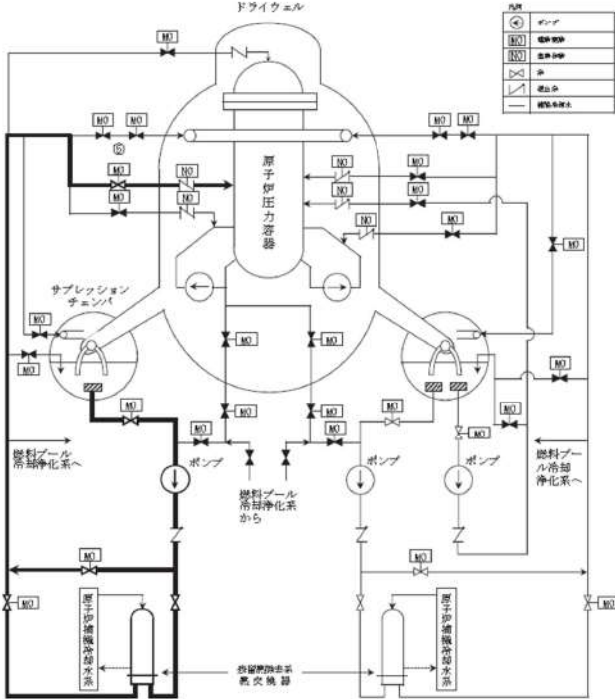
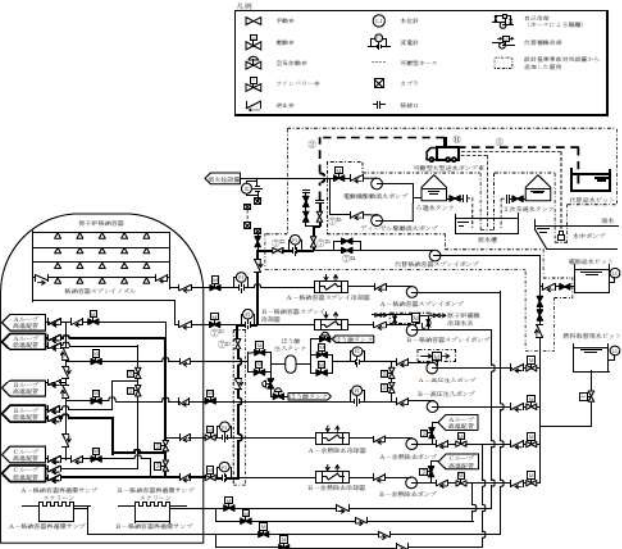
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 1.4.18 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水 タイムチャート</p> <p>※ 高圧送動時間には送動時間と必要の準備時間を含む。</p>	<p>図 1.4-19 図 ち過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室での異常検知と必要の準備時間 ※2：機器の動作時間と必要の準備時間</p>	<p>図 1.4.12 図 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 タイムチャート</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

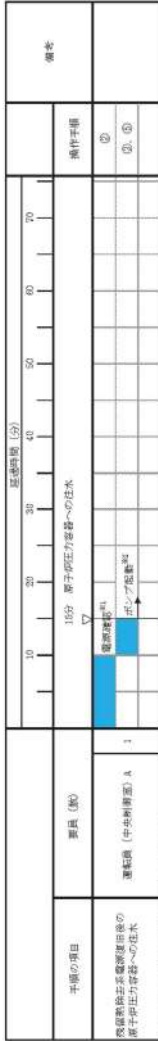
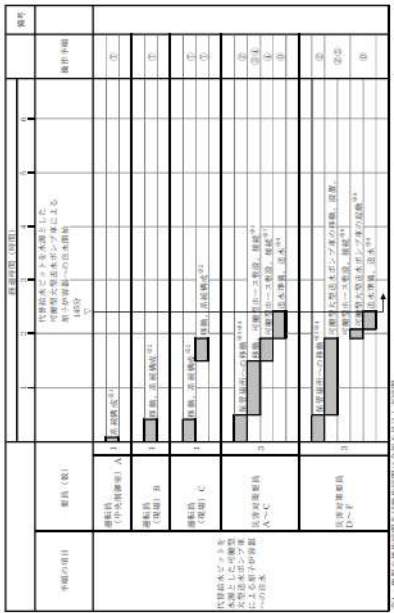
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																					
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="840 1093 1265 1149"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>赤名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑤</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第 1.4-20 図 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	操作手順	赤名称	⑤	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	 <table border="1" data-bbox="1422 981 1915 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>機印寄集機器</th> <th>設備の名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ポンプ車</td> <td>可搬型ポンプ車</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ポンプ車</td> <td>可搬型ポンプ車</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>可搬型ポンプ車</td> <td>可搬型ポンプ車</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>可搬型ポンプ車</td> <td>可搬型ポンプ車</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>可搬型ポンプ車</td> <td>可搬型ポンプ車</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型ポンプ車</td> <td>可搬型ポンプ車</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>可搬型ポンプ車</td> <td>可搬型ポンプ車</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>可搬型ポンプ車</td> <td>可搬型ポンプ車</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>可搬型ポンプ車</td> <td>可搬型ポンプ車</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>可搬型ポンプ車</td> <td>可搬型ポンプ車</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第 1.4.13 図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p>	操作手順	機印寄集機器	設備の名称	①	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車	②	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車	③	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車	④	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車	⑤	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車	⑥	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車	⑦	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車	⑧	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車	⑨	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車	⑩	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
操作手順	赤名称																																							
⑤	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																							
操作手順	機印寄集機器	設備の名称																																						
①	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車																																						
②	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車																																						
③	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車																																						
④	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車																																						
⑤	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車																																						
⑥	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車																																						
⑦	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車																																						
⑧	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車																																						
⑨	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車																																						
⑩	可搬型ポンプ車	可搬型ポンプ車																																						

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

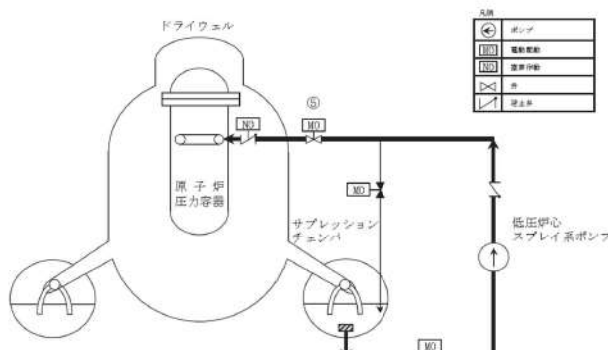
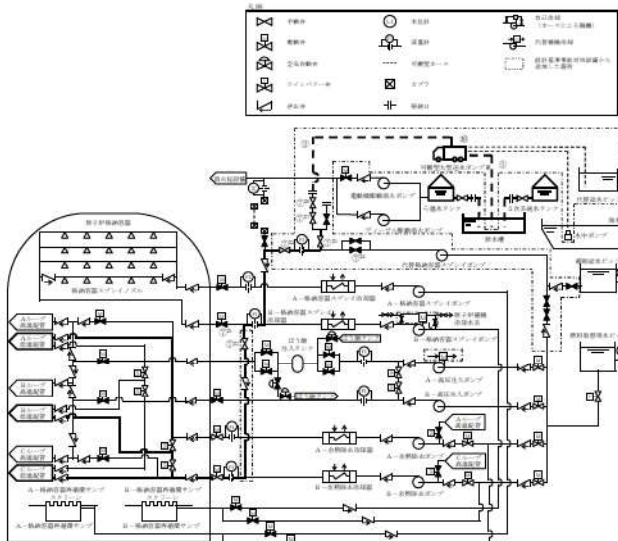
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第 1.4-21 図 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>  <p>※1：単体制御室での仕切操作による電源復旧 ※2：機器の操作時間及び動作時間は余裕を見込んだ時間</p>	 <p>※1：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※2：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※3：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※4：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※5：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※6：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※7：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※8：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※9：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※10：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※11：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※12：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※13：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※14：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※15：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※16：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※17：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※18：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※19：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※20：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※21：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※22：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※23：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※24：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※25：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※26：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※27：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※28：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※29：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※30：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※31：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※32：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※33：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※34：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※35：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※36：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※37：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※38：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※39：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※40：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※41：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※42：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※43：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※44：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※45：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※46：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※47：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※48：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※49：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※50：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※51：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※52：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※53：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※54：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※55：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※56：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※57：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※58：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※59：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※60：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※61：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※62：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※63：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※64：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※65：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※66：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※67：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※68：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※69：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※70：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※71：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※72：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※73：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※74：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※75：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※76：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※77：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※78：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※79：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※80：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※81：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※82：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※83：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※84：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※85：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※86：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※87：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※88：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※89：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※90：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※91：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※92：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※93：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※94：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※95：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※96：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※97：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※98：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※99：可搬型大型送水ポンプ車による注水 ※100：可搬型大型送水ポンプ車による注水</p>	<p>第 1.4.14 図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p style="text-align: right;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


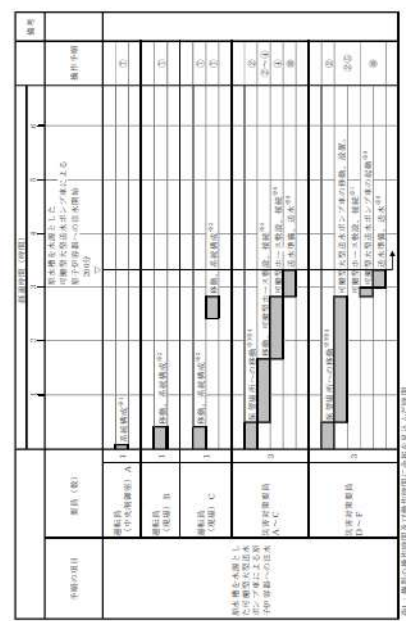
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																													
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第1.4-22図 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="851 925 1254 973"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>赤名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑤</td> <td>LPCS 注入隔離弁</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	赤名称	⑤	LPCS 注入隔離弁	 <p style="text-align: center;">第1.4.15図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1411 957 1926 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>設備の異化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑪</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑫</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑬</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑭</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑮</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑯</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑰</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑱</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑲</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑳</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㉑</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㉒</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㉓</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㉔</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㉕</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㉖</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㉗</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㉘</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㉙</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㉚</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㉛</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㉜</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㉝</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㉞</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㉟</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㊱</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㊲</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㊳</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㊴</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㊵</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㊶</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㊷</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㊸</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㊹</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㊺</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㊻</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㊼</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㊽</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㊾</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>㊿</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>全開確認</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">㉑～㉛同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機能があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	設備の異化	①	可搬型ホース	ホース接続	②	可搬型ホース	ホース接続	③	可搬型送水ポンプ車	全開確認	④	可搬型送水ポンプ車	全開確認	⑤	可搬型送水ポンプ車	全開確認	⑥	可搬型送水ポンプ車	全開確認	⑦	可搬型送水ポンプ車	全開確認	⑧	可搬型送水ポンプ車	全開確認	⑨	可搬型送水ポンプ車	全開確認	⑩	可搬型送水ポンプ車	全開確認	⑪	可搬型送水ポンプ車	全開確認	⑫	可搬型送水ポンプ車	全開確認	⑬	可搬型送水ポンプ車	全開確認	⑭	可搬型送水ポンプ車	全開確認	⑮	可搬型送水ポンプ車	全開確認	⑯	可搬型送水ポンプ車	全開確認	⑰	可搬型送水ポンプ車	全開確認	⑱	可搬型送水ポンプ車	全開確認	⑲	可搬型送水ポンプ車	全開確認	⑳	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㉑	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㉒	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㉓	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㉔	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㉕	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㉖	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㉗	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㉘	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㉙	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㉚	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㉛	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㉜	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㉝	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㉞	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㉟	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㊱	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㊲	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㊳	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㊴	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㊵	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㊶	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㊷	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㊸	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㊹	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㊺	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㊻	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㊼	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㊽	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㊾	可搬型送水ポンプ車	全開確認	㊿	可搬型送水ポンプ車	全開確認	<p style="text-align: center;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
操作手順	赤名称																																																																																																																																																															
⑤	LPCS 注入隔離弁																																																																																																																																																															
操作手順	操作対象機器	設備の異化																																																																																																																																																														
①	可搬型ホース	ホース接続																																																																																																																																																														
②	可搬型ホース	ホース接続																																																																																																																																																														
③	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
④	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
⑤	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
⑥	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
⑦	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
⑧	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
⑨	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
⑩	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
⑪	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
⑫	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
⑬	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
⑭	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
⑮	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
⑯	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
⑰	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
⑱	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
⑲	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
⑳	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㉑	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㉒	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㉓	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㉔	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㉕	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㉖	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㉗	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㉘	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㉙	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㉚	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㉛	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㉜	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㉝	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㉞	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㉟	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㊱	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㊲	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㊳	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㊴	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㊵	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㊶	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㊷	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㊸	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㊹	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㊺	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㊻	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㊼	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㊽	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㊾	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														
㊿	可搬型送水ポンプ車	全開確認																																																																																																																																																														

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

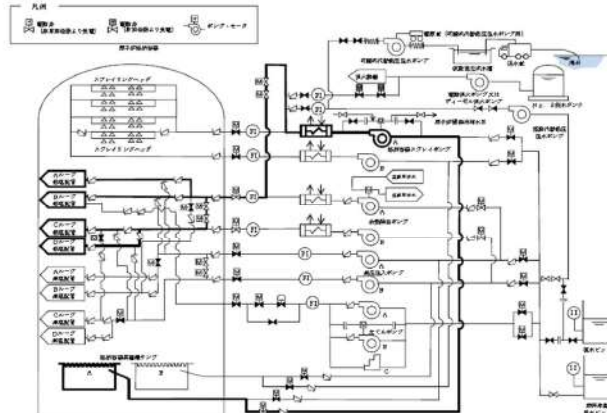
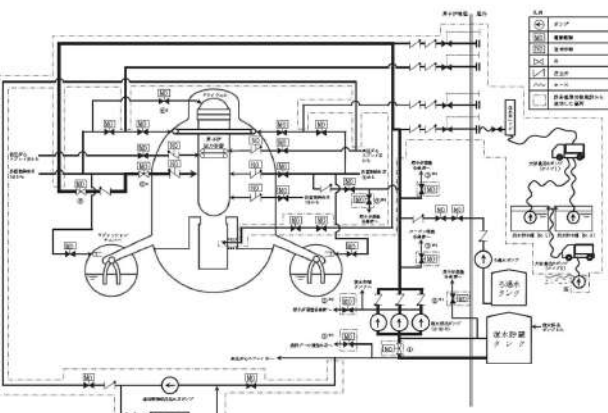
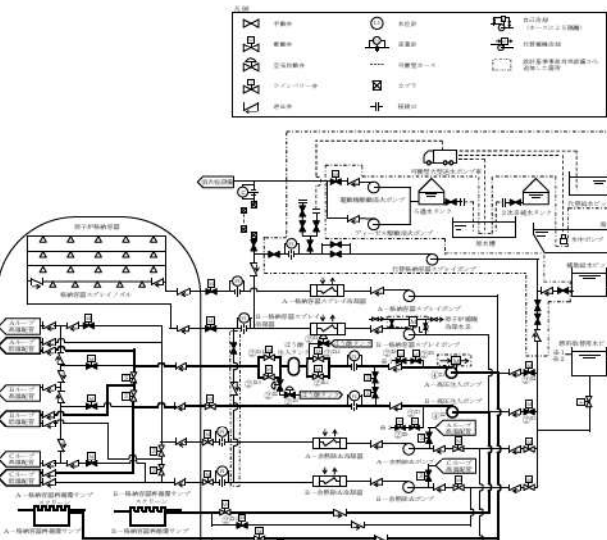
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第1.4-23 図 低圧炉心スプレイス系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>  <p>※1: 中央制御室での炉心スプレイス系電源復旧後の注水 ※2: 機器の動作時間及び動作中に余裕を見込んだ時間</p>	 <p>※1: 運転員(中央制御室) A ※2: 運転員(制御室) B ※3: 運転員(制御室) C ※4: 注水(注水機) ※5: 注水(注水機) ※6: 注水(注水機) ※7: 注水(注水機) ※8: 注水(注水機) ※9: 注水(注水機) ※10: 注水(注水機) ※11: 注水(注水機) ※12: 注水(注水機) ※13: 注水(注水機) ※14: 注水(注水機) ※15: 注水(注水機) ※16: 注水(注水機) ※17: 注水(注水機) ※18: 注水(注水機) ※19: 注水(注水機) ※20: 注水(注水機) ※21: 注水(注水機) ※22: 注水(注水機) ※23: 注水(注水機) ※24: 注水(注水機) ※25: 注水(注水機) ※26: 注水(注水機) ※27: 注水(注水機) ※28: 注水(注水機) ※29: 注水(注水機) ※30: 注水(注水機) ※31: 注水(注水機) ※32: 注水(注水機) ※33: 注水(注水機) ※34: 注水(注水機) ※35: 注水(注水機) ※36: 注水(注水機) ※37: 注水(注水機) ※38: 注水(注水機) ※39: 注水(注水機) ※40: 注水(注水機) ※41: 注水(注水機) ※42: 注水(注水機) ※43: 注水(注水機) ※44: 注水(注水機) ※45: 注水(注水機) ※46: 注水(注水機) ※47: 注水(注水機) ※48: 注水(注水機) ※49: 注水(注水機) ※50: 注水(注水機) ※51: 注水(注水機) ※52: 注水(注水機) ※53: 注水(注水機) ※54: 注水(注水機) ※55: 注水(注水機) ※56: 注水(注水機) ※57: 注水(注水機) ※58: 注水(注水機) ※59: 注水(注水機) ※60: 注水(注水機) ※61: 注水(注水機) ※62: 注水(注水機) ※63: 注水(注水機) ※64: 注水(注水機) ※65: 注水(注水機) ※66: 注水(注水機) ※67: 注水(注水機) ※68: 注水(注水機) ※69: 注水(注水機) ※70: 注水(注水機)</p>	<p>第1.4.16 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																												
 <p>凡例 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p> <p>第 1.4.15 図 A種納容器スプレイポンプ（R/R 3-C-5.3 連絡ライン使用）による代替再循環運転 概略系統</p>	 <p>第 1.4-24 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="840 869 1265 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①^{#1}</td> <td>CRD 復水入口弁</td> </tr> <tr> <td>②^{#1}</td> <td>WRPC サンプリング取出し止め弁</td> </tr> <tr> <td>③^{#1}</td> <td>FFTRR ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>④^{#1}</td> <td>T/B 緊急停断弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#1}</td> <td>R/B BIF 緊急時閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑥^{#1}</td> <td>R/B 1F 緊急時閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>復水貯蔵タンク常用、非常用給水電送路ライン止め弁</td> </tr> <tr> <td>⑥*</td> <td>R/R A系 LPCI 注入閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑥*</td> <td>R/R ヘッドスプレイ注入閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン検知異常調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を要する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-24 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	① ^{#1}	CRD 復水入口弁	② ^{#1}	WRPC サンプリング取出し止め弁	③ ^{#1}	FFTRR ポンプ吸込弁	④ ^{#1}	T/B 緊急停断弁	⑤ ^{#1}	R/B BIF 緊急時閉鎖弁	⑥ ^{#1}	R/B 1F 緊急時閉鎖弁	④	復水貯蔵タンク常用、非常用給水電送路ライン止め弁	⑥*	R/R A系 LPCI 注入閉鎖弁	⑥*	R/R ヘッドスプレイ注入閉鎖弁	⑤	R/R ヘッドスプレイライン検知異常調整弁	 <p>凡例 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p> <p>第 1.4.17 図 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1456 901 1926 1197"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①^{#1}</td> <td>は5種注入タンク 換熱フィン入口止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>②^{#1}</td> <td>は5種注入タンク 換熱フィン出口第1止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>③^{#1}</td> <td>は5種注入タンク 換熱フィン出口第2止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>④^{#1}</td> <td>A-高圧注入ポンプ 燃料取扱用冷却水ビット挿入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#1}</td> <td>B-高圧注入ポンプ 燃料取扱用冷却水ビット挿入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥^{#1}</td> <td>A-高圧注入ポンプ 第1ミニフロー弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦^{#1}</td> <td>B-高圧注入ポンプ 第1ミニフロー弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧^{#1}</td> <td>A-高圧注入ポンプ 第2ミニフロー弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑨^{#1}</td> <td>B-高圧注入ポンプ 第2ミニフロー弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑩^{#1}</td> <td>A-安全注入ポンプ 再循環センサ挿入口C/C外側閉鎖弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑪^{#1}</td> <td>B-安全注入ポンプ 再循環センサ挿入口C/C外側閉鎖弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑫^{#1}</td> <td>は5種注入タンク入口弁 A</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑬^{#1}</td> <td>は5種注入タンク入口弁 B</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑭^{#1}</td> <td>は5種注入タンク 出口C/C外側閉鎖弁 A</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑮^{#1}</td> <td>は5種注入タンク 出口C/C外側閉鎖弁 B</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑯^{#1}</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑰^{#1}</td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を要する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ^{#1}	は5種注入タンク 換熱フィン入口止め弁	全開→全開	② ^{#1}	は5種注入タンク 換熱フィン出口第1止め弁	全開→全開	③ ^{#1}	は5種注入タンク 換熱フィン出口第2止め弁	全開→全開	④ ^{#1}	A-高圧注入ポンプ 燃料取扱用冷却水ビット挿入口弁	全開→全開	⑤ ^{#1}	B-高圧注入ポンプ 燃料取扱用冷却水ビット挿入口弁	全開→全開	⑥ ^{#1}	A-高圧注入ポンプ 第1ミニフロー弁	全開→全開	⑦ ^{#1}	B-高圧注入ポンプ 第1ミニフロー弁	全開→全開	⑧ ^{#1}	A-高圧注入ポンプ 第2ミニフロー弁	全開→全開	⑨ ^{#1}	B-高圧注入ポンプ 第2ミニフロー弁	全開→全開	⑩ ^{#1}	A-安全注入ポンプ 再循環センサ挿入口C/C外側閉鎖弁	全開→全開	⑪ ^{#1}	B-安全注入ポンプ 再循環センサ挿入口C/C外側閉鎖弁	全開→全開	⑫ ^{#1}	は5種注入タンク入口弁 A	全開→全開	⑬ ^{#1}	は5種注入タンク入口弁 B	全開→全開	⑭ ^{#1}	は5種注入タンク 出口C/C外側閉鎖弁 A	全開→全開	⑮ ^{#1}	は5種注入タンク 出口C/C外側閉鎖弁 B	全開→全開	⑯ ^{#1}	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	⑰ ^{#1}	B-高圧注入ポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																																																														
① ^{#1}	CRD 復水入口弁																																																																														
② ^{#1}	WRPC サンプリング取出し止め弁																																																																														
③ ^{#1}	FFTRR ポンプ吸込弁																																																																														
④ ^{#1}	T/B 緊急停断弁																																																																														
⑤ ^{#1}	R/B BIF 緊急時閉鎖弁																																																																														
⑥ ^{#1}	R/B 1F 緊急時閉鎖弁																																																																														
④	復水貯蔵タンク常用、非常用給水電送路ライン止め弁																																																																														
⑥*	R/R A系 LPCI 注入閉鎖弁																																																																														
⑥*	R/R ヘッドスプレイ注入閉鎖弁																																																																														
⑤	R/R ヘッドスプレイライン検知異常調整弁																																																																														
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																													
① ^{#1}	は5種注入タンク 換熱フィン入口止め弁	全開→全開																																																																													
② ^{#1}	は5種注入タンク 換熱フィン出口第1止め弁	全開→全開																																																																													
③ ^{#1}	は5種注入タンク 換熱フィン出口第2止め弁	全開→全開																																																																													
④ ^{#1}	A-高圧注入ポンプ 燃料取扱用冷却水ビット挿入口弁	全開→全開																																																																													
⑤ ^{#1}	B-高圧注入ポンプ 燃料取扱用冷却水ビット挿入口弁	全開→全開																																																																													
⑥ ^{#1}	A-高圧注入ポンプ 第1ミニフロー弁	全開→全開																																																																													
⑦ ^{#1}	B-高圧注入ポンプ 第1ミニフロー弁	全開→全開																																																																													
⑧ ^{#1}	A-高圧注入ポンプ 第2ミニフロー弁	全開→全開																																																																													
⑨ ^{#1}	B-高圧注入ポンプ 第2ミニフロー弁	全開→全開																																																																													
⑩ ^{#1}	A-安全注入ポンプ 再循環センサ挿入口C/C外側閉鎖弁	全開→全開																																																																													
⑪ ^{#1}	B-安全注入ポンプ 再循環センサ挿入口C/C外側閉鎖弁	全開→全開																																																																													
⑫ ^{#1}	は5種注入タンク入口弁 A	全開→全開																																																																													
⑬ ^{#1}	は5種注入タンク入口弁 B	全開→全開																																																																													
⑭ ^{#1}	は5種注入タンク 出口C/C外側閉鎖弁 A	全開→全開																																																																													
⑮ ^{#1}	は5種注入タンク 出口C/C外側閉鎖弁 B	全開→全開																																																																													
⑯ ^{#1}	A-高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																													
⑰ ^{#1}	B-高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																													

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

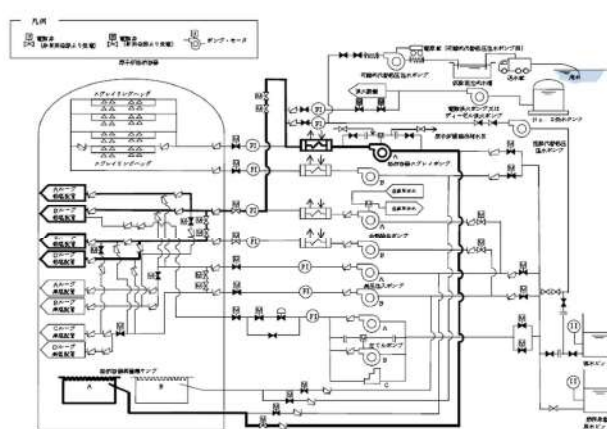
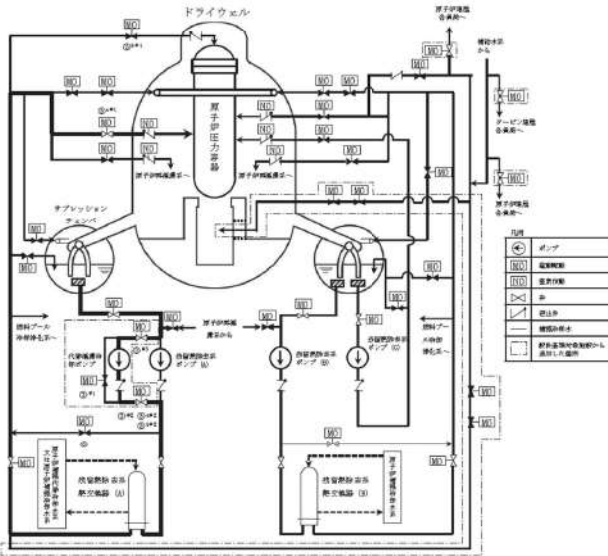
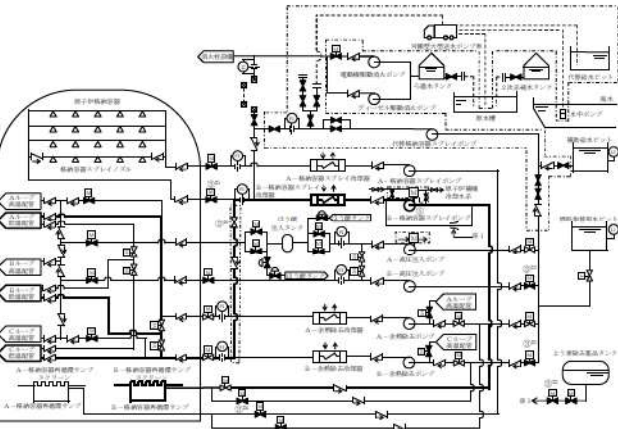
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">残留熱除去系(A)又は(B)注入配管使用の場合</p> <p style="text-align: center;">残留熱除去系へドブスドブ配管使用の場合</p>	<p style="text-align: center;">第 1.4-25 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による残存溶解炉心の冷却 タイムチャート</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査表紙の反映） ・泊は中央制御室のみで操作する手順においてもタイムチャートを整備している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																						
 <p>凡例 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p> <p>第14.15図 A格納容器スプレイポンプ（RHR3-CSS連絡ライン使用）による代替循環運転 概略系統</p>	 <p>第1.4-26図 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="761 965 1355 1173"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③ F1</td> <td>代替循環冷却ポンプバイパス弁</td> </tr> <tr> <td>③ F2 ⑤ R2 ⑤ R2</td> <td>代替循環冷却ポンプ流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>③ F2</td> <td>代替循環冷却ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ R1</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ R1</td> <td>RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>RHR 熱交換器 (A) バイパス弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※L：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-26図 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	③ F1	代替循環冷却ポンプバイパス弁	③ F2 ⑤ R2 ⑤ R2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁	③ F2	代替循環冷却ポンプ吸込弁	⑤ R1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	⑤ R1	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁	⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁	 <p>凡例 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p> <table border="1" data-bbox="1444 997 1948 1125"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③</td> <td>第一格納容器スプレイ冷却器出口の内外循環弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>圧力調整タンク注入ライン止め弁後弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>第一全熱除去ポンプRHR吸入口弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>第一全熱除去ポンプ西側塞止弁吸入口弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>第一高圧注入ポンプ燃料取替用水ビッド吸入口弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>第一全熱除去冷却器出口格納容器スプレイ冷却器ライン止め弁（圧調整）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>第一格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※L：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.4.19図 B-格納容器スプレイポンプ（RHR3-CSS連絡ライン使用）による代替循環運転 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	③	第一格納容器スプレイ冷却器出口の内外循環弁	全開→全閉	④	圧力調整タンク注入ライン止め弁後弁	全開→全閉	⑤	第一全熱除去ポンプRHR吸入口弁	全閉確認	⑥	第一全熱除去ポンプ西側塞止弁吸入口弁	全閉確認	⑦	第一高圧注入ポンプ燃料取替用水ビッド吸入口弁	全閉確認	⑧	第一全熱除去冷却器出口格納容器スプレイ冷却器ライン止め弁（圧調整）	全開→全閉	⑨	第一格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																								
③ F1	代替循環冷却ポンプバイパス弁																																								
③ F2 ⑤ R2 ⑤ R2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁																																								
③ F2	代替循環冷却ポンプ吸込弁																																								
⑤ R1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																								
⑤ R1	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁																																								
⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁																																								
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																							
③	第一格納容器スプレイ冷却器出口の内外循環弁	全開→全閉																																							
④	圧力調整タンク注入ライン止め弁後弁	全開→全閉																																							
⑤	第一全熱除去ポンプRHR吸入口弁	全閉確認																																							
⑥	第一全熱除去ポンプ西側塞止弁吸入口弁	全閉確認																																							
⑦	第一高圧注入ポンプ燃料取替用水ビッド吸入口弁	全閉確認																																							
⑧	第一全熱除去冷却器出口格納容器スプレイ冷却器ライン止め弁（圧調整）	全開→全閉																																							
⑨	第一格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																							

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																																																																																																																																		
<p>経過時間(分)</p> <table border="1"> <tr><td>5</td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td><td>40</td><td>45</td></tr> <tr><td colspan="9">A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替再循環運転開始</td></tr> <tr><td colspan="9">系統構成</td></tr> <tr><td colspan="9">ポンプ起動</td></tr> <tr><td colspan="9">原子炉への注水確認</td></tr> <tr><td colspan="9">移動</td></tr> <tr><td colspan="9">RHRS-CSS連絡ライン弁電源入</td></tr> </table> <p>要員(数)</p> <p>運転員等(中央制御室) 1</p> <p>運転員等(現場) 1</p> <p>備考</p>	5	10	15	20	25	30	35	40	45	A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替再循環運転開始									系統構成									ポンプ起動									原子炉への注水確認									移動									RHRS-CSS連絡ライン弁電源入									<p>経過時間(分)</p> <table border="1"> <tr><td>5</td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td><td>40</td><td>45</td></tr> <tr><td colspan="9">15分 残存容器中心の冷却</td></tr> <tr><td colspan="9">電源確認^{※1}</td></tr> <tr><td colspan="9">系統構成、ポンプ起動^{※2}</td></tr> </table> <p>要員(数)</p> <p>運転員(中央制御室) A 1</p> <p>備考</p>	5	10	15	20	25	30	35	40	45	15分 残存容器中心の冷却									電源確認 ^{※1}									系統構成、ポンプ起動 ^{※2}									<p>経過時間(分)</p> <table border="1"> <tr><td>5</td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td><td>40</td><td>45</td></tr> <tr><td colspan="9">20分 残存容器中心の冷却</td></tr> <tr><td colspan="9">電源確認^{※1}</td></tr> <tr><td colspan="9">系統構成、ポンプ起動^{※2}</td></tr> </table> <p>要員(数)</p> <p>運転員(中央制御室) A 1</p> <p>備考</p>	5	10	15	20	25	30	35	40	45	20分 残存容器中心の冷却									電源確認 ^{※1}									系統構成、ポンプ起動 ^{※2}									<p>経過時間(分)</p> <table border="1"> <tr><td>5</td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td><td>40</td><td>45</td></tr> <tr><td colspan="9">B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替再循環運転開始</td></tr> <tr><td colspan="9">系統構成^{※1}</td></tr> <tr><td colspan="9">B-格納容器スプレイポンプ起動^{※2}</td></tr> <tr><td colspan="9">移動、系統構成、RHRS-CSS連絡ライン弁開操作^{※3}</td></tr> </table> <p>要員(数)</p> <p>運転員(中央制御室) A 1</p> <p>運転員(現場) B 1</p> <p>備考</p>	5	10	15	20	25	30	35	40	45	B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替再循環運転開始									系統構成 ^{※1}									B-格納容器スプレイポンプ起動 ^{※2}									移動、系統構成、RHRS-CSS連絡ライン弁開操作 ^{※3}									<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>
5	10	15	20	25	30	35	40	45																																																																																																																																																																																
A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替再循環運転開始																																																																																																																																																																																								
系統構成																																																																																																																																																																																								
ポンプ起動																																																																																																																																																																																								
原子炉への注水確認																																																																																																																																																																																								
移動																																																																																																																																																																																								
RHRS-CSS連絡ライン弁電源入																																																																																																																																																																																								
5	10	15	20	25	30	35	40	45																																																																																																																																																																																
15分 残存容器中心の冷却																																																																																																																																																																																								
電源確認 ^{※1}																																																																																																																																																																																								
系統構成、ポンプ起動 ^{※2}																																																																																																																																																																																								
5	10	15	20	25	30	35	40	45																																																																																																																																																																																
20分 残存容器中心の冷却																																																																																																																																																																																								
電源確認 ^{※1}																																																																																																																																																																																								
系統構成、ポンプ起動 ^{※2}																																																																																																																																																																																								
5	10	15	20	25	30	35	40	45																																																																																																																																																																																
B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替再循環運転開始																																																																																																																																																																																								
系統構成 ^{※1}																																																																																																																																																																																								
B-格納容器スプレイポンプ起動 ^{※2}																																																																																																																																																																																								
移動、系統構成、RHRS-CSS連絡ライン弁開操作 ^{※3}																																																																																																																																																																																								
<p>※：現番移動時間には防除職員常用時間を含む。</p> <p>第1.4.16図 A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替再循環運転 タイムチャート</p>		<p>残留熱除去系 (A) 注入配管使用の場合</p> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な滞在時間 ※2：機器の動作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間</p>		<p>残留熱除去系ヘッドスプレイ配管使用の場合</p> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な滞在時間 ※2：機器の動作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間</p>		<p>第1.4.20図 B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替再循環運転 タイムチャート</p>																																																																																																																																																																																		

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

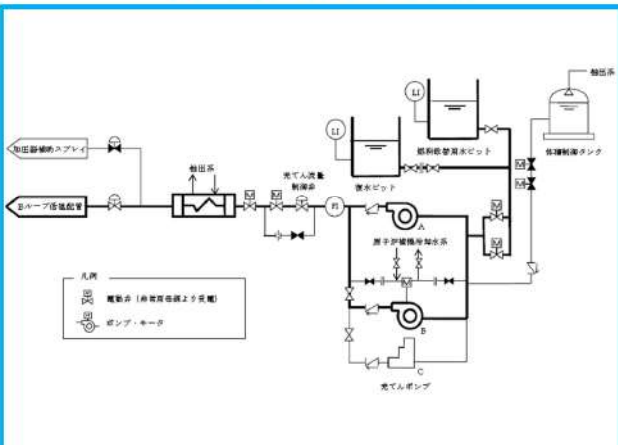
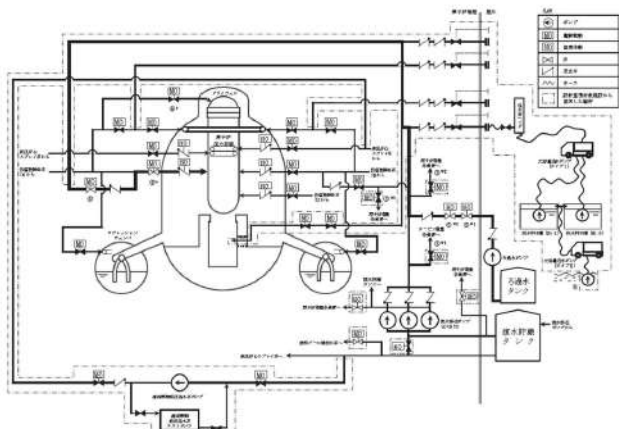
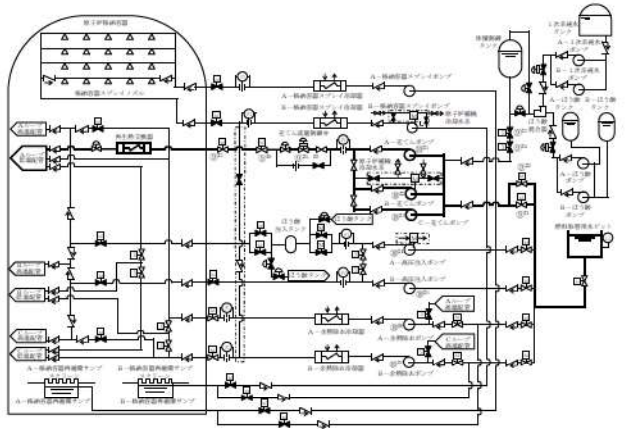
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第1.4-29図 低圧代替注水系（可搬型）による残存 containment 炉心の冷却 タイムチャート</p>		
	<p>第1.4-30図 低圧代替注水系（可搬型）による残存 containment 炉心の冷却 タイムチャート</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																		
<p>【比較のため、第1.4.5図を再掲】</p>  <p>第1.4.5図 充電ポンプによる炉心注水 概略系図</p>	 <p>第1.4-31図 ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="750 869 1355 1149"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③#1</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③#2</td> <td>R/B B1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③#3</td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#1</td> <td>FW系連絡第一弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#2</td> <td>FW系連絡第二弁</td> </tr> <tr> <td>⑥#</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥#</td> <td>RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>RHR ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-31図 ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	③#1	T/B 緊急時隔離弁	③#2	R/B B1F 緊急時隔離弁	③#3	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑤#1	FW系連絡第一弁	⑤#2	FW系連絡第二弁	⑥#	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	⑥#	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁	⑧	RHR ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	 <p>第1.4.22図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順 (燃料取替用水ビットを水源とした充電ポンプによる原子炉容器への注水) 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="1422 973 1937 1252"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#</td> <td>充電ポンプ入口燃料取替用水ビット出入口弁A</td> <td>全閉→確認</td> </tr> <tr> <td>②#</td> <td>充電ポンプ入口燃料取替用水ビット出入口弁B</td> <td>全閉→確認</td> </tr> <tr> <td>③#</td> <td>体積調整タンク出口第1止め弁</td> <td>全閉→確認</td> </tr> <tr> <td>④#</td> <td>体積調整タンク出口第2止め弁</td> <td>全閉→確認</td> </tr> <tr> <td>⑤#</td> <td>充電流量制御弁</td> <td>調整部→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥#</td> <td>充電ラインC/F外側隔離弁</td> <td>全閉→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑦#</td> <td>充電ラインC/F内側隔離弁</td> <td>全閉→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑧#</td> <td>充電流量制御弁</td> <td>全閉→調整部</td> </tr> <tr> <td>⑨#</td> <td>A-充電ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑩#</td> <td>B-充電ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑪#</td> <td>C-充電ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑫#</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑬#</td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑭#</td> <td>A-余熱除去ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑮#</td> <td>B-余熱除去ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.4.22図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順 (燃料取替用水ビットを水源とした充電ポンプによる原子炉容器への注水) 概要図 (2/2)</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①#	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット出入口弁A	全閉→確認	②#	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット出入口弁B	全閉→確認	③#	体積調整タンク出口第1止め弁	全閉→確認	④#	体積調整タンク出口第2止め弁	全閉→確認	⑤#	充電流量制御弁	調整部→全閉	⑥#	充電ラインC/F外側隔離弁	全閉→全閉	⑦#	充電ラインC/F内側隔離弁	全閉→全閉	⑧#	充電流量制御弁	全閉→調整部	⑨#	A-充電ポンプ	起動→停止	⑩#	B-充電ポンプ	起動→停止	⑪#	C-充電ポンプ	起動→停止	⑫#	A-高圧注入ポンプ	起動→停止	⑬#	B-高圧注入ポンプ	起動→停止	⑭#	A-余熱除去ポンプ	起動→停止	⑮#	B-余熱除去ポンプ	起動→停止	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																																																				
③#1	T/B 緊急時隔離弁																																																																				
③#2	R/B B1F 緊急時隔離弁																																																																				
③#3	R/B 1F 緊急時隔離弁																																																																				
⑤#1	FW系連絡第一弁																																																																				
⑤#2	FW系連絡第二弁																																																																				
⑥#	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																																																				
⑥#	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁																																																																				
⑧	RHR ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																																				
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																			
①#	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット出入口弁A	全閉→確認																																																																			
②#	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット出入口弁B	全閉→確認																																																																			
③#	体積調整タンク出口第1止め弁	全閉→確認																																																																			
④#	体積調整タンク出口第2止め弁	全閉→確認																																																																			
⑤#	充電流量制御弁	調整部→全閉																																																																			
⑥#	充電ラインC/F外側隔離弁	全閉→全閉																																																																			
⑦#	充電ラインC/F内側隔離弁	全閉→全閉																																																																			
⑧#	充電流量制御弁	全閉→調整部																																																																			
⑨#	A-充電ポンプ	起動→停止																																																																			
⑩#	B-充電ポンプ	起動→停止																																																																			
⑪#	C-充電ポンプ	起動→停止																																																																			
⑫#	A-高圧注入ポンプ	起動→停止																																																																			
⑬#	B-高圧注入ポンプ	起動→停止																																																																			
⑭#	A-余熱除去ポンプ	起動→停止																																																																			
⑮#	B-余熱除去ポンプ	起動→停止																																																																			

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

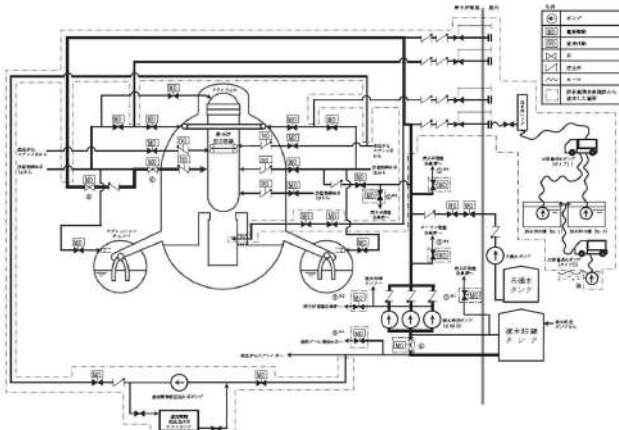
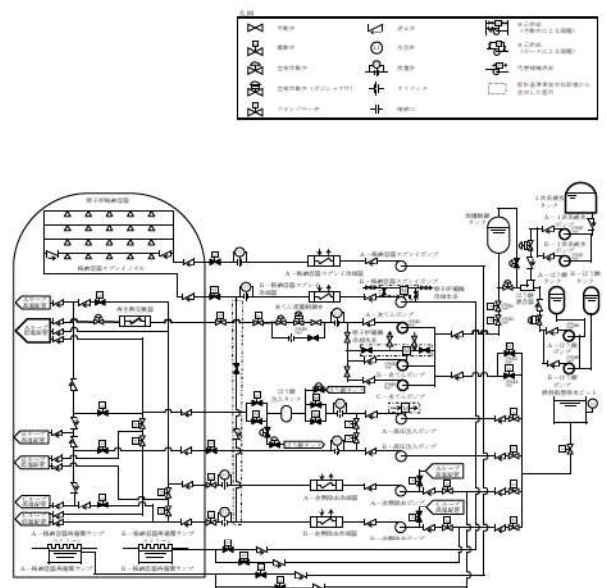
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由				
	<div style="text-align: center;"> <p>20分 残存溶融炉心の冷却</p> <p>電源喪失</p> <p>系統構成、ポンプ起動</p> <p>経過時間(分)</p> <p>70 60 50 40 30 20 10</p> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順の項目</th> <th>要員(名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却</td> <td>運転員(中央制御室) A 1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間 ※2：機器の操作時間及び動作時間之余裕を見込んだ時間</p> </div> <p style="text-align: center;">第 1.4-32 図 ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p>	手順の項目	要員(名)	ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却	運転員(中央制御室) A 1		
手順の項目	要員(名)						
ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却	運転員(中央制御室) A 1						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																											
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p>第1.4-33 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="840 901 1254 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①¹⁾</td> <td>CR 復水入口弁</td> </tr> <tr> <td>②¹⁾</td> <td>RWC サンプリング取出し止め弁</td> </tr> <tr> <td>③¹⁾</td> <td>FRWY ポンプ戻込弁</td> </tr> <tr> <td>④¹⁾</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤¹⁾</td> <td>K/B 10F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥¹⁾</td> <td>K/B 10F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン供排水流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-33 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	① ¹⁾	CR 復水入口弁	② ¹⁾	RWC サンプリング取出し止め弁	③ ¹⁾	FRWY ポンプ戻込弁	④ ¹⁾	T/B 緊急時隔離弁	⑤ ¹⁾	K/B 10F 緊急時隔離弁	⑥ ¹⁾	K/B 10F 緊急時隔離弁	⑦	復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁	⑧	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	⑨	R/R ヘッドスプレイライン供排水流量調整弁	 <p>第1.4.23 図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした充てんポンプによる原子炉容器への注水） 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="1456 1021 1937 1236"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>設備の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①¹⁾</td> <td>仕積貯蔵タンク出口第1止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②¹⁾</td> <td>仕積貯蔵タンク出口第2止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③¹⁾</td> <td>充てんポンプ入口燃料転送用水ピット側入口弁A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④¹⁾</td> <td>充てんポンプ入口燃料転送用水ピット側入口弁B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤¹⁾</td> <td>A→充てんポンプ^{※1)}</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑥¹⁾</td> <td>B→充てんポンプ^{※1)}</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑦¹⁾</td> <td>C→充てんポンプ^{※1)}</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑧¹⁾</td> <td>A→ほう酸ポンプ^{※2)}</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑨¹⁾</td> <td>B→ほう酸ポンプ^{※2)}</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑩¹⁾</td> <td>A→1次系補給水ポンプ^{※2)}</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑪¹⁾</td> <td>B→1次系補給水ポンプ^{※2)}</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑫¹⁾</td> <td>充てん流量制御弁</td> <td>流量調整</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。 ※1：いずれか1台を起動する。 ※2：どちらか1台を起動する。</p> <p>第1.4.23 図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした充てんポンプによる原子炉容器への注水） 概要図（2/2）</p>	操作手順	操作対象機器	設備の変化	① ¹⁾	仕積貯蔵タンク出口第1止め弁	全閉→全開	② ¹⁾	仕積貯蔵タンク出口第2止め弁	全閉→全開	③ ¹⁾	充てんポンプ入口燃料転送用水ピット側入口弁A	全閉→全開	④ ¹⁾	充てんポンプ入口燃料転送用水ピット側入口弁B	全閉→全開	⑤ ¹⁾	A→充てんポンプ ^{※1)}	停止→起動	⑥ ¹⁾	B→充てんポンプ ^{※1)}	停止→起動	⑦ ¹⁾	C→充てんポンプ ^{※1)}	停止→起動	⑧ ¹⁾	A→ほう酸ポンプ ^{※2)}	停止→起動	⑨ ¹⁾	B→ほう酸ポンプ ^{※2)}	停止→起動	⑩ ¹⁾	A→1次系補給水ポンプ ^{※2)}	停止→起動	⑪ ¹⁾	B→1次系補給水ポンプ ^{※2)}	停止→起動	⑫ ¹⁾	充てん流量制御弁	流量調整	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・泊3号炉は1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした充てんポンプによる原子炉容器への注水の状態を示す概略系統を第1.4.23 図に整理した。</p>
操作手順	弁名称																																																													
① ¹⁾	CR 復水入口弁																																																													
② ¹⁾	RWC サンプリング取出し止め弁																																																													
③ ¹⁾	FRWY ポンプ戻込弁																																																													
④ ¹⁾	T/B 緊急時隔離弁																																																													
⑤ ¹⁾	K/B 10F 緊急時隔離弁																																																													
⑥ ¹⁾	K/B 10F 緊急時隔離弁																																																													
⑦	復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁																																																													
⑧	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																																													
⑨	R/R ヘッドスプレイライン供排水流量調整弁																																																													
操作手順	操作対象機器	設備の変化																																																												
① ¹⁾	仕積貯蔵タンク出口第1止め弁	全閉→全開																																																												
② ¹⁾	仕積貯蔵タンク出口第2止め弁	全閉→全開																																																												
③ ¹⁾	充てんポンプ入口燃料転送用水ピット側入口弁A	全閉→全開																																																												
④ ¹⁾	充てんポンプ入口燃料転送用水ピット側入口弁B	全閉→全開																																																												
⑤ ¹⁾	A→充てんポンプ ^{※1)}	停止→起動																																																												
⑥ ¹⁾	B→充てんポンプ ^{※1)}	停止→起動																																																												
⑦ ¹⁾	C→充てんポンプ ^{※1)}	停止→起動																																																												
⑧ ¹⁾	A→ほう酸ポンプ ^{※2)}	停止→起動																																																												
⑨ ¹⁾	B→ほう酸ポンプ ^{※2)}	停止→起動																																																												
⑩ ¹⁾	A→1次系補給水ポンプ ^{※2)}	停止→起動																																																												
⑪ ¹⁾	B→1次系補給水ポンプ ^{※2)}	停止→起動																																																												
⑫ ¹⁾	充てん流量制御弁	流量調整																																																												

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
	<div style="text-align: center;"> </div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>手順の項目</th> <th>要員 (数)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ)による原子炉圧力容器への注水</td> <td>運転員 (中央制御室) A 1</td> <td>② ③~⑤, ⑧</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な滞在時間 ※2：機器の動作時間及び動作時間に見込んだ時間</p> <p style="text-align: center;">第 1.4-34 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	手順の項目	要員 (数)	備考	低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ)による原子炉圧力容器への注水	運転員 (中央制御室) A 1	② ③~⑤, ⑧		
手順の項目	要員 (数)	備考							
低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ)による原子炉圧力容器への注水	運転員 (中央制御室) A 1	② ③~⑤, ⑧							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

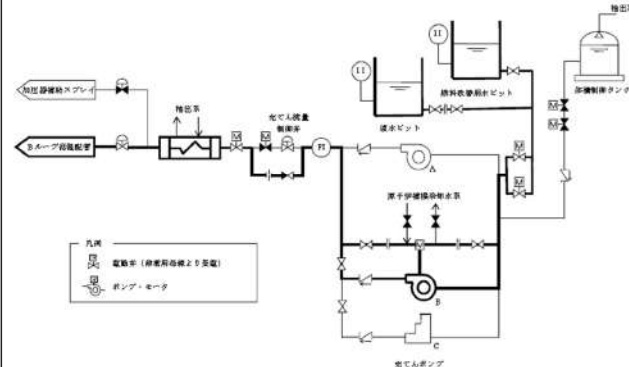
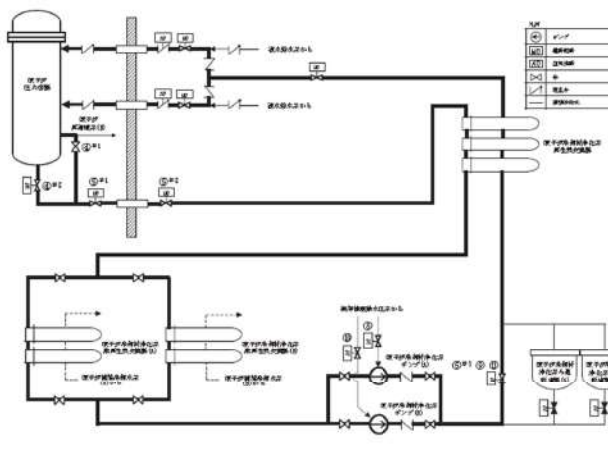
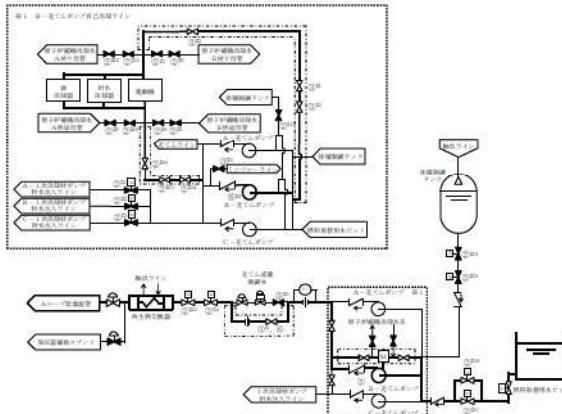
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.4.21 図 A.冷却除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水 補助系統</p>		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】 設備の相違 （相違理由⑥）</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
 <p>図 1.4-22 図 B 充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水 概略系図</p>	 <table border="1" data-bbox="851 877 1254 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④ #1</td> <td>CUW 入口ライン元弁</td> </tr> <tr> <td>④ #2</td> <td>CUW ボトムドレンライン元弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>CUW 入口ライン第一隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #2</td> <td>CUW 入口ライン第二隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1 ⑥ ⑦</td> <td>CUW ろ過脱塩装置バイパス弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>CUW ポンプ (A) パージライン止め弁</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>CUW ポンプ (B) パージライン止め弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-35 図 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 概要図</p>	操作手順	弁名称	④ #1	CUW 入口ライン元弁	④ #2	CUW ボトムドレンライン元弁	⑤ #1	CUW 入口ライン第一隔離弁	⑤ #2	CUW 入口ライン第二隔離弁	⑤ #1 ⑥ ⑦	CUW ろ過脱塩装置バイパス弁	⑧	CUW ポンプ (A) パージライン止め弁	⑨	CUW ポンプ (B) パージライン止め弁	 <p>第 1.4.24 図 B 充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水 概要図 (1/2)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																		
④ #1	CUW 入口ライン元弁																		
④ #2	CUW ボトムドレンライン元弁																		
⑤ #1	CUW 入口ライン第一隔離弁																		
⑤ #2	CUW 入口ライン第二隔離弁																		
⑤ #1 ⑥ ⑦	CUW ろ過脱塩装置バイパス弁																		
⑧	CUW ポンプ (A) パージライン止め弁																		
⑨	CUW ポンプ (B) パージライン止め弁																		

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">操作手順</th> <th style="width: 70%;">操作対象機器</th> <th style="width: 20%;">状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>②¹⁾</td><td>A-1次冷却材ポンプ封水注入ラインC/V外側隔離弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②²⁾</td><td>B-1次冷却材ポンプ封水注入ラインC/V外側隔離弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②³⁾</td><td>C-1次冷却材ポンプ封水注入ラインC/V外側隔離弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②⁴⁾</td><td>充てんラインC/V外側止め弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②⁵⁾</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第1切替弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②⁶⁾</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第2切替弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②⁷⁾</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第1切替弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②⁸⁾</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第2切替弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②⁹⁾</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第1切替弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②¹⁰⁾</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第2切替弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②¹¹⁾</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第1切替弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②¹²⁾</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第2切替弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②¹³⁾</td><td>充てんポンプ入口バントライン止め弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②¹⁴⁾</td><td>B-充てんポンプ自冷水供給ライン絞り弁 (SA対策)</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②¹⁵⁾</td><td>B-充てんポンプ自冷水供給ライン止め弁 (SA対策)</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②¹⁶⁾</td><td>B-充てんポンプ自冷水入口弁 (SA対策)</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②¹⁷⁾</td><td>充てんポンプ入口燃料取替用水ピット継入口弁A</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②¹⁸⁾</td><td>充てんポンプ入口燃料取替用水ピット継入口弁B</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②¹⁹⁾</td><td>体積調節タンク出口第1止め弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②²⁰⁾</td><td>体積調節タンク出口第2止め弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②²¹⁾</td><td>充てんラインC/V外側隔離弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②²²⁾</td><td>B-充てんポンプ自冷水戻りライン第2止め弁 (SA対策)</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②²³⁾</td><td>B-充てんポンプ自冷水出口弁 (SA対策)</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②²⁴⁾</td><td>B-充てんポンプ自冷水戻りライン第1止め弁 (SA対策)</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②²⁵⁾</td><td>充てんライン流量調節弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)</td><td>全開→調整開</td></tr> <tr><td>②²⁶⁾</td><td>B-充てんポンプミニフローライン止め弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②²⁷⁾</td><td>充てんライン流量調節弁第1弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②</td><td>B-充てんポンプ</td><td>停止→起動</td></tr> <tr><td>②</td><td>充てんライン流量調節弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)</td><td>流量調整</td></tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② ¹⁾	A-1次冷却材ポンプ封水注入ラインC/V外側隔離弁	全開→全開	② ²⁾	B-1次冷却材ポンプ封水注入ラインC/V外側隔離弁	全開→全開	② ³⁾	C-1次冷却材ポンプ封水注入ラインC/V外側隔離弁	全開→全開	② ⁴⁾	充てんラインC/V外側止め弁	全開→全開	② ⁵⁾	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第1切替弁	全開→全開	② ⁶⁾	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第2切替弁	全開→全開	② ⁷⁾	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第1切替弁	全開→全開	② ⁸⁾	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第2切替弁	全開→全開	② ⁹⁾	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第1切替弁	全開確認	② ¹⁰⁾	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第2切替弁	全開確認	② ¹¹⁾	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第1切替弁	全開確認	② ¹²⁾	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第2切替弁	全開確認	② ¹³⁾	充てんポンプ入口バントライン止め弁	全開→全開	② ¹⁴⁾	B-充てんポンプ自冷水供給ライン絞り弁 (SA対策)	全開→全開	② ¹⁵⁾	B-充てんポンプ自冷水供給ライン止め弁 (SA対策)	全開→全開	② ¹⁶⁾	B-充てんポンプ自冷水入口弁 (SA対策)	全開→全開	② ¹⁷⁾	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット継入口弁A	全開→全開	② ¹⁸⁾	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット継入口弁B	全開→全開	② ¹⁹⁾	体積調節タンク出口第1止め弁	全開→全開	② ²⁰⁾	体積調節タンク出口第2止め弁	全開→全開	② ²¹⁾	充てんラインC/V外側隔離弁	全開→全開	② ²²⁾	B-充てんポンプ自冷水戻りライン第2止め弁 (SA対策)	全開→全開	② ²³⁾	B-充てんポンプ自冷水出口弁 (SA対策)	全開→全開	② ²⁴⁾	B-充てんポンプ自冷水戻りライン第1止め弁 (SA対策)	全開→全開	② ²⁵⁾	充てんライン流量調節弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)	全開→調整開	② ²⁶⁾	B-充てんポンプミニフローライン止め弁	全開→全開	② ²⁷⁾	充てんライン流量調節弁第1弁	全開→全開	②	B-充てんポンプ	停止→起動	②	充てんライン流量調節弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)	流量調整	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容 充実 ・概要図と操作内 容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																																											
② ¹⁾	A-1次冷却材ポンプ封水注入ラインC/V外側隔離弁	全開→全開																																																																																											
② ²⁾	B-1次冷却材ポンプ封水注入ラインC/V外側隔離弁	全開→全開																																																																																											
② ³⁾	C-1次冷却材ポンプ封水注入ラインC/V外側隔離弁	全開→全開																																																																																											
② ⁴⁾	充てんラインC/V外側止め弁	全開→全開																																																																																											
② ⁵⁾	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第1切替弁	全開→全開																																																																																											
② ⁶⁾	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第2切替弁	全開→全開																																																																																											
② ⁷⁾	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第1切替弁	全開→全開																																																																																											
② ⁸⁾	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第2切替弁	全開→全開																																																																																											
② ⁹⁾	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第1切替弁	全開確認																																																																																											
② ¹⁰⁾	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第2切替弁	全開確認																																																																																											
② ¹¹⁾	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第1切替弁	全開確認																																																																																											
② ¹²⁾	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第2切替弁	全開確認																																																																																											
② ¹³⁾	充てんポンプ入口バントライン止め弁	全開→全開																																																																																											
② ¹⁴⁾	B-充てんポンプ自冷水供給ライン絞り弁 (SA対策)	全開→全開																																																																																											
② ¹⁵⁾	B-充てんポンプ自冷水供給ライン止め弁 (SA対策)	全開→全開																																																																																											
② ¹⁶⁾	B-充てんポンプ自冷水入口弁 (SA対策)	全開→全開																																																																																											
② ¹⁷⁾	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット継入口弁A	全開→全開																																																																																											
② ¹⁸⁾	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット継入口弁B	全開→全開																																																																																											
② ¹⁹⁾	体積調節タンク出口第1止め弁	全開→全開																																																																																											
② ²⁰⁾	体積調節タンク出口第2止め弁	全開→全開																																																																																											
② ²¹⁾	充てんラインC/V外側隔離弁	全開→全開																																																																																											
② ²²⁾	B-充てんポンプ自冷水戻りライン第2止め弁 (SA対策)	全開→全開																																																																																											
② ²³⁾	B-充てんポンプ自冷水出口弁 (SA対策)	全開→全開																																																																																											
② ²⁴⁾	B-充てんポンプ自冷水戻りライン第1止め弁 (SA対策)	全開→全開																																																																																											
② ²⁵⁾	充てんライン流量調節弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)	全開→調整開																																																																																											
② ²⁶⁾	B-充てんポンプミニフローライン止め弁	全開→全開																																																																																											
② ²⁷⁾	充てんライン流量調節弁第1弁	全開→全開																																																																																											
②	B-充てんポンプ	停止→起動																																																																																											
②	充てんライン流量調節弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)	流量調整																																																																																											

第 1.4. 24 図 B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水 概要図（2/2）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

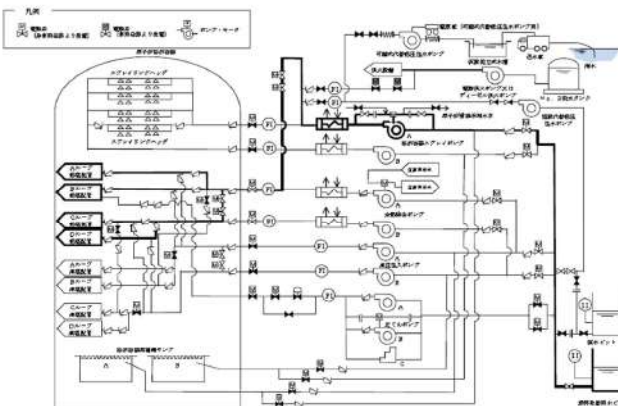
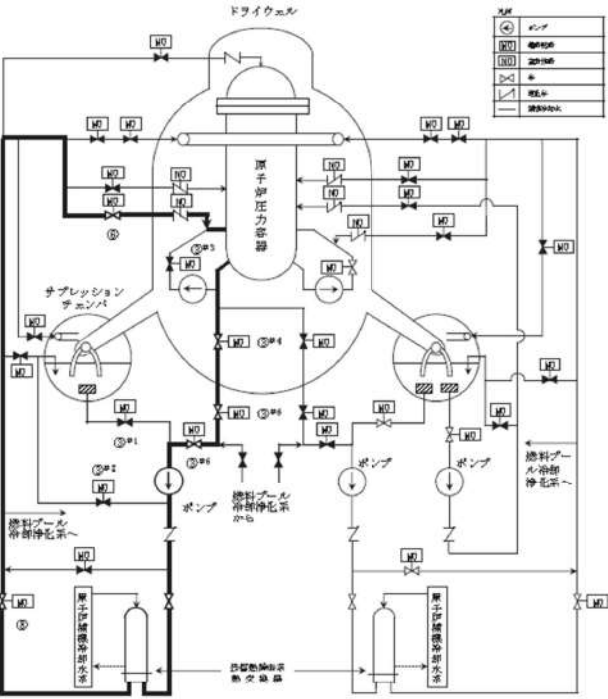
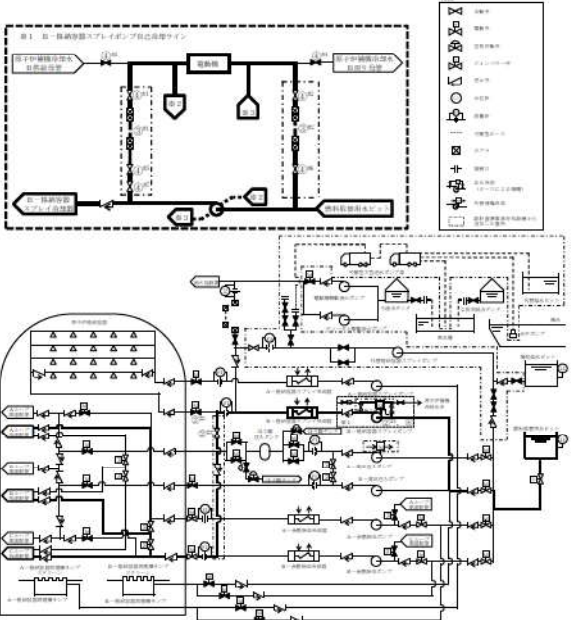
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3/4号炉</p> <p>図1.4.28 図 B-充電ポンプ（自己冷却）による炉心注水 タイムチャート</p> <p>※ 既述稼働時間には防呆措置要時間を含む。</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>図1.4-36 図 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な固定時間 ※2：機器の稼働時間及び操作時間に必要な見込み時間 ※3：機器の操作時間に必要な見込み時間</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>図1.4.25 図 B-充電ポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：機器の稼働時間及び操作時間に必要な見込み時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の稼働時間に必要な見込み時間</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
 <p>図 1.4.24 図 A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR3-C33連絡ライン使用）による代替炉心注水。概略図</p>	 <table border="1" data-bbox="817 989 1276 1252"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③#1</td> <td>RHR ポンプ(A) S/C 吸込弁</td> </tr> <tr> <td>③#2</td> <td>RHR ポンプ(A) ミニマムブロー弁</td> </tr> <tr> <td>③#3</td> <td>原子炉再循環ポンプ(A) 吐出弁</td> </tr> <tr> <td>③#4</td> <td>RHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③#5</td> <td>RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③#6</td> <td>RHR ポンプ(A) 停止時冷却吸込弁</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>RHR A系停止時冷却注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>RHR 熱交換器(A) 出口弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-37 図 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱 概要図</p>	操作手順	弁名称	③#1	RHR ポンプ(A) S/C 吸込弁	③#2	RHR ポンプ(A) ミニマムブロー弁	③#3	原子炉再循環ポンプ(A) 吐出弁	③#4	RHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁	③#5	RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁	③#6	RHR ポンプ(A) 停止時冷却吸込弁	④	RHR A系停止時冷却注入隔離弁	⑤	RHR 熱交換器(A) 出口弁	 <table border="1" data-bbox="1444 965 1937 1181"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>装置の動作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出*</td> <td>第一格納容器スプレイポンプ</td> <td>起動一時停止</td> </tr> <tr> <td>出*</td> <td>第一格納容器スプレイポンプ冷却水出口CV外部制御弁</td> <td>全閉一全開</td> </tr> <tr> <td>出*</td> <td>第一格納容器冷却水出口格納容器スプレイポンプライン止め弁 (SAR弁)</td> <td>全閉一全開</td> </tr> <tr> <td>出*</td> <td>可動型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>出*</td> <td>可動型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>注*</td> <td>第一格納容器スプレイポンプ自冷水入口弁 (SAR弁)</td> <td>全閉一全開</td> </tr> <tr> <td>注*</td> <td>第一格納容器スプレイポンプ自冷水出口弁 (SAR弁)</td> <td>全閉一全開</td> </tr> <tr> <td>注*</td> <td>第一格納容器スプレイポンプ電機駆動機冷却水入口弁</td> <td>全閉一全開</td> </tr> <tr> <td>注*</td> <td>第一格納容器スプレイポンプ電機冷却水出口止め弁</td> <td>全閉一全開</td> </tr> <tr> <td>注*</td> <td>第一格納容器スプレイポンプ自冷水供給ライン止め弁 (SAR弁)</td> <td>全閉一全開</td> </tr> <tr> <td>注*</td> <td>第一格納容器スプレイポンプ自冷水戻りライン止め弁 (SAR弁)</td> <td>全閉一全開</td> </tr> <tr> <td>注*</td> <td>第一格納容器スプレイポンプ自冷水供給ライン絞り弁 (SAR弁)</td> <td>全閉一全開</td> </tr> <tr> <td>注*</td> <td>第一格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止一起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機能があることを示す。</p> <p>第 1.4. 26 図 B一格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR3-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	装置の動作	出*	第一格納容器スプレイポンプ	起動一時停止	出*	第一格納容器スプレイポンプ冷却水出口CV外部制御弁	全閉一全開	出*	第一格納容器冷却水出口格納容器スプレイポンプライン止め弁 (SAR弁)	全閉一全開	出*	可動型ホース	ホース接続	出*	可動型ホース	ホース接続	注*	第一格納容器スプレイポンプ自冷水入口弁 (SAR弁)	全閉一全開	注*	第一格納容器スプレイポンプ自冷水出口弁 (SAR弁)	全閉一全開	注*	第一格納容器スプレイポンプ電機駆動機冷却水入口弁	全閉一全開	注*	第一格納容器スプレイポンプ電機冷却水出口止め弁	全閉一全開	注*	第一格納容器スプレイポンプ自冷水供給ライン止め弁 (SAR弁)	全閉一全開	注*	第一格納容器スプレイポンプ自冷水戻りライン止め弁 (SAR弁)	全閉一全開	注*	第一格納容器スプレイポンプ自冷水供給ライン絞り弁 (SAR弁)	全閉一全開	注*	第一格納容器スプレイポンプ	停止一起動	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																																														
③#1	RHR ポンプ(A) S/C 吸込弁																																																														
③#2	RHR ポンプ(A) ミニマムブロー弁																																																														
③#3	原子炉再循環ポンプ(A) 吐出弁																																																														
③#4	RHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁																																																														
③#5	RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁																																																														
③#6	RHR ポンプ(A) 停止時冷却吸込弁																																																														
④	RHR A系停止時冷却注入隔離弁																																																														
⑤	RHR 熱交換器(A) 出口弁																																																														
操作手順	操作対象機器	装置の動作																																																													
出*	第一格納容器スプレイポンプ	起動一時停止																																																													
出*	第一格納容器スプレイポンプ冷却水出口CV外部制御弁	全閉一全開																																																													
出*	第一格納容器冷却水出口格納容器スプレイポンプライン止め弁 (SAR弁)	全閉一全開																																																													
出*	可動型ホース	ホース接続																																																													
出*	可動型ホース	ホース接続																																																													
注*	第一格納容器スプレイポンプ自冷水入口弁 (SAR弁)	全閉一全開																																																													
注*	第一格納容器スプレイポンプ自冷水出口弁 (SAR弁)	全閉一全開																																																													
注*	第一格納容器スプレイポンプ電機駆動機冷却水入口弁	全閉一全開																																																													
注*	第一格納容器スプレイポンプ電機冷却水出口止め弁	全閉一全開																																																													
注*	第一格納容器スプレイポンプ自冷水供給ライン止め弁 (SAR弁)	全閉一全開																																																													
注*	第一格納容器スプレイポンプ自冷水戻りライン止め弁 (SAR弁)	全閉一全開																																																													
注*	第一格納容器スプレイポンプ自冷水供給ライン絞り弁 (SAR弁)	全閉一全開																																																													
注*	第一格納容器スプレイポンプ	停止一起動																																																													

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

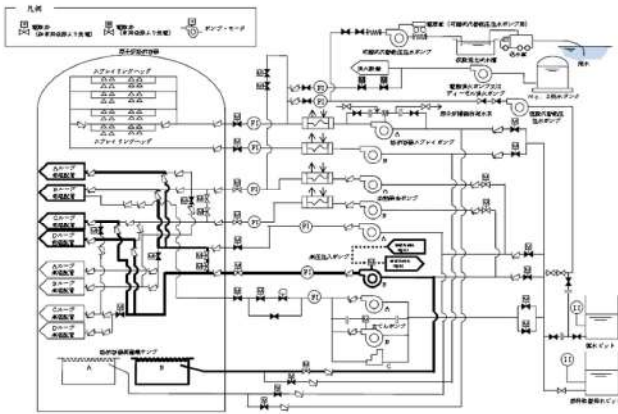
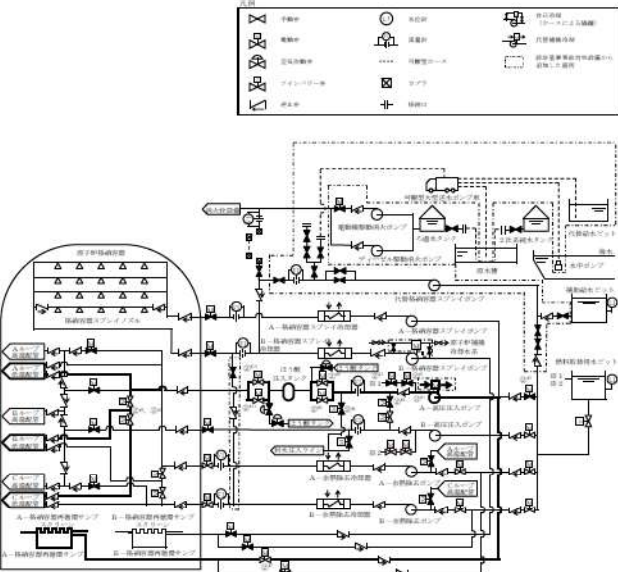
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.4.25図 A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRSS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 タイムチャート</p> <p>※ 取替稼働時間には取替稼働時間を含む。</p>	<p>第1.4-38図 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室での中央監視による稼働時間 ※2：機器の稼働時間及び動作時間に見込まれた時間 ※3：機器の稼働時間に見込まれた時間</p>	<p>第1.4.27図 B一格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRSS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：機器の稼働時間及び動作時間に見込まれた時間 ※2：中央制御室からの機器稼働場所までの移動時間及び機器の稼働時間に見込まれた時間 ※3：機器の稼働時間に見込まれた時間</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
 <p>凡例</p> <p>図 1.4.26 回 2号高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転 概略系統</p>		 <p>第 1.4.28 図 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="1411 1029 1960 1292"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①^{FC}</td> <td>A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②^{FC}</td> <td>A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③^{FC}</td> <td>A-高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット挿入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④^{FC}</td> <td>A-高圧注入ポンプ出口C/V外側遮断弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤^{FC}</td> <td>A-高圧注入ポンプ封水注入ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥^{FC}</td> <td>B-高圧注入ポンプ出口C/V内側遮断弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑦^{FC}</td> <td>A-安全注入ポンプ再循環サシ挿入C/V外側遮断弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧^{FC}</td> <td>ほう酸注入タンク入口弁A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑨^{FC}</td> <td>ほう酸注入タンク入口弁B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑩^{FC}</td> <td>ほう酸注入タンク出口C/V外側遮断弁A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑪^{FC}</td> <td>ほう酸注入タンク出口C/V外側遮断弁B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑫^{FC}</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑬^{FC}</td> <td>B-高圧注入ポンプ出口C/V内側遮断弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第 1.4.28 図 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転 概要図（2/2）</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ^{FC}	A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全開→全閉	② ^{FC}	A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全開→全閉	③ ^{FC}	A-高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット挿入口弁	全開→全閉	④ ^{FC}	A-高圧注入ポンプ出口C/V外側遮断弁	全開→全閉	⑤ ^{FC}	A-高圧注入ポンプ封水注入ライン止め弁	全開→全閉	⑥ ^{FC}	B-高圧注入ポンプ出口C/V内側遮断弁	全開→全閉	⑦ ^{FC}	A-安全注入ポンプ再循環サシ挿入C/V外側遮断弁	全閉→全開	⑧ ^{FC}	ほう酸注入タンク入口弁A	全閉→全開	⑨ ^{FC}	ほう酸注入タンク入口弁B	全閉→全開	⑩ ^{FC}	ほう酸注入タンク出口C/V外側遮断弁A	全閉→全開	⑪ ^{FC}	ほう酸注入タンク出口C/V外側遮断弁B	全閉→全開	⑫ ^{FC}	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	⑬ ^{FC}	B-高圧注入ポンプ出口C/V内側遮断弁	全閉→全開	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																											
① ^{FC}	A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全開→全閉																																											
② ^{FC}	A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全開→全閉																																											
③ ^{FC}	A-高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット挿入口弁	全開→全閉																																											
④ ^{FC}	A-高圧注入ポンプ出口C/V外側遮断弁	全開→全閉																																											
⑤ ^{FC}	A-高圧注入ポンプ封水注入ライン止め弁	全開→全閉																																											
⑥ ^{FC}	B-高圧注入ポンプ出口C/V内側遮断弁	全開→全閉																																											
⑦ ^{FC}	A-安全注入ポンプ再循環サシ挿入C/V外側遮断弁	全閉→全開																																											
⑧ ^{FC}	ほう酸注入タンク入口弁A	全閉→全開																																											
⑨ ^{FC}	ほう酸注入タンク入口弁B	全閉→全開																																											
⑩ ^{FC}	ほう酸注入タンク出口C/V外側遮断弁A	全閉→全開																																											
⑪ ^{FC}	ほう酸注入タンク出口C/V外側遮断弁B	全閉→全開																																											
⑫ ^{FC}	A-高圧注入ポンプ	停止→起動																																											
⑬ ^{FC}	B-高圧注入ポンプ出口C/V内側遮断弁	全閉→全開																																											

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
<p>※：現場修飾時間には防振騒音専用時間を含む。</p> <p>第1.4.27図 B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転 タイムチャート</p> <p>▽総時間 B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転総時間</p> <p>移動、大容量ポンプ配置 大容量ポンプ送水ライン遮断及び可搬型ホース接続等 A、D格納容器再循環ユニット系統構成 海水系及び原子炉格納容器冷却水系通水ライン系統構成 ディスタンスベーン調整等（海水系→原子炉格納容器冷却水系） 大容量ポンプ起動及び通水 A、D格納容器再循環ユニット通水 B高圧注入ポンプ通水準備 B高圧注入ポンプ送水 1.4の操作範囲 ポンプ起動、通水確認</p> <p>要員の項目 要員（数） 緊急安全対策要員 運転員等 （中央制御室）</p>				<p>備考</p> <p>可搬型大型海水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転時 28分 A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転時 28分 B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転時 28分</p> <p>手順の項目 要員（数） 運転員（中央制御室）A 運転員（現場）B、C 現場作業要員A～C 緊急作業要員D～F</p> <p>手順手順 ① ② ③</p> <p>※：機器の稼働時間及び稼働要員は、この時間</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>	
<p>第1.4.29図 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転 タイムチャート</p>						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1428図 A系熱除去ポンプ（空層用冷水）による低圧代償循環運転 凝縮系統</p>		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】 設備の相違 （相違理由⑧）</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

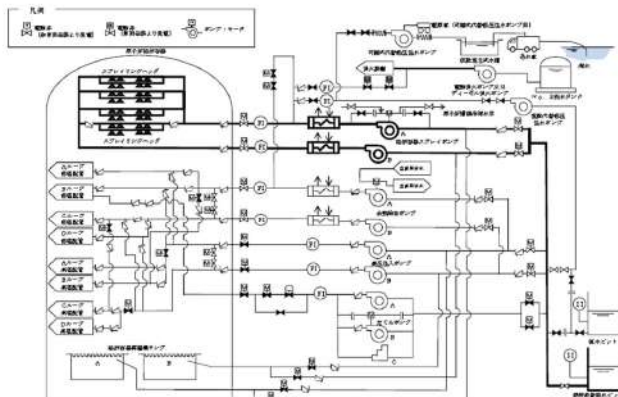
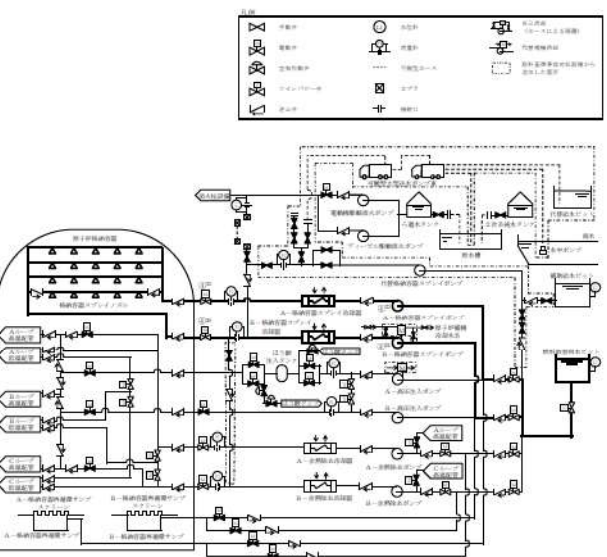
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>※ 現場移動時間には防護保護具着用時間を含む。</p> <p>第1.4.29図 格納容器隔離弁の閉止（1次冷却材ポンプ隔離弁等閉操作） タイムチャート</p>		<p>第1.4.30図 原子炉格納容器隔離弁の閉止（1次系冷却材ポンプ隔離弁等閉操作） タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室から機器操作操作までの移動時間及び機器の操作時間に含まれた時間 ※2：機器の操作時間及び動作時間に含まれた時間</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

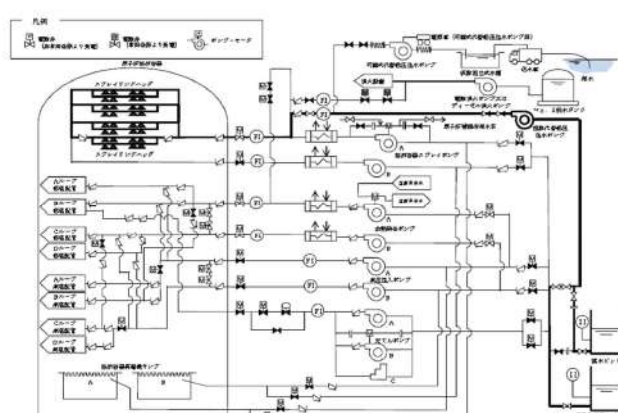
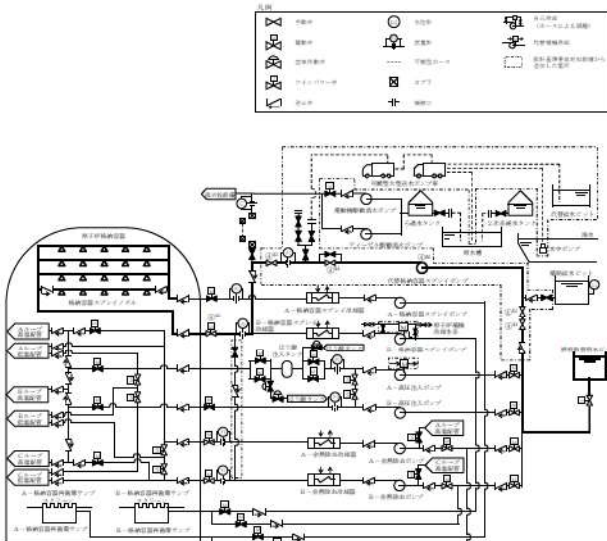
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
 <p>凡例 ① 格納容器スプレイポンプ ② 格納容器スプレイポンプ ③ 格納容器スプレイポンプ</p> <p>図 1.4.30 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の冷却 概略系統 (格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ)</p>		 <table border="1" data-bbox="1444 1029 1937 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>動作対象機器</th> <th>設備の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>原子炉格納容器スプレイポンプ (1-1) 及び (1-2)</td> <td>停止→作動</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>原子炉格納容器スプレイポンプ (2-1) 及び (2-2)</td> <td>停止→作動</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>スーパークラウドスプレイポンプ</td> <td>停止→作動</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>スーパークラウドスプレイポンプ</td> <td>停止→停止</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>スーパークラウドスプレイ冷却器出口の内部熱交換器</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>スーパークラウドスプレイ冷却器出口の内部熱交換器</td> <td>全開→全閉</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～⑥同一操作手順書内に複数の操作又は確認を実施する種別があることを示す。</p> <p>第 1.4.31 図 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の対応手順 概要図 (格納容器スプレイによる残存溶融炉心の冷却)</p>	操作手順	動作対象機器	設備の変化	①	原子炉格納容器スプレイポンプ (1-1) 及び (1-2)	停止→作動	②	原子炉格納容器スプレイポンプ (2-1) 及び (2-2)	停止→作動	③	スーパークラウドスプレイポンプ	停止→作動	④	スーパークラウドスプレイポンプ	停止→停止	⑤	スーパークラウドスプレイ冷却器出口の内部熱交換器	全閉→全開	⑥	スーパークラウドスプレイ冷却器出口の内部熱交換器	全開→全閉	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	動作対象機器	設備の変化																						
①	原子炉格納容器スプレイポンプ (1-1) 及び (1-2)	停止→作動																						
②	原子炉格納容器スプレイポンプ (2-1) 及び (2-2)	停止→作動																						
③	スーパークラウドスプレイポンプ	停止→作動																						
④	スーパークラウドスプレイポンプ	停止→停止																						
⑤	スーパークラウドスプレイ冷却器出口の内部熱交換器	全閉→全開																						
⑥	スーパークラウドスプレイ冷却器出口の内部熱交換器	全開→全閉																						

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

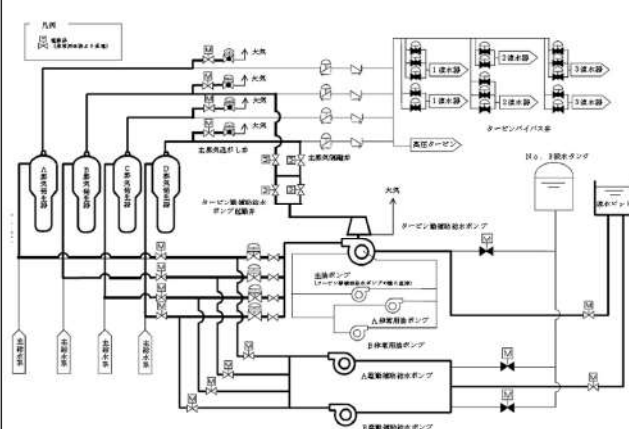
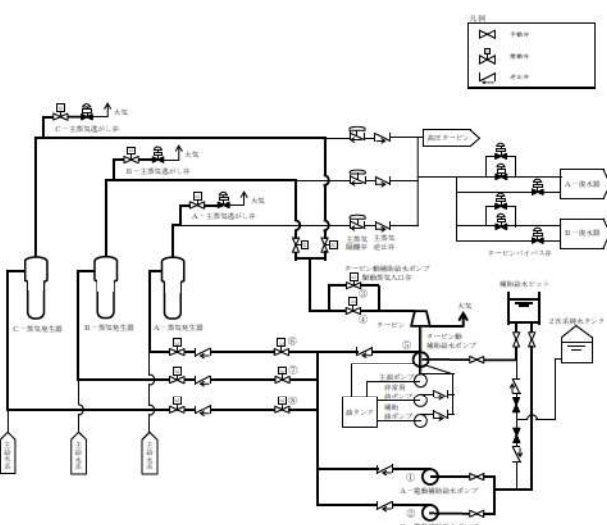
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
 <p>凡例</p> <p>図 14.33 図 溶融炉心が原子炉容器に残存する場合の冷却 概略系統 (代替格納容器スプレイによる代替格納容器スプレイ)</p>		 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備名</th> <th>動作時設備</th> <th>状態の存在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>注1</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>注2</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>注3</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ経路ライン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>注4</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ電磁リレー</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>注5</td> <td>格納容器スプレイ貯留タンク(1)内循環ポンプ</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>注6</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>41〜41同一条件下順番通りに複数の操作又は確認を実施する機能があることを示す。</p> <p>第 1.4.32 図 溶融炉心が原子炉容器に残存する場合の対応手段 概要図 (代替格納容器スプレイによる残存溶融炉心の冷却)</p>	設備名	動作時設備	状態の存在	注1	代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁	全閉→全開	注2	代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁	全閉→全開	注3	代替格納容器スプレイポンプ経路ライン止め弁	全閉→全開	注4	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ電磁リレー	全閉→全開	注5	格納容器スプレイ貯留タンク(1)内循環ポンプ	全閉→全開	注6	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
設備名	動作時設備	状態の存在																						
注1	代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁	全閉→全開																						
注2	代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁	全閉→全開																						
注3	代替格納容器スプレイポンプ経路ライン止め弁	全閉→全開																						
注4	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ電磁リレー	全閉→全開																						
注5	格納容器スプレイ貯留タンク(1)内循環ポンプ	全閉→全開																						
注6	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動																						

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

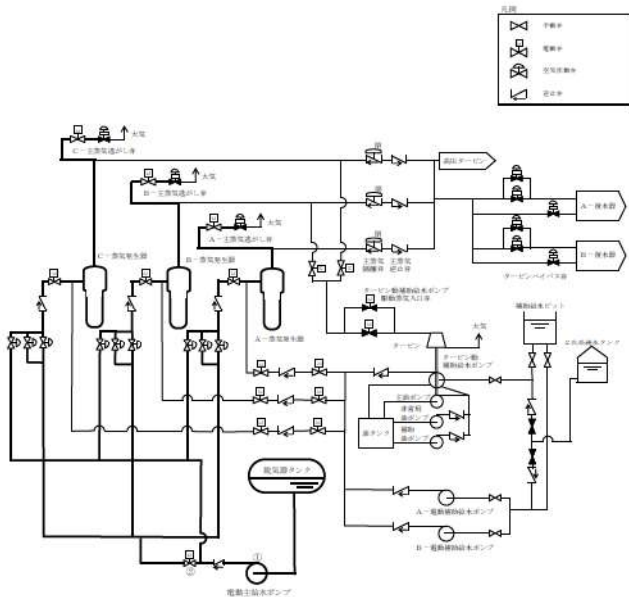
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
 <p>図 1.4.35 図 補助給水ポンプ及び蒸気発生器2次側による炉心冷却 概略図</p>		 <table border="1" data-bbox="1433 941 1904 1085"> <thead> <tr> <th>操作順序</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-1電動補助給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>B-1電動補助給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>タービン動補助給水ポンプ駆動電圧入口弁A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>タービン動補助給水ポンプ駆動電圧入口弁B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>タービン動補助給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>A-1補助給水ポンプ出口流量調節弁</td> <td>調整</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>B-1補助給水ポンプ出口流量調節弁</td> <td>調整</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>C-1補助給水ポンプ出口流量調節弁</td> <td>調整</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本手順は「中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する」手順であることから、操作順序を示す。</p> <p>第 1.4.33 図 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 概要図</p>	操作順序	操作対象機器	状態の変化	①	A-1電動補助給水ポンプ	停止→起動	②	B-1電動補助給水ポンプ	停止→起動	③	タービン動補助給水ポンプ駆動電圧入口弁A	全閉→全開	④	タービン動補助給水ポンプ駆動電圧入口弁B	全閉→全開	⑤	タービン動補助給水ポンプ	停止→起動	⑥	A-1補助給水ポンプ出口流量調節弁	調整	⑦	B-1補助給水ポンプ出口流量調節弁	調整	⑧	C-1補助給水ポンプ出口流量調節弁	調整	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作順序	操作対象機器	状態の変化																												
①	A-1電動補助給水ポンプ	停止→起動																												
②	B-1電動補助給水ポンプ	停止→起動																												
③	タービン動補助給水ポンプ駆動電圧入口弁A	全閉→全開																												
④	タービン動補助給水ポンプ駆動電圧入口弁B	全閉→全開																												
⑤	タービン動補助給水ポンプ	停止→起動																												
⑥	A-1補助給水ポンプ出口流量調節弁	調整																												
⑦	B-1補助給水ポンプ出口流量調節弁	調整																												
⑧	C-1補助給水ポンプ出口流量調節弁	調整																												

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

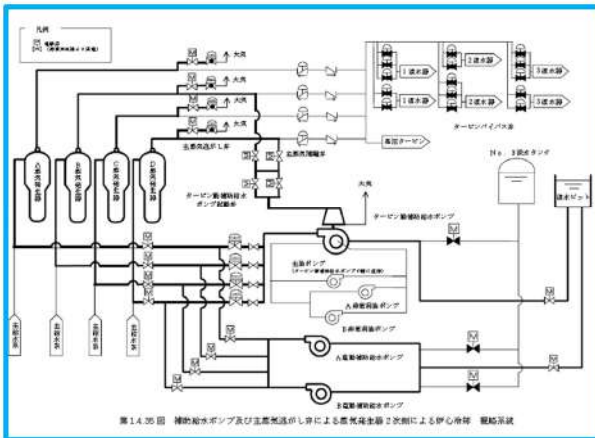
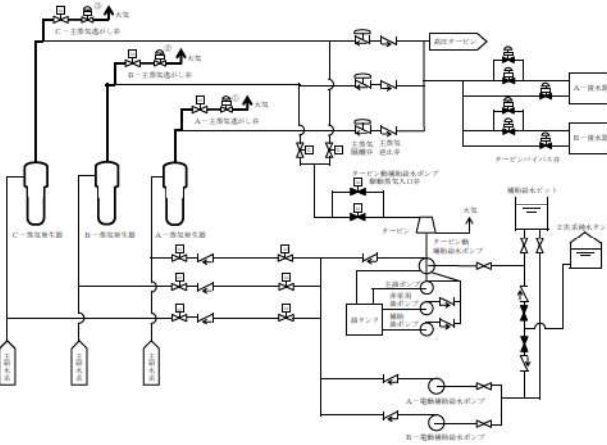
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		 <table border="1" data-bbox="1429 1077 1921 1133"> <thead> <tr> <th>操作順序*</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>電動主給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>M/D FWP出口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1429 1136 1960 1168">*本手順は「中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する」手順であることから、操作順序を示す。</p>	操作順序*	操作対象機器	状態の変化	①	電動主給水ポンプ	停止→起動	②	M/D FWP出口弁	全閉→全開	<div data-bbox="2027 742 2145 817" style="color: blue;">【大飯】 記載方針の相違 (相違理由⑤)</div>
操作順序*	操作対象機器	状態の変化										
①	電動主給水ポンプ	停止→起動										
②	M/D FWP出口弁	全閉→全開										

第1.4.34図 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水 概要図

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

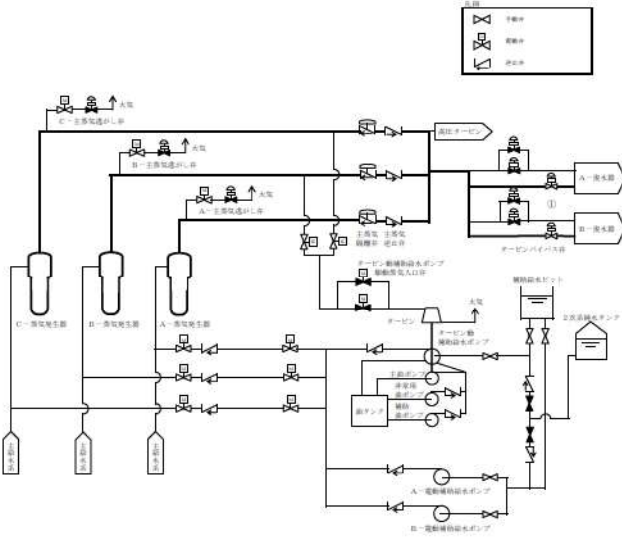
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p style="text-align: center;">【比較のため、第1.4.35図を再掲】</p>  <p style="text-align: center;">第1.4.35図 補助給水ポンプ及び主蒸気逃がし弁による蒸気発生器2次側による炉心冷却 概略図</p>		 <table border="1" data-bbox="1400 1021 1948 1101"> <thead> <tr> <th>操作順序[※]</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-主蒸気逃がし弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>B-主蒸気逃がし弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>C-主蒸気逃がし弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本手順は「中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する」手順であることから、操作順序を示す。</p> <p style="text-align: center;">第1.4.35図 主蒸気逃がし弁による蒸気放出 概要図</p>	操作順序 [※]	操作対象機器	状態の変化	①	A-主蒸気逃がし弁	全閉→全開	②	B-主蒸気逃がし弁	全閉→全開	③	C-主蒸気逃がし弁	全閉→全開	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作順序 [※]	操作対象機器	状態の変化													
①	A-主蒸気逃がし弁	全閉→全開													
②	B-主蒸気逃がし弁	全閉→全開													
③	C-主蒸気逃がし弁	全閉→全開													

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

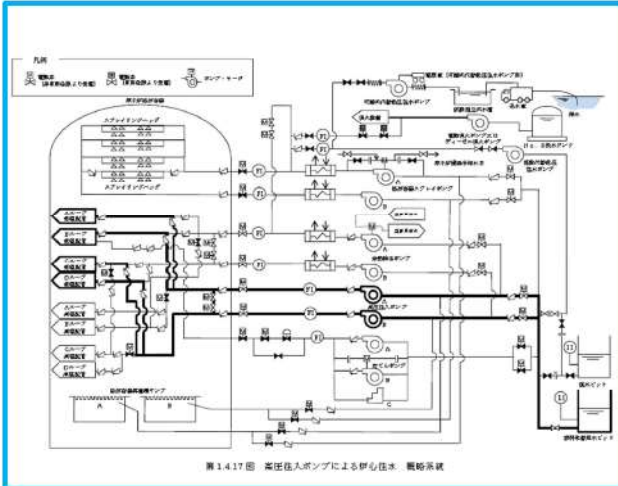
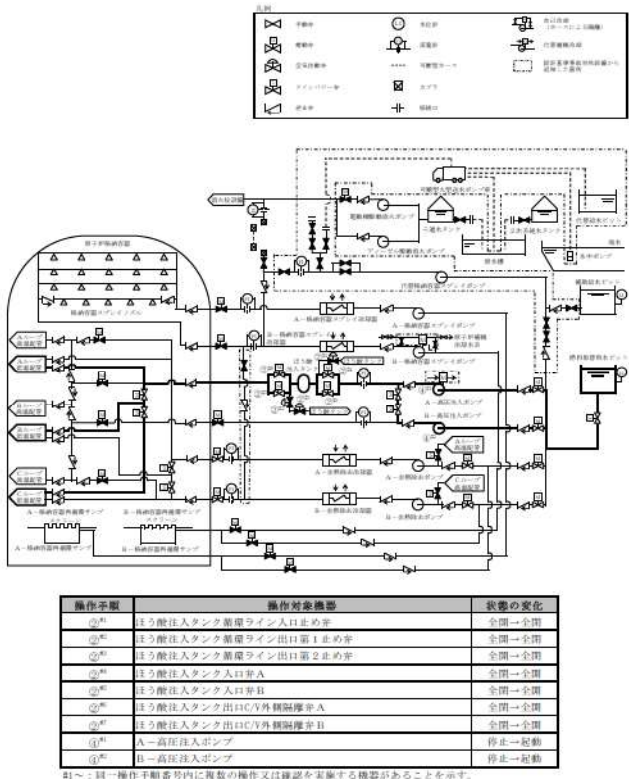
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		 <table border="1" data-bbox="1429 1045 1953 1082"> <thead> <tr> <th>操作順序</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>タービンバイパス弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1429 1082 1953 1117">※本手順は「中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する」手順であることから操作順序を示す。</p> <p data-bbox="1467 1141 1921 1161">第1.4.36図 タービンバイパス弁による蒸気放出 概要図</p>	操作順序	操作対象機器	状態の変化	①	タービンバイパス弁	全閉→調整開	<div data-bbox="2027 758 2145 833" style="color: blue;">【大飯】 記載方針の相違 (相違理由⑤)</div>
操作順序	操作対象機器	状態の変化							
①	タービンバイパス弁	全閉→調整開							

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
<p>【比較のため、第1.4.17図を再掲】</p>  <p>図1.4.17 高圧注入ポンプによる炉心注水 概略系統</p>		 <table border="1" data-bbox="1433 981 1937 1165"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①⁴¹</td> <td>ほう酸注入タンク蒸発ライン入口止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②⁴¹</td> <td>ほう酸注入タンク蒸発ライン出口第1止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③⁴¹</td> <td>ほう酸注入タンク蒸発ライン出口第2止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④⁴¹</td> <td>ほう酸注入タンク入口弁A</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤⁴¹</td> <td>ほう酸注入タンク入口弁B</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥⁴¹</td> <td>ほう酸注入タンク出口C(5)外側制御弁A</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑦⁴¹</td> <td>ほう酸注入タンク出口C(5)外側制御弁B</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑧⁴¹</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑨⁴¹</td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>41～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.4.37図 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ⁴¹	ほう酸注入タンク蒸発ライン入口止め弁	全開→全閉	② ⁴¹	ほう酸注入タンク蒸発ライン出口第1止め弁	全開→全閉	③ ⁴¹	ほう酸注入タンク蒸発ライン出口第2止め弁	全開→全閉	④ ⁴¹	ほう酸注入タンク入口弁A	全開→全閉	⑤ ⁴¹	ほう酸注入タンク入口弁B	全開→全閉	⑥ ⁴¹	ほう酸注入タンク出口C(5)外側制御弁A	全開→全閉	⑦ ⁴¹	ほう酸注入タンク出口C(5)外側制御弁B	全開→全閉	⑧ ⁴¹	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	⑨ ⁴¹	B-高圧注入ポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																															
① ⁴¹	ほう酸注入タンク蒸発ライン入口止め弁	全開→全閉																															
② ⁴¹	ほう酸注入タンク蒸発ライン出口第1止め弁	全開→全閉																															
③ ⁴¹	ほう酸注入タンク蒸発ライン出口第2止め弁	全開→全閉																															
④ ⁴¹	ほう酸注入タンク入口弁A	全開→全閉																															
⑤ ⁴¹	ほう酸注入タンク入口弁B	全開→全閉																															
⑥ ⁴¹	ほう酸注入タンク出口C(5)外側制御弁A	全開→全閉																															
⑦ ⁴¹	ほう酸注入タンク出口C(5)外側制御弁B	全開→全閉																															
⑧ ⁴¹	A-高圧注入ポンプ	停止→起動																															
⑨ ⁴¹	B-高圧注入ポンプ	停止→起動																															

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由														
<div data-bbox="203 754 613 799" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1525 284 1778 1305" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順の項目</th> <th style="width: 20%;">要員（数）</th> <th style="width: 30%;">経過時間（分）</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td>運転員 （中央制御室）A</td> <td>10</td> <td rowspan="2">高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水開始 5分 ▽ 系統構成、高圧注入ポンプの起動※1</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>操作手順 ②④</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間</p> </div>	手順の項目	要員（数）	経過時間（分）	備考	高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水	運転員 （中央制御室）A	10	高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水開始 5分 ▽ 系統構成、高圧注入ポンプの起動※1	1	30				操作手順 ②④	<div data-bbox="1809 308 1845 1278" style="background-color: yellow; padding: 2px;">第 1.4.38 図 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水 タイムチャート</div> <div data-bbox="2018 635 2168 919" style="background-color: yellow; padding: 2px; font-size: small;"> 【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・泊は中央制御室のみで操作する手順においてもタイムチャートを整備している。 </div>
手順の項目	要員（数）	経過時間（分）	備考														
高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水	運転員 （中央制御室）A	10	高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水開始 5分 ▽ 系統構成、高圧注入ポンプの起動※1														
	1	30															
			操作手順 ②④														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.4.58図 蓄圧タンクによる炉心圧水 搬送系統</p>		<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由⑨)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
手順の項目	要員(数)			
	運転員等(中央制御室)	1		
蓄圧タンクによる炉心注水	運転員等(現場)	1		
	備考			
経過時間(分)				
▽約15分 蓄圧タンクによる炉心注水開始				
	受電状態確認			
	1 基目 出口弁開操作			
	2 基目 出口弁開操作			
	3 基目 出口弁開操作			
	4 基目 出口弁開操作			
	移動			
	出口弁電源入			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</div>				【大飯】 設備の相違 (相違理由③)

※ 現場移動時間には防保護具着用時間を含む。

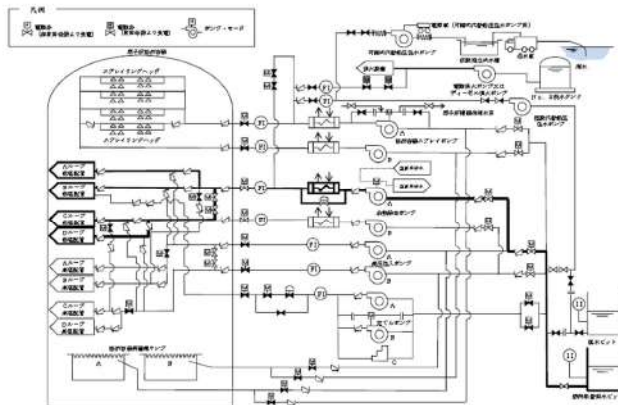
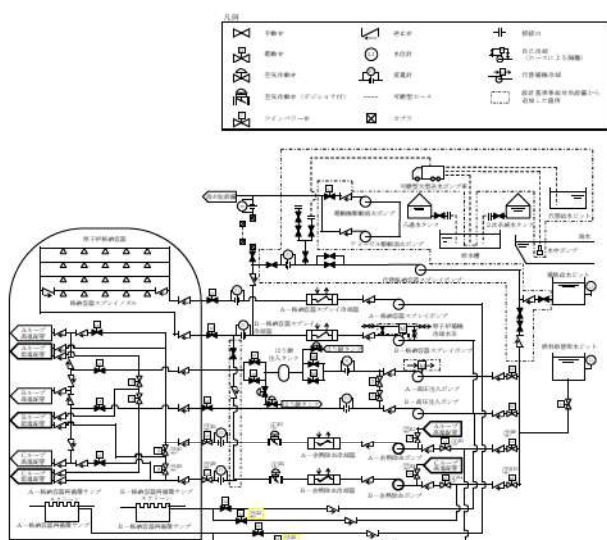
第1.4.89図 蓄圧タンクによる炉心注水 タイムチャート

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
 <p>図 1.4.40 燃料取替用水ビットからの重力注水による代替炉心注水 概略系図</p>		 <table border="1" data-bbox="1433 893 1948 1157"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①¹⁾</td> <td>A-余熱除去ポンプ再循環サブ側入口弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>②¹⁾</td> <td>B-余熱除去ポンプ再循環サブ側入口弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>③¹⁾</td> <td>A-余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>④¹⁾</td> <td>B-余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑤¹⁾</td> <td>余熱除去AラインC/V外側隔離弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑥¹⁾</td> <td>余熱除去BラインC/V外側隔離弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑦¹⁾</td> <td>A-余熱除去冷却器出口C/V内側連継弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑧¹⁾</td> <td>B-余熱除去冷却器出口C/V内側連継弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑨¹⁾</td> <td>A-余熱除去ポンプ戻SP側入口弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑩¹⁾</td> <td>B-余熱除去ポンプ戻SP側入口弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑪¹⁾</td> <td>A-余熱除去ポンプ戻SP/再循環サブ側入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑫¹⁾</td> <td>B-余熱除去ポンプ戻SP/再循環サブ側入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑬¹⁾</td> <td>A-余熱除去冷却器出口流量調整弁</td> <td>全閉→調整閉</td> </tr> <tr> <td>⑭¹⁾</td> <td>B-余熱除去冷却器出口流量調整弁</td> <td>全閉→調整閉</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～⑭同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ¹⁾	A-余熱除去ポンプ再循環サブ側入口弁	全閉確認	② ¹⁾	B-余熱除去ポンプ再循環サブ側入口弁	全閉確認	③ ¹⁾	A-余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁	全開確認	④ ¹⁾	B-余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁	全開確認	⑤ ¹⁾	余熱除去AラインC/V外側隔離弁	全開確認	⑥ ¹⁾	余熱除去BラインC/V外側隔離弁	全開確認	⑦ ¹⁾	A-余熱除去冷却器出口C/V内側連継弁	全開確認	⑧ ¹⁾	B-余熱除去冷却器出口C/V内側連継弁	全開確認	⑨ ¹⁾	A-余熱除去ポンプ戻SP側入口弁	全開確認	⑩ ¹⁾	B-余熱除去ポンプ戻SP側入口弁	全開確認	⑪ ¹⁾	A-余熱除去ポンプ戻SP/再循環サブ側入口弁	全閉→全開	⑫ ¹⁾	B-余熱除去ポンプ戻SP/再循環サブ側入口弁	全閉→全開	⑬ ¹⁾	A-余熱除去冷却器出口流量調整弁	全閉→調整閉	⑭ ¹⁾	B-余熱除去冷却器出口流量調整弁	全閉→調整閉	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ ・泊は、フロントライン系故障時と並走ポート系故障時で操作内容が変わることから概要図を分けて記載している。</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																														
① ¹⁾	A-余熱除去ポンプ再循環サブ側入口弁	全閉確認																																														
② ¹⁾	B-余熱除去ポンプ再循環サブ側入口弁	全閉確認																																														
③ ¹⁾	A-余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁	全開確認																																														
④ ¹⁾	B-余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁	全開確認																																														
⑤ ¹⁾	余熱除去AラインC/V外側隔離弁	全開確認																																														
⑥ ¹⁾	余熱除去BラインC/V外側隔離弁	全開確認																																														
⑦ ¹⁾	A-余熱除去冷却器出口C/V内側連継弁	全開確認																																														
⑧ ¹⁾	B-余熱除去冷却器出口C/V内側連継弁	全開確認																																														
⑨ ¹⁾	A-余熱除去ポンプ戻SP側入口弁	全開確認																																														
⑩ ¹⁾	B-余熱除去ポンプ戻SP側入口弁	全開確認																																														
⑪ ¹⁾	A-余熱除去ポンプ戻SP/再循環サブ側入口弁	全閉→全開																																														
⑫ ¹⁾	B-余熱除去ポンプ戻SP/再循環サブ側入口弁	全閉→全開																																														
⑬ ¹⁾	A-余熱除去冷却器出口流量調整弁	全閉→調整閉																																														
⑭ ¹⁾	B-余熱除去冷却器出口流量調整弁	全閉→調整閉																																														

第 1.4.39 図 燃料取替用水ビットからの重力注水による原子炉容器への注水 概要図 (1/2) (フロントライン系故障時)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1384 387 1998 1114" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <table border="1" data-bbox="1456 949 1948 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①^注</td> <td>A-全熱除去ポンプ首屈塞ヤンプ側入口弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>②^注</td> <td>A-全熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>③^注</td> <td>全熱除去AラインC/V外側隔離弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>④^注</td> <td>A-全熱除去冷排器出口C/V内側遮断弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑤^注</td> <td>B-全熱除去冷排器出口C/V内側遮断弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑥^注</td> <td>A-全熱除去冷排器出口流量調節弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑦^注</td> <td>A-全熱除去ポンプBSSP側入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧^注</td> <td>A-全熱除去ポンプBSSP/首屈塞ヤンプ側入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> </div>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ^注	A-全熱除去ポンプ首屈塞ヤンプ側入口弁	全閉確認	② ^注	A-全熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁	全開確認	③ ^注	全熱除去AラインC/V外側隔離弁	全開確認	④ ^注	A-全熱除去冷排器出口C/V内側遮断弁	全開確認	⑤ ^注	B-全熱除去冷排器出口C/V内側遮断弁	全開確認	⑥ ^注	A-全熱除去冷排器出口流量調節弁	全開確認	⑦ ^注	A-全熱除去ポンプBSSP側入口弁	全閉→全開	⑧ ^注	A-全熱除去ポンプBSSP/首屈塞ヤンプ側入口弁	全閉→全開	<div data-bbox="2022 624 2168 933" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査表紙の反映） ・泊は、フロントライン系故障時とサポート系故障時で操作内容が変わることから概要図を分けて記載している。</p> </div>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																												
① ^注	A-全熱除去ポンプ首屈塞ヤンプ側入口弁	全閉確認																												
② ^注	A-全熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁	全開確認																												
③ ^注	全熱除去AラインC/V外側隔離弁	全開確認																												
④ ^注	A-全熱除去冷排器出口C/V内側遮断弁	全開確認																												
⑤ ^注	B-全熱除去冷排器出口C/V内側遮断弁	全開確認																												
⑥ ^注	A-全熱除去冷排器出口流量調節弁	全開確認																												
⑦ ^注	A-全熱除去ポンプBSSP側入口弁	全閉→全開																												
⑧ ^注	A-全熱除去ポンプBSSP/首屈塞ヤンプ側入口弁	全閉→全開																												

第1.4.39図 燃料取替用水ビットからの重力注水による原子炉容器への注水 概要図(2/2) (サポート系故障時)

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

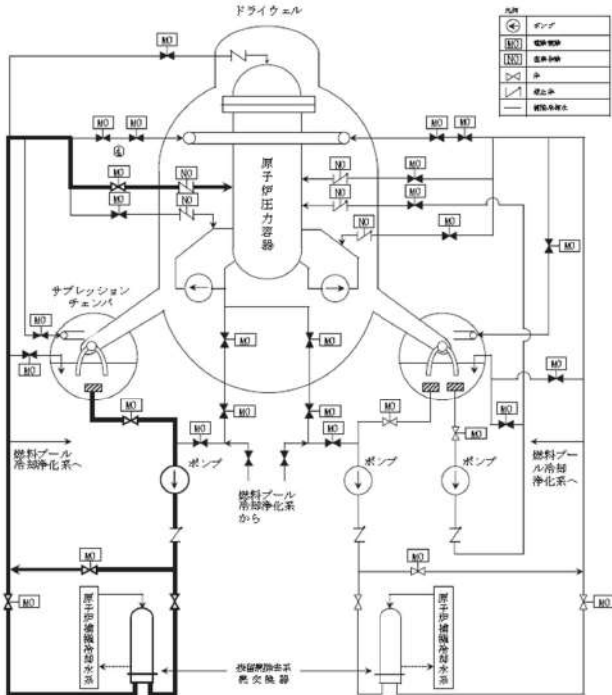
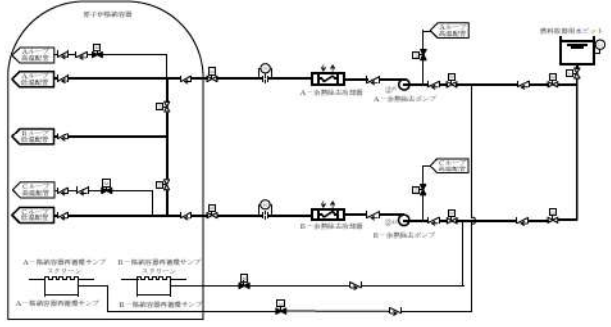
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>※ 現場移動時間には防護器具着脱時間を含みます。</p> <p>第1.4.42図 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水 タイムチャート</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>フロントライン系故障時</p> <p>サボート系故障時</p> <p>第1.4.40図 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水 タイムチャート</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加 ・泊は中央制御室のみで操作する手順（フロントライン故障時）においてもタイムチャートを準備している

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由													
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	 <table border="1" data-bbox="831 1093 1256 1145" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>非名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="831 1177 1256 1225" style="text-align: center;">第 1.4-39 図 残留熱除去系（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	操作手順	非名称	④	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	 <table border="1" data-bbox="1404 981 1951 1040" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②¹⁾</td> <td>A-余熱除去ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②²⁾</td> <td>B-余熱除去ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1404 1042 1859 1058" style="font-size: small;">①～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p data-bbox="1417 1090 1946 1107" style="text-align: center;">第 1.4. 41 図 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② ¹⁾	A-余熱除去ポンプ	停止→起動	② ²⁾	B-余熱除去ポンプ	停止→起動	<p data-bbox="2022 638 2166 890">【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、重大事故等対処設備（設計基準拡張）の手順を整理している。</p>
操作手順	非名称															
④	RHR A系 LPCI 注入隔離弁															
操作手順	操作対象機器	状態の変化														
② ¹⁾	A-余熱除去ポンプ	停止→起動														
② ²⁾	B-余熱除去ポンプ	停止→起動														

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																			
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="736 539 1361 911"> </div> <div data-bbox="853 943 1272 999"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④</td> <td>LPCS 注入隔離弁</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="779 1027 1346 1050"> <p>第 1.4-40 図 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水 概要図</p> </div>	操作手順	弁名称	④	LPCS 注入隔離弁	<div data-bbox="1406 480 2004 930"> </div> <div data-bbox="1406 962 1951 1058"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②¹⁾</td> <td>A-余熱除去ポンプ再循環サンプリング入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>③²⁾</td> <td>B-余熱除去ポンプ再循環サンプリング入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>④³⁾</td> <td>A-余熱除去ポンプRWSF 側入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤⁴⁾</td> <td>B-余熱除去ポンプRWSF 側入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1406 1058 1854 1075"> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> </div> <div data-bbox="1420 1102 1912 1125"> <p>第 1.4.42 図 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転 概要図</p> </div>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② ¹⁾	A-余熱除去ポンプ再循環サンプリング入口弁	全開→全開	③ ²⁾	B-余熱除去ポンプ再循環サンプリング入口弁	全開→全開	④ ³⁾	A-余熱除去ポンプRWSF 側入口弁	全開→全開	⑤ ⁴⁾	B-余熱除去ポンプRWSF 側入口弁	全開→全開	<div data-bbox="2024 639 2172 890"> <p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・泊は、重大事故等 対処設備（設計 基準拡張）の手 順を整理してい る。</p> </div>
操作手順	弁名称																					
④	LPCS 注入隔離弁																					
操作手順	操作対象機器	状態の変化																				
② ¹⁾	A-余熱除去ポンプ再循環サンプリング入口弁	全開→全開																				
③ ²⁾	B-余熱除去ポンプ再循環サンプリング入口弁	全開→全開																				
④ ³⁾	A-余熱除去ポンプRWSF 側入口弁	全開→全開																				
⑤ ⁴⁾	B-余熱除去ポンプRWSF 側入口弁	全開→全開																				

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
<div data-bbox="203 767 613 812" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="741 256 1355 965"> </div> <div data-bbox="824 975 1279 1236"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>RDR ポンプ(A)S/C 吸込弁</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>RDR ポンプ(A) ミニマムフロー弁</td> </tr> <tr> <td>①#3</td> <td>原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁</td> </tr> <tr> <td>①#4</td> <td>RDR A系停止時冷却吸込第一隔離弁</td> </tr> <tr> <td>①#5</td> <td>RDR A系停止時冷却吸込第二隔離弁</td> </tr> <tr> <td>①#6</td> <td>RDR ポンプ(A)停止時冷却吸込弁</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>RDR A系停止時冷却注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>RDR 熱交換器(A) 出口弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> </div>	操作手順	弁名称	①#1	RDR ポンプ(A)S/C 吸込弁	①#2	RDR ポンプ(A) ミニマムフロー弁	①#3	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁	①#4	RDR A系停止時冷却吸込第一隔離弁	①#5	RDR A系停止時冷却吸込第二隔離弁	①#6	RDR ポンプ(A)停止時冷却吸込弁	②	RDR A系停止時冷却注入隔離弁	③	RDR 熱交換器(A) 出口弁	<div data-bbox="1384 416 1995 874"> </div> <div data-bbox="1413 906 1957 1077"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>A-余熱除去ポンプRSP/再循環ポンプ吸入弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>B-余熱除去ポンプRSP/再循環ポンプ吸入弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#3</td> <td>A-余熱除去ポンプ入口C/A内無隔離弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#4</td> <td>B-余熱除去ポンプ入口C/A内無隔離弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#5</td> <td>余熱除去Aライン入口止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#6</td> <td>余熱除去Bライン入口止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#7</td> <td>A-余熱除去ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>①#8</td> <td>B-余熱除去ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> </div>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①#1	A-余熱除去ポンプRSP/再循環ポンプ吸入弁	全開→全閉	①#2	B-余熱除去ポンプRSP/再循環ポンプ吸入弁	全開→全閉	①#3	A-余熱除去ポンプ入口C/A内無隔離弁	全開→全開	①#4	B-余熱除去ポンプ入口C/A内無隔離弁	全開→全開	①#5	余熱除去Aライン入口止め弁	全開→全開	①#6	余熱除去Bライン入口止め弁	全開→全開	①#7	A-余熱除去ポンプ	停止→起動	①#8	B-余熱除去ポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、重大事故等対処設備（設計基準拡張）の手順を整理している。</p>
操作手順	弁名称																																															
①#1	RDR ポンプ(A)S/C 吸込弁																																															
①#2	RDR ポンプ(A) ミニマムフロー弁																																															
①#3	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁																																															
①#4	RDR A系停止時冷却吸込第一隔離弁																																															
①#5	RDR A系停止時冷却吸込第二隔離弁																																															
①#6	RDR ポンプ(A)停止時冷却吸込弁																																															
②	RDR A系停止時冷却注入隔離弁																																															
③	RDR 熱交換器(A) 出口弁																																															
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																														
①#1	A-余熱除去ポンプRSP/再循環ポンプ吸入弁	全開→全閉																																														
①#2	B-余熱除去ポンプRSP/再循環ポンプ吸入弁	全開→全閉																																														
①#3	A-余熱除去ポンプ入口C/A内無隔離弁	全開→全開																																														
①#4	B-余熱除去ポンプ入口C/A内無隔離弁	全開→全開																																														
①#5	余熱除去Aライン入口止め弁	全開→全開																																														
①#6	余熱除去Bライン入口止め弁	全開→全開																																														
①#7	A-余熱除去ポンプ	停止→起動																																														
①#8	B-余熱除去ポンプ	停止→起動																																														
第 1.4.43 図 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱 概要図																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第 1.4.18 図 格納容器再循環ポンプスクリーン位置の差違が見られた場合の手順</p>	<p>第 1.4.18 図 格納容器再循環ポンプスクリーン位置の差違が見られた場合の手順</p>	<p>(1) 格納容器再循環ポンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(1) フロントライン系故障時の対応手段の選択（発電用原子炉運転中）</p> <p>第 1.4-42 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (1/4)</p>	<p>(2) 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系故障）(1/2)</p> <p>第 1.4.44 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (2/21)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1377 459 1406 1262" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(2) 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系故障）(2/2)</div> <div data-bbox="1435 534 1951 1157" style="text-align: center;"> <p>The flowchart details the response to a front-line system failure. It starts with a start point leading to a decision diamond: '非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失か?' (Is there a loss of emergency core cooling function due to the emergency core cooling system?). If 'Yes', it proceeds to a decision: '原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧か?' (Is the reactor coolant pressure boundary low pressure?). This leads to a series of decision diamonds: '原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧か?' (Is the reactor coolant pressure boundary low pressure?), '原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧か?' (Is the reactor coolant pressure boundary low pressure?), and '原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧か?' (Is the reactor coolant pressure boundary low pressure?). Each 'Yes' leads to a process box: '原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧か?' (Is the reactor coolant pressure boundary low pressure?), '原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧か?' (Is the reactor coolant pressure boundary low pressure?), and '原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧か?' (Is the reactor coolant pressure boundary low pressure?). Each 'No' leads to a decision diamond: '原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧か?' (Is the reactor coolant pressure boundary low pressure?). The process boxes describe actions like '原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧か?' (Is the reactor coolant pressure boundary low pressure?) and '原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧か?' (Is the reactor coolant pressure boundary low pressure?). The flowchart ends with a '完了' (End) box.</p> </div>	<div data-bbox="2027 726 2139 805" style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</div>

第1.4.44図 重大事故時等の対応手段選択フローチャート (3/21)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第 1.4.20 図 非常用が心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (フロントライン系機能喪失：再循環運転及び代替再循環運転)</p>		<p>(3) 余熱除去設備の再循環運転による原子炉冷却機能喪失に対する対応手段 (フロントライン系故障)</p> <p>第 1.4.44 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (4/21)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による設備の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第 1.4.39 図 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (サポート系機能喪失：代替炉心注水)</p>	<p>第 1.4-42 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (2/4)</p>	<p>第 1.4.43 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (5/21)</p> <p>第 1.4.44 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (6/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p> <p>【大阪】 設備の相違 (相違理由③)</p>
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.4.31図 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (サポート系機能喪失：代替再循環運転)</p>		<p>(5) 非常用炉心冷却設備による炉心注水機能喪失に対する対応手順 (サポート系故障：代替再循環運転)</p> <p>第1.4.44図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (7/21)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による設備の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.4.44図 溶融デブリが原子炉容器内に残存する場合の対応手順</p>	<p>(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手段の選択</p> <p>第1.4-42図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (3/4)</p>	<p>(6) 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の対応手順 (1/2)</p> <p>第1.4.44図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (8/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1377 542 1926 1165"> <p>(6) 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の対応手順 (2/2)</p> </div>	<p>第 1.4.44 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (9/21)</p> <p style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 1.4.36 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失時の対応手順（フロントライン系機能喪失）</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>(7) 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失の対応手順（フロントライン系故障）(1/2)</p> <p>第 1.4.44 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (10/21)</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による設備の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1384 475 1951 533" style="text-align: center;"> (7) 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失の 対応手順（フロントライン系故障）(2/2) </div> <div data-bbox="1384 544 1995 1075" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1384 1091 1921 1114" style="text-align: center;"> 第 1.4.44 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (11/21) </div>	<div data-bbox="2024 724 2130 799" style="color: red;"> 【大飯】 設備の相違 (相違理由④) </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

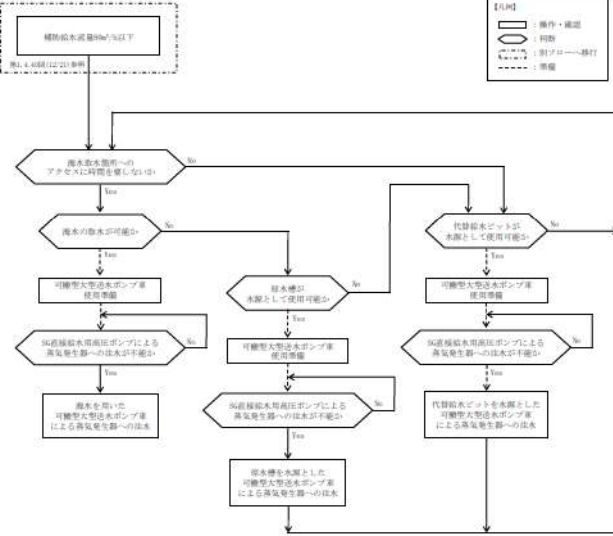
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(8) 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の全交流動力電源喪失の対応手順（サポート系故障）(1/2)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による設備の相違</p>
<p>第1.4.37 図 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失時の対応手順（サポート系機能喪失）</p>		<p>第1.4.44 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（12/21）</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p data-bbox="1384 456 1951 512">(8) 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の全交流動力電源喪失の対応手順（サポート系故障）(2/2)</p>  <p data-bbox="1413 1110 1957 1129">第 1.4.44 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (13/21)</p>	<p data-bbox="2029 724 2130 799">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

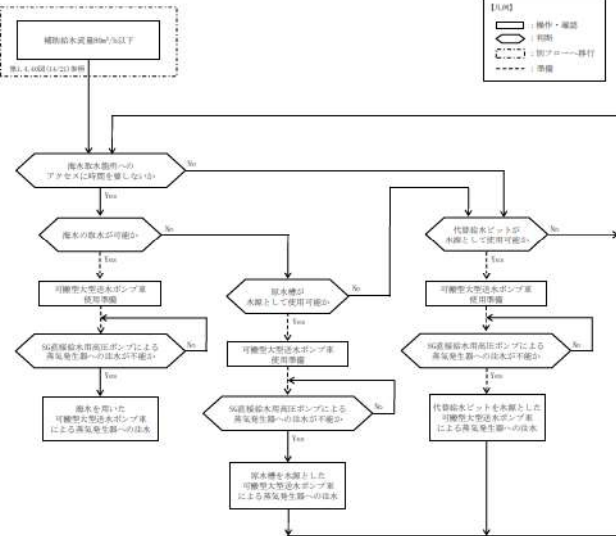
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第 1.4.41 図 運転停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系機能喪失）（1/2）</p>	<p>(4) フロントライン系故障時の対応手段の選択（発電用原子炉停止中）</p> <p>第 1.4-42 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（4/4）</p>	<p>(9) 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系故障）（1/4）</p> <p>第 1.4.44 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（14/21）</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】 炉型の相違による設備の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>(9) 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (フロントライン系故障) (2/4)</p>  <p>第 1.4.44 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (15/21)</p>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

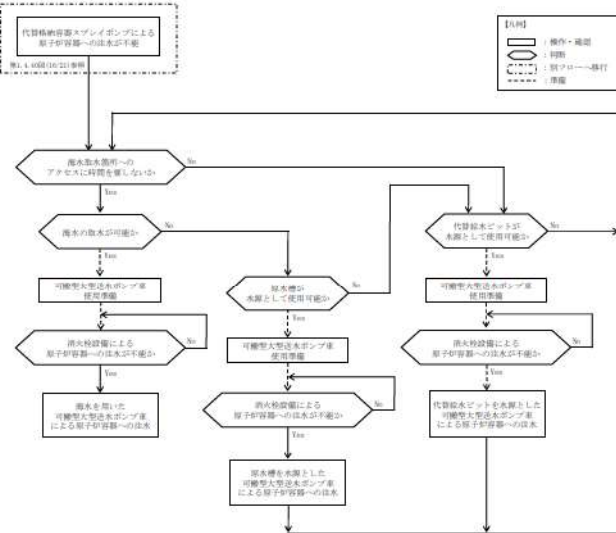
1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第 1.4.41 図 運転停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系機能喪失）（2/2）</p>		<p>(9) 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (フロントライン系故障) (3/4)</p> <p>第 1.4.44 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (16/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<p>(9) 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (フロントライン系故障) (4/4)</p>  <p style="text-align: right; color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>	

第1.4.44図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (17/21)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.4.43図 運転停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（サポート系機能喪失）（1/2）</p>		<p>(10) 停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順 (サポート系故障) (1/4)</p> <p>第1.4.44図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（18/21）</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】 炉型の相違による設備の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p data-bbox="1384 416 1800 437">(10) 停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順</p> <p data-bbox="1429 453 1630 474">(サポート系故障) (2/4)</p> <div data-bbox="1384 544 1998 1082"> </div> <p data-bbox="1413 1150 1957 1171">第1.4.44図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (19/21)</p>	<p data-bbox="2024 724 2136 804">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3/4号炉の緊急対応手順フローチャート。原子炉冷却機能喪失発生時の対応手順を示している。主要なステップとして、1次冷却系に閉口があり、高圧タンクによる代替炉心注水、高圧タンクによる代替炉心注水（準備等間に合わせて必要に応じて追加実施）、高圧タンクによる代替炉心注水、高圧タンクによる代替炉心注水（準備等間に合わせて必要に応じて追加実施）、高圧タンクによる代替炉心注水、高圧タンクによる代替炉心注水（準備等間に合わせて必要に応じて追加実施）などが示されている。</p>	<p>女川原子力発電所2号炉の対応手順は、この表の範囲外である。</p>	<p>(10) 停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順 (サポート系故障) (3/4)</p> <p>泊発電所3号炉の緊急対応手順フローチャート。停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順を示している。主要なステップとして、高圧タンクによる代替炉心注水、高圧タンクによる代替炉心注水（準備等間に合わせて必要に応じて追加実施）、高圧タンクによる代替炉心注水、高圧タンクによる代替炉心注水（準備等間に合わせて必要に応じて追加実施）などが示されている。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による設備の相違</p>

第1.4.44図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (20/21)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉				泊発電所3号炉				相違理由		
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】				添付資料1.4.1				添付資料1.4.1		
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/8)				審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/13)						
技術的能力審査基準 (1.4)	番号	設置許可基準規則 (47条)	技術基準規則 (62条)	番号	技術的能力審査基準(1.4)	番号	設置許可基準規則 (四十七条)	技術基準規則 (六十二条)	番号	
<p>【本文】 発電用原子炉設置者において、原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧の状態であって、設計基準事故対処設備が有する発電用原子炉の冷却機能が喪失した場合においても炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。</p>	①	<p>【本文】 発電用原子炉施設には、原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧の状態であって、設計基準事故対処設備が有する発電用原子炉の冷却機能が喪失した場合においても炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備を設けなければならない。</p>	<p>【本文】 発電用原子炉施設には、原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧の状態であって、設計基準事故対処設備が有する発電用原子炉の冷却機能が喪失した場合においても炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備を設けなければならない。</p>	④	<p>【本文】 発電用原子炉設置者において、原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧の状態であって、設計基準事故対処設備が有する発電用原子炉の冷却機能が喪失した場合においても炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。</p>	①	<p>【本文】 発電用原子炉施設には、原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧の状態であって、設計基準事故対処設備が有する発電用原子炉の冷却機能が喪失した場合においても炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備を設けなければならない。</p>	<p>【本文】 発電用原子炉施設には、原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧の状態であって、設計基準事故対処設備が有する発電用原子炉の冷却機能が喪失した場合においても炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備を設けなければならない。</p>	④	
<p>【解釈】 1 「炉心の著しい損傷」を「防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための手順等をいう。</p>	-	<p>【解釈】 1 第47条に規定する「炉心の著しい損傷」を「防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。</p>	<p>【解釈】 1 第62条に規定する「炉心の著しい損傷」を「防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。</p>	-	<p>【解釈】 1 「炉心の著しい損傷」を「防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための手順等をいう。</p>	-	<p>【解釈】 1 第47条に規定する「炉心の著しい損傷」を「防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。</p>	<p>【解釈】 1 第62条に規定する「炉心の著しい損傷」を「防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。</p>	-	
<p>(1) 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の冷却 a) 可搬型重大事故防止設備の運搬、接続及び操作に関する手順等を整備すること。</p>	②	<p>(1) 重大事故防止設備 a) 可搬型重大事故防止設備を配備すること。</p>	<p>(1) 重大事故防止設備 a) 可搬型重大事故防止設備を配備すること。</p>	⑤	<p>(1) 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の冷却 a) 可搬型重大事故防止設備の運搬、接続及び操作に関する手順等を整備すること。</p>	②	<p>(1) 重大事故防止設備 a) 可搬型重大事故防止設備を配備すること。</p>	<p>(1) 重大事故防止設備 a) 可搬型重大事故防止設備を配備すること。</p>	⑤	
<p>(2) 復旧 a) 設計基準事故対処設備に代替電源を接続することにより起動及び十分な期間の運転継続ができること。</p>	③	<p>b) 炉心の著しい損傷に至るまでの時間的余裕のない場合に対応するため、常設重大事故防止設備を設置すること。</p>	<p>b) 炉心の著しい損傷に至るまでの時間的余裕のない場合に対応するため、常設重大事故防止設備を設置すること。</p>	⑥	<p>(2) 復旧 a) 設計基準事故対処設備に代替電源を接続することにより起動及び十分な期間の運転継続ができること。</p>	③	<p>b) 炉心の著しい損傷に至るまでの時間的余裕のない場合に対応するため、常設重大事故防止設備を設置すること。</p>	<p>b) 炉心の著しい損傷に至るまでの時間的余裕のない場合に対応するため、常設重大事故防止設備を設置すること。</p>	⑥	
-	-	<p>c) 上記a)及びb)の重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備に対して、多様性及び独立性を有し、位置的分散を図ること。</p>	<p>c) 上記a)及びb)の重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備に対して、多様性及び独立性を有し、位置的分散を図ること。</p>	⑦	-	-	<p>c) 上記a)及びb)の重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備に対して、多様性及び独立性を有し、位置的分散を図ること。</p>	<p>c) 上記a)及びb)の重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備に対して、多様性及び独立性を有し、位置的分散を図ること。</p>	⑦	

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川実績の反映)
 ・大阪の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

※1：「1.13 重大事故等の取束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）
 ※2：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉										
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】										
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (2/8)										
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）										
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策						
対応手段	機器名称	既設新設	解釈対応番号	対応手段	機器名称	常設可搬	必要時間内に使用可能か	対応可能な人数で使用可能か	備考	
原子炉の冷却モードによる発電用	残留熱除去系ポンプ	既設	①④	-	-	-	-	-	-	
	サブプレッションチェンバ	既設								
	残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ^{※2}	既設								
	原子炉圧力容器	既設								
	原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）	既設								
	非常用取水設備	既設								
	非常用交流電源設備	既設								
	低圧炉心スプレイ系による発電用原子炉の冷却	低圧炉心スプレイ系ポンプ								既設
		サブプレッションチェンバ								既設
		低圧炉心スプレイ系配管・弁・ストレーナ・スパージャ								既設
原子炉圧力容器		既設								
原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）		既設								
非常用取水設備	既設									
非常用交流電源設備	既設									
残留熱除去系（原子炉停止時）からの冷却	残留熱除去系ポンプ	既設								
	原子炉圧力容器	既設								
	残留熱除去系熱交換器	既設								
	残留熱除去系配管・弁	既設								
	原子炉再循環系配管・弁・ジェットポンプ	既設								
	原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）	既設								
	非常用取水設備	既設								
	非常用交流電源設備	既設								

※1：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）
 ※2：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉									
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (2/13)									
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）									
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設新設	解釈対応番号	対応手段	機器名称	常設可搬	必要時間内に使用可能か	対応可能な人数で使用可能か	備考
高圧注入ポンプによる発電用原子炉の冷却	高圧注入ポンプ	既設	①④	-	-	-	-	-	-
	ほうげん入タンク	既設							
	燃料冷却用水ピット	既設							
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設							
	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁	既設							
	原子炉補機冷却設備	既設							
	非常用取水設備	既設							
	1次冷却設備	既設							
	原子炉穿線	既設							
	非常用交流電源設備	既設							
	非常用交流電源設備	既設							
	非常用交流電源設備	既設							
	冷却系ポンプによる発電用原子炉の冷却	冷却系ポンプ							
燃料冷却用水ピット		既設							
冷却系ポンプ		既設							
非常用炉心冷却設備 配管・弁		既設							
非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁		既設							
原子炉補機冷却設備		既設							
非常用取水設備		既設							
1次冷却設備		既設							
原子炉穿線	既設								
非常用交流電源設備	既設								
非常用交流電源設備	既設								
高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	高圧注入ポンプ	既設	①④	-	-	-	-	-	-
	ほうげん入タンク	既設							
	格納容器再循環タンク	既設							
	格納容器再循環タンクスクリーン	既設							
	安全注入ポンプ再循環タンク側入口C/V外製隔離弁	既設							
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設							
	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁	既設							
	原子炉補機冷却設備	既設							
	非常用取水設備	既設							
	1次冷却設備	既設							
	原子炉穿線	既設							
非常用交流電源設備	既設								

【女川】
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
 記載方針の相違
 (女川実績の反映)

- ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。
- ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉										泊発電所3号炉										相違理由
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】																				
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (3/8)										審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (3/13)										
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段										重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段										
自主対策										自主対策										
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可撤	必要時間内に使用 可能か	対応可能な人数で 使用可能か	備考	対応手段	機器名称	常設 可撤	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考					
低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による発電用原子炉の冷却	復水移送ポンプ	既設	① ④ ⑥ ⑦													【女川】 設備の相違による対応手段の相違 【大阪】 記載方針の相違 (女川実績の反映) ・大阪の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。				
	復水貯蔵タンク	既設																		
	補給水系 配管・弁	既設 新設																		
	残留熱除去系 配管・弁	既設																		
	高圧炉心スプレイ系 配管・弁	既設 新設																		
	燃料プール補給水系 弁	既設																		
	原子炉圧力容器	既設																		
	非常用交流電源設備	既設																		
	常設代替交流電源設備	新設																		
	可搬型代替交流電源設備	新設																		
低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による発電用原子炉の冷却	直流駆動低圧注水系ポンプ	新設	① ④ ⑥ ⑦																	
	復水貯蔵タンク	既設																		
	補給水系 配管	既設																		
	直流駆動低圧注水系 配管・弁	新設																		
	高圧炉心スプレイ系 配管・弁、スパージャ	既設																		
	燃料プール補給水系 弁	既設																		
	原子炉圧力容器	既設																		
	常設代替直交流電源設備	既設																		
	所内常設蓄電式直交流電源設備	既設 新設																		
	可搬型代替交流電源設備	新設																		

※1：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替水源（措置）
 ※2：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (4/8)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可設	必要時間内に使用 可能か	対応可能な人数で 使用可能か	備考
低圧代替注水原子炉冷却による	大容量送水ポンプ (タイプ1)	新設	① ② ④ ⑤ ⑦	-	-	-	-	-	-
	淡水貯水槽 (No.1) 塔1	新設							
	淡水貯水槽 (No.2) 塔1	新設							
	ホース延長回収車	新設							
	ホース・注水用ヘッダ・接続口	新設							
	補給水系 配管・弁	既設 新設							
	残留熱除去系 配管・弁	既設							
	原子炉圧力容器	既設							
	非常用交流電源設備	既設							
	常設代替交流電源設備	新設							
	代替所内電気設備	新設							
燃料補給設備	既設 新設								
-	-	-	-	代替蒸発冷却ポンプ	常設	15分	1名	自主対策とする理由は本文参照	
					サブプレッションチェンバ				常設
					残留熱除去系熱交換器				常設
					残留熱除去系 配管・弁・ストレナ				常設
					原子炉圧力容器				常設
					原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却海水系を含む。)				常設
					非常用取水設備				常設
					原子炉補機代替冷却水系				可設
-	-	-	-	ろ過水ポンプ	常設	20分	1名	自主対策とする理由は本文参照	
					ろ過水タンク				常設
					ろ過水系 配管・弁				常設
					補給水系 配管・弁				常設
					残留熱除去系 配管・弁				常設
					原子炉圧力容器				常設
					非常用交流電源設備				常設
					常設代替交流電源設備				常設

※1：「1.13 重大事故等の取束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）
 ※2：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (4/13)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可設	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考
BWR固有の設備	ろ過水ポンプ	既設	① ④ ⑥ ⑦	-	-	-	-	-	-
	ろ過水タンク	既設							
	可搬型ろ過機	既設							
	燃料補給設備	既設							
	非常用取水設備	既設							
	非常用交流電源設備	既設							
	常設代替交流電源設備	既設							
	代替所内電気設備	既設							
	原子炉圧力容器	既設							
	原子炉補機冷却水系	既設							
	原子炉補機冷却海水系	既設							
-	-	-	-	代替蒸発冷却ポンプ	常設	40分	3名	自主対策とする理由は本文参照	
					サブプレッションチェンバ				常設
					残留熱除去系熱交換器				常設
					残留熱除去系 配管・弁・ストレナ				常設
					原子炉圧力容器				常設
					原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却海水系を含む。)				常設
					非常用取水設備				常設
					原子炉補機代替冷却水系				可設
					ろ過水ポンプ				常設
					ろ過水タンク				常設
					ろ過水系 配管・弁				常設
補給水系 配管・弁	常設								
残留熱除去系 配管・弁	常設								
原子炉圧力容器	常設								
非常用交流電源設備	常設								
常設代替交流電源設備	常設								

【女川】
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
 記載方針の相違
 (女川実績の反映)
 ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉									
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】									
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (5/8)									
		■ : 重大事故等対処設備		□ : 重大事故等対処設備 (設計基準拡張)					
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可搬	必要時間内に使用 可能か	対応可能な人数で 使用可能か	備考
常設代替モジュール)の復旧注水による	残留熱除去系ポンプ	既設	① ③ ④	-	-	-	-	-	-
	サブプレッションチェンバ	既設							
	残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※2	既設							
	原子炉圧力容器	既設							
	原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却海水系を含む。)	既設							
	非常用取水設備	既設							
	原子炉補機代替冷却水系	新設							
	常設代替交流電源設備	新設							
低圧炉心スプレイ系の復旧	低圧炉心スプレイ系ポンプ	既設	① ③ ④	-	-	-	-	-	-
	サブプレッションチェンバ	既設							
	低圧炉心スプレイ系配管・弁・ストレーナ・スパージヤ	既設							
	原子炉圧力容器	既設							
	原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却海水系を含む。)	既設							
	非常用取水設備	既設							
	原子炉補機代替冷却水系	新設							
	常設代替交流電源設備	新設							

※1：「1.13 重大事故等の取束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）
 ※2：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉									
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (5/13)									
		■ : 重大事故等対処設備		□ : 重大事故等対処設備 (設計基準拡張)					
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可搬	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考
海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による発電用原子炉の冷却	可搬型大型送水ポンプ車	新設	① ② ④ ⑤ ⑦	-	-	-	-	-	-
	可搬型ホース・接続口	新設							
	ホース延長・回収車 (送水車用)	新設							
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	新設							
	非常用炉心冷却設備 (低圧注入系) 配管・弁	既設							
	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設							
	1次冷却設備	既設							
	原子炉容器	既設							
	非常用取水設備	既設							
	燃料補給設備	既設							
可搬型大型送水ポンプ車による水循環とした原子炉の冷却	可搬型大型送水ポンプ車	可搬	-	-	-	-	145分	9名	自主対策とする理由は本文参照
	可搬型ホース・接続口	可搬							
	ホース延長・回収車 (送水車用)	可搬							
	代替給水ビット	常設							
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設							
	非常用炉心冷却設備 (低圧注入系) 配管・弁	常設							
	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	常設							
	1次冷却設備	常設							
	原子炉容器	常設							
	燃料補給設備	常設							

【女川】
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
 記載方針の相違
 (女川実績の反映)
 ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉									
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】									
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/8)									
■ : 重大事故等対処設備 □ : 重大事故等対処設備 (設計基準拡張)									
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段			自主対策						
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可撤	必要時間内に使用 可能か	対応可能な人数で 使用可能か	備考
残存溶解炉(復水移送ポンプ)による冷却	復水移送ポンプ	既設	① ④	残存溶解炉(復水移送ポンプ)による冷却	復水移送ポンプ	常設	20分	1名	自主対策とする理由は本文参照
	復水貯蔵タンク	既設			復水貯蔵タンク	常設			
	補給水系 配管・弁	既設 新設			補給水系 配管・弁	常設			
	残留熱除去系 配管・弁	既設			残留熱除去系 配管・弁	常設			
	高圧炉心スプレイ系 配管・弁	既設 新設			残留熱除去系ヘッドスプレイ 配管・弁	常設			
	燃料プール補給水系 弁	既設			高圧炉心スプレイ系 配管・弁	常設			
	原子炉圧力容器	既設			燃料プール補給水系 弁	常設			
	常設代替交流電源設備	新設			原子炉圧力容器	常設			
	可搬型代替交流電源設備	新設			常設代替交流電源設備	常設			
	所内常設蓄電式直流電源設備	既設 新設			可搬型代替交流電源設備	常設 可撤			
代替所内電気設備	新設	所内常設蓄電式直流電源設備	常設						
—	—	—	—	代替所内電気設備	常設	—	—	—	
残存溶解炉(可搬型)による冷却	大容量送水ポンプ(タイプ1)	新設	① ④	残存溶解炉(可搬型)による冷却	大容量送水ポンプ(タイプ1)	可撤	385分	10名	自主対策とする理由は本文参照
	淡水貯水槽(No.1) ※1	新設			淡水貯水槽(No.1) ※1	常設			
	淡水貯水槽(No.2) ※1	新設			淡水貯水槽(No.2) ※1	常設			
	ホース延長回収車	新設			ホース延長回収車	可撤			
	ホース・注水用ヘッド・接続口	新設			ホース・注水用ヘッド・接続口	可撤			
	補給水系 配管・弁	既設 新設			補給水系 配管・弁	常設			
	残留熱除去系 配管・弁	既設			残留熱除去系 配管・弁	常設			
	原子炉圧力容器	既設			残留熱除去系ヘッドスプレイ 配管・弁	常設			
	常設代替交流電源設備	新設			原子炉圧力容器	常設			
	可搬型代替交流電源設備	新設			常設代替交流電源設備	常設			
代替所内電気設備	新設	可搬型代替交流電源設備	常設 可撤						
燃料補給設備	既設 新設	代替所内電気設備	常設						
—	—	—	—	燃料補給設備	常設 可撤	—	—	—	

※1: 「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源 (措置)
 ※2: 残留熱除去系 (低圧注水モード) は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉									
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/13)									
■ : 重大事故等対処設備 □ : 重大事故等対処設備 (設計基準拡張)									
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段			自主対策						
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可撤	必要時間内に使用 可能か	対応可能な人数で 使用可能か	備考
残存溶解炉(可搬型)による冷却	可搬型大型送水ポンプ車	可撤	① ④	残存溶解炉(可搬型)による冷却	可搬型大型送水ポンプ車	可撤	200分	9名	自主対策とする理由は本文参照
	可搬型ホース・接続口	可撤			可搬型ホース・接続口	可撤			
	ホース延長・回収車 (送水車用)	可撤			ホース延長・回収車 (送水車用)	可撤			
	原水槽	常設			原水槽	常設			
	2次系純水タンク	常設			ろ過水タンク	常設			
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設			非常用炉心冷却設備 (低圧注入系) 配管・弁	常設			
	非常用炉心冷却設備 (低圧注入系) 配管・弁	常設			原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	常設			
	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	常設			給水処理設備 配管・弁	常設			
	給水処理設備 配管・弁	常設			1次冷却設備	常設			
	1次冷却設備	常設			原子炉容器	常設			
原子炉容器	常設	燃料補給設備	常設 可撤						
燃料補給設備	常設 可撤	—	—	—	—	—	—	—	
RRRSI格納容器再循環ライン使用による冷却	B-格納容器スプレイポンプ	既設	① ④	RRRSI格納容器再循環ライン使用による冷却	B-格納容器スプレイポンプ	既設	—	—	—
	B-格納容器スプレイ冷却器	既設			B-格納容器スプレイ冷却器	既設			
	B-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁	既設			B-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁	既設			
	格納容器再循環サンプ	既設			格納容器再循環サンプ	既設			
	格納容器再循環サンプスクリーン	既設			格納容器再循環サンプスクリーン	既設			
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	新設			非常用炉心冷却設備 (低圧注入系) 配管・弁	既設 新設			
	非常用炉心冷却設備 (低圧注入系) 配管・弁	既設 新設			原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設			
	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設			1次冷却設備	既設			
	1次冷却設備	既設			原子炉容器	既設			
	原子炉容器	既設			原子炉格納冷却設備	既設			
原子炉格納冷却設備	既設	非常用取水設備	既設 新設						
非常用取水設備	既設 新設	非常用交流電源設備	既設 新設						
非常用交流電源設備	既設 新設	—	—	—	—	—	—	—	

【女川】
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
 記載方針の相違
 (女川実績の反映)
 ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉															
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】															
審査基準，基準規則と対処設備との対応表（7/8）															
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）															
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策											
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可搬	必要時間内に使用 可能か	対応可能な人数で 使用可能か	備考						
代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却	代替循環冷却ポンプ	新設	④	代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却	代替循環冷却ポンプ	常設	20分	1名	自主対策とする理由は本文参照						
	サブプレッションチェンバ	既設			サブプレッションチェンバ	常設									
	残留熱除去系熱交換器	既設			残留熱除去系熱交換器	常設									
	残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ	既設 新設			残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ	常設									
	原子炉圧力容器	既設			残留熱除去系ヘッドスプレイ 配管・弁	常設									
	原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）	既設			原子炉圧力容器	常設									
	非常用取水設備	既設			原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）	常設									
	原子炉補機代替冷却水	新設			非常用取水設備	常設									
	常設代替交流電源設備	新設			原子炉補機代替冷却水系	可搬									
	代替所内電気設備	新設			常設代替交流電源設備	常設									
—	—	—	—	代替所内電気設備	常設	—	—	—							
—	—	—	—	残ろ過溶水融炉心の冷却	ろ過水ポンプ	常設	20分	1名	自主対策とする理由は本文参照						
					ろ過水タンク	常設									
					ろ過水系 配管・弁	常設									
					補給水系 配管・弁	常設									
					残留熱除去系 配管・弁	常設									
					残留熱除去系ヘッドスプレイ 配管・弁	常設									
					原子炉圧力容器	常設									
					常設代替交流電源設備	常設									
					—	—				—	—	—	—	—	—
					—	—				—	—	—	—	—	—

※1：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）
 ※2：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉									
審査基準，基準規則と対処設備との対応表（7/13）									
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）									
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可搬	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考
格納容器再循環システム（閉塞の発生が見られた場合の手順）	水てんポンプ	既設	④	格納容器再循環システム（閉塞の発生が見られた場合の手順）	ほう騰ポンプ	常設	40分	1名	自主対策とする理由は本文参照
	代替格納容器スプレイポンプ	既設			1次系補給水ポンプ	常設			
	ロ-格納容器スプレイポンプ	既設			電熱機駆動消火ポンプ	常設			
	可搬型大型送水ポンプ車	新設			ディーゼル駆動消火ポンプ	常設			
	可搬型ホース・接続口	新設			可搬型大型送水ポンプ車	可搬			
	ホース延長・回収車（送水車用）	新設			可搬型ホース・接続口	可搬			
	燃料取替水ビット	既設			ホース延長・回収車（送水車用）	可搬			
	補助給水ビット	既設			ほう騰タンク	常設			
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設 新設			1次系純水タンク	常設			
	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	既設			代替給水ビット	常設			
	再生熱交換器	既設			原水槽	常設			
	化学体積制御設備 配管・弁	既設			2次系純水タンク	常設			
	ロ-格納容器スプレイ冷却器	既設			ろ過水タンク	常設			
	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設			非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設			
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設 新設			非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	常設			
	1次冷却設備	既設			原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	常設			
	原子炉容器	既設			火災防護設備（消火栓設備）配管・弁	常設			
	非常用取水設備	既設 新設			給水処理設備 配管・弁	常設			
	代替所内電気設備	既設 新設			1次冷却設備	常設			
	燃料補給設備	既設 新設			原子炉容器	常設			
高圧注入ポンプ	既設	非常用交流電源設備	常設						
燃料取替水ビット	既設	常用電源設備	常設						
ほう騰注入タンク	既設	燃料補給設備	常設 可搬						
非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設 新設	—	—	—					
非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁	既設	—	—	—					
1次冷却設備	既設	—	—	—					
原子炉容器	既設	—	—	—					
原子炉補機冷却設備	既設	—	—	—					
非常用取水設備	既設 新設	—	—	—					
非常用交流電源設備	既設 新設	—	—	—					

【女川】
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
 記載方針の相違
 （女川実績の反映）
 ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉									
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】									
審査基準，基準規則と対処設備との対応表（8/8）									
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）									
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設新設	解釈対応番号	対応手段	機器名称	常設可撤	必要時間内に使用可能か	対応可能な人数で使用可能か	備考
-	-	-	-	原子炉冷却材浄化系による 発電用原子炉からの除熱	原子炉冷却材浄化系ポンプ	常設	35分	1名	自主対策とする理由は本文参照
					原子炉圧力容器	常設			
					原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器	常設			
					原子炉再循環系 配管	常設			
					原子炉冷却材浄化系配管・弁	常設			
					復水給水系 配管・弁・スパージャ	常設			
					原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）	常設			
					非常用取水設備	常設			
					非常用交流電源設備	常設			
					常設代替交流電源設備	常設			
常設代替交流電源設備による残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）の復旧	残留熱除去系ポンプ	既設	① ③ ④	-	-	-	-	-	-
	原子炉圧力容器	既設							
	残留熱除去系熱交換器	既設							
	残留熱除去系配管・弁	既設							
	原子炉再循環系配管・弁・ジェットポンプ	既設							
	原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）	既設							
	非常用取水設備	既設							
	原子炉補機代替冷却水系	新設							
常設代替交流電源設備	新設								

泊発電所3号炉									
審査基準，基準規則と対処設備との対応表（8/13）									
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）									
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設新設	解釈対応番号	対応手段	機器名称	常設可撤	必要時間内に使用可能か	対応可能な人数で使用可能か	備考
B1 発電用原子炉停止時冷却モードによる残留熱除去系	B-冷却ポンプ	既設	① ③ ④ ⑥ ⑦	-	-	-	-	-	-
	燃料取替用水ビット	既設							
	再生熱交換器	既設							
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設							
	化学体積制御設備 配管・弁	既設							
	原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水設備）配管・弁	既設							
	1次冷却設備	既設							
	原子炉容器	既設							
	常設代替交流電源設備	既設							
	-	-							
可搬型ホース			可撤						
燃料取替用水ビット			常設						
B-格納容器スプレィ冷却器			常設						
非常用炉心冷却設備 配管・弁			常設						
非常用炉心冷却設備（低圧注水）配管・弁			常設						
原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁			常設						
原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水設備）配管・弁			常設						
1次冷却設備			常設						
原子炉容器			常設						
常設代替交流電源設備	常設可撤								

【女川】
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
 記載方針の相違
 （女川実績の反映）

- ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。
- ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

※1：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）
 ※2：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																	
	<p style="text-align: center;">審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (9/13)</p> <p style="text-align: center;">■ : 重大事故等対処設備 □ : 重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="4">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応 番号</th> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可搬</th> <th>必要期限内に 使用可能か</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13" style="text-align: center; vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="13" style="text-align: center; vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="13" style="text-align: center; vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="13" style="text-align: center; vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="13" style="text-align: center; vertical-align: middle;">電機 設備 用 原子 炉 の 冷 却 に よ る</td> <td>ディーゼル駆動消防ポンプ</td> <td>常設</td> <td rowspan="13" style="text-align: center; vertical-align: middle;">40分</td> <td rowspan="13" style="text-align: center; vertical-align: middle;">3名</td> <td rowspan="13" style="text-align: center; vertical-align: middle;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr><td>電動機駆動消防ポンプ</td><td>常設</td></tr> <tr><td>ろ過水タンク</td><td>常設</td></tr> <tr><td>可搬型ホース</td><td>可搬</td></tr> <tr><td>大気防護設備（消火栓設備）配管・弁</td><td>常設</td></tr> <tr><td>給水処理設備 配管・弁</td><td>常設</td></tr> <tr><td>非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁</td><td>常設</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁</td><td>常設</td></tr> <tr><td>1次冷却設備</td><td>常設</td></tr> <tr><td>原子炉容器</td><td>常設</td></tr> <tr><td>常用電源設備</td><td>常設</td></tr> <tr><td>A-1 高圧注入ポンプ</td><td>既設</td><td rowspan="13" style="text-align: center; vertical-align: middle;">① ③ ④</td></tr> <tr><td>格納容器再循環ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>格納容器再循環ポンプスクリーン</td><td>既設</td></tr> <tr><td>A-1安全注入ポンプ再循環ポンプ開口C/V外側隔離弁</td><td>既設</td></tr> <tr><td>ほう酸注入タンク</td><td>既設</td></tr> <tr><td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td><td>既設</td></tr> <tr><td>非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁</td><td>既設</td></tr> <tr><td>1次冷却設備</td><td>既設</td></tr> <tr><td>原子炉容器</td><td>既設</td></tr> <tr><td>可搬型大型送水ポンプ車</td><td>新設</td></tr> <tr><td>可搬型ホース・接続口</td><td>新設</td></tr> <tr><td>ホース延長・回収車（送水車用）</td><td>新設</td></tr> <tr><td>原子炉格納冷却設備（原子炉格納冷却水設備）配管・弁</td><td>既設 新設</td></tr> <tr><td>非常用取水設備</td><td>既設 新設</td></tr> <tr><td>常設代替交流電源設備</td><td>既設 新設</td></tr> <tr><td>燃料補給設備</td><td>既設 新設</td></tr> </tbody> </table>	重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策				対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可搬	必要期限内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	-	-	-	-	電機 設備 用 原子 炉 の 冷 却 に よ る	ディーゼル駆動消防ポンプ	常設	40分	3名	自主対策とする理由は本文参照	電動機駆動消防ポンプ	常設	ろ過水タンク	常設	可搬型ホース	可搬	大気防護設備（消火栓設備）配管・弁	常設	給水処理設備 配管・弁	常設	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	常設	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	常設	1次冷却設備	常設	原子炉容器	常設	常用電源設備	常設	A-1 高圧注入ポンプ	既設	① ③ ④	格納容器再循環ポンプ	既設	格納容器再循環ポンプスクリーン	既設	A-1安全注入ポンプ再循環ポンプ開口C/V外側隔離弁	既設	ほう酸注入タンク	既設	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁	既設	1次冷却設備	既設	原子炉容器	既設	可搬型大型送水ポンプ車	新設	可搬型ホース・接続口	新設	ホース延長・回収車（送水車用）	新設	原子炉格納冷却設備（原子炉格納冷却水設備）配管・弁	既設 新設	非常用取水設備	既設 新設	常設代替交流電源設備	既設 新設	燃料補給設備	既設 新設	<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川実績の反映) ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</p>
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																															
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可搬	必要期限内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																										
-	-	-	-	電機 設備 用 原子 炉 の 冷 却 に よ る	ディーゼル駆動消防ポンプ	常設	40分	3名	自主対策とする理由は本文参照																																																																										
					電動機駆動消防ポンプ	常設																																																																													
					ろ過水タンク	常設																																																																													
					可搬型ホース	可搬																																																																													
					大気防護設備（消火栓設備）配管・弁	常設																																																																													
					給水処理設備 配管・弁	常設																																																																													
					非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	常設																																																																													
					原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	常設																																																																													
					1次冷却設備	常設																																																																													
					原子炉容器	常設																																																																													
					常用電源設備	常設																																																																													
					A-1 高圧注入ポンプ	既設				① ③ ④																																																																									
					格納容器再循環ポンプ	既設																																																																													
格納容器再循環ポンプスクリーン	既設																																																																																		
A-1安全注入ポンプ再循環ポンプ開口C/V外側隔離弁	既設																																																																																		
ほう酸注入タンク	既設																																																																																		
非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設																																																																																		
非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁	既設																																																																																		
1次冷却設備	既設																																																																																		
原子炉容器	既設																																																																																		
可搬型大型送水ポンプ車	新設																																																																																		
可搬型ホース・接続口	新設																																																																																		
ホース延長・回収車（送水車用）	新設																																																																																		
原子炉格納冷却設備（原子炉格納冷却水設備）配管・弁	既設 新設																																																																																		
非常用取水設備	既設 新設																																																																																		
常設代替交流電源設備	既設 新設																																																																																		
燃料補給設備	既設 新設																																																																																		

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																											
	<p style="text-align: center;">審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (10/13)</p> <p style="text-align: center;"> ：重大事故等対処設備 ：重大事故等対処設備（設計基準拡張） </p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="5" style="text-align: center;">自主対策</th> </tr> <tr> <th style="width: 5%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">機器名称</th> <th style="width: 5%;">既設 新設</th> <th style="width: 5%;">解釈 対応 番号</th> <th style="width: 5%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">機器名称</th> <th style="width: 5%;">常設 可設</th> <th style="width: 10%;">必要時間内に 使用可能か</th> <th style="width: 10%;">対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th style="width: 5%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20" style="vertical-align: top;">格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる残存常備炉心の冷却</td> <td>格納容器スプレイポンプ</td> <td>既設</td> <td rowspan="20" style="vertical-align: middle;">① ③ ④</td> <td rowspan="20" style="vertical-align: middle;">-</td> <td>電動機駆動消火ポンプ</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">35分</td> <td rowspan="2">3名</td> <td rowspan="20" style="vertical-align: middle;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>新設</td> <td>ディーゼル駆動消火ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット</td> <td>既設</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>可設</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット</td> <td>既設</td> <td>可搬型ホース・接続口</td> <td>可設</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ冷却器</td> <td>既設</td> <td>ホース延長・回収車（送水車用）</td> <td>可設</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備（配管・弁）</td> <td>既設 新設</td> <td>代替給水ピット</td> <td>常設</td> <td>170分</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>既設 新設</td> <td>原水槽</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">225分</td> <td rowspan="2">9名</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備（配管・弁）</td> <td>既設 新設</td> <td>2次系純水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>スプレイノズル</td> <td>既設</td> <td>ろ過水タンク</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>スプレイリング</td> <td>既設</td> <td>非常用炉心冷却設備（配管・弁）</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>既設</td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備（配管・弁）</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td>火災防護設備（消火栓設備）配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td>給水処理設備（配管・弁）</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>代替所内電気設備</td> <td>既設 新設</td> <td>スプレイノズル</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備</td> <td>既設</td> <td>スプレイリング</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備</td> <td>既設 新設</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td>非常用取水設備</td> <td>常設</td> <td>225分</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="7" style="vertical-align: top;">タイミンによる蒸気発生器への注水</td> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>既設</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">① ④</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン駆動補助給水ポンプ</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（給水設備）配管</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>所内常設電式交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可設	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる残存常備炉心の冷却	格納容器スプレイポンプ	既設	① ③ ④	-	電動機駆動消火ポンプ	常設	35分	3名	自主対策とする理由は本文参照	代替格納容器スプレイポンプ	新設	ディーゼル駆動消火ポンプ	常設	燃料取替用水ピット	既設	可搬型大型送水ポンプ車	可設	-	-	補助給水ピット	既設	可搬型ホース・接続口	可設	格納容器スプレイ冷却器	既設	ホース延長・回収車（送水車用）	可設	非常用炉心冷却設備（配管・弁）	既設 新設	代替給水ピット	常設	170分	9名	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設 新設	原水槽	常設	225分	9名	原子炉格納容器スプレイ設備（配管・弁）	既設 新設	2次系純水タンク	常設	スプレイノズル	既設	ろ過水タンク	常設	-	-	スプレイリング	既設	非常用炉心冷却設備（配管・弁）	常設	原子炉格納容器	既設	原子炉格納容器スプレイ設備（配管・弁）	常設	-	-	常設代替交流電源設備	既設 新設	火災防護設備（消火栓設備）配管・弁	常設	可搬型代替交流電源設備	既設 新設	給水処理設備（配管・弁）	常設	-	-	代替所内電気設備	既設 新設	スプレイノズル	常設	原子炉補機冷却設備	既設	スプレイリング	常設	-	-	非常用取水設備	既設 新設	原子炉格納容器	常設	非常用交流電源設備	既設 新設	非常用取水設備	常設	225分	9名	-	-	-	-	-	-	-	-	-	タイミンによる蒸気発生器への注水	電動補助給水ポンプ	既設	① ④	-	-	-	-	-	-	タービン駆動補助給水ポンプ	既設	-	-	-	-	-	補助給水ピット	既設	-	-	-	-	-	蒸気発生器	既設	-	-	-	-	-	2次冷却設備（給水設備）配管	既設	-	-	-	-	-	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設	-	-	-	-	-	2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁	既設	-	-	-	-	-	非常用交流電源設備	既設 新設	-	-	-	-	-	-	所内常設電式交流電源設備	既設 新設	-	-	-	-	-	-	-	<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川実績の反映) ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</p>
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																																																																																																									
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可設	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																																																																																																																																				
格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる残存常備炉心の冷却	格納容器スプレイポンプ	既設	① ③ ④	-	電動機駆動消火ポンプ	常設	35分	3名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																				
	代替格納容器スプレイポンプ	新設			ディーゼル駆動消火ポンプ	常設																																																																																																																																																																																							
	燃料取替用水ピット	既設			可搬型大型送水ポンプ車	可設	-	-																																																																																																																																																																																					
	補助給水ピット	既設			可搬型ホース・接続口	可設																																																																																																																																																																																							
	格納容器スプレイ冷却器	既設			ホース延長・回収車（送水車用）	可設																																																																																																																																																																																							
	非常用炉心冷却設備（配管・弁）	既設 新設			代替給水ピット	常設	170分	9名																																																																																																																																																																																					
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設 新設			原水槽	常設	225分	9名																																																																																																																																																																																					
	原子炉格納容器スプレイ設備（配管・弁）	既設 新設			2次系純水タンク	常設																																																																																																																																																																																							
	スプレイノズル	既設			ろ過水タンク	常設	-	-																																																																																																																																																																																					
	スプレイリング	既設			非常用炉心冷却設備（配管・弁）	常設																																																																																																																																																																																							
	原子炉格納容器	既設			原子炉格納容器スプレイ設備（配管・弁）	常設	-	-																																																																																																																																																																																					
	常設代替交流電源設備	既設 新設			火災防護設備（消火栓設備）配管・弁	常設																																																																																																																																																																																							
	可搬型代替交流電源設備	既設 新設			給水処理設備（配管・弁）	常設	-	-																																																																																																																																																																																					
	代替所内電気設備	既設 新設			スプレイノズル	常設																																																																																																																																																																																							
	原子炉補機冷却設備	既設			スプレイリング	常設	-	-																																																																																																																																																																																					
	非常用取水設備	既設 新設			原子炉格納容器	常設																																																																																																																																																																																							
	非常用交流電源設備	既設 新設			非常用取水設備	常設	225分	9名																																																																																																																																																																																					
	-	-			-	-	-	-		-	-	-																																																																																																																																																																																	
	タイミンによる蒸気発生器への注水	電動補助給水ポンプ			既設	① ④	-	-		-	-	-	-																																																																																																																																																																																
		タービン駆動補助給水ポンプ			既設			-		-	-	-	-																																																																																																																																																																																
補助給水ピット		既設	-	-	-			-	-																																																																																																																																																																																				
蒸気発生器		既設	-	-	-			-	-																																																																																																																																																																																				
2次冷却設備（給水設備）配管		既設	-	-	-			-	-																																																																																																																																																																																				
2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁		既設	-	-	-			-	-																																																																																																																																																																																				
2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁		既設	-	-	-			-	-																																																																																																																																																																																				
非常用交流電源設備	既設 新設	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																						
所内常設電式交流電源設備	既設 新設	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																					

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	<p style="text-align: center;">審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (11/13)</p> <p style="text-align: center;">■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="5">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設新設</th> <th>解釈 対応 番号</th> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可設</th> <th>必要時間内に 使用可能か</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>高圧江 蒸気発生器への注水</td> <td>電動主給水ポンプ</td> <td>常設</td> <td>-</td> <td>1名</td> <td>自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>脱気器タンク</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>蒸気発生器</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2次冷却設備（給水設備）配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>常用電源設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>SG 蒸気発生器への注水</td> <td>SG直送給水用高圧ポンプ</td> <td>常設</td> <td>60分</td> <td>4名</td> <td>自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>可搬型ホース</td> <td>可設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助給水ピット</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>蒸気発生器</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2次冷却設備（給水設備）配管</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>常設 可設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注水ポンプ車</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>可設</td> <td>230分</td> <td>8名</td> <td>自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>可搬型ホース・接続口</td> <td>可設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ホース延長・回収車（送水車用）</td> <td>可設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>蒸気発生器</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2次冷却設備（給水設備）配管</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>非常用取水設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>燃料補給設備</td> <td>常設 可設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>常設 可設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注水ポンプ車</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>可設</td> <td>180分</td> <td>8名</td> <td>自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>可搬型ホース・接続口</td> <td>可設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ホース延長・回収車（送水車用）</td> <td>可設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>代替給水ピット</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>蒸気発生器</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2次冷却設備（給水設備）配管</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>燃料補給設備</td> <td>常設 可設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>常設 可設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					対応手段	機器名称	既設新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可設	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	-	-	-	-	高圧江 蒸気発生器への注水	電動主給水ポンプ	常設	-	1名	自主対策とする理由は本文参照						脱気器タンク	常設									蒸気発生器	常設									2次冷却設備（給水設備）配管・弁	常設									常用電源設備	常設				-	-	-	-	SG 蒸気発生器への注水	SG直送給水用高圧ポンプ	常設	60分	4名	自主対策とする理由は本文参照						可搬型ホース	可設									補助給水ピット	常設									蒸気発生器	常設									2次冷却設備（給水設備）配管	常設									2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設									非常用交流電源設備	常設									常設代替交流電源設備	常設 可設				-	-	-	-	注水ポンプ車	可搬型大型送水ポンプ車	可設	230分	8名	自主対策とする理由は本文参照						可搬型ホース・接続口	可設									ホース延長・回収車（送水車用）	可設									蒸気発生器	常設									2次冷却設備（給水設備）配管	常設									2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設									非常用取水設備	常設									非常用交流電源設備	常設									燃料補給設備	常設 可設									常設代替交流電源設備	常設 可設				-	-	-	-	注水ポンプ車	可搬型大型送水ポンプ車	可設	180分	8名	自主対策とする理由は本文参照						可搬型ホース・接続口	可設									ホース延長・回収車（送水車用）	可設									代替給水ピット	常設									蒸気発生器	常設									2次冷却設備（給水設備）配管	常設									2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設									非常用交流電源設備	常設									燃料補給設備	常設 可設									常設代替交流電源設備	常設 可設				<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
対応手段	機器名称	既設新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可設	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
-	-	-	-	高圧江 蒸気発生器への注水	電動主給水ポンプ	常設	-	1名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
					脱気器タンク	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					蒸気発生器	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					2次冷却設備（給水設備）配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					常用電源設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
-	-	-	-	SG 蒸気発生器への注水	SG直送給水用高圧ポンプ	常設	60分	4名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
					可搬型ホース	可設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					補助給水ピット	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					蒸気発生器	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					2次冷却設備（給水設備）配管	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					非常用交流電源設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					常設代替交流電源設備	常設 可設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
-	-	-	-	注水ポンプ車	可搬型大型送水ポンプ車	可設	230分	8名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
					可搬型ホース・接続口	可設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					ホース延長・回収車（送水車用）	可設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					蒸気発生器	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					2次冷却設備（給水設備）配管	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					非常用取水設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					非常用交流電源設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					燃料補給設備	常設 可設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					常設代替交流電源設備	常設 可設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
-	-	-	-	注水ポンプ車	可搬型大型送水ポンプ車	可設	180分	8名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
					可搬型ホース・接続口	可設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					ホース延長・回収車（送水車用）	可設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					代替給水ピット	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					蒸気発生器	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					2次冷却設備（給水設備）配管	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					非常用交流電源設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					燃料補給設備	常設 可設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					常設代替交流電源設備	常設 可設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

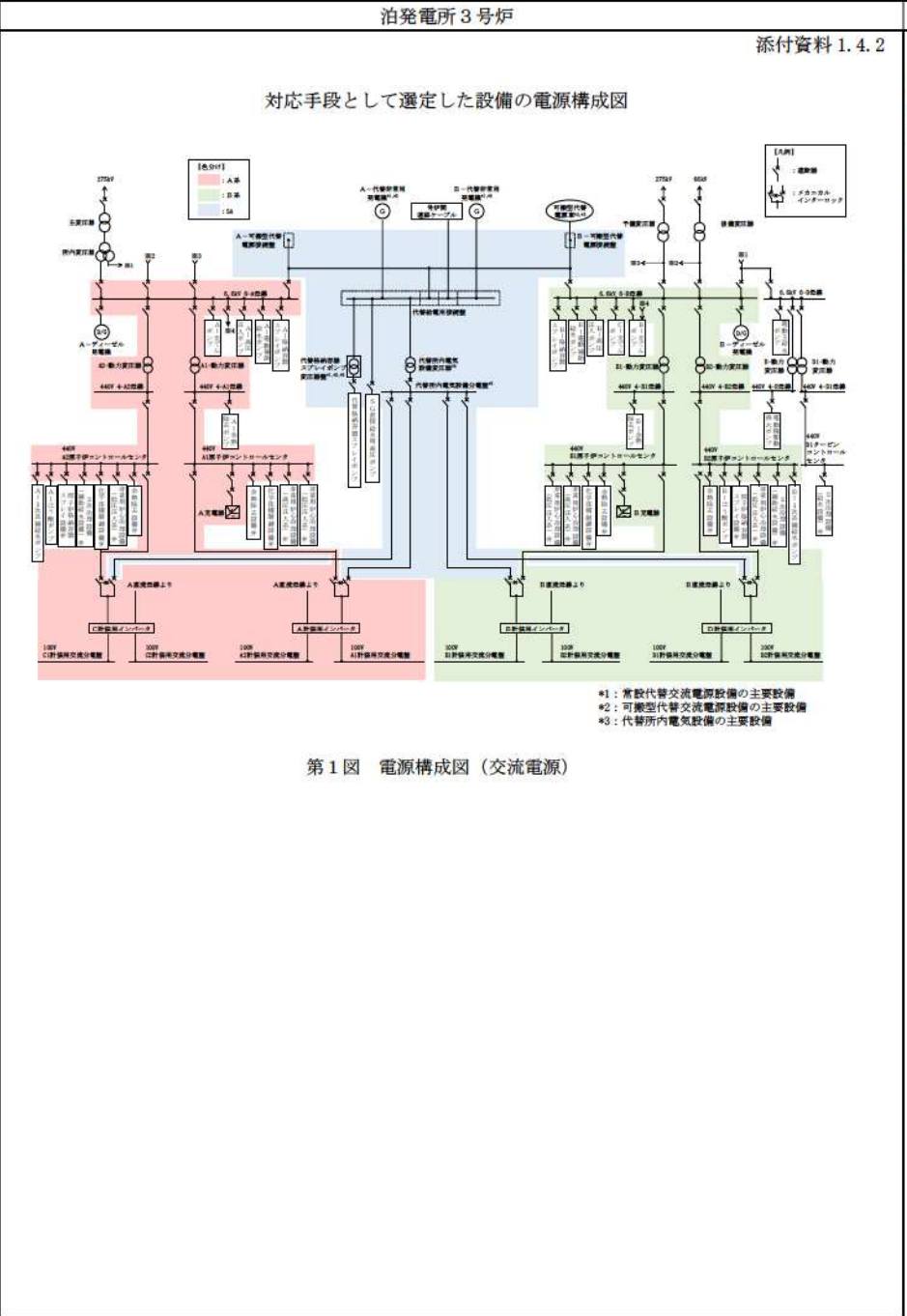
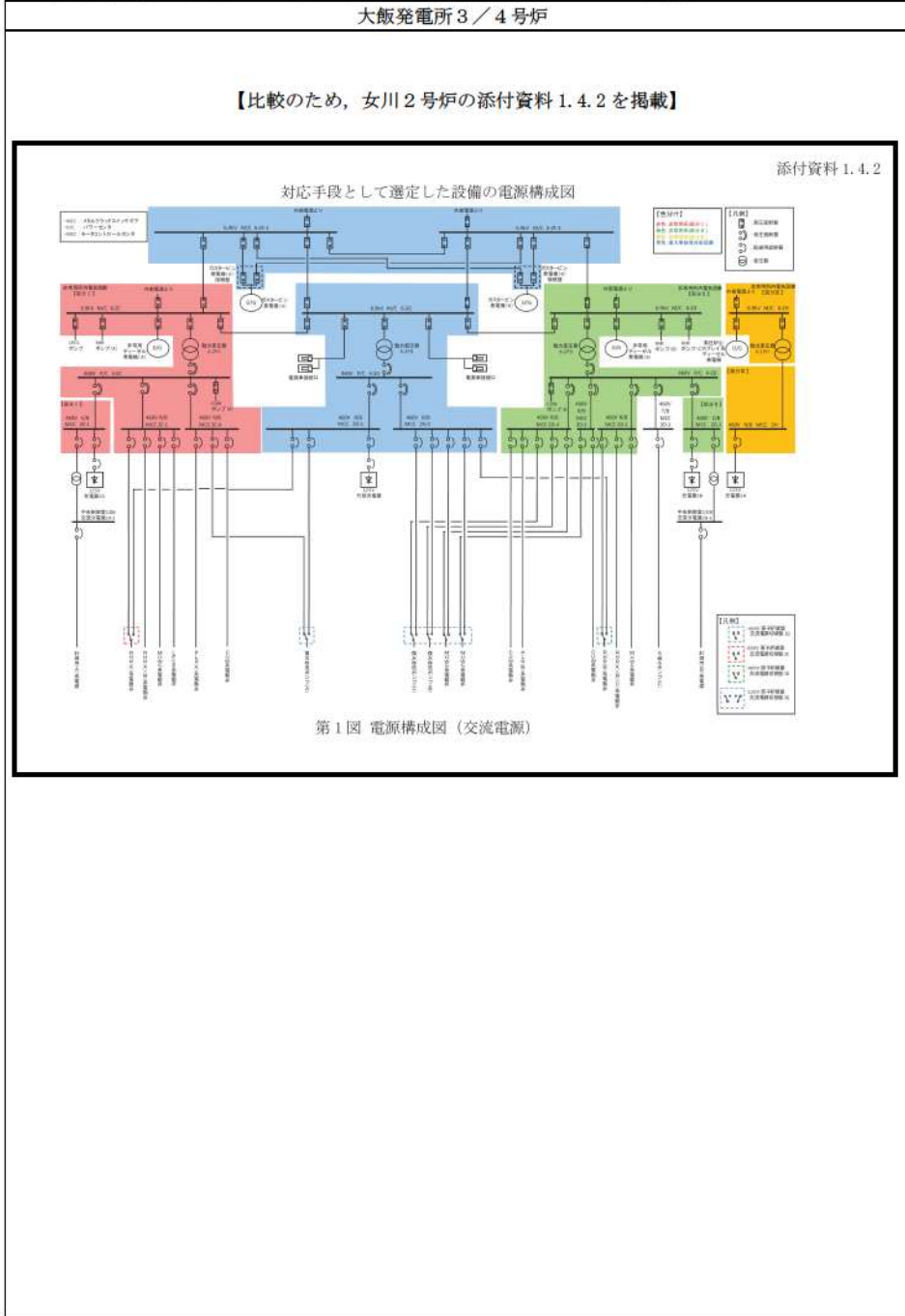
大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																						
	<p style="text-align: center;">審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (13/13)</p> <p style="text-align: center;"> : 重大事故等対処設備 : 重大事故等対処設備（設計基準拡張） </p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="5">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解説 対応 番号</th> <th>対応 手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可設</th> <th>必要時以内に 使用可能か</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7" style="vertical-align: top;">電機補助給水ポンプによる又は 蒸気発生器への注水</td> <td>クービン動補助給水ポンプ</td> <td>既設</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">① ③ ④</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">-</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（給水設備）配管</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>電機補助給水ポンプ</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">現場手動操作による 蒸気放出</td> <td>主蒸気送し弁</td> <td>既設</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">① ④</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">-</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">電機補助給水ポンプによる</td> <td>電機補助給水ポンプ</td> <td>既設</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">① ④</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">-</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（給水設備）配管</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>既設代替交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr> <td>所内常設蓄電式直流電源設備</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr> <td rowspan="8" style="vertical-align: top;">-</td> <td rowspan="8" style="vertical-align: top;">-</td> <td rowspan="8" style="vertical-align: top;">-</td> <td rowspan="8" style="vertical-align: top;">-</td> <td rowspan="8" style="vertical-align: top;">-</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>常設</td> <td rowspan="8" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="8" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="8" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="8" style="vertical-align: middle;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可設	必要時以内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	電機補助給水ポンプによる又は 蒸気発生器への注水	クービン動補助給水ポンプ	既設	① ③ ④	-	-	-	-	-	-	補助給水ビット	既設	蒸気発生器	既設	2次冷却設備（給水設備）配管	既設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設	2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁	既設	電機補助給水ポンプ	既設	現場手動操作による 蒸気放出	主蒸気送し弁	既設	① ④	-	-	-	-	-	-	蒸気発生器	既設	2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁	既設	電機補助給水ポンプによる	電機補助給水ポンプ	既設	① ④	-	-	-	-	-	-	補助給水ビット	既設	蒸気発生器	既設	2次冷却設備（給水設備）配管	既設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設	既設代替交流電源設備	既設 新設	所内常設蓄電式直流電源設備	既設 新設	-	-	-	-	-	燃料取替用水ビット	常設	-	-	-	自主対策とする理由は本文参照	余熱除去ポンプ	常設	余熱除去冷却器	常設	非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	常設	1次冷却設備	常設	原子炉容器	常設	非常用交流電源設備	常設	<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川実績の反映) ・大飯の比較対象となる添付資料 1.4.2 は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</p>
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																				
対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可設	必要時以内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																																															
電機補助給水ポンプによる又は 蒸気発生器への注水	クービン動補助給水ポンプ	既設	① ③ ④	-	-	-	-	-	-																																																																																															
	補助給水ビット	既設																																																																																																						
	蒸気発生器	既設																																																																																																						
	2次冷却設備（給水設備）配管	既設																																																																																																						
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設																																																																																																						
	2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁	既設																																																																																																						
	電機補助給水ポンプ	既設																																																																																																						
現場手動操作による 蒸気放出	主蒸気送し弁	既設	① ④	-	-	-	-	-	-																																																																																															
	蒸気発生器	既設																																																																																																						
	2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁	既設																																																																																																						
電機補助給水ポンプによる	電機補助給水ポンプ	既設	① ④	-	-	-	-	-	-																																																																																															
	補助給水ビット	既設																																																																																																						
	蒸気発生器	既設																																																																																																						
	2次冷却設備（給水設備）配管	既設																																																																																																						
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設																																																																																																						
	既設代替交流電源設備	既設 新設																																																																																																						
所内常設蓄電式直流電源設備	既設 新設																																																																																																							
-	-	-	-	-	燃料取替用水ビット	常設	-	-	-	自主対策とする理由は本文参照																																																																																														
					余熱除去ポンプ	常設																																																																																																		
					余熱除去冷却器	常設																																																																																																		
					非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設																																																																																																		
					非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	常設																																																																																																		
					1次冷却設備	常設																																																																																																		
					原子炉容器	常設																																																																																																		
					非常用交流電源設備	常設																																																																																																		

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



相違理由

【女川】
 設備の相違による電源構成の相違

【大飯】
 記載方針の相違
 (女川実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

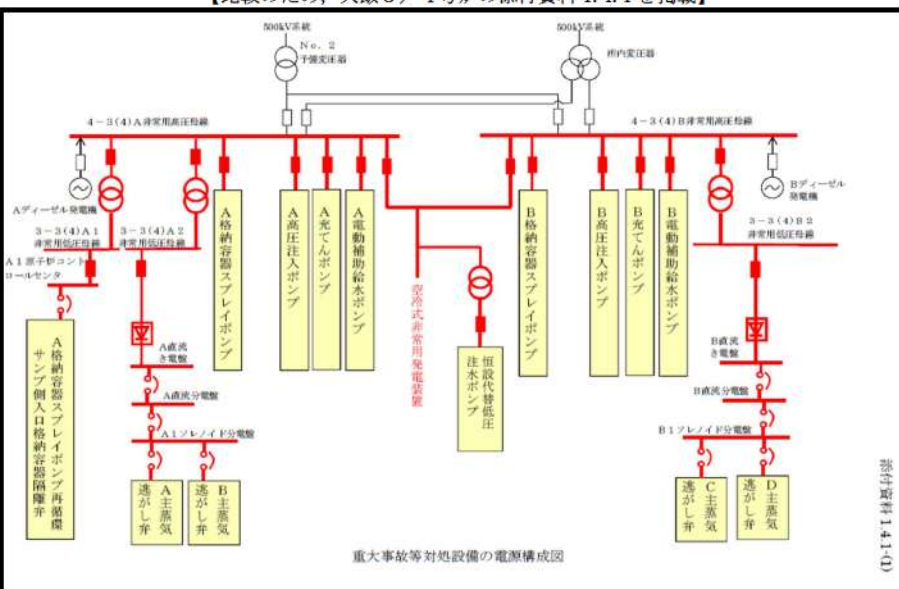
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉 【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.2を掲載】	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第2図 電源構成図（直流電源）</p>	<p>第2図 電源構成図（直流電源）</p> <p> *1：常設代替交流電源設備の主要設備 *2：可搬型代替交流電源設備の主要設備 *3：代替所内電気設備の主要設備 *4：所内常設蓄電式直流電源設備の主要設備 </p>	<p>【女川】 設備の相違による電源構成の相違</p>
<p>第3図 電源構成図（直流電源）</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、大飯3/4号炉の添付資料1.4.1を掲載】</p>  <p>重大事故等対処設備の電源構成図</p> <p style="text-align: right;">添付資料1.4.1</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 20px auto; width: 80%;"> 比較対象は泊3号炉の添付資料1.4.1参照 </div>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川実績の反映) ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉 【比較のため、大飯3/4号炉の添付資料1.4.1を掲載】 添付資料1.4.1-(2)	泊発電所3号炉	相違理由
<p>注： 全交流動力電源喪失時に、格納容器内の注水重層管に必要な格納容器再循環ポンプは、C、D計装用電源から受電する。また、原子炉格納容器水位計、原子炉下部キャビティ水位計は、B直流電源から受電する。</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象は泊3号炉の添付資料 1.4.1 参照</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川実績の反映) ・泊は「第1図 電源構成図(交流電源)」にまとめて記載</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

重大事故等対処設備及び多様性拡張設備整理表

設備名	設備の位置	設備の機能	発電用原子炉の機能		原子炉停止設備		原子炉停止設備		備考
			設備名	設備の機能	設備名	設備の機能			
第1号炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	第1号炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	第1号炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	第1号炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	第1号炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	第1号炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	第1号炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	第1号炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	第1号炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	第1号炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備

※1、※2：重大事故等対処設備の稼働モードに使用する設備の組み合わせを表す。

添付資料1.4.2

泊発電所3号炉

相違理由

比較対象は泊3号炉の添付資料1.4.1参照

記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・大飯の比較対象となる泊の添付資料1.4.1は前段で整理している。
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉						泊発電所3号炉						相違理由
多様性拡張設備仕様						添付資料 1.4.3						【大飯】設備の相違 (相違理由③, ④, ⑤, ⑥)
機器名称	常設 /可搬	耐震性	容量	揚程	台数	機器名称	常設 /可搬	耐震性	容量	揚程	台数	
電動消火ポンプ	常設	Cクラス	約1,200m ³ /h	83m	1台	電動機駆動消火ポンプ	常設	Cクラス	約390m ³ /h	138m	1台	
ディーゼル消火ポンプ	常設	Cクラス	約1,200m ³ /h	55m	1台	ディーゼル駆動消火ポンプ	常設	Cクラス	約390m ³ /h	133m	1台	
No. 2 淡水タンク	常設	Cクラス	約8,000m ³	—	1基	ろ過水タンク	常設	Cクラス	約1,500m ³	—	4基	
ほう酸ポンプ	常設	Sクラス	約17m ³ /h	80m	2基	可搬型大型送水ポンプ車	可搬	転倒評価	約300m ³ /h	吐出圧力 約1.3MPa[gage]	4台+予備2台	
ほう酸タンク	常設	Sクラス	約100m ³	—	2基	代替給水ピット	常設	Cクラス	約473m ³	—	1基	
1次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	60m ³ /h	80m	2台	原水槽	常設	Cクラス	約5,000m ³	—	2基	
1次系純水タンク	常設	Cクラス	328m ³	—	2基	2次系純水タンク	常設	Cクラス	約1,500m ³	—	2基	
A格納容器スプレイポンプ（自己冷却） （RHR S-CSS 連絡ライン使用）	常設	Sクラス	約1,200m ³ /h	約175m	1台	ほう酸ポンプ	常設	Sクラス	約17m ³ /h	72m	2台	
燃料取替用水ピット	常設	Sクラス	3号炉：約2,900m ³ (4号炉：約2,100m ³)	—	1基	ほう酸タンク	常設	Sクラス	約40m ³	—	2基	
A余熱除去ポンプ（空調用冷水）	常設	Sクラス	約1,020m ³ （安全注入時 及び再循環時） 約681m ³ （余熱除去時）	約91m（安全注入時 及び再循環時） 約107m（余熱除去時）	1台	1次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	45m ³ /h	95m	2台	
格納容器再循環サンプ	常設	Sクラス	—	—	2基	1次系純水タンク	常設	Cクラス	約360m ³	—	1基	
納容器再循環サンプスクリーン	常設	Sクラス	—	—	2基	B-格納容器スプレイポンプ	常設	Sクラス	約940m ³ /h	約170m	1台	
						燃料取替用水ピット	常設	Sクラス	約2,000m ³	—	1基	
						電動主給水ポンプ	常設	Cクラス	約3,400m ³ /h	620m	1台	
						脱気器タンク	常設	Cクラス	約400m ³	—	1基	
						SG直接給水用高圧ポンプ	常設	免震	90m ³ /h	900m	1台	
						補助給水ピット	常設	Sクラス	約660m ³	—	1基	
						タービンバイパス弁	常設	Cクラス	約350t/h	—	6個	
機器名称	常設 /可搬	耐震性	容量	揚程	台数							
電動主給水ポンプ	常設	Cクラス	約3,300m ³ /h	約620m	1台							
脱気器タンク	常設	Cクラス	約600m ³	—	1基							
蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）	可搬	—	50m ³ /h	300m	1台							
復水ピット	常設	Sクラス	約1,200m ³	—	1基							
タービンバイパス弁	常設	Cクラス	—	—	15台							
ポンプ車	可搬	—	120 m ³ /h	85m	1台							
送水車	可搬	—	300m ³ /h	約120m	3台							

添付資料 1.4.3-(1)

添付資料 1.4.3-(2)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.4</p> <p style="text-align: center;">A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用） による代替炉心注水</p> <p>【RHRS-CSS連絡ライン弁電源投入】</p> <p>1. 操作概要 A格納容器スプレイポンプによるRHRS-CSS連絡ラインを使用した炉心注水のため、RHRS-CSS連絡ライン弁の電源を入とする。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：10分 操作時間（実績）：7分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.4</p> <p style="text-align: center;">B格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用） による原子炉容器への注水</p> <p>【RHRS-CSS連絡ライン系統構成】</p> <p>1. 操作概要 B格納容器スプレイポンプによるRHRS-CSS連絡ラインを使用した原子炉容器への注水のため、RHRS-CSS連絡ラインの弁操作を行う。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名 操作時間（想定）：20分 操作時間（訓練実績等）：11分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p>	<p>【大阪】設備の相違（相違理由⑩）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） ・作業場所の追加 ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>【大阪】記載表現の相違 ・泊は「実績」又は「模擬」の作業時間を「訓練実績等」と記載。（女川と同様） ・放射線防護具着用時間を含めていることを記載。（伊方、玄海と同様） ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映） ・防護具は必要に応じて着用する記載としている ・以降、同様の相違理由は省略する。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）





1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>操作性：通常行う電源操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p>  <p>RHRS-CSS連絡ライン弁電源入 (制御建屋 E.L.+15.8m)</p>	<p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>  <p>RHRS-CSS連絡ライン手動弁操作 (原子炉補助建屋 T.P.10.3m (中間床))</p>	<p>【大飯】設備の相違 (相違理由①)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 (女川実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.5</p> <p style="text-align: center;">恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p> <p>【恒設代替低圧注水ポンプ系統構成、電源投入及び起動操作】</p> <p>1. 操作概要 恒設代替低圧注水ポンプ起動準備として、系統構成及び電源を入とし、現場にてポンプ起動を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：4名/ユニット 操作時間（想定）：30分 操作時間（実績）：24分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う電源操作及び弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="129 976 526 1273">  </div> <div data-bbox="600 976 945 1273">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="152 1294 517 1345"> <p>① 恒設代替低圧注水ポンプ系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m)</p> </div> <div data-bbox="607 1294 972 1345"> <p>② 恒設代替低圧注水ポンプ起動操作 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> ②の写真はイメージ </div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.5-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替格納容器スプレィポンプによる原子炉容器への注水</p> <p>【代替格納容器スプレィポンプ系統構成】</p> <p>1. 操作概要 代替格納容器スプレィポンプ起動準備として系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.10.3m, T.P.24.8m 原子炉補助建屋T.P.10.3m, T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名 操作時間（想定）：30分 操作時間（訓練実績等）：27分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1099 1007 1464 1286">  </div> <div data-bbox="1507 1007 1872 1286">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="1155 1299 1406 1345"> <p>代替格納容器スプレィポンプ (周辺補機棟 T.P.10.3m)</p> </div> <div data-bbox="1525 1299 1850 1345"> <p>代替格納容器スプレィポンプ系統構成 (原子炉補助建屋 T.P.10.3m)</p> </div> </div>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・泊は系統構成、起動操作及び受電操作について個別に整理している。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 (女川実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="423 751 676 804" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.5-(2)</p> <p>【代替格納容器スプレィポンプ起動操作】</p> <p>1. 操作概要 代替格納容器スプレィポンプを現場にて起動する。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 5分 操作時間（訓練実績等） : 3分（現場移動時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：代替格納容器スプレィポンプの操作場所は、通路付近にあり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1308 919 1671 1193" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">代替格納容器スプレィポンプ起動操作 (周辺補機棟 T.P.10.3m)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・泊は系統構成、起動操作及び受電操作について個別に整理している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.5-(3)</p> <p>【代替格納容器スプレィポンプ受電操作】</p> <p>1. 操作概要 非常用高圧母線から代替格納容器スプレィポンプへの給電が必要な場合、非常用高圧母線の受電遮断器の投入操作を実施する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋T. P. 10. 3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 15分 操作時間（訓練実績等） : 13分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>受電遮断器操作 (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>受電遮断器操作 (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m)</p> </div> </div>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・泊は系統構成、起動操作及び受電操作について個別に整理している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.5-(4)</p> <p>【代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイから原子炉容器への注水への切り替え】</p> <p>1. 操作概要 代替格納容器スプレイポンプにて原子炉格納容器内へのスプレイを実施していた場合に、代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水が必要と判断すれば、代替格納容器スプレイポンプの注水先を原子炉格納容器から原子炉容器へ切り替え、原子炉容器への注水を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.10.3m 原子炉補助建屋T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 25分 操作時間（訓練実績等） : 15分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>格納容器スプレイから炉心注水への切り替え 系統構成 （周辺補機棟 T.P.10.3m）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>RHRS-CSS 連絡ライン手動弁操作 （原子炉補助建屋 T.P.10.3m（中間床））</p> </div> </div>	<p>【大飯】設備の相違 （相違理由⑨）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は代替格納容器スプレイポンプの注水先の切替えに現場操作が必要であるため、操作の成立性について整理している。（伊方と同様）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.6-(1)</p> <p style="text-align: center;">電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水</p> <p>【消火ポンプによる炉心注水ライン系統構成】</p> <p>1. 操作概要 消火水を原子炉へ注水するための系統構成を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間</p> <p>必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：30分 操作時間（実績）：21分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性</p> <p>アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置される照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.6</p> <p style="text-align: center;">電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</p> <p>【消火ポンプによる原子炉容器への注水ライン系統構成】</p> <p>1. 操作概要 消火水を原子炉容器へ注水するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.17.8m 原子炉補助建屋T.P.2.8m, T.P.10.3m, T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間</p> <p>(1) 運転員（現場）B 必要要員数：1名 操作時間（想定）：30分 操作時間（訓練実績等）：18分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>(2) 運転員（現場）C 必要要員数：1名 操作時間（想定）：25分 操作時間（訓練実績等）：13分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性</p> <p>移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。また、可搬型ホースの接続はクイックカプラ式であり、容易に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由④)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 (女川実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="324 598 750 662">消火水注水ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p data-bbox="1164 414 1451 502">消火ポンプによる原子炉容器への注水系統構成 (運転員(現場)B) (原子炉補助建屋 T.P. 10.3m)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p data-bbox="1512 414 1798 502">消火ポンプによる原子炉容器への注水系統構成 (運転員(現場)C) (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p data-bbox="1176 742 1460 853">消火水系配管と格納容器スプレイ系配管との接続のための可搬型ホース接続前 (運転員(現場)B) (原子炉補助建屋 T.P. 10.3m)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p data-bbox="1500 742 1825 853">消火水系配管と格納容器スプレイ系配管との接続のための可搬型ホース配管接続後 (運転員(現場)B) (原子炉補助建屋 T.P. 10.3m)</p> </div> </div>	<p data-bbox="1966 638 2123 686">【大飯】設備の相違 (相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.6-(2)</p> <p>【消火ポンプによる炉心注水ライン弁電源投入】</p> <p>1. 操作概要 消火水を原子炉へ注水するための系統構成のうち、RHRS-CSS連絡ライン弁及び消火水注入ライン弁の電源を入とする。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：10分 操作時間（実績）：7分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う電源操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div data-bbox="378 774 712 1013" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">消火水注入ライン弁電源入 (制御建屋 E.L.+15.8m)</p>	<div data-bbox="1355 762 1608 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 比較対象なし </div>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、RHRS-CSS連絡ラインの弁が手動弁であるため、電源投入操作は不要。 ・消火ポンプ注水ラインの電動弁は常時電源入であるため、電源投入操作は不要。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.4.7-(1)</p> <p style="text-align: center;">可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p> <p>【送水車、可搬型ホース等配備】</p> <p>1. 作業概要 海水を仮設組立式水槽へ注水するための送水車、可搬型ホース等を配備する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：5名/ユニット 作業時間（想定）：3.4時間 作業時間（実績）：90分</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：可搬型設備保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p>	<p style="text-align: center;">添付資料 1.4.7-(1)</p> <p style="text-align: center;">海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>【可搬型ホースの敷設、可搬型大型送水ポンプ車の設置（水中ポンプの設置含む。）】</p> <p>1. 作業概要 海水を原子炉容器へ注水するための可搬型ホースの敷設、可搬型大型送水ポンプ車の設置及び海水取水箇所への水中ポンプ設置等を行う。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.10.3m, T.P.33.1m 屋外（海水取水箇所周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：6名 作業時間（想定）：200分 作業時間（訓練実績等）：160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違 ・泊は、海水を取水するためにポンプ車付属の水中ポンプを使用する。（海水取水に水中ポンプを使用するのは、川内及び玄海と同様）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・大飯は「送水車、可搬型ホース等配備」、 「仮設組立式水槽の設置」、 「可搬式代替低圧注水ポンプ等配備」及び「系統構成」の資料構成としている。</p> <p>・泊は、「可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（水中ポンプの設置含む。）」及び「系統構成」の資料構成としている。</p> <p>・操作及び作業の成立性について網羅的に説明する方針は同様である。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>作業性：送水車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。</p> <p>また、接続はワンタッチ式であり、容易に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、トランシーバー、衛星電話（アイサットフォン）を携帯しており、確実に連絡可能である。</p>	<p>なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。</p> <p>屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。</p> <p>また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。</p> <p>海水取水箇所から吊り下げて設置する水中ポンプは軽量なものであり人力で降下設置できる。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】 記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載</p> <p>【大飯】 設備名称の相違</p> <p>【大飯】設備の相違 ・泊はホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設の作業性の容易性を整理している。（女川と同様） ・泊の可搬型ホースの接続は「汎用の結合金具」である。（女川と同様） ・泊の可搬型大型送水ポンプ車の水中ポンプは人力により設置が可能。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映） 設備名称の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p style="text-align: center;">大飯発電所3/4号炉</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 送水車の移動 (屋外)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② 可搬型ホースの接続前 (屋外)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>③ 可搬型ホースの接続後 (屋外)</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px; border: 1px solid black; padding: 5px;"> 写真はイメージ </div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口</td> <td>約 400m×1 系統 約 50m×1 系統</td> <td style="text-align: center;">150A</td> <td>約 8本×1 系統 約 5本×1 系統</td> </tr> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口</td> <td>約 450m×2 系統 約 550m×1 系統 約 50m×1 系統</td> <td style="text-align: center;">150A</td> <td>約 9本×2 系統 約 11本×1 系統 約 5本×1 系統</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ホース延長・回収車（送水車用）による 可搬型ホース敷設 (屋外)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ホース延長・回収車（送水車用）による 可搬型ホース敷設 (屋外)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース(150A)接続前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース(150A)接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 ポンプ車周辺のホース敷設 (屋外)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>海水取水箇所への水中ポンプ設置 (屋外)</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 400m×1 系統 約 50m×1 系統	150A	約 8本×1 系統 約 5本×1 系統	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2 系統 約 550m×1 系統 約 50m×1 系統	150A	約 9本×2 系統 約 11本×1 系統 約 5本×1 系統	<p style="text-align: center;">【大飯】</p> <p>記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は当該手段で敷設する可搬型ホースの距離等を整理している。(玄海、川内と同様)
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数											
海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 400m×1 系統 約 50m×1 系統	150A	約 8本×1 系統 約 5本×1 系統											
海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2 系統 約 550m×1 系統 約 50m×1 系統	150A	約 9本×2 系統 約 11本×1 系統 約 5本×1 系統											

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.7-(2)</p> <p>【仮設組立式水槽の設置】</p> <p>1. 作業概要 取水路から取水した海水を一時的に貯蔵するための仮設組立式水槽を設置する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：4名/ユニット（可搬式代替低圧注水ポンプ等配備と同時作業。） 作業時間（想定）：2.5時間（可搬式代替低圧注水ポンプ等配備と同時作業。） 作業時間（実績）：2時間（昼間、夜間に実施。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：可搬型設備保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 作業性：仮設組立式水槽は、複数の部材で構成されているが、構造がシンプルであり、容易に組立てが可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、トランシーバー、衛星電話（アイサットフォン）を携帯しており、確実に連絡可能である。</p> <div style="border: 2px solid black; width: 200px; height: 80px; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: center;">① 保護シート設置 (屋外) ② 内袋仮置及びフレーム (外装枠) 設置 (屋外)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 200px; height: 80px; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: center;">③ フレームジョイント板による固定 (屋外) ④ 内袋取付け (屋外)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 200px; height: 80px; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: center;">⑤ 内袋のロープによる固縛 (屋外) ⑥ 仮設組立式水槽 (組立て後) (屋外)</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100px; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>【大飯】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は「送水車、可搬型ホース等配備」、「仮設組立式水槽の設置」、「可搬式代替低圧注水ポンプ等配備」及び「系統構成」の資料構成としている。 ・泊は、「可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置(水中ポンプの設置含む。）」及び「系統構成」の資料構成としている。 ・操作及び作業の成立性について網羅的に説明する方針は同様である。 <p>【大飯】設備の相違 (相違理由③)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.7-(3)</p> <p>【可搬式代替低圧注水ポンプ等配備】</p> <p>1. 作業概要 原子炉へ注水するための準備として、可搬式代替低圧注水ポンプ、可搬型ホース、電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び電源ケーブルを設置並びに接続する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：4名/ユニット（仮設組立式水槽の設置と同時作業。） 作業時間（想定）：2.5時間（仮設組立式水槽の設置と同時作業。） 作業時間（実績）：2時間（昼間、夜間に実施。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：可搬式設備保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 作業性：可搬式設備は車両として移動が可能であり、荷降ろしは人力での作業であるため、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常連絡手段が使用不能となった場合でも、トランシーバー、衛星電話（アイサットフォン）を携帯しており、確実に連絡可能である。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 300px; height: 130px; margin: 10px auto;"></div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="text-align: center;">① 可搬式代替低圧注水ポンプ (屋外)</div> <div style="text-align: center;">② 電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用） (屋外)</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; width: 140px; height: 130px;"></div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="text-align: center;">③ 可搬型ホースの運搬 (屋外)</div> <div style="text-align: center;">④ 可搬型ホース接続 (屋外)</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100px; margin: auto;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>【大飯】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は「送水車、可搬型ホース等配備」、「仮設組立式水槽の設置」、「可搬式代替低圧注水ポンプ等配備」及び「系統構成」の資料構成としている。 ・泊は、「可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（水中ポンプの設置含む。）」及び「系統構成」の資料構成としている。 ・操作及び作業の成立性について網羅的に説明する方針は同様である。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.7-(4)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 可搬式代替低圧注水ポンプにより原子炉への注水を確保するための系統構成を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間</p> <p>必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：30分 操作時間（実績）：29分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.7-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車により原子炉容器への注水を確保するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.10.3m, T.P.17.8m, T.P.40.3m 原子炉補助建屋T.P.10.3m, T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間</p> <p>(1) 運転員（現場）B</p> <p>a. 原子炉容器への注水ライン系統構成 必要要員数：1名 操作時間（想定）：25分 操作時間（訓練実績等）：13分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>(2) 運転員（現場）C</p> <p>a. 原子炉容器への注水ライン系統構成 必要要員数：1名 操作時間（想定）：25分 操作時間（訓練実績等）：12分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>b. 原子炉容器への注水開始前系統構成 必要要員数：1名 操作時間（想定）：25分 操作時間（訓練実績等）：12分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉			相違理由
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="129 240 501 518"> </div> <div data-bbox="607 240 978 518"> </div> </div> <p>①可搬式代替低圧注水ポンプ 系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m)</p> <p>②可搬式代替低圧注水ポンプ 系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m)</p>	<div data-bbox="1070 263 1326 454"> </div> <p>可搬型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水 系統構成 (運転員(現場)B) (原子炉補助建屋 T.P. 10.3m)</p>	<div data-bbox="1355 263 1610 454"> </div> <p>可搬型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水 系統構成 (運転員(現場)B) (原子炉補助建屋 T.P. 10.3m (中間床))</p>	<div data-bbox="1641 263 1897 454"> </div> <p>可搬型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水 系統構成 (運転員(現場)C) (周辺補機棟 T.P. 10.3m)</p>	<p>相違理由</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.8-(1)</p> <p style="text-align: center; color: red;">代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>【可搬型ホースの敷設、可搬型大型送水ポンプ車の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要 代替給水ピットを水源として原子炉容器へ注水するための可搬型ホースの敷設、可搬型大型送水ポンプ車の設置及び代替給水ピットへの吸管挿入等を行う。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P.33.1m 屋外（代替給水ピット周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 145分 作業時間（訓練実績等） : 115分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。 代替給水ピットへ挿入する吸管は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<div data-bbox="421 778 676 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1099 188 1865 288" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替給水ピット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口</td> <td>約 150m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約 3本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1361 368 1615 560" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> <div data-bbox="1146 655 1402 842" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース(150A)接続前</p> <div data-bbox="1574 655 1830 842" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース(150A)接続後</p> <div data-bbox="1146 919 1402 1114" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車の設置代替給水ピットへの吸管挿入（屋外） （作業風景は類似作業）</p> <div data-bbox="1574 919 1830 1114" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車周辺のホース敷設（屋外）</p>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	代替給水ピット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 150m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 3本×1系統 約 5本×1系統	
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
代替給水ピット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 150m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 3本×1系統 約 5本×1系統							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="423 778 676 834" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.8-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車により原子炉容器への注水を確保するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.10.3m, T.P.17.8m, T.P.40.3m 原子炉補助建屋T.P.10.3m, T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 (1) 運転員（現場）B a. 原子炉容器への注水ライン系統構成 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 25分 操作時間（訓練実績等） : 13分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。） (2) 運転員（現場）C a. 原子炉容器への注水ライン系統構成 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 25分 操作時間（訓練実績等） : 12分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。） b. 原子炉容器への注水開始前系統構成 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 25分 操作時間（訓練実績等） : 11分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違 (相違理由③)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 778 676 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水系統構成 (運転員(現場)B) (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水系統構成 (運転員(現場)B) (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m (中間床))</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水系統構成 (運転員(現場)C) (周辺補機棟 T. P. 10. 3m)</p> </div> </div>	

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.9-(1)</p> <p style="text-align: center; color: red;">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>【可搬型ホースの敷設、可搬型大型送水ポンプ車の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要 原水槽を水源として原子炉容器へ注水するための可搬型ホースの敷設、可搬型大型送水ポンプ車の設置及び原水槽への吸管挿入等を行う。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟 T.P. 10.3m 屋外（原水槽周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 200分 作業時間（訓練実績等） : 160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。 原水槽へ挿入する吸管は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<div data-bbox="421 719 676 775" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1099 217 1865 316"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m接続口</td> <td>約600m×1系統 約50m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約12本×1系統 約5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1361 384 1615 592" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> <div data-bbox="1146 692 1402 882" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース（150A）接続前</p> <div data-bbox="1574 692 1830 882" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース（150A）接続後</p> <div data-bbox="1146 959 1402 1149" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車の設置 原水槽への吸管挿入（屋外）</p> <div data-bbox="1574 959 1830 1149" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設（屋外）</p>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m接続口	約600m×1系統 約50m×1系統	150A	約12本×1系統 約5本×1系統	
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m接続口	約600m×1系統 約50m×1系統	150A	約12本×1系統 約5本×1系統							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 778 676 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.9-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車により原子炉容器への注水を確保するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.10.3m, T.P.17.8m, T.P.40.3m 原子炉補助建屋T.P.10.3m, T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 (1) 運転員（現場）B a. 原子炉容器への注水ライン系統構成 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 25分 操作時間（訓練実績等） : 13分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。） (2) 運転員（現場）C a. 原子炉容器への注水ライン系統構成 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 25分 操作時間（訓練実績等） : 12分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。） b. 原子炉容器への注水開始前系統構成 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 25分 操作時間（訓練実績等） : 12分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違 (相違理由③)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉			相違理由
<div data-bbox="421 778 676 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	 可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水システム構成 （運転員（現場）B） （原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m）	 可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水システム構成 （運転員（現場）B） （原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m（中間床））	 可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水システム構成 （運転員（現場）C） （周辺補機棟 T. P. 10. 3m）	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.8</p> <p style="text-align: center;">A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</p> <p>【RHRS-CSS連絡ライン赤電源投入】</p> <p>1. 操作概要 A格納容器スプレイポンプによる代替再循環運転のため、RHRS-CSS連絡ライン赤の電源を入とする。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：10分 操作時間（実績）：7分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う電源操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>RHRS-CSS連絡ライン赤電源入 （制御建屋 E.L.+15.8m）</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.10</p> <p style="text-align: center;">B格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</p> <p>【RHRS-CSS連絡ライン青系統構成】</p> <p>1. 操作概要 B格納容器スプレイポンプによる代替再循環運転のため、RHRS-CSS連絡ラインの赤操作を行う。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名 操作時間（想定）：10分 操作時間（訓練実績等）：5分（現場移動時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。</p> <p>操作性：通常行う赤操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>RHRS-CSS連絡ライン系統構成 （原子炉補助建屋 T.P.10.3m（中間床））</p> </div>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由①） ・泊は、RHRS-CSS連絡ラインの赤が手動赤であるため、電源投入操作は不要。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.9</p> <p style="text-align: center;">格納容器再循環サンプスクリーン閉塞時の対応手順について</p> <p>1. はじめに</p> <p>海外の格納容器再循環サンプスクリーン（以下「サンプスクリーン」という。）閉塞事象に関し原子力安全・保安院より指示を受け当社はサンプスクリーン閉塞に対する手順の整備と整備した手順書による教育訓練を行う旨を報告している。平成17年2月17日にサンプスクリーンの閉塞事象に関する事故時操作所則の改正を行うとともに、サンプスクリーン閉塞事象を運転員の訓練項目に追加し、現在も年1回の頻度で継続した訓練を行っている。</p> <p>2. 事象の概要</p> <p>1次冷却材喪失事故時等において、燃料取替用水ピット水の注水、再循環運転に切り替え、高圧及び低圧注入流量や格納容器スプレイ流量等により正常に注水されていることを確認する。その後も格納容器再循環サンプの水位や高圧及び低圧注入流量を中央制御室にて継続的に監視し、サンプスクリーンに閉塞の兆候がないことを確認する。</p> <p>監視中、格納容器再循環サンプ水位の低下や各注水流量の低下等サンプスクリーン閉塞の兆候が現れれば、複数のパラメータ（必要により現地パラメータの確認含む。）により総合的に判断し、サンプスクリーン閉塞と判断されれば、サンプスクリーン閉塞時の運転基準にしたがいポンプの停止等によりサンプスクリーンの閉塞の回復を試みるとともに、燃料取替用水ピットへの補給により注水継続等の措置を行う。</p> <p>対応操作のフローを図1に示す。</p> <p style="text-align: center;">図1 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞時の対応操作</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.11</p> <p style="text-align: center;">格納容器再循環サンプスクリーン閉塞時の対応手順について</p> <p>1. はじめに</p> <p>海外の格納容器再循環サンプスクリーン（以下「サンプスクリーン」という。）閉塞事象に関し原子力安全・保安院より指示を受け当社はサンプスクリーン閉塞に対する手順の整備と整備した手順書による教育訓練を行う旨を報告している。1号及び2号炉では、平成17年2月24日にサンプスクリーン閉塞事象にかかわる事故時運転手順書の改正を行うとともに、サンプスクリーン閉塞事象を運転員の訓練項目に追加し、現在も年1回の頻度で継続した訓練を行っている。3号炉においても事故時運転手順書の整備を行うとともに、運用以降、年1回の頻度で継続した訓練を行っている。</p> <p>2. 事象の概要</p> <p>1次冷却材喪失事故時等において、燃料取替用水ピット水の注水、再循環運転に切り替え、高圧及び低圧注入流量や格納容器スプレイ流量等により正常に注水されていることを確認する。その後も格納容器再循環サンプの水位や高圧及び低圧注入流量を中央制御室にて継続的に監視し、サンプスクリーンに閉塞の兆候がないことを確認する。</p> <p>監視中、格納容器再循環サンプ水位の低下、各注水流量の低下等サンプスクリーン閉塞の兆候が現れれば、複数のパラメータ（必要により現場パラメータの確認含む。）により総合的に判断し、サンプスクリーン閉塞と判断されれば、運転要領緊急処置編に従いポンプの停止等によりサンプスクリーンの閉塞の回復を試みるとともに、燃料取替用水ピットへの補給により注水継続等の措置を行う。</p> <p>対応操作のフローを図1に示す。</p> <p style="text-align: center;">図1 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞時の対応操作</p>	<p>【大飯】 記載内容の相違 ・泊は1/2号炉と3号炉で事故時運転手順書への反映等時期が異なるため明記している。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 ・プラント毎の運転操作に使用する文書名称の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉 添付資料 1.4.10 全交流動力電源喪失とLOCA事象が重畳する場合の 対応操作について 全交流動力電源喪失が発生した時点から恒設代替低圧注水ポンプ及びB充てんポンプ自己冷却運転の準備を開始し、恒設代替低圧注水ポンプの準備が完了し原子炉に注水が可能となれば、その段階で実施する。また、事象の進展に伴い炉心損傷が確認されれば格納容器破損防止を優先し、恒設代替低圧注水ポンプの注水先を炉心注水側から格納容器スプレイ側に変更する。また、炉心の損傷防止及び緩和のためB充てんポンプ自己冷却運転の準備が整い次第、代替炉心注水を開始する。 全交流動力電源喪失時とLOCA事象が重畳した場合の判断及び対応操作について以下のフローに示す。	泊発電所3号炉 添付資料 1.4.12 全交流動力電源喪失とLOCA事象が重畳する場合の 対応操作について 全交流動力電源喪失が発生した時点から代替格納容器スプレイポンプ及びB-充てんポンプ（自己冷却）の準備を開始する。大LOCAでない判断した場合は、代替格納容器スプレイポンプの準備が完了し炉心に注水が可能となれば、その段階で実施する。また、大LOCAと判断した場合や事象の進展に伴い炉心損傷が確認されれば格納容器破損防止を優先し、代替格納容器スプレイポンプの注水先を「炉心注水」から「格納容器スプレイ」に変更する。なお、炉心の損傷防止及び緩和のためB-充てんポンプ（自己冷却）の準備が整い次第、代替炉心注水を開始する。 全交流動力電源喪失とLOCA事象が重畳した場合の判断及び対応操作について以下のフローに示す。	相違理由 本資料の内容は、有効性評価 7.1.2. 全交流動力電源喪失「添付資料 7.1.2.21 全交流動力電源喪失とLOCA事象が重畳する場合の対応操作について」にてご説明済み。 【大飯】 記載方針の相違 ・泊はSBO時に大LOCAが重畳した場合には、短時間で炉心損傷に至ることから、その時点で格納容器破損防止対応に移行するが、大飯は炉心損傷確認後に移行する手順となっている。炉心損傷となれば格納容器破損防止に移行するという対応自体は同一であり、実質差異はない。 【大飯】 記載表現の相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.4.11-(1)</p> <p style="text-align: center;">B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水</p> <p>【自己冷却ラインディスタンスピース取替え】</p> <p>1. 作業概要 B充てんポンプ（自己冷却）による原子炉への注水準備のために、自己冷却ラインのディスタンスピースを閉止用から通水用に取り替える。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名/ユニット 作業時間（想定）：63分 作業時間（実績）：60分（現場移動時間を含む、常用照明切にて実施。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温及び放射線量は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 作業性：ディスタンスピース取替え作業は一般的な作業であるため、容易に実施可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="250 849 528 1031"> </div> <div data-bbox="591 842 846 1034"> </div> </div> <p style="text-align: center;">① ディスタンスピース ② ディスタンスピース取替え作業 （原子炉周辺建屋 E.L.+14.7m）</p>	<p style="text-align: center;">添付資料 1.4.13</p> <p style="text-align: center;">B一充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px auto; width: 100px;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>・泊の自己冷却ラインは、弁操作により系統構成を実施するため、次ページにまとめて整理している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.11-(2)</p> <p>【B充てんポンプ自己冷却運転（系統構成）】</p> <p>1. 操作概要 原子炉補機冷却水系による充てんポンプの冷却が不能になった場合に、B充てんポンプの自己冷却ラインを使用し冷却水を確保して、ポンプ運転を行うための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：60分 操作時間（実績）：52分（現場移動時間を含む、常用照明切にて実施。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>① B充てんポンプ自己冷却運転系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② B充てんポンプ自己冷却運転系統構成(照明消灯にて撮影) (原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>③ ペンティングホース接続</p> </div>	<p>【B一充てんポンプ自己冷却運転（系統構成）】</p> <p>1. 操作概要 原子炉補機冷却水設備による充てんポンプの冷却が不能になった場合に、B一充てんポンプの自己冷却ラインを使用し冷却水を確保して、ポンプ運転を行うための系統構成を実施する。</p> <p>2. 作業場所 原子炉補助建屋T.P.10.3m, T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名 操作時間（想定）：35分 操作時間（訓練実績等）：30分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>B一充てんポンプ自己冷却運転系統構成 (原子炉補助建屋 T.P.10.3m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>B一充てんポンプ自己冷却運転系統構成 (原子炉補助建屋 T.P.10.3m（中間床）)</p> </div> </div>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・泊は常用照明入にて訓練した時間としているが、照明消灯時においてもヘッドライト、懐中電灯等及びバッテリー内蔵型照明により操作可能である。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 (女川実績の反映)</p>